

2019
講義要綱
SYLLABUS

北翔大学短期大学部 2 年次
HOKUSHO COLLEGE

2019年度 北翔大学・北翔大学短期大学部 学事日程

月		火		水		木		金		土		日		備考
4 / 1		4 / 2	在学生オリエンテーション	4 / 3	入学式	4 / 4	オリエンテーション	4 / 5	オリエンテーション	4 / 6		4 / 7		教育学科養護教諭コース3年次 養護実習：4 / 8～4 / 26 こども学科2年次 教育実習：5 / 13～5 / 31
4 / 8	①	4 / 9	①	4 / 10	①	4 / 11	①	4 / 12	①	4 / 13		4 / 14		
4 / 15	②	4 / 16	②	4 / 17	②	4 / 18	②	4 / 19	②	4 / 20		4 / 21		
4 / 22	③	4 / 23	③	4 / 24	③	4 / 25	③	4 / 26	③	4 / 27		4 / 28		
4 / 29	昭和の日	4 / 30	休日	5 / 1	祝日	5 / 2	休日	5 / 3	憲法記念日	5 / 4	みどりの日	5 / 5	こどもの日	
5 / 6	振替休日④	5 / 7	④	5 / 8	④	5 / 9	④	5 / 10	④	5 / 11		5 / 12		
5 / 13	⑤	5 / 14	⑤	5 / 15	⑤	5 / 16	⑤	5 / 17	⑤	5 / 18		5 / 19		
5 / 20	⑥	5 / 21	⑥	5 / 22	⑥	5 / 23	⑥	5 / 24	⑥	5 / 25		5 / 26		
5 / 27	⑦	5 / 28	⑦	5 / 29	⑦	5 / 30	⑦	5 / 31	⑦	6 / 1		6 / 2		
6 / 3	⑧	6 / 4	⑧	6 / 5	⑧	6 / 6	⑧	6 / 7	⑧	6 / 8		6 / 9		
6 / 10	⑨	6 / 11	⑨	6 / 12	⑨	6 / 13	⑨	6 / 14	⑨	6 / 15		6 / 16		
6 / 17	⑩	6 / 18	⑩	6 / 19	⑩	6 / 20	⑩	6 / 21	⑩	6 / 22		6 / 23	健康福祉学科（介護）4年次 訪問介護実習：6 / 18～6 / 28 健康福祉学科（介護）2年次 介護基礎実習：6 / 26～28 教育学科養護教諭コース2年次 看護学臨床実習：7月～9月	
6 / 24	⑪	6 / 25	⑪	6 / 26	⑪	6 / 27	⑪	6 / 28	⑪	6 / 29		6 / 30		
7 / 1	⑫	7 / 2	⑫	7 / 3	⑫	7 / 4	⑫	7 / 5	⑫	7 / 6		7 / 7		
7 / 8	⑬	7 / 9	⑬	7 / 10	⑬	7 / 11	⑬	7 / 12	⑬	7 / 13		7 / 14		
7 / 15	海の日⑭	7 / 16	⑭	7 / 17	⑭	7 / 18	⑭	7 / 19	⑭	7 / 20		7 / 21		
7 / 22	⑮	7 / 23	⑮	7 / 24	⑮	7 / 25	⑮	7 / 26	⑮	7 / 27		7 / 28		
7 / 29	補講・試験日⑯	7 / 30	補講・試験日⑯	7 / 31	補講・試験日⑯	8 / 1	補講・試験日⑯	8 / 2	補講・試験日⑯	8 / 3		8 / 4		
8 / 5		8 / 6		8 / 7		8 / 8		8 / 9		8 / 10		8 / 11		山の日
8 / 12	振替休日	8 / 13		8 / 14		8 / 15		8 / 16		8 / 17		8 / 18		
8 / 19		8 / 20		8 / 21		8 / 22		8 / 23		8 / 24		8 / 25		
8 / 26		8 / 27		8 / 28		8 / 29		8 / 30		8 / 31		9 / 1		
9 / 2		9 / 3		9 / 4		9 / 5	創立記念日	9 / 6	5 / 6の振替休日	9 / 7		9 / 8	教育学科4年次 保育実習Ⅱ又は保育 実習Ⅲ：8 / 19～8 / 31 教育学科3年次 教育実習Ⅰ（幼・小）： 幼稚園8 / 19～9 / 6 小学校8 / 19～9 / 13	
9 / 9		9 / 10		9 / 11		9 / 12		9 / 13		9 / 14		9 / 15		
9 / 16	敬老の日	9 / 17	7 / 15の振替休日	9 / 18		9 / 19		9 / 20		9 / 21		9 / 22		
9 / 23	秋分の日	9 / 24		9 / 25		9 / 26	オリエンテーション	9 / 27	大学祭準備	9 / 28	大学祭	9 / 29		
9 / 30	① 前期学位記授与式	10 / 1	①	10 / 2	①	10 / 3	①	10 / 4	①	10 / 5		10 / 6		
10 / 7	②	10 / 8	②	10 / 9	②	10 / 10	②	10 / 11	②	10 / 12		10 / 13		
10 / 14	体育の日	10 / 15	③	10 / 16	③	10 / 17	③	10 / 18	③	10 / 19		10 / 20		
10 / 21	③	10 / 22	祝日	10 / 23	④	10 / 24	④	10 / 25	④	10 / 26		10 / 27		
10 / 28	④	10 / 29	④	10 / 30	⑤	10 / 31	⑤	11 / 1	⑤	11 / 2		11 / 3		文化の日
11 / 4	振替休日⑤	11 / 5	⑤	11 / 6	⑥	11 / 7	⑥	11 / 8	⑥	11 / 9		11 / 10		
11 / 11	⑥	11 / 12	⑥	11 / 13	⑦	11 / 14	⑦	11 / 15	⑦	11 / 16		11 / 17		
11 / 18	⑦	11 / 19	⑦	11 / 20	⑧	11 / 21	⑧	11 / 22	⑧	11 / 23	勤労感謝の日	11 / 24		
11 / 25	⑧	11 / 26	⑧	11 / 27	⑨	11 / 28	⑨	11 / 29	⑨	11 / 30		12 / 1		
12 / 2	⑨	12 / 3	⑨	12 / 4	⑩	12 / 5	⑩	12 / 6	⑩	12 / 7		12 / 8		
12 / 9	⑩	12 / 10	⑩	12 / 11	⑪	12 / 12	⑪	12 / 13	⑪	12 / 14		12 / 15		
12 / 16	⑪	12 / 17	⑪	12 / 18	⑫	12 / 19	⑫	12 / 20	⑫	12 / 21		12 / 22		
12 / 23	⑫	12 / 24	⑫	12 / 25		12 / 26		12 / 27		12 / 28		12 / 29		
12 / 30		12 / 31		1 / 1	元旦	1 / 2		1 / 3		1 / 4		1 / 5		
1 / 6	⑬	1 / 7	⑬	1 / 8	⑬	1 / 9	⑬	1 / 10	⑬	1 / 11		1 / 12		
1 / 13	成人の日	1 / 14	11 / 4の振替休日	1 / 15	⑭	1 / 16	⑭	1 / 17	⑭	1 / 18		1 / 19		
1 / 20	⑭	1 / 21	⑭	1 / 22	⑮	1 / 23	⑮	1 / 24	⑮	1 / 25		1 / 26		
1 / 27	⑮	1 / 28	⑮	1 / 29	補講・試験日⑯	1 / 30	補講・試験日⑯	1 / 31	補講・試験日⑯	2 / 1		2 / 2		
2 / 3	補講・試験日⑯	2 / 4	補講・試験日⑯	2 / 5		2 / 6		2 / 7		2 / 8		2 / 9		
2 / 10		2 / 11	建国記念の日	2 / 12		2 / 13		2 / 14		2 / 15		2 / 16		
2 / 17		2 / 18		2 / 19		2 / 20		2 / 21		2 / 22		2 / 23	（天皇誕生日）	
2 / 24	振替休日	2 / 25		2 / 26		2 / 27		2 / 28		2 / 29		3 / 1		
3 / 2		3 / 3		3 / 4		3 / 5		3 / 6		3 / 7		3 / 8		
3 / 9		3 / 10		3 / 11		3 / 12		3 / 13		3 / 14		3 / 15		
3 / 16		3 / 17		3 / 18	学位記授与式	3 / 19		3 / 20	春分の日	3 / 21		3 / 22		
3 / 23		3 / 24		3 / 25		3 / 26		3 / 27		3 / 28		3 / 29		
3 / 30		3 / 31												
教育学科3年次 保育実習Ⅰ（施設）：3 / 2～3 / 14														

講義要綱 SYLLABUS の利用にあたって

この冊子は、2019年度に開講される授業科目の概要が記載されています。

授業の概要や到達目標をよく確認して授業を選択する参考にしてください。シラバスには、授業の担当教員名や、単位数等の他、次のような事項が記載されています。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

- ・ 授業のねらい
- ・ 到達目標
- ・ 授業計画
- ・ 準備学習の内容（事前・事後の学習）
- ・ 使用するテキスト（教科書）や、参考書
- ・ 成績評価の方法（どのような基準で評価が決まるのか）
- ・ 質問への対応（連絡先など）
- ・ その他（履修に当たっての特に注意すべき事項が記載されています）

《学習形態》

「授業の計画」各回の右欄に書かれている記号は学習形態を表し、授業の進め方、指導方法を表しています。

学習形態の用語説明

記号	学習形態	概要説明
A	講義	
B	演習	
C	実験	
D	実習	
E	実技	
F	プレゼンテーション	学生が、指示されたテーマや課題について、グループもしくは単独で調査・学習・実習等を行い、そのことについて他の受講生や教員等聴衆の前で発表する学習方法である。発表形式は、パワーポイントなどの情報機器を活用したものやポスターセッションなど様々である。発表後は、聴衆からの質疑に応答する。〇〇発表会、〇〇報告会等を含む。
G	レポートライティング	与えられたテーマや課題について調査や実験等を行い、調べた事実やデータを分析して、その過程と結果・考察などを文書にまとめる。あるいは、授業で学習したことを自分の言葉でまとめたり、自分の経験したことや体験したことなどについて、感じたことを理由とともにまとめるなど、知識や経験を自分の力で文書で表現する学習方法である。
H	グループワーク	教員から与えられた課題に対して、小グループ（3人から6人程度が一般的）内で共同作業やコミュニケーションをとりながら学修を進めていく協同学習である。コミュニケーション能力、メンバーが役割を分担した上で相互に協力・協働して課題に取り組む姿勢、自分の意見を主張する力と他人の意見を受け入れる力、決められた時間内に課題を解決して答えを出す力などを養成し、学生が社会に出てから活動するために必要な力を身につける。

I	ディベート	ある公的な主題について異なる立場（肯定側と否定側）に分かれ議論することを通して、第三者を客観的な証拠に基づいて説得するコミュニケーション形態（討論をする形式）である。 ディベートを通して学生の思考が活性化され、自分の意見や問題意識を持ったり、より論理的な考え方ができるようになるといった効果が期待される。
J	事例研究	ある事例について調査・研究し、問題の所在・原因を究明し、どのように対処するか解決策を見出す学習活動である。指導者は、学生の個別または集団研究に対して、研究の場を設定し、具体的な助言をしたり、事例を紹介したり、研究をコーディネートしたりして、学生の研究を導く立場で関わる。
K	ワークシート	授業前あるいは授業中に、学習の課題や問題等を提示した用紙を用い、調べたことや理解したことを確認し、理解の深化を促す学習方法である。また、講義の内容を書き込めるように準備された用紙等で理解の確認を行ったり、ワークシートに記入された個々の考えをもとに、ペアやグループワークで話し合い、学習内容を共有することもある。
L	ふり返し	授業の途中や終了時に、理解したことや分からなかったこと等について確認を行い、理解の促進を図る学習方法である。確認の方法としては、振り返りシート等の記入、ペア・グループワークによる意見の共有などがある。
M	フィールドワーク	社会調査における情報収集技法の一つである。研究者が直接現場へ出かけ一定期間滞在し、人々の生活に密着しながら出来事を観察・記述し、その空間の社会的構造をリアルに分析しようとするものである。 アクティブ・ラーニングの視点から、本学での「フィールドワーク」とは教員が提示したテーマや課題等について、学生が直接現場へ出かけ実地調査や研究等を通して、より深く分析し課題解決に向かうことをねらいとした学習形態である。
N	ロールプレイ	現実にかかる場面を想定して、参加者がそれぞれに与えられた役割を演じ（ロールプレイ）、疑似体験（シミュレート）をする学習方法である。技術・技能の修得や、現実的なケースにおける多面的な見方、態度・姿勢の涵養、他人の立場への理解などを促進する際に効果的である。

教 育 課 程 表

短大共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		2年次					
		前	後				
健康体育（実技を含む）	講義・実技		2	花 井 篤 子	ライフデザイン学科		1
			長 尾 明 也				
			畠 山 孝 子				
こ ども と 安 全	講義		2	菊 地 達 夫	ライフデザイン学科		2
				菊 地 達 夫	こども学科		
外 国 の 歴 史 と 文 化	実習	2		担 当 教 員	集中講義		3

ライフデザイン学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		2年次					
		前	後				
基礎ユニット群							
韓 国 語	講義	2		田 光 子			5
中 国 語	講義	2		田 恩 蘋			6
ド イ ツ 語	講義	2		菊 地 達 夫			7
フ ラ ン ス 語	講義	2		江 口 修			8
ス ペ イ ン 語	講義	2		林 田 智 子			9
ライフデザインユニット群							
専 門 ゼ ミ Ⅰ	演習	②		担 当 教 員			10
専 門 ゼ ミ Ⅱ	演習		②	担 当 教 員			11
油 彩	演習	2		林 亨			12
ファッションとリフォーム	実習		1	北 村 悦 子			13
チームビルディングゲーム	実技	1		平 井 伸 之			14
				田 光 子			
				村 松 幹 男			
イン タ ー ン シ ッ プ Ⅱ	演習	2		田 口 智 子	集中講義		15

ライフデザイン学科 学科専門科目 コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		2年次					
		前	後				
キャリアデザインコースユニット群							
会計学	講義		2	湯澤直樹			16
企業と経営	講義	2		田口智子			17
現代と経済	講義	2		旗本智之			18
エコと経済	講義	2		湯澤直樹			19
秘書実務Ⅱ	講義・実習	2		田口智子	含実習		20
ビジネス関連法規Ⅰ	講義	2		倉本英明			21
ビジネス関連法規Ⅱ	講義		2	倉本英明			22
マネジメントゲーム	演習		2	旗本智之			23
ファッション舞台アートコースユニット群 ファッションユニット群							
メイクアップ演習(ネイルアートを含む)	講義・演習		2	二橋絵美			24
				小笠原諒			
テキスタイル	実習	1		大信田静子			25
ドレーピング	実習	1		北村悦子			26
キッズファッション	実習	1		大信田静子			27
ファッション論(服飾文化史を含む)	講義		2	北村悦子			28
ファッション造形実習Ⅲ	実習	2		北村悦子			29
ファッション造形実習Ⅳ	実習		2	大信田静子			30
ファッションデジタルアート	実習		1	大信田静子			31
アクセサリークラフトB	実習		1	辻美恵子			32
ショップディスプレイ	実習	2		早坂眞梨子			33
ステージプランニング実習	実習		1	端谷真子	札幌円山キャンパス実施科目 集中講義		34
ファッション舞台アートコースユニット群 舞台芸術ユニット群							
ラジオ・ドラマ製作	演習	2		村松幹男	一部集中講義		35
				田光子			
				平井伸之			
				富井昭次			
特殊効果	演習		2	吉田ひでお	札幌円山キャンパス実施科目		36
舞台芸術研修	演習	2		村松幹男	集中講義		37
				田光子			
				平井伸之			
舞台装置入門(舞台デッサンを含む)	演習	2		福田恭一	札幌円山キャンパス実施科目		38
舞台木材道具製作演習	演習	2		村松幹男	一部集中講義		39
				平井伸之			
				福田恭一			
舞台映像編集	実習	1		森井綾			40

ライフデザイン学科 学科専門科目 コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		2年次					
		前	後				
ファッション舞台アートコースユニット群 舞台芸術ユニット群							
舞 踊 研 究 実習		1	村 松 幹 男	札幌円山キャンパス実施科目		41	
			田 光 子				
			平 井 伸 之				
身 体 表 現 実技	1		村 松 幹 男	札幌円山キャンパス実施科目		42	
			田 光 子				
			平 井 伸 之				
照 明 ・ 音 響 実 習 I 実習	1		村 松 幹 男	札幌円山キャンパス実施科目		43	
			田 光 子				
			平 井 伸 之				
			鈴 木 静 悟				
			相 馬 寛 之				
			富 井 昭 次				
			服 部 正 巳				
			百 瀬 俊 介				
照 明 ・ 音 響 実 習 II 実習	1		村 松 幹 男	札幌円山キャンパス実施科目		44	
			田 光 子				
			平 井 伸 之				
			鈴 木 静 悟				
			相 馬 寛 之				
			富 井 昭 次				
			服 部 正 巳				
			百 瀬 俊 介				

こども学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		2年次					
		前	後				
器 楽 応 用	実技	1		橋 本 卓 三		[乙]幼・小2種_必修、保育士_必修	45
				石 田 敏 明			
				浅 沼 恵 輔			
				佐々木 るり子			
				砂 田 眞理子			
				中 川 洋 子			
				前 田 有 紀			
				村 上 秀 子			
こどものファッション	演習		2	大信田 静 子		[乙]保育士_選択	46
こ ども と 野 外 活 動	演習		2	太 田 俊 一	集中講義	[乙]幼2種_選択、保育士_選択	47
赤 ち ゃ ん 学	講義	2		中 島 啓 子		[乙]保育士_選択	48
総 合 実 践 演 習	演習		2	橋 本 卓 三		[乙]保育士_選択	49
				石 田 敏 明			
幼 児 身 体 教 育 学	演習		2	長 尾 明 也		[乙]保育士_選択	50
応 用 教 育 セ ミ ナ ー Ⅰ	講義	2		担 当 教 員			51
応 用 教 育 セ ミ ナ ー Ⅱ	講義		2	担 当 教 員			52
保育士関連科目							
相 談 援 助	演習	1		中 島 啓 子		[乙]保育士_必修	53
保 育 の 心 理 学 Ⅱ	演習	1		松 田 久 美		[乙]保育士_必修	54
こ だ も の 保 健 Ⅱ	演習	1		佐 藤 恵美子		[乙]保育士_必修	55
家 庭 支 援 論	講義		2	中 島 啓 子		[乙]保育士_必修	56
保 育 課 程 論	講義	2		小 林 美 花		[乙]保育士_必修	57
障 害 児 保 育	演習	2		渡 辺 泰 行		[乙]保育士_必修	58
保 育 相 談 支 援	演習		1	西 原 真由美		[乙]保育士_必修	59
保 育 実 習 Ⅰ	実習	4		保 田 真 希	学外実習 集中講義	[乙]保育士_必修	60
				小 林 美 花			
				清 水 桂 子			
保 育 実 習 指 導 Ⅰ B	演習		1	保 田 真 希		[乙]保育士_必修	61
				小 林 美 花			
				清 水 桂 子			
保 育 実 践 演 習	演習		2	小 林 美 花		[乙]保育士_必修	62
				入 江 彩 子			
				中 島 啓 子			
				保 田 真 希			
現 代 こ ど も 学	講義		2	菜 原 桂 子	保育コース必修科目	[乙]保育士_選択	63
保 育 実 習 Ⅱ	実習	2		小 林 美 花	学外実習 集中講義	[乙]保育士_選必	64
				清 水 桂 子			
				保 田 真 希			

こども学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		2年次					
		前	後				
保育士関連科目							
保 育 実 習 Ⅲ	実習	2		保 田 真 希	学外実習 集中講義	[乙]保育士_選必	65
				小 林 美 花			
				清 水 桂 子			
保 育 実 習 指 導 Ⅱ	演習	1		小 林 美 花		[乙]保育士_選必	66
				清 水 桂 子			
				保 田 真 希			
保 育 実 習 指 導 Ⅲ	演習	1		保 田 真 希	集中講義	[乙]保育士_選必	67
				小 林 美 花			
				清 水 桂 子			
幼稚園教諭関連科目							
幼 児 理 解 の 理 論 と 方 法	講義		2	松 田 久 美		[乙]幼2種_必修	68
保育士・幼稚園教諭関連科目							
保 育 内 容 人 間 関 係	演習	2		菜 原 桂 子		[乙]幼2種_選必、保育士_必修	69
保 育 内 容 健 康	演習		2	小 林 八重子		[乙]幼2種_選必、保育士_必修	70
幼稚園・小学校教諭関連科目							
教 育 課 程 論	講義	2		高 橋 さおり		[乙]幼・小2種_必修	71
教 育 実 習 講 義 Ⅱ	講義	2		菜 原 桂 子		[乙]幼・小2種_必修	72
				長 尾 明 也			
				中 島 啓 子			
				松 田 久 美			
教 育 実 習	実習	4	4	菜 原 桂 子	事後指導を含む 学外実習 集中講義	[乙]幼・小2種_必修	73
				長 尾 明 也			
				中 島 啓 子			
				松 田 久 美			
教 職 実 践 演 習 (幼 ・ 小)	演習		2	松 田 久 美		[乙]幼・小2種_必修	74
				荒 川 巖			
				太 田 俊 一			
				高 橋 さおり			
				菜 原 桂 子			

こども学科 学科専門科目 コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		2年次					
		前	後				
保育コース							
こ ど も の 遊 び 論	演習	2		長 尾 明 也	保育コース必修科目		75
こどもの表現遊び研究	演習	2		清 水 桂 子			76
こどもの造形遊び研究	演習	2		入 江 彩 子			77
こどもの運動遊び研究	演習	2		大 宮 真 一			78
音楽コース							
こどものリズム表現Ⅱ	演習		2	武 井 歌 織		[乙]リトミック幼・保1級_必修	79
音 楽 療 法 概 論	演習	2		澤 田 悦 子	音楽コース必修科目		80
音 楽 療 法 演 習	演習		2	澤 田 悦 子	音楽コース必修科目		81
こ ど も の う た 研 究	演習	2		橋 本 卓 三			82
				石 田 敏 明			
こ ど も の 合 奏 研 究	演習	2		石 田 敏 明			83
				橋 本 卓 三			
こ ど も の 音 楽 研 究	演習	2		橋 本 卓 三			84
				石 田 敏 明			
教育コース 小学校教諭関連科目							
国 語 科 指 導 法	講義	2		高 橋 さおり		[乙]小2種_選必	85
社 会 科 指 導 法	講義	2		菊 地 達 夫		[乙]小2種_選必	86
算 数 科 指 導 法	講義	2		荒 川 巖		[乙]小2種_選必	87
理 科 指 導 法	講義	2		太 田 俊 一		[乙]小2種_選必	88
生 活 科 指 導 法	講義	2		菊 地 達 夫		[乙]小2種_選必	89
音 楽 科 指 導 法	講義	2		石 田 敏 明		[乙]小2種_選必	90
				橋 本 卓 三			
図 画 工 作 科 指 導 法	講義	2		入 江 彩 子		[乙]小2種_選必	91
家 庭 科 指 導 法	講義	2		角 田 成 子		[乙]小2種_選必	92
体 育 科 指 導 法	講義	2		長 尾 明 也		[乙]小2種_選必	93
生徒指導(進路指導を含む)	講義	2		荒 川 巖		[乙]小2種_必修	94
外 国 語 活 動	講義	2		長 尾 明 也	教育コース必修科目	[乙]小2種_選択	95
小 学 校 教 育 授 業 研 究	講義		2	高 橋 さおり			96
				荒 川 巖			
				太 田 俊 一			
				菊 地 達 夫			

短期大学部 共通科目

科 目 名		健康体育(実技を含む)		授業形態	講義・実技	単 位 数	2
教 員 名		花井 篤子、長尾 明也、畠山 孝子					
授 業 の 目 的	ねらい	運動不足や身体の不活動が健康に悪影響を与え、適度な運動が健康の維持・増進に不可欠であるということは周知の事実です。本授業では、健康を目的とした運動の果たす役割について、運動の理論から実技までを幅広く学びます。運動が心や身体に与える影響、生涯にわたる健康づくりのあり方(生涯スポーツとしての運動)やその意義について学習します。具体的には、運動の原則や健康づくりのための運動プログラムの紹介、運動処方の考え方などの内容に加えて、障害者スポーツの紹介、女性とスポーツの現状、肥満や腰痛改善のための運動処方などのテーマに沿って学びます。					
	到達目標	(1)健康運動を実践する上での基礎知識を修得する。 (2)実技では球技の基礎的技能を習得し、健康づくりのための運動方法の学習と体験をする。 (3)講義と実技を通して、健康生活のための安全で、有効な運動の必要性を理解する。 (4)トレーニングの基本について理解を深める。					
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の概要の説明と、グループ分け後、移動して実技を実施する。 (実技：花井篤子・畠山孝子・長尾明也) 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておく。	E	第13回	【テーマ】バドミントン③ 【計画内容】試合運営と審判法を学ぶ。(畠山孝子) 【準備学習の内容】前回の復習をする。	E、L	
	第2回	【テーマ】バレーボール① 【計画内容】バレーボールの基礎技術を学ぶ。(長尾明也) 【準備学習の内容】ルールを理解しておく。	E、L	第14回	【テーマ】バドミントン④ 【計画内容】リーグ戦。(畠山孝子) 【準備学習の内容】前回の復習をする。	E、L	
	第3回	【テーマ】バレーボール② 【計画内容】バレーボールの試合運営を学ぶ。(長尾明也) 【準備学習の内容】ルールを理解しておく。	E、L	第15回	【テーマ】バドミントン⑤ 【計画内容】リーグ戦。(畠山孝子) 【準備学習の内容】前回の復習をする。	E、L	
	第4回	【テーマ】バスケットボール① 【計画内容】バスケットボールの基礎技術を学ぶ。(長尾明也) 【準備学習の内容】ルールを理解しておく。	E、L	第16回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の概要と講義ふり返りレポートについて説明する。(講義：花井篤子) 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておく。	A	
	第5回	【テーマ】バスケットボール② 【計画内容】バスケットボールの試合運営を学ぶ。(長尾明也) 【準備学習の内容】ルールを理解しておく。	E、L	第17回	【テーマ】健康の果たす役割とその意義 【計画内容】健康の果たす役割とその意義について学び、講義内容をふり返り、レポートを作成する。(花井篤子) 【準備学習の内容】健康の必要性について調べる。	A、G、L	
	第6回	【テーマ】体力測定 【計画内容】体力測定を行い、現在の体力レベルを把握する。(花井篤子) 【準備学習の内容】体力測定項目の予習をしておくこと。	E、L	第18回	【テーマ】健康づくりのための運動の理論と実際 【計画内容】健康づくりのための運動の理論と実際について学び、講義内容をふり返り、レポートを作成する。(花井篤子) 【準備学習の内容】前回の講義の復習をする。	A、G、L	
	第7回	【テーマ】ストレッチングと筋力トレーニング 【計画内容】ストレッチングと筋力トレーニングの方法を学び、実践する。(花井篤子) 【準備学習の内容】ストレッチングと筋力トレーニングの内容について予習をしておくこと。	E	第19回	【テーマ】障害者とスポーツ 【計画内容】障害者とスポーツの問題点について学び、講義内容をふり返り、レポートを作成する。(花井篤子) 【準備学習の内容】前回の講義の復習をする。	A、G、L	
	第8回	【テーマ】ニュースポーツ(キンボール) 【計画内容】キンボールを使った運動を学び、実践する。(花井篤子) 【準備学習の内容】キンボールのルールについて予習をしておくこと。	E	第20回	【テーマ】女性とスポーツ 【計画内容】女性とスポーツの問題点について学び、講義内容をふり返り、レポートを作成する。(花井篤子) 【準備学習の内容】前回の講義の復習をする。	A、G、L	
	第9回	【テーマ】調整力トレーニング① 【計画内容】Gボールを利用したエクササイズや調整力トレーニングの実施方法を学び、実践する。(花井篤子) 【準備学習の内容】調整力について予習をしておくこと。	E	第21回	【テーマ】こどもとスポーツ 【計画内容】発育発達を考慮した子供とスポーツの関係について学び、講義内容をふり返り、レポートを作成する。(花井篤子) 【準備学習の内容】前回の講義の復習をする。	A、G、L	
	第10回	【テーマ】調整力トレーニング② 【計画内容】ラダーやゴムボールを利用した調整力トレーニングの実施方法を学び、実践する。(花井篤子) 【準備学習の内容】調整力について復習をしておくこと。	E	第22回	【テーマ】アクアフィットネス、まとめ及びレポート課題の提示 【計画内容】アクアフィットネスの概念と生涯スポーツについて学ぶ。また、これまでの講義のまとめを行い、レポート課題を説明し、講義内容をふり返り、レポートを作成する。(花井篤子) 【準備学習の内容】前回の講義の復習をする。	A、G、L	
	第11回	【テーマ】バドミントン① 【計画内容】サービスとストロークの技術を習得する。(畠山孝子) 【準備学習の内容】前回の復習をする。	E、L	第23回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】健康体育のまとめと振り返りを行う。(花井篤子) 【準備学習の内容】これまでの講義内容を復習し、理解しておくこと。	G、L	
	第12回	【テーマ】バドミントン② 【計画内容】応用技術と試合運営の方法を学ぶ。(畠山孝子) 【準備学習の内容】前回の復習をする。	E、L				
テキスト		適宜プリントを配付します 2016年、『新版 生涯スポーツと運動の科学』、市村出版					
参 考 書		適宜紹介します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		70%	
補 足	足						
質問への対応		授業時に説明します。					
資 格							
そ の 他		成績は実技と講義の参加意欲及び授業態度とレポート課題を総合的に判断し評価します。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。					

科目名	こどもと安全			授業形態	講義	単位数	2
教員名	菊地 達夫						
授業の目的	ねらい	本科目では、こどもの安全に関する内容について、保育者・教育者、保護者(成人)として、どのように情報収集、情報理解し、どのように役立てるべきか、学習します。また、保育士養成課程では、保育所保育指針解説書の(2)事故防止及び安全対策を中心とした内容に含まれます。					
	習得目標	(1)身近な地域について、どのように危険な情報を収集すべきか理解できる。 (2)身近な地域の交通安全、防犯、防災について理解できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義のねらい、到達目標、講義計画、成績評価方法、参考文献などについて説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容についてよく読んでおくこと。					A
	第2回	【テーマ】危険な場所・場面の情報収集の方法 【計画内容】身近な地域における危険な情報収集のあり方を学びます。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K
	第3回	【テーマ】危険な場所・場面の認識 【計画内容】身近な地域における危険な場所・場面の傾向について学びます。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K
	第4回	【テーマ】危険な場所・場面の内容 【計画内容】身近な地域における危険な場所・場面の内容について学びます。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K
	第5回	【テーマ】犯罪対策①(学校/侵入者) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K
	第6回	【テーマ】犯罪対策②(校庭/侵入者) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K
	第7回	【テーマ】犯罪・安全対策③(通学路/歩行者) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K
	第8回	【テーマ】犯罪・安全対策④(通学路/車) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K
	第9回	【テーマ】犯罪対策⑤(自宅/訪問者) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K
	第10回	【テーマ】犯罪対策⑥(商業施設/迷子) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K
	第11回	【テーマ】防災①(地震災害/学校) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K
	第12回	【テーマ】防災②(地震災害/自宅) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K
	第13回	【テーマ】防災③(気象災害) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K
	第14回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの学習を振り返り、重点内容の理解について確認します。 【準備学習の内容】理解のできていない学習内容についてよく復習しておくこと。					L
	第15回	【テーマ】まとめと整理・応用 【計画内容】これまでの学習を振り返り、重点項目の理解について再確認します。 【準備学習の内容】理解のできていない学習内容についてよく確認しておくこと。					L
テキスト	必要に応じてプリントを使用します						
参考書	厚生労働省編、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館 渡邊正樹、2007年、『子どもの危険予測・回避能力』、光文書院 渡邊正樹編、2013年、『新しい防災教育』、光文書院						
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
補足	第14回の一部内容として実施						
質問への対応	初回講義時に説明します。						
資格	[乙]保育士_選択						
その他	身近な交通事故、犯罪、自然災害に関するニュース(とくに、こども)には、注目しておくこと。 課題等の結果は、返却時に講評・補足説明を行います。						

科 目 名		外国の歴史と文化			授業形態	実習	単 位 数	2
教 員 名		担当教員						
授 業 の 目 的	ねらい	外国を訪問し現地の人々との交流を通して、我々とは異なる文化や習慣を持つ人々から学ぶことで、グローバルな視野を獲得して、21世紀の社会人として成長することを目的とします。						
	到達目標	(1)訪問国の歴史や文化について理解を深めることで、多角的な視野を理解・獲得する。 (2)外国の文化と対比しながら、日本人としての自覚を持てるようになる。 (3)研修への参加目的を明確に設定、主体的に事前学習および現地研修に取り組み、目的を達成する。 (4)集団行動における他者尊重と協調性を養うことで、お互いに協力して助け合うことができる。 (5)現地の人々との交流を通して、実際にコミュニケーションすることにチャレンジする。						
授 業 の 計 画		【多文化理解体験研修 5～6日間】 実施時期は未定ですが、今年度はフィリピン共和国 カオハガン島を予定しています。 詳細が決定しましたら、学生ポータルサイト、学内掲示や先生からお知らせがあります。 (1)オリエンテーション (2)参加目的と研修に対する意欲を発表するプレゼンテーション (3)事前学習(参加者それぞれの参加目的を明確にし、研修中のアクティビティの選定、交流授業の計画と準備) (4)事前学習(歴史、地理、文化など、訪問国の調査・学習) (5)カオハガン島小学校での交流授業実施と児童との交流(指導案作成、教材準備、授業準備とリハーサル) (6)現地の地元住民との交流を通じた文化体験(半日ホームビジット、ボランティア活動) (7)帰国後レポートの作成(研修の成果、参加目的の達成度を明らかにする) (8)帰国報告会での発表 【準備学習の内容】 滞在中の研修日程、実施内容などは研修参加者と一緒に企画します。その準備に十分な時間をかけるため、継続的な勉強会を実施します。					A F H、J、N A、H、J M M K F	
テキスト		プリントを配付します						
参 考 書		プリントを配付します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			50%		40%	10%	
		交流企画準備、報告書作成				主体性、積極性、貢献度		帰国後の報告会
質問への対応		海外研修に関するお問い合わせは、学生生活支援オフィスまで						
資 格								
そ の 他		募集参加人数に満たない場合または、世界情勢等の理由により催行されないことがあります。現地の事情により研修内容が変更されることがあります。観光を目的とした海外旅行ではありません。事前と事後の学習時間、研修準備などを研修自体に含めると15回分の参加が求められます。						

ライフデザイン学科 学 科 専 門 科 目

科目名	韓国語				授業形態	講義	単位数	2
教員名	田光子							
授業の目的	ねらい	韓国語は、日本語とほぼ同じ語順で、日本人にとって最も習得しやすい言語と言えます。初めは文字と発音を習熟し、それと同時に、簡単なあいさつや会話文など実用性に重点をおきます。また視聴覚教材を通して、韓国の文化や風習に触れながら、韓国語に慣れ親しみ学んでいきます。						
	到達目標	(1)韓国語の文字と発音を習得する。 (2)韓国語であいさつや自己紹介ができる。 (3)韓国語で名前や自己紹介文が書ける。 (4)韓国語で簡単な会話ができる。 (5)韓国の文化・風習などについて理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーションと自己紹介 【計画内容】講義のねらい、到達目標、講義展開、成績評価方法、参考文献などについて説明する。 【準備学習の内容】シラバスを読む。						A
	第2回	【テーマ】文字(ハングル)の成立 【計画内容】韓国および文字の成り立ちについて学ぶ。 【準備学習の内容】教科書を準備して読んでおく。						A
	第3回	【テーマ】基本母音 【計画内容】母音の発音と文字について学ぶ。 【準備学習の内容】基本母音について教科書を読んでおく。						A
	第4回	【テーマ】基本子音と教室用語 【計画内容】子音の発音と文字について学び、教室用語を覚える。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、基本子音について教科書を読んでおく。						A
	第5回	【テーマ】発音・単語の確認と挨拶 【計画内容】発音を完全マスターして、単語や挨拶を覚える。 【準備学習の内容】基本母音と子音の発音と文字を完全に覚えるようにする。						A
	第6回	【テーマ】激音と体の部位について 【計画内容】激音の発音と文字について学び、体の部位について知る。 【準備学習の内容】単語やあいさつを復習する。						A
	第7回	【テーマ】濃音 【計画内容】濃音の発音と文字について学ぶ。 【準備学習の内容】激音の発音と文字を完全習得する。						A
	第8回	【テーマ】複合母音とハングル表記「韓国語で名前を書こう」 【計画内容】複合母音の発音と文字について学び、韓国語で名前を書いてみる。 【準備学習の内容】濃音の発音と文字を完全習得する。自己紹介文を書いてみる。						A
	第9回	【テーマ】買い物会話と短文作り「～をください」 【計画内容】買い物会話の短文を作る。ハングル表記の文を読んでみる。 【準備学習の内容】自己紹介文の提出とハングル表記を読むことで文字に慣れるようにする。複合母音を復習しておく。						A、B、N
	第10回	【テーマ】終声と漢数詞「これいくらですか」 【計画内容】終声の発音と文字について学び、漢数詞を覚えて買い物のロールプレイを行う。 【準備学習の内容】既習文字と発音を必ず復習し、習得する。						A、B、N
	第11回	【テーマ】連音とK-POP「韓国の歌を歌ってみよう」 【計画内容】連音について学ぶ。K-POP(韓国の歌)で聞き取りと読み方を練習する。 【準備学習の内容】終声と漢数詞を復習しておく。						A、B
	第12回	【テーマ】平音の濃音化・鼻音化・流音化「韓国語は読めるかな?」 【計画内容】平音の濃音化、鼻音化、流音化について学ぶ。 【準備学習の内容】終声・漢数詞・連音の韓国語を読めるようにする。						A
	第13回	【テーマ】韓国文化の理解(韓国映画など) 【計画内容】韓国映画で文化や風習について理解する。単語の聞き取り練習。感想文を書く。 【準備学習の内容】日韓の文化の違いなど、感想文を提出する。						A、B
	第14回	【テーマ】「あります/います、ありません/いません、します」の活用法 【計画内容】存在詞と動詞「する」の活用を学ぶ。 【準備学習の内容】既習した全ての文字や発音を復習し、スムーズに読み書きができるようにしてくる。						A
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】文字の成立、発音、単語、文法事項、挨拶などについて振り返り、確認する。 【準備学習の内容】既習の単語や挨拶、自己紹介を復習し、読み、書き、話せるようにする。						A、L
テキスト	木内明、2013年、『基礎から学ぶ韓国語講座初級改訂版』、国書刊行会、9784336057501							
参考書	2002年、『朝鮮語辞典』、小学館							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	60%		10%		10%	20%	
	補足			レポートなど				
質問への対応	講義内において随時受け付けます。E-mail: chun@hokusho-u.ac.jp(田光子:641研究室) 講義前後に対応します。(非常勤講師:千永柱)							
資格								
その他	遅刻・欠席はしないこと。私語は慎み授業態度を重視する。恥ずかしがらずに発音し、積極的に参加してくれることを望みます。							

科目名	中国語			授業形態	講義	単位数	2
教員名	田 恩蘋						
授業の目的	ねらい	この科目では、中国語の基礎となる発音から始め、挨拶や日常会話などの基礎を学びます。また、語学学習を通して中国の文化や流行を紹介し、中華圏の文化理解を深めます。					
	到達目標	(1)中国語の発音、ピンインや漢字の表記、基礎文法が理解できる。 (2)中国語の基本的な挨拶、自己紹介等のよく使われる会話表現を実践できる。 (3)中華圏の文化について理解できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】全15回の授業展開や成績評価方法、教科書や注意事項について説明します。中国語の声調と発音について紹介します。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。授業で使用する教科書を履修希望者は購入すること。					A
	第2回	【テーマ】発音基礎(1)基本的な挨拶 【計画内容】母音(単母音、二重母音、三重母音)、声調変化とピンイン表記について解説し、中国語の「おはよう」「こんにちは」などの日常生活で頻繁に使用する挨拶語を学びます。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ声調、発音、単語を復習すること。					A、H、K、N
	第3回	【テーマ】発音基礎(2)基本的な挨拶 【計画内容】子音(「唇音」、「舌尖音」、「舌根音」、「舌面音」、「そり舌音」、「舌歯音」、声調変化とピンイン表記について解説し、日常生活で頻繁に使用する挨拶語を学びます。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ声調、発音、単語を復習すること。					A、H、K、N
	第4回	【テーマ】基礎会話(自己紹介) 【計画内容】中国語を使った自己紹介を学びます。中国語の「自分の名前、国籍の言い方」を学びます。疑問文を使った簡単な日常会話文を作成し練習します。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ会話、単語を使ってお互いに自己紹介ができるようにしておくこと。					A、H、K、N
	第5回	【テーマ】基礎会話(コンビニ) 【計画内容】疑問文を使った簡単な日常会話をコンビニでの買い物例に練習します。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ声調、単語に加え、会話文を練習しておくこと。					A、H、K、N
	第6回	【テーマ】基礎会話(食事) 【計画内容】中国語の食事に関する会話を学生食堂やレストランを例に練習します。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ声調、単語に加え、会話文を練習しておくこと。					A、H、K、N
	第7回	【テーマ】基礎会話(時間の表現) 【計画内容】中国語の年月、曜日の言い方を学びます。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ声調、単語に加え、会話文を練習しておくこと。					A、H、K、N
	第8回	【テーマ】これまでのおさらい 【計画内容】これまで学んだ発音、文法、挨拶用語などを確認するための発表を行います。 【準備学習の内容】ここまでに学んだ発音、文法、単語や会話を復習しておくこと。					F、K、L、M
	第9回	【テーマ】基礎文法(肯定形、否定形、疑問形) 【計画内容】中国語の肯定と否定、何、なぜ、どこ、どうしてなどの疑問形を使った文法を学び練習します。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ会話、単語を覚えること。					A、H、K、N
	第10回	【テーマ】基礎会話応用(1) 【計画内容】これまで学んだ中国語を使って、休日の過ごし方をテーマに会話を練習します。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ会話、単語を覚えること。					A、H、K、N
	第11回	【テーマ】基礎会話応用(2) 【計画内容】これまで学んだ中国語を使って、電話での会話を練習します。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ会話、単語を覚えること。					A、H、K、N
	第12回	【テーマ】基礎会話応用(3) 【計画内容】これまで学んだ中国語を使って、アルバイト先での接客時の会話を練習します。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ会話、単語を覚えること。					A、H、K、N
	第13回	【テーマ】基礎会話応用(4) 【計画内容】これまで学んだ中国語を使って、買い物時の会話を練習します。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ会話、単語を覚えること。					A、H、K、N
	第14回	【テーマ】これまでのおさらい 【計画内容】基礎会話応用で学んだ言い回し、単語、文法などを確認するための復習をします。 【準備学習の内容】これまで学んだ発音、文法、単語や会話を復習しておくこと。					F、K、L、N
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでに学んだ文法、会話用語などを確認のために最終発表会を行い講評します。 【準備学習の内容】本科目で学んだことをまとめ、今後、興味があればさらに語学学習を継続してみてください。					A、K、L
テキスト	工藤真理子、2017年、『ここから 中国語』、白帝社、9784863982598						
参考書	講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	20%	60%			20%	
	補足	毎回	口述発表(中間、期末)			平時	
質問への対応	この科目に関する質問は、授業時間前後または、芸術学科浅井先生までメール、直接お問い合わせください。 E-Mail(浅井): takaya@hokusho-u.ac.jp						
資格							
その他	語学の学習は日々の積み重ねが重要になるため、遅刻や欠席は評価に大きく影響します。いちじるしく遅刻や欠席が目立つ学生は、単位認定しません。詳細については、第1回のオリエンテーション時に説明します。						

科目名	ドイツ語			授業形態	講義	単位数	2
教員名	菊地 達夫						
授業の目的	「ドイツ語」では、初歩的な文法の一部を取り上げて学習します。また、文法学習を通じて、簡単な挨拶などを取り入れ、ドイツ語圏の生活・文化について理解を深めます。 (1)初歩的な文法事項の一部(動詞と名詞)について理解できる。 (2)簡単な挨拶などについて理解できる。 (3)ドイツ語圏の生活・文化について理解できる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 講義のねらい、到達目標、講義計画、成績評価方法、指定教科書、参考文献について説明します。 【準備学習の内容】 シラバス内容をよく読んでおくこと。					A
	第2回	【テーマ】 アルファベットの学習 【計画内容】 文字を確認しながら、アルファベットの発音について学習します。 【準備学習の内容】 アルファベット・発音を確認しておくこと。					L
	第3回	【テーマ】 挨拶と数詞・曜日 【計画内容】 基本となる簡単な挨拶と数詞・曜日を学習します。 【準備学習の内容】 挨拶と数詞・曜日について確認しておくこと。					A、K、L
	第4回	【テーマ】 動詞の学習1(現在人称変化及び人称代名詞) 【計画内容】 現在人称変化及び人称代名詞を学習します。 【準備学習の内容】 学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K、L
	第5回	【テーマ】 動詞の学習2(現在人称変化(不規則)と語順) 【計画内容】 現在人称変化(不規則)と語順を学習します。 【準備学習の内容】 学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K、L
	第6回	【テーマ】 動詞の学習3(現在人称変化(不規則)) 【計画内容】 現在人称変化(不規則)を学習します。 【準備学習の内容】 学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K、L
	第7回	【テーマ】 動詞の学習4(命令形) 【計画内容】 命令形を学習します。 【準備学習の内容】 学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K、L
	第8回	【テーマ】 名詞の学習1(数・性・格支配) 【計画内容】 数・性・格支配を学習します。 【準備学習の内容】 学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K、L
	第9回	【テーマ】 名詞の学習2(定冠詞と不定冠詞) 【計画内容】 定冠詞と不定冠詞を学習します。 【準備学習の内容】 学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K、L
	第10回	【テーマ】 名詞の学習3(複数形) 【計画内容】 複数形を学習します。 【準備学習の内容】 学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K、L
	第11回	【テーマ】 名詞の学習4(冠詞類) 【計画内容】 冠詞類を学習します。 【準備学習の内容】 学習内容についてよく復習しておくこと。					A、K、L
	第12回	【テーマ】 動詞学習のまとめ 【計画内容】 動詞学習について確認します。 【準備学習の内容】 理解のできていない文法事項についてよく復習しておくこと。					A、K、L
	第13回	【テーマ】 名詞学習のまとめ 【計画内容】 名詞学習について確認します。 【準備学習の内容】 理解のできていない文法事項についてよく復習しておくこと。					A、K、L
	第14回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 これまでの文法事項を確認します。 【準備学習の内容】 理解のできていない文法事項についてよく確認しておくこと。					K
	第15回	【テーマ】 まとめと応用 【計画内容】 今後のドイツ語学習(独学)の方法について説明します。 【準備学習の内容】 理解のできていない文法事項についてよく確認しておくこと。					A
テキスト	講義時に説明する						
参考書	山本明・古賀允洋、2004年、『教室と自修のためのドイツ語入門』、同学社、4810200272 秋田静男ほか、2012年、『ドイツ語インフォメーションneu2』、朝日出版社						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
	補足			復習問題			
質問への対応	初回講義時に説明します。						
資格							
その他	履修者の登録状況によって、講義計画・展開方法が変わる場合があります。 課題の結果等は、返却時に講評・解説を行います。						

科目名	フランス語				授業形態	講義	単位数	2
教員名	江口 修							
授業の目的	ねらい	オリンピックの競技や開・閉会式を聞いていると英語と開催国の言葉以外に聞こえるアナウンス言語がありますね。そうですフランス語です。IOC本部はスイスにあります。それもスイス・ロマンドと呼ばれるフランス語圏のローザンヌです。EU本部もブリュッセルにあります。ベルギーの公用語の一つはフランス語です。そしてヨーロッパの女性のかかなりの人が英語よりもフランス語を上手に話します。英語以外にもうひとつは、英語よりも愛せる言葉があるかもしれない?と思っている人は教室に来てください。						
	到達目標	(1)看板やメニューのフランス語を発音できるようになろう! (2)パリのスーパーではなく広場の市場で買い物ができるようになろう! (3)カフェやレストランで注文できるようになろう! (4)パリの名所を正しく発音しよう、そしてその歴史を理解しよう! (5)目指せ仏検4級チャレンジ!						
授業の画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業の紹介をし、15回の授業の構成を説明します。 【準備学習の内容】 シラバスをよく読んでおくこと。						A
	第2回	【テーマ】 アルファベットではなく「アルファベ」、字母の確認と呼び方そして綴りと発音の関係 【計画内容】 英語との字母の呼び方が違うことを意識的に理解する。スマホでキーボードに慣れてる人が多いことを前提にパソコンキーボードのフル活用を目指して仏語入力へのチャレンジ開始! 【準備学習の内容】 テキストのp. 6-p. 7をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。						A、B
	第3回	【テーマ】 あいさつができるようになろう! 【計画内容】 外国語の第一歩、人とつながるためにはなによりも「挨拶」!笑顔で「ボンジュール!」と言えるようになろう。 【準備学習の内容】 テキスト第1課をダウンロードした音源を聞きながらできれば実際に口にしてみよう。						A、B
	第4回	【テーマ】 フランス語の面倒さも、食べる喜びで克服?! 【計画内容】 英語が捨てたものをフランス語はまだ持っている。それが名詞の「性」だ。発音も結構面倒くさいことを要求してくれるが、なぜだ? 【準備学習の内容】 テキスト第2課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。						A
	第5回	【テーマ】 「それ(これ、あれ)なーに?」は三つとも一つの言い方になる! 【計画内容】 子供の頃を思い出して、質問魔になってみよう。答えはとりあえずは日本語でいいけど、すぐにフランス語ではどう言うのか調べよう。即辞書を引け!ただの辞書がいっぱいころがっている。 【準備学習の内容】 テキスト第3課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。						A、B
	第6回	【テーマ】 君たち文の主語が絶対に要る、って理解できる? 【計画内容】 日本語の文(とくに会話)の構文とフランス語、もちろん英語との違いを意識しよう! 【準備学習の内容】 テキスト第4課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。						A
	第7回	【テーマ】 形容詞は名詞に「かかる」のだが、その時名詞の性と数がね、、、大問題や! 【計画内容】 だいたいここで「放り出す」人続出!逃さへんで!英語との違いもかなり鮮明になるかな?それから「否定」できるようにすることも大事だ。フランス語を拒否する前にフランス語から拒否されないように! 【準備学習の内容】 テキスト第5課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。						A
	第8回	【テーマ】 ちょっと休憩、フランスの子供の歌を聞いてみよう。そして歌ってみよう! 【計画内容】 すぐに覚えられる簡単な歌をいろいろ聞いてみて。歌えるものをみつけよう。そして歌ってみよう! 【準備学習の内容】 ユーチューブなどでフランスの子供の歌を聞いておいてください。						B
	第9回	【テーマ】 この世は「所有」の世界だ、みんなの「もの」ってそう多くはない。「誰の?」って大事だ! 【計画内容】 所有を表すにはどんな手段があるか?代名詞になったとたんにパニックになる人がある。日本語では平気で言いまくっているのにも関わらず。 【準備学習の内容】 テキスト第6課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。						A
	第10回	【テーマ】 真面目に「動詞」を「どうぞ」 【計画内容】 フランス語の動詞も「つまずき」の大きな原因だ。集中、集中!といっても単調な暗記作業は眠りを誘うね。どうしたら目を開け続けることができるのか、永遠の課題だ。 【準備学習の内容】 テキスト第7課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。						A、B
	第11回	【テーマ】 もう一つ絶対に使えるようにならなければならない動詞がある 【計画内容】 ここをクリアできれば、といつも思っているもう一つの障害ともなる動詞「avoir」さあ自分で自分の脳にムチ入れてひと頑張りだ! 【準備学習の内容】 テキスト第8課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。						A、B
	第12回	【テーマ】 いよいよ様々な「動詞」に挑戦だ! 【計画内容】 英語でも「主要動詞50でほとんどが表現できる」なんて言うよね。フランス語でも同じだが、みんなの大嫌いな「活用」が英語よりも面倒くさい。我慢、ガマン! 【準備学習の内容】 テキスト第9課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。						A、B
	第13回	【テーマ】 疑問もだいが高度になってくるぞ、さあ大変だ! 【計画内容】 引き続き動詞の習得がある(寝るなよ!)そしてこれも母国語そう日本語だとまったく問題なく使っているのになぜだかチンプンカンプンという人が出てくる。もう教師も大変だ! 【準備学習の内容】 テキスト第10課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。						A、B
	第14回	【テーマ】 いよいよというか入口最大の難関かも知れない「動詞」の登場だ! 【計画内容】 いちおうここで、「これから」と「いましがた」と時間がすこし前後に延ばすことができるようになりたいですね。独学で進む下地ができればいいな、と期待を抱くのが教師なのだが、、、 【準備学習の内容】 テキスト第10課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。						A、B
	第15回	【テーマ】 振り返りとまとめ 【計画内容】 やってきたことを振り返ってみよう。そして簡単な会話による記憶の確認。歌も歌えるだろうか?! 【準備学習の内容】 テキストを読み返しておいてください。						B
テキスト	内藤陽哉/玉田健二、2013年、『フランス語へのパスポート(三訂版)』、白水社、9784560061114							
参考書	森本 英夫/三野 博司、2013年、『増補改訂版 新・リュミエールフランス文法参考書』、駿河台出版社、4411005328							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足	30%	20%	20%		30%		
質問への対応	授業の前後に個別対応します。メールでの質問にも対応します。質問の内容によっては授業で取りあげることもあります。							
資格								
その他	語学は身体・五感を総動員して、まさに体得することが肝要。あらゆるメディアとデバイスを通じてフランス語に接近するようにしましょう。							

科目名		スペイン語		授業形態	講義	単位数	2
教員名		林田 智子					
授業の目的	ねらい	約4億人の言語人口を持つスペイン語。スペイン以外でも多くの国の公用語になっています。簡単な日常会話の習得を目指し、基本的な「読む」「書く」「聞く」「話す」の力を身につけます。また、スペイン語圏の生活・習慣・文化に触れ、言語の背景にあるものを通して理解を深めます。					
	到達目標	(1)簡単な日常会話の聞き取りができ、話すことができる。 (2)基本的な文法事項を体系的に学び、理解する。 (3)スペイン語圏の生活・習慣・文化に関心を持ち、理解を深める。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 スペイン語の世界へようこそ 【計画内容】・講義の紹介、テキスト及び辞書の説明、15回の講義内容についての説明。 ・教室で使うスペイン語。(テキスト冒頭) ・Lección 1: アルファベット、発音。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。テキストを準備し持参すること。	A	第9回	【テーマ】 Lección 7: 3種類の規則動詞 【計画内容】・規則動詞の活用。 ・直接目的語と間接目的語。 ・疑問詞。 【準備学習の内容】 テキストp. 38に目を通しておくこと。課題提出。	A	
	第2回	【テーマ】 Lección 2: スペイン語の挨拶 【計画内容】・第1回講義の振り返り。 ・基本的な挨拶の表現の習得。 ・名詞の数と性。 【準備学習の内容】 テキストp. 8のダイアログに目を通しておくこと。	A、L	第10回	【テーマ】 Lección 8: よく使う不規則動詞(1) 【計画内容】・前回の講義の振り返り。 ・一人称単数のみ不規則な活用をする動詞。 ・日付、季節、曜日、時刻。 【準備学習の内容】 テキストp. 44に目を通しておくこと。	A、L	
	第3回	【テーマ】 Lección 3: 自己紹介 【計画内容】・第2回講義の振り返り。 ・自分及び家族や友人をスペイン語で紹介する。 ・be動詞の働きをもつ動詞「ser」を学ぶ。 【準備学習の内容】 テキストp. 14のダイアログに目を通しておくこと。	A、L	第11回	【テーマ】 第9～10回講義の振り返り 【計画内容】・Lección 7～8に出てきた表現・単語の確認と振り返り。 ・練習問題。 ・ロールプレイング。 【準備学習の内容】 Lección 7～8を復習をしておくこと。	A、L、N	
	第4回	【テーマ】 第1～3回講義の振り返り 【計画内容】・Lección 1～3に出てきた表現・単語の確認と振り返り。 ・練習問題。 ・ロールプレイング。 【準備学習の内容】 Lección 1～3の復習をしておくこと。	A、L、N	第12回	【テーマ】 Lección 9: よく使う不規則動詞(2) 【計画内容】・語根母音変化動詞の活用。 ・人称代名詞について。 ・不定詞と否定語の用法。 【準備学習の内容】 テキストp. 50に目を通しておくこと。課題提出。	A	
	第5回	【テーマ】 Lección 4: 「これ、それ、あれ」と「私のもの、君のもの」 【計画内容】・指示形容詞、指示代名詞、所有形容詞の用法 ・日付、曜日の表現 【準備学習の内容】 テキストp. 20に目を通しておくこと。課題提出。	A	第13回	【テーマ】 Lección 10: よく使う不規則動詞(3) 【計画内容】・前回の講義の振り返り。 ・動詞tenerと動詞irの活用と用法。 ・天気と天候。 【準備学習の内容】 テキストp. 56に目を通しておくこと。	A、L	
	第6回	【テーマ】 Lección 5: 様子を訊ねる 【計画内容】・前回の講義の振り返り。 ・形容詞、接続詞、副詞の用法。 【準備学習の内容】 テキストp. 26に目を通しておくこと。	A、L	第14回	【テーマ】 第12～13回講義の振り返り 【計画内容】・Lección 9～10に出てきた表現・単語の確認と振り返り。 ・練習問題。 ・ロールプレイング。 【準備学習の内容】 Lección 9～10を復習をしておくこと。	A、L、N	
	第7回	【テーマ】 Lección 6: もうひとつのbe動詞「estar」 【計画内容】・前回の講義の振り返り。 ・動詞hay。 ・hayと動詞 estarの違い。動詞 serと動詞 estarの違い。 【準備学習の内容】 テキストp. 32に目を通しておくこと。	A、L	第15回	【テーマ】 全講義の振り返りとまとめのテスト 【計画内容】・主要な単語及び表現の確認。 ・ロールプレイング。 ・まとめのテスト。 【準備学習の内容】 テキストのダイアログとプリントに目を通しておくこと。	A、L、N	
	第8回	【テーマ】 第5～7回講義の振り返り 【計画内容】・Lección 4～6に出てきた表現・単語の確認と振り返り。 ・練習問題。 ・ロールプレイング。 【準備学習の内容】 Lección 4～6の復習をしておくこと。	A、L、N				
テキスト		村上陽子、2017年、『Encuentro con el mundo del español(スペイン語の世界へようこそ1)』、朝日出版社、978425550893					
参考書		プリントを使用する、プリントを使用する					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		20%		30%	10%
質問への対応		初回の講義で説明します。					
資格							
その他		必ずテキストを持参すること。講義で配付するプリントを保管し持参すること。					

科 目 名		専門ゼミⅠ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		担当教員						
授 業 の 目 的	ねらい	「専門ゼミⅠ」は、1年次の学びを発展させ、ライフデザイン学科の各専門領域について、講義や文献講読、見学、調査などを通して、より高い関心、問題意識を持つことができるようになることを目的としています。						
	到達目標	(1)グループ内でのディスカッションをすることができる。 (2)選択した学問領域に関して、専門的内容を理解し現状および課題を多角的にとらえることができる。 (3)選択した学問領域の中で、自分の関心のあるテーマを選定し、問題意識を明確にすることができる。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 第1～15回 各ゼミナールによって異なった展開となります。 詳細については、各指導教員から配付される授業計画書を参考にしてください。							B
	【準備学習の内容】 担当教員の指示に従い準備すること。							
テキスト		各指導教員より説明します						
参 考 書		各指導教員より説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			50%		50%		
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他		「専門ゼミⅠ」の履修者は「専門ゼミⅡ」も履修すること。 意欲・態度・課題などから担当教員が規定した比率に基づいて評価します。 成果物であるレポート作成、作品製作は「専門ゼミⅡ」で行います。						

科 目 名		専門ゼミⅡ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		担当教員						
授 業 の 目 的	ねらい	「専門ゼミⅠ」で深めた自分の研究テーマに基づき、専門的な立場から研究を行い、その成果をレポート作成、作品製作等で発表します。一つのテーマを探究する中で、課題を発見し、解決することを経験する演習の取組は、社会人としての実践力を身につけることにつながります。						
	到達目標	(1)「専門ゼミⅠ」での学びをもとに、レポート作成、作品製作等を通して、より専門的な知識・技術を深めることができる。 (2)グループ内で、ディスカッションやプレゼンテーションを行うことができる。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 第1～14回 各ゼミナールによって異なった展開となります。 詳細については、各指導教員から配付される授業計画書を参考にしてください。 第15回は専門ゼミ発表会とし1年間の成果を発表する機会を設け、学内での専門ゼミ作品展示を行う他、専門ゼミ論集を作成します。 【準備学習の内容】 担当教員の指示に従い準備すること。							B
テキスト		各指導教員より説明します						
参 考 書		各指導教員より説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			50%		50%		
	補 足							
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他		意欲・態度・課題などから担当教員が規定した比率に基づいて評価します。 第15回は専門ゼミ発表会とし1年間の成果を発表する機会を設け、学内での専門ゼミ作品展示を行う他、専門ゼミ論集を作成します。						

科 目 名		油彩		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		林 亨					
授 業 の 目 的	ねらい	この演習は、絵画表現の基本構造を知るために、描画材で最も融通が利き、数多くの表現技法が可能な油彩画(油絵)制作を通して、その基本的な性質を知り、初歩的な使い方の習得を目的とする。古典的な技法を基本にしながら、油絵の具の独特の発色を理解し、豊かな色彩表現に繋げていくようにする。モチーフは前半が単体モデルの静物画、後半は複数モデルの静物画を制作する。また、完成した作品を受講者で鑑賞し合い、講評会も実施する。					
	到達目標	(1)油絵の具の基本的な性質を理解する。 (2)油彩画の初歩的な技法を習得する。 (3)絵画表現のおもしろさを感じ、自分なりの表現世界を考えるきっかけをつくる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 絵画表現の基礎知識 【計画内容】 絵画表現の基本構造と簡単な歴史について学ぶ。 【準備学習の内容】 シラバスをよく読み授業の内容を把握しておくこと。					A、B
	第2回	【テーマ】 油彩画制作準備 【計画内容】 キャンパスの基本構造、絵の具の基本的な扱い方、地塗りについて学ぶ。 【準備学習の内容】 指定したテキストの読み、内容を把握しておくこと。					A、B
	第3回	【テーマ】 静物画制作(単品モデル)(下描きの方法) 【計画内容】 鉛筆や木炭を使った下描きの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					A、B、E
	第4回	【テーマ】 静物画制作(単品モデル)(油彩絵の具の性質) 【計画内容】 油彩画の基本的技法、グリザイユ技法およびカマイユ技法について学ぶ。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					A、B、E
	第5回	【テーマ】 静物画制作(単品モデル)(油彩画技法の基本) 【計画内容】 グレージング(うす塗り)の方法と効果について学ぶ。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					A、B、E
	第6回	【テーマ】 静物画制作(単品モデル)(グリザイユ技法とカマイユ技法の基本) 【計画内容】 重ね塗り効果を考えながら作品を完成させる。講評会も実施する。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を仕上げておくこと。					A、B、E
	第7回	【テーマ】 キャンパスの構造を知る 【計画内容】 一般的に使われている油彩用木枠の構造を理解して、実際にキャンパスを張る。下地絵具も塗布する。 【準備学習の内容】 キャンパス張りの方法を復習する。					A、B
	第8回	【テーマ】 静物画制作(複数モデル)(構図を考える) 【計画内容】 古典的技法を応用し、モノトーン表現から色彩表現を展開させる。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					A、B、E
	第9回	【テーマ】 静物画制作(複数モデル)(油彩絵の具の性質) 【計画内容】 絵の具のパートを意識させた重色表現の方法と効果について学ぶ。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					A、B、E
	第10回	【テーマ】 静物画制作(複数モデル)(様々なタッチによる表現方法) 【計画内容】 ハッチング(線描き)や点描、ペインティングナイフなどの表現方法と効果について学ぶ。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					A、B、E
	第11回	【テーマ】 静物画制作(複数モデル)(初期の描き込み) 【計画内容】 重ね塗り効果を考えながら描き込みを始める。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					A、B、I
	第12回	【テーマ】 静物画制作(複数モデル)(油彩技法の現在)(描き込み・油彩技法の現在) 【計画内容】 厚塗り技法における地塗りと絵の具のパートを理解する。印象派時代の画家(モネやゴッホ)の作品考察も行う。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					A、B、E
	第13回	【テーマ】 静物画制作(複数モデル)(油彩技法の応用)(描き込み・油彩技法の応用) 【計画内容】 透明色と不透明色の混合やホワイトとの混色法などについて学ぶ。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					A、B、E
	第14回	【テーマ】 静物画制作(複数モデル)(油彩技法と材料の関係)(描き込み・油彩技法と材料の関係) 【計画内容】 厚塗りの後のグレイズ法とオイルの種類や用途について学ぶ。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。					A、B、E
	第15回	【テーマ】 静物画制作(複数モデル)(油彩技法の仕上げ方法と合評会) 【計画内容】 複合的技法の完成。講評会の実施。また、写真などの映像メディアをプレゼンテーションに活かす方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を仕上げておくこと。					B、I、G
テキスト		適宜自作プリントなどを使用します					
参 考 書		谷川渥(監修)、2001年、『絵画の教科書』、日本文教出版					
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分 補 足			10%	70%	20%	
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資 格							
そ の 他		受講者は油彩画用具一式、キャンパス等、指定された油彩用具を必ず用意すること。斡旋販売もする。詳細はオリエンテーション時に説明。《絵の具、オイル、油壺、クリーナー、用具ケース、筆、ナイフ、パレット、筆洗器等》					

科 目 名		ファッションとリフォーム				授業形態	実習	単 位 数	1
教 員 名		北村 悦子							
授 業 の 目 的	ねらい	現在はファッションも多様化しているが、流行おくれの衣類、着飽きた洋服、捨てるには惜しい服飾品等に少し手を加えることで、全く別の形にしたり、オーソドックスなデザインをオリジナルなものにして個性にあった装いを楽しむ事を学びます。							
	到達目標	(1)衣類を再利用することが理解できる。 (2)衣類の組み合わせによって新しい型を構築することができる。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業内容と授業展開について説明。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。							A
	第2回	【テーマ】作品Ⅰ 【計画内容】テーマ設定。 【準備学習の内容】作品のデザイン、使用する布のプランを練っておくこと。							D
	第3回	【テーマ】作品Ⅰ 【計画内容】試着・縫製。 【準備学習の内容】製作する作品の材料を準備しておくこと。							D
	第4回	【テーマ】作品Ⅰ 【計画内容】試着・縫製。 【準備学習の内容】テキスト、書籍等でより効果的な縫製方法を調べておくこと。							D
	第5回	【テーマ】作品Ⅰ 【計画内容】批評会。 【準備学習の内容】時間内でできなかった作品を仕上げておく。作品のチェックをしておくこと。							D、F
	第6回	【テーマ】作品Ⅱ 【計画内容】テーマ設定。 【準備学習の内容】作品のデザイン、使用する布のプランを練っておくこと。							D
	第7回	【テーマ】作品Ⅱ 【計画内容】試着・縫製。 【準備学習の内容】製作する作品の材料を準備しておくこと。							D
	第8回	【テーマ】作品Ⅱ 【計画内容】試着・縫製。 【準備学習の内容】テキスト、書籍等でより効果的な縫製方法を調べておくこと。							D
	第9回	【テーマ】作品Ⅱ 【計画内容】批評会。 【準備学習の内容】時間内でできなかった作品を仕上げておく。作品のチェックをしておくこと。							D、F
	第10回	【テーマ】作品Ⅲ 【計画内容】テーマ設定。 【準備学習の内容】作品のデザイン、使用する布のプランを練っておくこと。							D
	第11回	【テーマ】作品Ⅲ 【計画内容】試着・縫製。 【準備学習の内容】製作する作品の材料を準備しておくこと。							D
	第12回	【テーマ】作品Ⅲ 【計画内容】試着・縫製。 【準備学習の内容】テキスト、書籍等でより効果的な縫製方法を調べておくこと。							D
	第13回	【テーマ】作品Ⅲ 【計画内容】批評会。 【準備学習の内容】時間内でできなかった作品を仕上げておく。作品のチェックをしておくこと。							D、F
	第14回	【テーマ】まとめ 【計画内容】講義内容のまとめ。 【準備学習の内容】作品製作の過程を復習しておくこと。							D、F
	第15回	【テーマ】課題 【計画内容】レポート作成提出。 【準備学習の内容】課題を時間内に仕上げる準備をしてくること。							G、L
テキスト		担当者作成プリントを使用します							
参 考 書		担当者作成プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分 補足			70%		30%			
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。							
資 格									
そ の 他		リフォーム材料は各自で用意します。 各自の作品の批評会を実施します。							

科目名		チームビルディングゲーム		授業形態	実技	単位数	1
教員名		平井 伸之、田 光子、村松 幹男					
授業の目的	ねらい	コミュニケーションを円滑に進めるための、アイスブレーキング(何かをグループで行おうとすると、初対面同士の緊張感や遠慮などの雰囲気や和らげる)やチームビルディング(一つの目的に向かってチームが一丸となって進めるようなチーム「組織」づくり)の理論を学び、それらのゲームを実際に行ってみる。					
	到達目標	(1)アイスブレーキングやチームビルディングのためのゲームについて、知識がある。 (2)ファシリテータとしてゲームを行うことができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の展開等について説明する。(全教員) 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。					A
	第2回	【テーマ】アイスブレーキング① 【計画内容】互いの自己紹介を兼ねて、アイスブレーキングを目的としたゲームを行う。(平井伸之・田光子) 【準備学習の内容】資料を読んでおくこと。					B、E、H
	第3回	【テーマ】アイスブレーキング② 【計画内容】アイスブレーキングを目的としたゲームを行う。(平井伸之・村松幹男) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第4回	【テーマ】チームビルディングゲーム① 【計画内容】さまざまなチームビルディングを目的としたゲームについて説明し、実際にやってみる。(村松幹男) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第5回	【テーマ】チームビルディングゲーム② 【計画内容】さまざまなチームビルディングを目的としたゲームについて説明し、実際にやってみる。(田光子) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第6回	【テーマ】チームビルディングゲーム③ 【計画内容】さまざまなチームビルディングを目的としたゲームについて説明し、実際にやってみる。(平井伸之) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第7回	【テーマ】チームビルディングゲーム④ 【計画内容】さまざまなチームビルディングを目的としたゲームについて説明し、実際にやってみる。(田光子・村松幹男) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第8回	【テーマ】チームビルディングゲーム⑤ 【計画内容】さまざまなチームビルディングを目的としたゲームについて説明し、実際にやってみる。(平井伸之・田光子) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第9回	【テーマ】オリジナルなチームビルディングゲームの開発 【計画内容】オリジナルなチームビルディングゲームをチームに分かれて開発する。(全教員) 【準備学習の内容】チームビルディングゲームの目的について復習しておくこと。					B、H
	第10回	【テーマ】オリジナルチームビルディングゲーム① 【計画内容】オリジナルチームビルディングゲームを実際にやってみる。ファシリテータを体験する。(平井伸之・村松幹男) 【準備学習の内容】ファシリテータの役割を果たせるように準備すること。前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、F、H
	第11回	【テーマ】オリジナルチームビルディングゲーム② 【計画内容】オリジナルチームビルディングゲームを実際にやってみる。ファシリテータを体験する。(田光子・村松幹男) 【準備学習の内容】ファシリテータの役割を果たせるように準備すること。前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、F、H
	第12回	【テーマ】オリジナルチームビルディングゲーム③ 【計画内容】オリジナルチームビルディングゲームを実際にやってみる。ファシリテータを体験する。(平井伸之・田光子) 【準備学習の内容】ファシリテータの役割を果たせるように準備すること。前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、F、H
	第13回	【テーマ】オリジナルチームビルディングゲーム④ 【計画内容】オリジナルチームビルディングゲームを実際にやってみる。ファシリテータを体験する。(平井伸之・村松幹男) 【準備学習の内容】ファシリテータの役割を果たせるように準備すること。前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、F、H
	第14回	【テーマ】チームビルディングゲーム⑥ 【計画内容】長時間のチームビルディングゲームを学ぶ。(田光子・村松幹男) 【準備学習の内容】チームビルディングゲームの目的について復習しておくこと。					B、E、H
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】この授業のまとめと振り返りを行う。(全教員) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					L
テキスト		講義時に説明します					
参考書		講義時に説明します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分 補足					50%	50%
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資格							
その他		実際にゲームを行ったり、身体を動かしたりするので、必ず動きやすい格好でくること。 成績評価方法「その他」は、ファシリテート・レポート・チームビルディングノートの提出で評価。 第15回でオリジナルチームビルディングゲームをまとめた冊子を作成し、まとめと振り返りを行う。					

科目名	インターンシップⅡ				授業形態	演習	単位数	2
教員名	田口 智子							
授業の目的	ねらい 本講義は、ビジネスへの理解を深め、自らビジネスを創造する力を養成することを目的としている。「ビジネスワークショップⅠ」で学んだことを基底に、身近な企業事例を取り入れながら実践的に学習する。講義展開では、企業動向資料等を配付したり、現地視察をするなど、理解が深められるよう導いていく。 到達目標 (1)ビジネスのしくみを理解する。 (2)ビジネスの理解を深める。 (3)ビジネスを創造する力を養成する。							
授業の計画	第1回	【テーマ】「ビジネスワークショップⅡ」で何を学ぶか 【計画内容】(1)受講上の留意点 (2)「ビジネスワークショップⅠ」の確認 (3)「ビジネスワークショップⅡ」について 【準備学習の内容】企業情報収集。	A、K、L	第9回	【テーマ】地域性と地域経済 【計画内容】(1)地域性について (2)地域経済活性のための課題 【準備学習の内容】地域課題に関する情報収集。	A、B、F、H、J、K、L		
	第2回	【テーマ】企業事例に学ぶビジネスの基本 【計画内容】(1)経営資源と企業行動 (2)数値が示す経営行動 【準備学習の内容】企業情報収集。	A、B、F、G、J、K、L	第10回	【テーマ】地域に根ざす企業研究 【計画内容】(1)企業研究(パーソナルワーク) (2)意見交換 【準備学習の内容】各自企業研究。	A、B、F、H、J、K、L		
	第3回	【テーマ】地域課題からみるビジネスモデル1 【計画内容】(1)地域を考える (2)意見交換・情報収集 【準備学習の内容】課題に関する情報収集。	A、B、F、G、J、K、L	第11回	【テーマ】地域に根ざす企業研究 【計画内容】(1)企業研究(グループワーク) (2)発表 【準備学習の内容】資料のとりまとめ。	A、B、F、H、J、K、L		
	第4回	【テーマ】地域課題からみるビジネスモデル2 【計画内容】(1)現地調査(全体) (2)意見交換・情報収集 【準備学習の内容】ビジネスモデル作成。	A、B、F、G、J、K、L、M	第12回	【テーマ】仮説:ビジネスモデル1 【計画内容】(1)調査企業選定 (2)企業情報収集 【準備学習の内容】役割分担。	A、B、F、H、J、K、L、M		
	第5回	【テーマ】地域課題からみるビジネスモデル3 【計画内容】(1)地域研究～情報収集 (2)調査役割分担 (3)調査票作成 【準備学習の内容】各自役割課題。	A、B、F、G、H、J、K、L	第13回	【テーマ】仮説:ビジネスモデル2 【計画内容】(1)企業取材 (2)データとりまとめ 【準備学習の内容】各自役割課題。	A、B、F、H、J、K、L、M		
	第6回	【テーマ】地域課題からみるビジネスモデル4 【計画内容】(1)地域調査 (2)データとりまとめ 【準備学習の内容】各自役割課題。	A、B、F、G、H、J、K、L、M	第14回	【テーマ】仮説:ビジネスモデル3 【計画内容】(1)ビジネスモデル策定(グループワーク) (2)意見交換 【準備学習の内容】各自役割課題。	A、B、G、H、J、K、L		
	第7回	【テーマ】地域課題からみるビジネスモデル5 【計画内容】(1)ビジネスモデル策定(グループワーク) (2)意見交換 【準備学習の内容】各自役割課題。	A、B、F、G、H、J、K、L	第15回	【テーマ】仮説:ビジネスモデル4 【計画内容】(1)発表(グループワーク) (2)質疑応答 【準備学習の内容】各自役割課題。	A、B、F、G、H、J、K、L		
	第8回	【テーマ】地域課題からみるビジネスモデル6 【計画内容】(1)グループ発表 (2)レポート作成 【準備学習の内容】レポート作成。	A、B、F、G、H、J、K、L					
テキスト	独自プリント作成し随時配付します							
参考書	随時講義上で提示します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			30% レポート		30% 集中力・意欲	40% 創造力・積極性	
質問への対応	随時その場で誠実かつ迅速に対応します。なお、その場の対応が不可能な場合は、日程調整をして確実に対応します。							
資格								
その他	「ビジネスワークショップⅠ」および「企業と経営」を合わせて履修すると、理解が一層深められます。また、インターンシップや就職を希望する学生は、ビジネス理解を促す点から履修することをお奨めします。							

科目名		会計学			授業形態	講義	単位数	2
教員名		湯澤 直樹						
授業の目的	ねらい	社会の経済主体は株式会社です。その実体を知る手がかりの一つに貸借対照表や損益計算書などがあります。これらの財務資料を通して、企業活動における認識・測定・伝達の機能を果たす株式会社会計の制度的・財務政策的な意義と役割を明らかにします。						
	到達目標	(1)財務資料の見方を理解できる。 (2)株式会社や経済の仕組みを理解できる。 (3)エクセルの標準的な使い方を身につけることができる。 (4)経営分析の初歩を身につけることができる。 (5)社会で通用するモノの見方を身につけることができる。						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】この講義の進め方についてガイダンスとなります。 【準備学習の内容】ポータルサイトでメッセージ転送設定を済ませておくように。					A、K	
	第2回	【テーマ】企業会計 【計画内容】『法人企業統計年報特集』の最新データをダウンロードして、エクセルで加工(業種分類なども確認)します。 【準備学習の内容】「情報機器操作Ⅰ・Ⅱ」で学んだ基本的な手続き(タッチタイピングやコピー&ペーストなど)を復習しておくように。					A、G、J、K	
	第3回	【テーマ】利害関係者(ステークホルダー)と会計 【計画内容】日本の企業全体の財務状況を概観(日本の法人企業数、法人企業全体の総資産や売上高をグラフ化)します。同時に、日本および世界の統計から、企業を取り巻く環境を理解することになります。 【準備学習の内容】日本全体で企業数はどの位あるのかを調べておくように。表からグラフを作成できるようにしておくように。					A、G、J、K、L	
授業の計画	第4回	【テーマ】資本の循環 【計画内容】日本の大企業の財務状況を概観(法人企業全体と比較)します。 【準備学習の内容】大企業とはどのような規模の会社をいうのかを調べておくように。％の計算式を入力してグラフ化できるようにしておくように。					A、G、J、K、L	
	第5回	【テーマ】利益操作1 【計画内容】企業における3つの利益と合法的利益操作について、利害関係者に対する企業の会計行動を理解します。 【準備学習の内容】3つの利益とは何か、利益操作は合法的なのかを調べておくように。					A、G、J、K、L	
	第6回	【テーマ】損益計算書と貸借対照表の関係1 【計画内容】損益計算書と貸借対照表との関係を、自動車産業の事例から明らかにします。損益計算書における5つの利益(売上高利益率)をグラフ化します。 【準備学習の内容】損益計算書とは何か、貸借対照表とは何か、両者はどのような関係なのかを調べておくように。					A、G、J、K、L	
	第7回	【テーマ】損益計算書と貸借対照表の関係2 【計画内容】法人企業全体の損益計算書から売上高利益率を表としてグラフ化します。 【準備学習の内容】エクセルの使い方を復習しておくように。					A、G、J、K、L	
	第8回	【テーマ】損益計算書と貸借対照表の関係3 【計画内容】法人企業全体の貸借対照表から総資産に占める様々な割合を2軸のグラフ化にします。 【準備学習の内容】エクセルの使い方を復習しておくように。					A、G、J、K、L	
	第9回	【テーマ】損益計算書と貸借対照表の関係4 【計画内容】事例として選んだ企業のホームページから最新データをダウンロードして、作表しグラフ化します。 【準備学習の内容】エクセルの使い方を復習しておくように。					A、G、J、K、L	
	第10回	【テーマ】損益計算書と貸借対照表の関係5 【計画内容】事例として選んだ企業の貸借対照表と損益計算書を比較検討します。 【準備学習の内容】エクセルの使い方を復習しておくように。					A、G、J、K、L	
	第11回	【テーマ】企業分析1 【計画内容】日本の法人企業全体の財務指標と事例として選んだ企業の財務指標を比較検討します。 【準備学習の内容】これまでの復習をしておくように。					A、G、J、K、L	
	第12回	【テーマ】企業分析2 【計画内容】事例として選んだ企業をグラフ化した財務データを検討して文章化します。 【準備学習の内容】これまでの復習をしておくように。					A、G、J、K、L	
	第13回	【テーマ】企業分析3 【計画内容】日本の法人企業全体と事例として選んだ企業を経営分析した結果を文章化します。 【準備学習の内容】これまでの復習をしておくように。					A、G、J、K、L	
	第14回	【テーマ】利益操作2 【計画内容】過去の粉飾した企業の事例をとりあげて、エクセルでシュミレートします。 【準備学習の内容】粉飾について調べておくように。					A、G、J、K、L	
	第15回	【テーマ】利益操作3 【計画内容】企業を比較検討して、財務指標を駆使しながら利益操作の有無を判断し、どういう企業なのか評価して今後を展望します。 【準備学習の内容】この講義の総まとめとなるため、これまでの講義を振り返り、欠席した回や理解・操作の十分でない回を振り返って復習し、最低限の財務指標は調べておくように。					A、G、J、K、L	
テキスト		大橋英五、2009年、『簿記会計のしくみ～企業・経済を読み解く』、唯学書房、9784902225488						
参考書		丸山恵也他、2015年、『経済成長の幻想』、創成社、9784794431660 熊谷重勝他、2011年、『社会化の会計』、創成社、9784794414281 大橋英五、2005年、『経営分析』、大月書店、9784272160198						
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			60%		40%		
	補足			毎回提出する課題の積み重ねが最終試験に影響します				
質問への対応		※ポータルサイトで【メッセージ転送設定】を必ずしておくこと。 (あらゆる講義の連絡は、受講者全員が転送設定していることを前提に、全ての教員から必要に応じて連絡が届くことになり、質問等の受け答えもポータルサイトで行うことになります。) 詳細はオリエンテーションで説明します。E-Mail: yuza@hokusho-u.ac.jp						
資格								
その他		「簿記原理A・B」の単位を取得済みであることが望ましいが、簿記を受講したことがなくても興味があれば歓迎したい。簿記・会計は、皆さんが思っている以上に、今日の社会にとって必要な技術や考え方で、簿記・会計を学ぶことは、ヨーロッパの異文化に触れることにもなるので、食わず嫌いにせず、まずは食べてみよう!						

科 目 名				企業と経営		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		田口 智子							
授 業 の 目 的	ねらい	企業経営の目的、組織行動、経営戦略に視点をおき、経営学の基礎的理解を深めることを目的として講義展開する。講義前半では、企業と環境、経営者の職能、経営学理論の変遷について学術領域を主体として、古典的理論から近代的理論の学習を行う。講義後半では、学術理論に基づき、国内外の企業事例を交えながら企業戦略の基礎的知識を学習する。なお、企業動向に係る各種資料を提供し、学術論を分かり易く指導し、理解へと導いていく。							
	到達目標	(1)経営学の意義と体系について理解する。 (2)企業特性と社会的責任について理解する。 (3)経営者の役割を理解する。 (4)経営学の成立と発展について理解する。 (5)経営戦略の基礎的理解を得る。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】経営学とは 【計画内容】(1)経営学の意義 (2)経営学の特徴 【準備学習の内容】新聞等に基づいて興味ある企業の情報収集を行う。	A、L	第9回	【テーマ】経営学の成立と発展4 【計画内容】人間関係論 【準備学習の内容】配付資料に基づき、テキスト指定箇所の理解を深める。	A、L			
	第2回	【テーマ】企業と環境1 【計画内容】(1)企業組織の成り立ち (2)企業の特徴 【準備学習の内容】配付資料を読み、理解する。	A、L	第10回	【テーマ】経営学の成立と発展5 【計画内容】組織論的管理論 【準備学習の内容】配付資料に基づき、テキスト指定箇所の理解を深める。	A、F、G、H、K、L			
	第3回	【テーマ】企業と環境2 【計画内容】(1)会社の種類 (2)企業の社会的責任 【準備学習の内容】配付資料を読み、理解する。	A、L	第11回	【テーマ】経営学の成立と発展6 【計画内容】組織的管理論 【準備学習の内容】指定テーマに基づき、レポートを作成する。	A、F、G、H、K、L			
	第4回	【テーマ】経営者の職能1 【計画内容】経営管理者のスキル 【準備学習の内容】配付資料に基づいて、レポートを作成する。	A、L	第12回	【テーマ】経営学の成立と発展7 【計画内容】経営戦略論 【準備学習の内容】これまでに配付した資料に基づいて、理解を深める。	A、F、G、H、K、L			
	第5回	【テーマ】経営者の職能2 【計画内容】(1)意思決定プロセス (2)意思決定の種類 【準備学習の内容】配付資料に基づいて、テキスト指定箇所の理解を深める。	A、L	第13回	【テーマ】経営学の成立と発展8 【計画内容】(1)経営戦略論 (2)イノベーションのマネジメント 【準備学習の内容】これまでに配付した資料に基づいて、理解を深める。	A、F、G、H、K、L			
	第6回	【テーマ】経営学の成立と発展1 【計画内容】古典派管理論 【準備学習の内容】配付資料に基づき、テキスト指定箇所の理解を深める。	A、L	第14回	【テーマ】ワークショップ1 【計画内容】個別企業研究 【準備学習の内容】講義当初から収集した企業情報に基づいて分析し、レポートを作成する。	A、F、G、H、J、K、L			
	第7回	【テーマ】経営学の成立と発展2 【計画内容】近代管理論 【準備学習の内容】配付資料に基づき、テキスト指定箇所の理解を深める。	A、L	第15回	【テーマ】ワークショップ2 【計画内容】企業研究発表 【準備学習の内容】グループワーク内の役割課題に取り組む。	A、F、G、H、J、K、L			
	第8回	【テーマ】経営学の成立と発展3 【計画内容】近代的管理論 【準備学習の内容】配付資料に基づき、テキスト指定箇所の理解を深める。	A、L						
テキスト		岸川善光、2009年、『図説経営学演習』、同文館、9784495369828							
参 考 書		講義上にて随時提示します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分	25%		25%		25%	25%		
	補 足	理解度		レポート		集中力・意欲	積極性・把握力		
質問への対応		状況に応じて、随時最大限に対応します。なお、個別指導が必要な場合は、別途機会を設定して指導にあたります。							
資 格									
そ の 他		半期(15回)で経営学を習得するため、毎回の講義展開が早く進むこととなります。出席することによって講義理解が深められることを認識し、講義に臨んでください。また、日々、新聞等メディアを活用して、企業動向に関心を持ち、情報収集することによって、一層理解を深めることができます。							

科 目 名		現代と経済			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		旗本 智之						
授 業 の 目 的	ねらい	現代においても企業活動の記録の主要な方法として、古くから伝わる簿記が使われている。人類の最大の発明の1つであるといわれている簿記を多くの人が学習することは、現代においてもますます大切となっている。そこで、本授業では、簿記の技術的な側面のみならず、中心となる考え方についても講義する。						
	到達目標	(1)簿記の基本的方法を理解する。 (2)簿記の基本的な考え方に基づいて、基本的な取引の内容を理解し、仕訳する。 (3)簿記記録の結果を損益計算書と貸借対照表へまとめる方法を理解する。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】 イントロダクション 【計画内容】 授業全体の目的と1回ずつの流れを説明する。 【準備学習の内容】 シラバスの内容をよく読んでおくこと。					A	
	第2回	【テーマ】 簿記とは何か 【計画内容】 仕訳のルール、企業内での簿記の行われ方、パソコン環境での簿記について講義する。 【準備学習の内容】 教科書の29頁までを3回読んでくる。					A	
	第3回	【テーマ】 仕訳のルール 【計画内容】 仕訳のルール、企業内での簿記の行われ方、パソコン環境での簿記について講義する。 【準備学習の内容】 教科書の39頁までを3回読んでくる。					A	
	第4回	【テーマ】 資産と負債 【計画内容】 資産とは何であるのか、負債とは何であるのかについて講義する。 【準備学習の内容】 教科書の49頁までを3回読んでくる。					A	
	第5回	【テーマ】 純資産・貸借対照表 【計画内容】 純資産は何であるのか、資産・負債・純資産の家計と貸借対照表について講義する。 【準備学習の内容】 教科書の61頁までを3回読んでくる。					A	
	第6回	【テーマ】 収益と費用 【計画内容】 収益と何であるのか、費用とは何であるのかについて講義する。 【準備学習の内容】 教科書の71頁までを3回読んでくる。					A	
	第7回	【テーマ】 損益計算書、損益計算書と貸借対照表の違い、仕訳の基本ルール 【計画内容】 仕訳の実践、総勘定元帳への転記について講義する。 【準備学習の内容】 教科書の97頁までを3回読んでくる。					A	
	第8回	【テーマ】 仕訳の実践・帳簿への記録 【計画内容】 仕訳の実践、総勘定元帳への転記について講義する。 【準備学習の内容】 教科書の97頁までを3回読んでくる。					A	
	第9回	【テーマ】 資産の仕訳 【計画内容】 9種類の資産の仕訳について講義する。 【準備学習の内容】 教科書の107頁までを3回読んでくる。					A	
	第10回	【テーマ】 負債・純資産の仕訳 【計画内容】 5種類の負債の仕訳、3種類の純資産の仕訳について講義する。 【準備学習の内容】 教科書の117頁までを3回読んでくる					A	
	第11回	【テーマ】 費用の仕訳、収益の仕訳 【計画内容】 5種類の費用の仕訳、3種類の収益の仕訳について講義する。 【準備学習の内容】 教科書の127頁までを3回読んでくる。					A	
	第12回	【テーマ】 決算、試算表 【計画内容】 決算とは何であるのか、試算表の作成について講義する。 【準備学習の内容】 教科書の147頁までを3回読んでくる。					A	
	第13回	【テーマ】 決算整理とその4パターン 【計画内容】 決算整理とは何であるのか、決算整理のうち4つのパターンについて講義する。 【準備学習の内容】 教科書の157頁までを3回読んでくる。					A	
	第14回	【テーマ】 決算整理の5つ目のパターンと損益計算書・貸借対照表の作り方 【計画内容】 決算整理の5つ目のパターンと損益計算書・貸借対照表の作り方について講義する。 【準備学習の内容】 教科書の167頁までを3回読んでくる。					A	
	第15回	【テーマ】 精算表とまとめ 【計画内容】 精算表の作り方と総まとめについて講義する。 【準備学習の内容】 教科書の最後までを3回読んでくる。					A	
テキスト		浜田勝義、2005年、『はじめての人の簿記入門塾』、かんき出版、9784761262907						
参 考 書		プリントを使用する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足	50%				50%		
質問への対応		E-Mail: hatamoto@res.otaru-uc.ac.jp						
資 格								
そ の 他		電卓を持参すること。一生懸命学習すること。後期の「マネジメントゲーム」を履修することを強く推奨する。						

科目名		エコと経済		授業形態	講義	単位数	2
教員名		湯澤 直樹					
授業の目的	ねらい	今日の深刻な環境破壊や健康被害が、現代の生活で不可欠な化学物質と密接な関係にあることを、毎回のテーマに沿ったビデオを通して明らかにし、そうした元凶となっている人間の活動、特にメーカーの実態と経済の仕組みを理解することによって、今後のあり方を展望します。					
	到達目標	(1)地球規模で広がる環境破壊の実態を理解する。 (2)健康被害の実態を理解する。 (3)エコと経済の関わりを理解する。 (4)身近な3Rについて理解する。 (5)持続可能な未来に希望を抱く。					
授業の計画	第1回	【テーマ】プロローグ 【計画内容】オリエンテーション。 【準備学習の内容】「エコ」について調べておくように。				A、K	
	第2回	【テーマ】環境破壊・健康被害の実態について1 【計画内容】レイチェル・カーソンとDDT。ティオ・コルボーンと環境ホルモン。 【準備学習の内容】「レイチェル・カーソン」「DDT」「ティオ・コルボーン」「環境ホルモン」について調べておくように。				A、G、L	
	第3回	【テーマ】環境破壊・健康被害の実態について2 【計画内容】地球と人体のしくみ。 【準備学習の内容】「地球」「人体」について調べておくように。				A、G、L	
	第4回	【テーマ】環境破壊・健康被害の実態について3 【計画内容】資源開発、廃棄物処理。 【準備学習の内容】「油汚染」「ナノテク」について調べておくように。				A、G、L	
	第5回	【テーマ】環境破壊・健康被害の実態について4 【計画内容】資源開発、廃棄物処理。環境汚染の処理と行政・世界の取組み。 【準備学習の内容】「油汚染」「ナノテク」「ゴミ処理」「原発」について調べておくように。				A、G、L	
	第6回	【テーマ】環境破壊・健康被害の実態について5 【計画内容】南極にみる環境汚染の実態。 【準備学習の内容】「南極」について調べておくように。				A、G、L	
	第7回	【テーマ】環境破壊・健康被害の実態について6 【計画内容】食にみる環境汚染の実態。 【準備学習の内容】「遺伝子組み換え」について調べておくように。				A、G、L	
	第8回	【テーマ】エコと経済の関わりについて1 【計画内容】製造業の環境に対する考え方の歴史。 【準備学習の内容】「公害」「バブル」について調べておくように。				A、G、L	
	第9回	【テーマ】エコと経済の関わりについて2 【計画内容】お金の根源と経済の自然観。 【準備学習の内容】「ミヒャエル・エンデ」「シルピオ・ゲゼル」について調べておくように。				A、G、L	
	第10回	【テーマ】エコと経済の関わりについて3 【計画内容】環境破壊と経済の必然性。 【準備学習の内容】「世界最悪企業」について調べておくように。				A、G、L	
	第11回	【テーマ】エコと経済の関わりについて4 【計画内容】企業の環境革命。 【準備学習の内容】「環境報告書」について調べておくように。				A、G、L	
	第12回	【テーマ】エコと経済の関わりについて5 【計画内容】エコビジネス。 【準備学習の内容】「エコビジネス」について調べておくように。				A、G、L	
	第13回	【テーマ】エビローク1 【計画内容】平和と環境。 【準備学習の内容】「コスタリカ」について調べておくように。				A、G、L	
	第14回	【テーマ】エビローク2 【計画内容】自分たちで出来ること。本当の豊かさとは？ 【準備学習の内容】「3R」「グリーンコンシューマ」について調べておくように。				A、G、L	
	第15回	【テーマ】エビローク3 【計画内容】持続可能な経済・社会をめざして。 【準備学習の内容】「サステナビリティ」「環境家計簿」について調べておくように。				A、G、L	
テキスト		講義時に説明します					
参考書		河邑厚徳ほか、2000年、『エンデの遺言「根源からお金を問うこと」』、日本放送出版協会、4140804963 コルボーンほか、2001年、『奪われし未来(増補改訂版)』、翔泳社、4881359851					
成績評価の方法	配分	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	補足			60%		40%	
		毎回、映像の直後にレポートを作成・提出する					
質問への対応		※ポータルサイトで【メッセージ転送設定】を必ずしておくこと。 (あらゆる講義の連絡は、受講者全員が転送設定していることを前提に、全ての教員から必要に応じて連絡が届くことになり、質問等の受け答えもポータルサイトで行うことになります。) 詳細はオリエンテーションで説明します。E-Mail: yuza@hokusho-u.ac.jp					
資格							
その他		毎回のレポート提出が単位取得の必要条件となります。特にテキストはないけれど、『エンデの遺言』と『奪われし未来』の一読を勧めます。身の回りに起きていることに対して、原因はわからないながらも少し変だなと感じたことがあるなら、この講義で何か気づくことができるはずです。					

科目名		秘書実務Ⅱ		授業形態	講義・実習	単位数	2
教員名		田口 智子					
授業の目的	ねらい	本講義は、ビジネスの実務技能を習得することを目的としている。「秘書実務Ⅰ」で学習した敬語表現や応酬話法の復習を行うと共に、ビジネス実務に不可欠なビジネス文書作成をはじめ、グラフ作成、文書管理技法および会議運営のしかた、慶弔に係る事項など実践的な知識を習得する。					
	到達目標	(1)敬語表現や応酬話法を習得する。 (2)適切なビジネス文書(社内・社外)作成の知識を習得する。 (3)グラフ作成・文書管理技法の知識を習得する。 (4)会議運営および慶弔等交際業務に係る知識を習得する。 (5)秘書教育の総集編として位置づけられる本講義により即戦力となる人材育成を目指す。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 応酬話法1 【計画内容】 ケーススタディ～基本対応の復習。 【準備学習の内容】 「秘書実務Ⅰ」テキスト学習箇所と配付資料の復習。	A、B、 K、L、 N	第9回	【テーマ】 ファイリングシステムの基本 【計画内容】 (1)文書管理の基本 (2)名刺管理の基本 【準備学習の内容】 テキストp.114～p.119の予習を行う。	A、B K、L	
	第2回	【テーマ】 応酬話法2 【計画内容】 ケーススタディ～基本対応の復習。 【準備学習の内容】 「秘書実務Ⅰ」テキスト学習箇所と配付資料の復習。	A、B、 K、L、 N	第10回	【テーマ】 通信業務に関する基礎知識 【計画内容】 (1)郵便知識 (2)その他の通信業務 【準備学習の内容】 テキストp.103～p.110の予習を行う。	A、B、 K、L	
	第3回	【テーマ】 社外文書作成の基本1 【計画内容】 (1)社外文書作成の基本フォーマット (2)ビジネス文書用語 【準備学習の内容】 テキストp.82～p.83、p.88の予習を行う。	A、B、 K、L	第11回	【テーマ】 会議に関する基礎知識 【計画内容】 (1)会議形式 (2)会議の準備業務 (3)議事録の作成 【準備学習の内容】 テキストp.75～p.81の予習を行う。	A、B、 K、L	
	第4回	【テーマ】 社外文書作成の基本2 【計画内容】 社外文書作成の演習。 【準備学習の内容】 テキストp.84～p.87、p.93～p.95の予習を行う。	A、B、 K、L	第12回	【テーマ】 交際業務に関する基礎知識1 【計画内容】 (1)慶弔の知識 (2)弔事の知識 【準備学習の内容】 テキストp.61～p.74の予習を行う。	A、B、 K、L	
	第5回	【テーマ】 社内文書作成の基本1 【計画内容】 (1)社内文書の基本フォーマット (2)メモの作成のしかた 【準備学習の内容】 テキストp.89～p.92の予習を行う。	A、B、 K、L	第13回	【テーマ】 交際業務に関する基礎知識2 【計画内容】 (1)先回の講義内容の復習 (2)パーティに関する基礎知識 【準備学習の内容】 テキストp.61～p.74の復習を行う。	A、B、 K、L	
	第6回	【テーマ】 社内文書作成の基本2 【計画内容】 (1)社内文書作成演習 (2)校正記号 【準備学習の内容】 テキストp.96～p.97の予習を行う。	A、B、 K、L	第14回	【テーマ】 総合演習1 【計画内容】 文書管理業務 【準備学習の内容】 テキストp.111～p.113、p.121～p.126の予習を行う。	A、B、 K、L	
	第7回	【テーマ】 グラフ作成の基本1 【計画内容】 (1)グラフの種類と特性 (2)グラフ作成演習 【準備学習の内容】 テキストp.98～p.99の予習を行う。	A、B、 K、L	第15回	【テーマ】 総合演習2 【計画内容】 (1)人的資源管理業務 (2)情報管理業務 【準備学習の内容】 テキストp.127～p.135の予習を行う。	A、B、 K、L	
	第8回	【テーマ】 グラフ作成の基本2 【計画内容】 グラフ作成演習 【準備学習の内容】 テキストp.100～p.102の予習を行う。	A、B、 K、L				
テキスト		田口智子、独自作成プリント (株)ウイネット、『秘書検定問題集2級実技編』					
参考書		講義上にて随時提示します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	20%	20%	20%		20%	20%
	補足	理解度	理解度・意欲	レポート		集中力・意欲	把握力・積極性
質問への対応		状況に応じて、随時最大限に対応します。なお、個別指導が必要な場合は、別途機会を設定して個別指導にあたります。					
資格							
その他		テキストは、「秘書実務Ⅰ」と「秘書実務Ⅱ」と共に併用＜共通＞して使用します。「インターンシップⅠ・Ⅱ」履修希望学生、就職活動希望学生は、履修をお薦めします。					

科 目 名		ビジネス関連法規Ⅰ				授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		倉本 英明							
授 業 の 目 的	ねらい	「ブラック企業」という言葉を目にすることがある。この言葉に正確な定義はないが、違法で過酷な労働環境にある企業を想像することができる。働く者が自分の生活と権利を守るためには「労働法」を知ることが必要である。この授業では、労働法の基本事項を学習し、仕事をするこの意味を学ぶ。							
	到達目標	(1)働く私たちを取り巻く法律の存在を知る。 (2)働く私たちを守る法律の内容を理解する。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】労働法の概要(1) 【計画内容】労働法がなぜ作られたのかを確認する。 【準備学習の内容】指定したテキストp.8-p.17を読んでおくこと。						A	
	第2回	【テーマ】労働法の概要(2) 【計画内容】労働者の定義と社会保険について理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストp.18-p.30を読んでおくこと。						A	
	第3回	【テーマ】労働者の募集と採用 【計画内容】労働者の募集のルールと内定の意味を学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストp.32-p.43を読んでおくこと。						A	
	第4回	【テーマ】試用期間 【計画内容】試用期間の法的効果を学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストp.44-p.45を読んでおくこと。						A	
	第5回	【テーマ】労働契約の締結 【計画内容】労働契約の内容を理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストp.46-p.51を読んでおくこと。						A	
	第6回	【テーマ】賃金 【計画内容】賃金の支払いについて学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストp.58-p.73を読んでおくこと。						A、L	
	第7回	【テーマ】労働時間 【計画内容】労働時間の内容を学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストp.84-p.105を読んでおくこと。						A	
	第8回	【テーマ】休日、休憩 【計画内容】休日、休憩の内容を理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストp.106-p.111を読んでおくこと。						A	
	第9回	【テーマ】休暇、休業 【計画内容】休暇の内容と休業の種類について学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストp.122-p.127、p.132-p.141を読んでおくこと。						A	
	第10回	【テーマ】人事、労災 【計画内容】人事異動と労災の内容を理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストP.148-P.153、P.160-P.165を読んでおくこと。						A	
	第11回	【テーマ】労働契約の終了 【計画内容】退職と解雇の法的性質を学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストp.182-p.199を読んでおくこと。						A、L	
	第12回	【テーマ】就業規則 【計画内容】就業規則の法的性質とその内容を学習する。 【準備学習の内容】指定したテキストp.210-p.217を読んでおくこと。						A	
	第13回	【テーマ】労使紛争 【計画内容】労働トラブルの解決方法を学習する。 【準備学習の内容】指定したテキストp.220-p.225を読んでおくこと。						A	
	第14回	【テーマ】労働に関する重要判例 【計画内容】実際に起きた労働トラブルを学び、トラブル防止策を考える。 【準備学習の内容】指定したテキストを読み直すこと。						A	
	第15回	【テーマ】学習内容のまとめと振り返り 【計画内容】これまでの学習内容を整理し、その内容を確認する。 【準備学習の内容】指定したテキスト及び配付したプリントの内容を復習しておくこと。						L	
テキスト		荳司芳樹、2018年、『図解わかる労働基準法』、新星出版社、9784405103160							
参 考 書		適宜プリントを配付する。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分	50%		30%		20%			
補 足									
質問への対応		講義時に説明します。							
資 格									
そ の 他		学習の積み重ねが重要なので、遅刻・欠席はしないこと。また、皆さんの理解度を重視するので、授業の計画は変更することがある。							

科目名		ビジネス関連法規Ⅱ				授業形態	講義	単位数	2
教員名		倉本 英明							
授業の目的	ねらい	私たちの日常生活には「民法」という法律が大きく関わっている。民法は、契約関係、財産関係、家族関係などについて規定している。したがって、民法を学習することで、私たちの行動を法的に理解できるようになる。さらに、ビジネスで必要になる「会社法」と「民事訴訟法」の基礎知識を身につける。							
	到達目標	(1)日常の行動について、その法的な意味が理解できる。 (2)日常生活やビジネスにおける法律問題について解決の糸口が発見できる。							
授業の計画	第1回	【テーマ】民法1「民法とはどのような法律か」 【計画内容】民法の全体像を理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストp.16-p.21を読んでおくこと。						A	
	第2回	【テーマ】民法2「民法の構成」 【計画内容】民法の構成と体系を学習する。 【準備学習の内容】指定したテキストp.22-p.29を読んでおくこと。						A	
	第3回	【テーマ】民法3「能力」 【計画内容】民法が規定する能力を学習する。 【準備学習の内容】指定したテキストp.32-p.41を読んでおくこと。						A	
	第4回	【テーマ】民法4「代理」 【計画内容】代理制度を理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストp.68-p.73を読んでおくこと。						A	
	第5回	【テーマ】民法5「動産と不動産」 【計画内容】民法が規定する「物」の概念を理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストp.84-p.91を読んでおくこと。						A、L	
	第6回	【テーマ】民法6「不動産の取得と法律関係」 【計画内容】不動産に関する法律関係を学習する。 【準備学習の内容】指定したテキストp.108-p.117を読んでおくこと。						A	
	第7回	【テーマ】民法7「契約」 【計画内容】契約の意味を学習する。 【準備学習の内容】指定したテキストp.154-p.161を読んでおくこと。						A	
	第8回	【テーマ】民法8「債権と債務」 【計画内容】債権と債務の意味とその効果を学習する。 【準備学習の内容】指定したテキストp.172-p.181を読んでおくこと。						A	
	第9回	【テーマ】民法9「クレジットカードによる契約のしくみ」 【計画内容】社会に出るとよく利用されるクレジットカードの仕組みを理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストp.204-p.209を読んでおくこと。						A、L	
	第10回	【テーマ】民法10「金銭債権」 【計画内容】金銭債権・債務に特有の性質を理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストp.220-p.229を読んでおくこと。						A	
	第11回	【テーマ】民法11「親族」 【計画内容】親族の概念を理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストp.270-p.275を読んでおくこと。						A	
	第12回	【テーマ】民法12「相続」 【計画内容】相続の重要論点を学習する。 【準備学習の内容】指定したテキスp.276-p.281を読んでおくこと。						A	
	第13回	【テーマ】会社法 【計画内容】株式会社の意義と機関について学習する。 【準備学習の内容】配付するプリントを読んでおくこと。						A	
	第14回	【テーマ】民事訴訟法 【計画内容】民事訴訟の基本事項を学ぶ。 【準備学習の内容】配付するプリントを読んでおくこと。						A	
	第15回	【テーマ】学習内容のまとめと振り返り 【計画内容】これまでの学習内容を整理し、その内容を確認する。 【準備学習の内容】指定したテキスト及び配付したプリントの内容を復習しておくこと。						L	
テキスト		鎌野邦樹、2018年、『今日から役立つ民法』、ナツメ社、9784816365478							
参考書		適宜プリントを配付する。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分	50%		30%		20%			
	補足								
質問への対応		講義時に説明します。							
資格									
その他		学習の積み重ねが重要なので、遅刻・欠席はしないこと。また、皆さんの理解度を重視するので、授業の計画は変更することがある。民法の基礎的知識は社会人の常識であり、トラブルから身を守る術でもある。このことを理解し、興味をもって授業に臨んでほしい。							

科目名	マネジメントゲーム				授業形態	演習	単位数	2
教員名	旗本 智之							
授業の目的	経営者の立場で4期間の経営をボードゲームを通じて行い、開発、購買、製造、販売、財務活動について自ら意思決定し、また、各期について会計記録から財務諸表を作成し、翌期の経営計画立案の基礎情報とすることを学ぶ。 (1)株式会社の経営者が何をすべきかを理解する。 (2)企業経営がリスクを負うことであること理解する。 (3)企業活動が財務諸表に描写されることを理解する。							
授業の計画	第1回	【テーマ】 イントロダクション 【計画内容】 授業の内容と方法の説明を受け、次回以降の準備学習の方法についての実演で学ぶ。 【準備学習の内容】 シラバスを良く読んでくること。						A
	第2回	【テーマ】 株式会社の機能 【計画内容】 株式会社が危険かつ大規模な事業の運営方法として優れていることを学ぶ。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料を良く読んでくること。						A
	第3回	【テーマ】 シミュレーション1 【計画内容】 シミュレーション第1期を通じて基本ルールを学ぶ。 【準備学習の内容】 ルール表を良く読んでくること。						H、L
	第4回	【テーマ】 決算1 【計画内容】 シミュレーション第1期の業績について財務諸表の形で整理する。 【準備学習の内容】 シュミレーション第1期でどのようなことを意思決定し、またどのようなことが起こったのかを思い出しておく。						H、L
	第5回	【テーマ】 シミュレーション2 【計画内容】 シミュレーション第2期を行う。 【準備学習の内容】 ルールと意思決定内容を思い出しておく。						H、L
	第6回	【テーマ】 決算2 【計画内容】 シミュレーション第2期の業績について財務諸表の形で整理する。 【準備学習の内容】 シミュレーション第1期の内容と財務諸表を照らし合わせて、第2期の財務諸表をどのように作成していくのかを考えてくること。						H、L
	第7回	【テーマ】 シミュレーション3 【計画内容】 シミュレーション第3期を行う。 【準備学習の内容】 ルールを確認し、第2期までのシミュレーション結果を振り返り、第3期で確認したいことを書き出してくる。						H、L
	第8回	【テーマ】 決算3 【計画内容】 シミュレーション第3期の業績について財務諸表の形で整理する。 【準備学習の内容】 第3期の財務諸表を作成する上で、疑問点を書き出してくる。						H、L
	第9回	【テーマ】 経営計画の立案 【計画内容】 経営計画の立案方法を学習する。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料を良く読んでくる。						H、L
	第10回	【テーマ】 シミュレーション4 【計画内容】 シミュレーション第4期を行う。 【準備学習の内容】 シミュレーション第4期の経営計画を立案してくる。						H、L
	第11回	【テーマ】 決算4 【計画内容】 シミュレーション第4期の業績について財務諸表の形で整理する。 【準備学習の内容】 第4期の財務諸表をできるところまで作成し、疑問点を書き出してくる。						H、L
	第12回	【テーマ】 シミュレーション5 【計画内容】 シミュレーション第5期を行う。 【準備学習の内容】 シミュレーション第5期の経営計画を立案してくる。						H、L
	第13回	【テーマ】 決算5 【計画内容】 シミュレーション第5期の業績について財務諸表の形で整理する。 【準備学習の内容】 第5期の財務諸表をできるところまで作成し、もしあれば、疑問点を書き出してくる。						H、L
	第14回	【テーマ】 株主総会 【計画内容】 株主総会の必要性、手続きおよび内容を学習する。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料を良く読んでくる。						A、L
	第15回	【テーマ】 模擬株主総会 【計画内容】 1人当たり5分程度で第5期について資料を提示しながら株主に報告する。 【準備学習の内容】 株主総会での発表内容を準備してくる。						F、L
テキスト	プリントを使用する。							
参考書	講義時に説明する。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			90%		10%		
	補足			最終		平時		
質問への対応	授業中いつでも質問は歓迎です。また、hatamoto@res.otaru-uc.ac.jp宛のメールでも受け付けます。							
資格								
その他	遅刻しないこと、筆記具と電卓を忘れないこと。							

科 目 名		メイクアップ演習(ネイルアートを含む)			授業形態	講義・演習	単 位 数	2
教 員 名		二橋 絵美、小笠原 諒						
授 業 の 目 的	ねらい	ネイル、ヘアメイクの基礎的な知識を学び、自分の顔と特徴を知り、自分に合ったメイクアップ方法を身に付けます。また、メイクアップの特徴を理解し、TPO(時間・場所・場合)に合った、どんな年代にも好感の持たれる方法を学びます。さらに、学外発表会(ファッションショー)に向けて、自分の作品に合うヘアメイク、ネイルについて演習を通して実践します。						
	到達目標	(1)ネイル、ヘアメイクについて知る。 (2)ファッションとの合わせ方を理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 ネイルとは 【計画内容】 ネイルの種類、歴史、病気を学びます。(二橋絵美) 【準備学習の内容】 シラバスの内容をよく読んでおくこと。						A
	第2回	【テーマ】 爪の整形 【計画内容】 アイモデルで説明をしながら学びます。(二橋絵美) 【準備学習の内容】 配付したプリントをよく読み、復習しておくこと。						A、B
	第3回	【テーマ】 爪のケア 【計画内容】 アイモデルでケアの方法を学びます。(二橋絵美) 【準備学習の内容】 配付したプリントをよく読み、復習しておくこと。						B
	第4回	【テーマ】 ケアとマニキュア 【計画内容】 アイモデルでケア、マニキュアの塗り方を学びます。(二橋絵美) 【準備学習の内容】 前回までの授業を通して得た技術を復習しておくこと。						A
	第5回	【テーマ】 マニキュア 【計画内容】 マニキュアの塗り方を学びます。(二橋絵美) 【準備学習の内容】 配付したプリントをよく読み、復習しておくこと。						B
	第6回	【テーマ】 チップのデッサン 【計画内容】 自分でテーマを決めチップデザインを考えてデッサンします。(二橋絵美) 【準備学習の内容】 配付したプリントをよく読み、復習しておくこと。						A、B
	第7回	【テーマ】 アート練習 【計画内容】 チップでアートの方法を学びます。(二橋絵美) 【準備学習の内容】 配付したプリントをよく読み、復習しておくこと。						B
	第8回	【テーマ】 チップ作成 【計画内容】 今まで学んだ事を作品にします。(二橋絵美) 【準備学習の内容】 今まで配付したすべてのプリントをよく読み、復習しておくこと。						D
	第9回	【テーマ】 チップ作成 【計画内容】 作品作り。(二橋絵美) 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。						D
	第10回	【テーマ】 チップ作成 【計画内容】 作品作り。(二橋絵美) 【準備学習の内容】 配付プリントをよく読んで、復習しておくこと。						D
	第11回	【テーマ】 チップ完成 【計画内容】 自分でデッサンしたデザインチップを完成させます。(二橋絵美) 【準備学習の内容】 配付プリントをよく読んで、復習しておくこと。						D
	第12回	【テーマ】 ヘアアレンジ 【計画内容】 ヘアアレンジの基礎を学びます。(小笠原諒) 【準備学習の内容】 トータルメイクについて配付したプリントを読んで理解しておくこと。						A
	第13回	【テーマ】 ヘアアレンジ 【計画内容】 ヘアアレンジの応用を演習を通して学びます。(小笠原諒) 【準備学習の内容】 ヘアについての基礎知識を配付プリントを読んで理解しておくこと。						B
	第14回	【テーマ】 ヘアアレンジと女性像 【計画内容】 ヘアアレンジの実習と女性像について学びます。(小笠原諒) 【準備学習の内容】 配付プリントをよく読んで理解しておくこと。						A
	第15回	【テーマ】 トータルコーディネートのまとめ 【計画内容】 自分で考えたトータルコーディネート(ネイル、ヘアアレンジ)を具現化します。 (二橋絵美・小笠原諒) 【準備学習の内容】 ネイル、ヘアメイクのトータルコーディネートのについて理解しておくこと。						B、L
テキスト		プリントを使用します						
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分				50%	20%	30%	
	補 足						到達度確認	
質問への対応		初回授業時に具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他								

科目名	テキスタイル				授業形態	実習	単位数	1
教員名	大信田 静子							
授業の目的	ねらい	私たちは、常に繊維・布に関わっています。身近に存在する様々な素材は、生活を豊かにする大切な関係を結んでいる存在です。このような素材を活用し、創り手として個性を意識しながら製作していく力を養っていきます。基本として手織りの作品、技法を取り入れた応用作品の2点を制作していきます。						
	到達目標	(1)様々な素材の扱い方、活用法を身につける。 (2)身近にある素材からまとめ上げる構成力を身につける。 (3)日常触れている布(繊維)の活用法を身につける。						
授業の計画	第1回	【テーマ】講義ガイダンス 【計画内容】講義を紹介し、15回の講義展開について説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】平織りの技法(小さめのテーブル飾りの作成) 【計画内容】デザインの大きさにあわせ、タテ糸を選び整形していきます。 【準備学習の内容】アート作品の雑誌など参考となるものを調べておくこと。						D
	第3回	【テーマ】作品1:平織り 【計画内容】整形したタテ糸を織り機に通していきます。 【準備学習の内容】ヨコ糸の配色を考えておくこと。						D
	第4回	【テーマ】作品1:平織り 【計画内容】タテ糸を整え、選んだヨコ糸を入れ、織っていきます。 【準備学習の内容】制作する糸を準備しておくこと。						D
	第5回	【テーマ】作品1:平織り 【計画内容】ヨコ糸のバランスを見て織っていきます。 【準備学習の内容】糸配置を考えておくこと。						D
	第6回	【テーマ】作品1:平織りの仕上げ 【計画内容】織り機から外し、糸の始末について説明します。 【準備学習の内容】各自作品製作を進めておくこと。						D
	第7回	【テーマ】作品1:平織りの仕上げ 【計画内容】糸の始末を行い、作品を整えていきます。 【準備学習の内容】各自作品製作を進めておくこと。						D
	第8回	【テーマ】作品1:平織りの仕上げ 【計画内容】作品の仕上げと提出用紙を作成して提出します。 【準備学習の内容】デザインを考えておくこと。						D
	第9回	【テーマ】作品2:布の応用作品 【計画内容】和の素材を使い、つまみ技法でアクセサリを作成していきます。 【準備学習の内容】技法の復習をしておくこと。						D
	第10回	【テーマ】作品2:布の応用作品 【計画内容】つまみ技法を使ったアクセサリのデザインを考えていきます。つまみ技法の練習をしていきます。 【準備学習の内容】各自作品製作を進めておくこと。						D
	第11回	【テーマ】作品2:布の応用作品 【計画内容】描いたデザインにそって素材制作をしていきます。 【準備学習の内容】各自作品製作を進めておくこと。						D
	第12回	【テーマ】作品2:布の応用作品 【計画内容】制作したい様々な素材でつまみ技法を使い組み立てていきます。 【準備学習の内容】各自作品製作を進めておくこと。。						D
	第13回	【テーマ】作品2:布の応用作品 【計画内容】デザインにそって、制作した様々な素材を組み立てていきます。 【準備学習の内容】各自作品製作を進めておくこと。						D
	第14回	【テーマ】作品2:布の応用作品完成 【計画内容】作品の仕上げについて説明していきます。 【準備学習の内容】各自作品製作を進めておくこと。						D
	第15回	【テーマ】作品の批評会・まとめ 【計画内容】作品のプレゼンテーションおよび他者の作品についても理解を深めていきます。 【準備学習の内容】プレゼンテーションの内容を考えておくこと。						D
テキスト	プリントを使用します							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分				60%	40%		
	補足				デザイン・創意工夫	作品への取組意欲・態度		
質問への対応	E-Mail:shisieva@hokusho-u.ac.jp							
資格								
その他	素材から手作りすることで一つしかない作品に仕上がります。様々なアートに触れて感性を磨いていきましょう。							

科 目 名		ドレーピング		授業形態	実習	単 位 数	1
教 員 名		北村 悦子					
授 業 の 目 的	ねらい	平面の布で人体を被う衣服を作り上げる立体構成の基礎知識と、その構成法を学びます。衣服の立体構成法にはドラフティング(平面技法)と、ドレーピング(立体技法)があります。ここでは各々の立体構成法を取りあげながら、衣服の立体構成の基礎理解を身頃、袖、襟とスカートの制作を通して学習します。					
	到達目標	(1)衣服の立体構成を学ぶ。 (2)ドレーピングの基礎的技法を習得する。 (3)ドレーピング技法の応用力を培う。 (4)衣服の立体的イメージを、自分の感性を通して表現できる能力を養う。					
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業内容と授業の展開、実習時に準備する用具の説明をする。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。					A
	第2回	【テーマ】衣服の立体構成について/立体裁断基礎演習1 【計画内容】立体裁断基礎①前身頃。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。					A、D
	第3回	【テーマ】立体裁断基礎演習2 【計画内容】立体裁断基礎②後身頃。 【準備学習の内容】前回学んだ技法を復習し、課題を終わらせること。					A、D
	第4回	【テーマ】立体裁断基礎演習3 【計画内容】立体裁断基礎③スカート。 【準備学習の内容】前回学んだ技法を復習し、課題を終わらせること。					A、D
	第5回	【テーマ】立体裁断基礎演習4 【計画内容】立体裁断基礎④ショールカラー。 【準備学習の内容】前回学んだ技法を復習し、課題を終わらせること。					A、D
	第6回	【テーマ】立体裁断基礎演習5 【計画内容】立体裁断基礎⑤ワンピーススリーブ。 【準備学習の内容】前回学んだ技法を復習し、課題を終わらせること。					A、D
	第7回	【テーマ】立体裁断基礎演習6 【計画内容】立体裁断基礎①～⑤の製図展開。 【準備学習の内容】時間内にできなかった課題を仕上げること。					A、D
	第8回	【テーマ】立体裁断基礎演習7 【計画内容】立体裁断基礎演習のまとめと課題提出。 【準備学習の内容】これまで習得した技法をまとめておくこと。					A、G
	第9回	【テーマ】立体裁断応用演習1 【計画内容】立体裁断応用①フレアスカート。 【準備学習の内容】これまで学んだ技法を復習しておくこと。					A、D
	第10回	【テーマ】立体裁断応用演習2 【計画内容】立体裁断応用②フレアスカート。 【準備学習の内容】前回学んだ技法を復習し、課題を終わらせること。					A、D
	第11回	【テーマ】立体裁断応用演習3 【計画内容】立体裁断応用③セーラーカラー。 【準備学習の内容】前回学んだ技法を復習し、課題を終わらせること。					A、D
	第12回	【テーマ】立体裁断応用演習4 【計画内容】立体裁断応用④パフスリーブ。 【準備学習の内容】前回学んだ技法を復習し、課題を終わらせること。					A、D
	第13回	【テーマ】立体裁断応用演習5 【計画内容】立体裁断応用①～④の製図展開。 【準備学習の内容】時間内にできなかった課題を終わらせること。					A、D
	第14回	【テーマ】立体裁断応用演習6 【計画内容】立体裁断応用演習のまとめと課題提出。 【準備学習の内容】これまで習得した技法をまとめておくこと。					A、F
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】立体裁断のまとめと課題の合評会。 【準備学習の内容】これまでの学習をまとめておくこと。					A、G
テキスト		プリントを使用します					
参 考 書		近藤れん子、『近藤れん子の立体裁断と基礎知識』、モードエモード社					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分 補足			60%		40%	
質問への対応		講義内で随時受け付けます。					
資 格							
そ の 他		教材は各自で用意すること。欠席、遅刻には厳しく対応します。各自の作品で批評会をします。					

科目名	キッズファッション				授業形態	実習	単位数	1
教員名	大信田 静子							
授業の目的	ねらい	こどもの体型の特徴(腹部が前方に出ている、頭の大きさが体に対して大きい、足が短いなど)を捉えた、衣服の形状を考えていきます。また、動きの活発なこどもの衣服の機能性や、運動量などを考慮していくことも大切です。好奇心の旺盛なこどもに夢を与えるような服を製作していきます。						
	到達目標	(1)こどもの体型を理解する。 (2)こどもの運動量や敏感肌への素材などを理解する。 (3)衣服を通して、こどもの心を大切に育てることを学ぶ。						
授業の計画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容をよく読んでおくこと。						A
	第2回	【テーマ】 こどもの成長と衣服 【計画内容】 こどもの成長段階について説明をし、体型の変化を学びます。また、こどもは肌が弱い素材についても学んでいきます。 【準備学習の内容】 こどもに着せたい衣服のデザインを考えておくこと。						A
	第3回	【テーマ】 年齢とサイズの関係・デザインの選定 【計画内容】 こどもの衣服は、年齢または身長でサイズが決まっていることを理解し、何歳の衣服を作成するかを決めていきます。またデザインも選定していきます。 【準備学習の内容】 デザイン画を2枚作成してくること、素材(サンプル)を2種類以上用意すること。						D
	第4回	【テーマ】 デザイン・生地・縫製の選定及び製図 【計画内容】 サイズ・デザインに合わせて、腹グセなどを入れ製図を作成していきます。 【準備学習の内容】 各自、サイズに合わせた原型を切ってくること。						D
	第5回	【テーマ】 製図・裁断・縫製 【計画内容】 製図に沿って、布を裁断して各パーツの組み立て(仮に縫い合わせ)を行います。 【準備学習の内容】 各自の決定した生地を用意すること						D
	第6回	【テーマ】 試着補正① 【計画内容】 こども用ボディを使用して、試着補正を行います。 【準備学習の内容】 各パーツを仮に縫い合わせてくること。						D
	第7回	【テーマ】 試着補正② 【計画内容】 こども用ボディを使用して、試着補正を行います。 【準備学習の内容】 各パーツを仮に縫い合わせてくること。						D
	第8回	【テーマ】 接着芯や縫い代の始末 【計画内容】 こどもの肌は弱いので、伏せ縫いや三つ折りなどの技法、薄手の接着芯について説明します。 【準備学習の内容】 各自の進度に合わせて縫い進めておくこと。						D
	第9回	【テーマ】 本縫い 【計画内容】 見返しや襟、カフスなどを裁断し、接着芯をつけていきます。素材によるミシン・ロックミシンの調節をしていきます。 【準備学習の内容】 各自の進度に合わせて縫い進めておくこと。						D
	第10回	【テーマ】 こども服の留め具の説明 【計画内容】 留め具として、ドットボタンやゴムシャーリング、マジックテープ、平ゴムなど用途に応じて使用することを説明していきます。 【準備学習の内容】 各自の進度に合わせて縫い進めておくこと。						D
	第11回	【テーマ】 本縫い 【計画内容】 こどもに夢を与え、遊び心をくすぐるような装飾を考えていきます(ポケット、フード、フェルト、ボタンなど)。 【準備学習の内容】 各自のデザインに合わせて装飾を考えてくること。留め具を用意しておくこと。						D
	第12回	【テーマ】 本縫い 【計画内容】 ボディに着用し、最終の形を整えていきます。こどもの体型を圧迫しないために再度チェックしていきます。 【準備学習の内容】 各自のデザインに合わせて装飾を考えてくること。装飾するものを用意してくること。						D
	第13回	【テーマ】 本縫い 【計画内容】 こどもの好奇心を引き出すような装飾をしていきます(ドラえもんのポケット、ボタンの止め方で形が変わるフードなど)。 【準備学習の内容】 各自装飾に使用するものを作成してくること。						D
	第14回	【テーマ】 本縫い・仕上げ 【計画内容】 まつり縫いやアイロンがけなどを行い、最終チェックをします。 【準備学習の内容】 各自の進度に合わせ進めること。						D
	第15回	【テーマ】 作品批評会・まとめ 【計画内容】 各自の作品についてプレゼンテーションを行い、他者との作品の理解を深めていきます。 【準備学習の内容】 プレゼンテーションの内容を考えておくこと。						D
テキスト	プリントを使用します							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分							
	補足				40%	60%		
					デザイン・縫製・創意工夫	作品への姿勢・意欲		
質問への対応	E-Mail: shisieva@hokusho-u.ac.jp							
資格								
その他	こども服は、創意工夫が大切です。柔軟な考えでデザインしていきましょう。							

科目名	ファッション論(服飾文化史を含む)				授業形態	講義	単位数	2
教員名	北村 悦子							
授業の目的	ねらい	ファッションについて西洋の古代から現代にいたった変遷と、その時代の社会情勢、文化等に関連づけて考え、ファッションの基礎を築いたデザイナー達の足跡を辿って知識を深め、現代のファッションの在り方を追究することを学びます。						
	到達目標	(1)服装のルーツを探りその原点を理解する。 (2)社会事象がファッションに影響を与えていることが理解できる。 (3)日本の現代のファッションのルーツを知ることができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション・ファッション用語について・服装のルーツについて(古代オリエント～ギリシャ時代) 【計画内容】 授業のガイダンス・授業内容の説明。 【準備学習の内容】 授業の内容を把握しておく。						A
	第2回	【テーマ】 服装のルネッサンス(ギリシャ～ルネッサンス) 【計画内容】 オートクチュールの組織と内容を理解させる。 【準備学習の内容】 オートクチュールについて調べる。						A、G
	第3回	【テーマ】 服装の交差点・オートクチュールとその初期の時代 【計画内容】 オートクチュールの時代背景の説明。 【準備学習の内容】 配付プリントで予習しておくこと。						A、G
	第4回	【テーマ】 ファッション界をリードしたデザイナー達の活躍・変遷とその時代背景Ⅰ 【計画内容】 各デザイナーについての説明。 【準備学習の内容】 配付プリントで予習しておくこと。						A
	第5回	【テーマ】 ファッション界をリードしたデザイナー達の活躍・変遷とその時代背景Ⅱ 【計画内容】 時代に沿って活躍したデザイナーの足跡とその時代背景について。 【準備学習の内容】 配付プリントで予習し、ノートを整理する。						A、G
	第6回	【テーマ】 パリ・オート・クチュール輩出の時代Ⅰ 【計画内容】 ヨーロッパにおけるデザイナー達の足跡について。 【準備学習の内容】 配付プリントで予習し、ノートを整理する。						A
	第7回	【テーマ】 パリ・オート・クチュール輩出の時代Ⅱ 【計画内容】 ヨーロッパにおけるデザイナー達の足跡について。 【準備学習の内容】 配付プリントで予習しておくこと。						A
	第8回	【テーマ】 パリ・モード志向期 【計画内容】 モードについて説明とその後の変遷。 【準備学習の内容】 配付プリントで予習し、ノートを整理する。						A
	第9回	【テーマ】 若者ファッション時代 【計画内容】 若い世代のファッション説明。 【準備学習の内容】 配付プリントで予習し、ビデオ観賞の感想をまとめる。						A、G
	第10回	【テーマ】 ファッション革命期 【計画内容】 ファッションの変化について。 【準備学習の内容】 配付プリントで予習し、ノートを整理する。						A
	第11回	【テーマ】 ファッションの多様化時代 【計画内容】 ファッションの変化と社会情勢との関わりについて。 【準備学習の内容】 ノートの整理をする。						A
	第12回	【テーマ】 本物志向の時代と現在Ⅰ 【計画内容】 時代の流れとファッションについて。 【準備学習の内容】 ノートを整理する。						A
	第13回	【テーマ】 本物志向の時代と現在Ⅱ 【計画内容】 時代の流れとファッションについて。 【準備学習の内容】 配付プリントで予習しておくこと。						A
	第14回	【テーマ】 本物志向の時代と現在Ⅲ 【計画内容】 現在のファッションについて。 【準備学習の内容】 配付プリントで予習し、ノートを整理する。						A、F
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 授業のまとめとしてファッションの変遷を確認。 【準備学習の内容】 配付プリントとノートで授業の内容を確認する。						G、L
テキスト	担当者作成プリントを使用します							
参考書	担当者作成プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			60%		40%		
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格								
その他	ノートとプリントをまとめるためのファイルを各自用意すること。ファッションの歴史を振り返って討論します。							

科目名	ファッション造形実習Ⅲ			授業形態	実習	単位数	2
教員名	北村 悦子						
授業の目的	1年次で習得した基礎知識・技術を発展的に応用して、各種の素材の扱い方と縫製に関しての表現能力を養うことを学びます。 (1)デザイン能力が養われ表現できる。 (2)新しい縫製技術を習得することができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス・採寸 【計画内容】授業内容と授業展開について説明。採寸の方法について学習。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。	A	第16回	【テーマ】作品製作(13) 【計画内容】作品の縫製。 【準備学習の内容】テキストや配付したプリントを読み、理解を深めておくこと。	D	
	第2回	【テーマ】採寸 【計画内容】各自の採寸。 【準備学習の内容】採寸の方法について理解しておくこと。	A、D	第17回	【テーマ】作品製作(14) 【計画内容】作品の縫製。 【準備学習の内容】テキストや配付したプリントを読み、理解を深めておくこと。	D	
	第3回	【テーマ】作品製作について 【計画内容】各自の作品の製作条件について説明。 【準備学習の内容】作品デザイン、使用する布のプランを練っておくこと。	A、D	第18回	【テーマ】作品製作(15) 【計画内容】作品に関わるディテールの縫製。 【準備学習の内容】書籍や資料でディテールの縫製について調べておくこと。	A、D	
	第4回	【テーマ】作品製作(1) 【計画内容】作品のデザイン・サンプルの決定。 【準備学習の内容】作品デザイン、使用する布のプランを練っておくこと。	D	第19回	【テーマ】作品製作(16) 【計画内容】作品に関わるディテールの縫製。 【準備学習の内容】書籍や資料でディテールの縫製について調べておくこと。	A、D	
	第5回	【テーマ】作品製作(2) 【計画内容】作品のデザイン・サンプルの決定。 【準備学習の内容】作品デザイン、使用する布のプランを練っておくこと。	D	第20回	【テーマ】作品製作(17) 【計画内容】作品に関わるディテールの縫製。 【準備学習の内容】書籍や資料でディテールの縫製について調べておくこと。	A、D	
	第6回	【テーマ】作品製作(3) 【計画内容】作品のパターン制作。 【準備学習の内容】テキスト、書籍等で各自のデザインに対応する参考製図を調べておくこと。	A、D	第21回	【テーマ】作品製作(18) 【計画内容】作品の縫製。 【準備学習の内容】テキストや配付したプリントを読み、理解を深めておくこと。	D	
	第7回	【テーマ】作品製作(4) 【計画内容】作品のパターン制作。 【準備学習の内容】テキスト、書籍等で各自のデザインに対応する参考製図を調べておくこと。	D	第22回	【テーマ】作品製作(19) 【計画内容】作品の縫製。 【準備学習の内容】テキストや配付したプリントを読み、理解を深めておくこと。	D	
	第8回	【テーマ】作品製作(5) 【計画内容】作品の裁断・印つけ。 【準備学習の内容】テキスト等で方法を復習しておくこと。	D	第23回	【テーマ】作品製作(20) 【計画内容】作品の縫製。 【準備学習の内容】テキストや配付したプリントを読み、理解を深めておくこと。	D	
	第9回	【テーマ】作品製作(6) 【計画内容】作品の裁断・印つけ。 【準備学習の内容】テキスト等で方法を復習しておくこと。	D	第24回	【テーマ】作品製作(21) 【計画内容】作品の縫製。 【準備学習の内容】テキストや配付したプリントを読み、理解を深めておくこと。	D	
	第10回	【テーマ】作品製作(7) 【計画内容】試着補正の組み立て。 【準備学習の内容】テキスト等で方法を復習しておくこと。	A、D	第25回	【テーマ】作品製作(22) 【計画内容】作品の縫製。 【準備学習の内容】テキストや配付したプリントを読み、理解を深めておくこと。	D	
	第11回	【テーマ】作品製作(8) 【計画内容】試着補正の組み立て。 【準備学習の内容】組み立てが終了する計画で準備をすすめておくこと。	D	第26回	【テーマ】作品製作(23) 【計画内容】作品の縫製。 【準備学習の内容】テキストや配付したプリントを読み、理解を深めておくこと。	D	
	第12回	【テーマ】作品製作(9) 【計画内容】試着補正(各自の体型に合わせて補正)。 【準備学習の内容】テキストや配付したプリントを読み、理解を深めておくこと。	D	第27回	【テーマ】作品製作(24) 【計画内容】作品の縫製。 【準備学習の内容】テキストや配付したプリントを読み、理解を深めておくこと。	D	
	第13回	【テーマ】作品製作(10) 【計画内容】試着補正(各自の体型に合わせて補正)。 【準備学習の内容】テキストや配付したプリントを読み、理解を深めておくこと。	D	第28回	【テーマ】作品製作(25) 【計画内容】作品の縫製。 【準備学習の内容】テキストや配付したプリントを読み、理解を深めておくこと。作品を仕上げる準備をしておくこと。	D	
	第14回	【テーマ】作品製作(11) 【計画内容】試着補正(各自の体型に合わせて補正)。 【準備学習の内容】テキストや配付したプリントを読み、理解を深めておくこと。	D	第29回	【テーマ】作品製作(26) 【計画内容】作品の仕上げと提出。 【準備学習の内容】出来上がった作品を各自でチェックし、作品提出票に必要事項を記入しておくこと。	A、D	
	第15回	【テーマ】作品製作(12) 【計画内容】作品の縫製。 【準備学習の内容】テキストや配付したプリントを読み、理解を深めておくこと。	A、D	第30回	【テーマ】まとめと批評会 【計画内容】作品製作の過程について復習。提出作品についての講評。 【準備学習の内容】作品製作の過程をA4のファイル(ポートフォリオ)にまとめておくこと。	A、F	
テキスト	藤森次郎、2002年、『ドレメファッション造形講座5』、ブティック社						
参考書	ドレスメーカー学院、2002年、『パターンカッティングⅡ』、ドレスメーカー学院出版部						
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	分		70%		30%	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格							
その他	「ファッション造形実習Ⅰ」「ファッション造形実習Ⅱ」を履修済みであることが望ましい。各自の作品で批評会をします。						

科目名		ファッション造形実習Ⅳ			授業形態	実習	単位数	2
教員名		大信田 静子						
授業の目的	ねらい	被服製作上で、「ファッション造形実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」等で学んできた基礎的な理論と縫製技術を活かし、更に高度な縫製技術・素材の扱い方を習得するために、応用作品としてフォーマルに関する衣服(スーツ、アフタヌーン・ドレス、イブニング・ドレス、ウェディング・ドレスなど)を製作します。						
	到達目標	(1)フォーマルに関する衣服を手掛けることで、高度な技術力を身につける。 (2)繊細な素材の扱い方や、オートクチュールの縫製技術を習得する。 (3)立体裁断からのパターン展開を習得する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】授業ガイダンス 【計画内容】授業紹介、30回の授業展開を説明します。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。	A	第16回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製8 【計画内容】本体にカラー、袖などを縫製していきます。 コンシールファスナーのつけ方について説明していきます。 【準備学習の内容】フォーマルの本縫いを進めておくこと。	A、D		
	第2回	【テーマ】繊細な素材の扱い方・縫製方法 【計画内容】フォーマルドレスに適した素材(絹・レース・ベルベットなど)について説明します。また、薄手素材の縫製方法について説明します。 【準備学習の内容】フォーマルドレスの種類について調べておくこと。製作したいデザインを考えておくこと。	A、D	第17回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製9 【計画内容】ドレスを支えるためのインサイドベルトやヘッドドレスについて説明していきます。 【準備学習の内容】フォーマルの本縫いを進めておくこと。	A、D		
	第3回	【テーマ】ビスチェ、ベチコートについて 【計画内容】デザインを選定し、それに合うドレスの土台となるビスチェ、ベチコートなどについて説明します。 【準備学習の内容】製作したいドレスの素材について調べておくこと。	A、D	第18回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製10 【計画内容】デザインに合った縫製方法を行い、縫製技術を高めていきます。 【準備学習の内容】フォーマルの本縫いを進めておくこと。	D		
	第4回	【テーマ】デザイン・生地を選定・製図について 【計画内容】各自のデザイン及び素材を選定して立体裁断縫製(ドレーピング)、パターン作図をしていきます。 【準備学習の内容】製作したいドレスのデザイン画を描いておくこと。	D	第19回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製11 【計画内容】各デザインの装飾について検討していきます。 フォーマルへの装飾(ビーズ、スパンコール・レースなど)についての説明をしていきます。 【準備学習の内容】フォーマルの本縫いを進めておくこと。	A、D		
	第5回	【テーマ】平面製図及びトワルの作成 【計画内容】デザイン画に沿ってパターン作図または1/2のボディでドレーピングをしていきます(CAD使用可)。 【準備学習の内容】立体裁断の技法を復習しておくこと。	D	第20回	【テーマ】フォーマルの本縫い12 【計画内容】デザインに合った縫製方法を行い、装飾を仕上げていきます。 【準備学習の内容】フォーマルの本縫いを進めておくこと。	D		
	第6回	【テーマ】デザイン画に沿って製図・トワルの製作について 【計画内容】デザイン画に沿って製図またはトワルの製作をしていきます。デザインによっては1/2ボディを使用し形にしています。 【準備学習の内容】試着補正できるように作品を準備しておくこと。	D	第21回	【テーマ】フォーマルの本縫い13 【計画内容】デザインに合った縫製方法を行い、装飾を仕上げていきます。 【準備学習の内容】フォーマルの本縫いを進めておくこと。	D		
	第7回	【テーマ】試着補正1(天竺による仮縫い) 【計画内容】シーチングで縫製して、試着できる状態に製作していきます。 【準備学習の内容】試着補正できるように作品を準備しておくこと。	D	第22回	【テーマ】フォーマルの本縫い14 【計画内容】デザインに合った縫製方法を行い、装飾を仕上げていきます。 【準備学習の内容】フォーマルの装飾について考えておくこと。	D		
	第8回	【テーマ】試着補正2(天竺による仮縫い) 【計画内容】試着補正を行い、パターンの訂正を行い、製作素材の裁断をしていきます。 【準備学習の内容】各自の素材を準備しておくこと。	D	第23回	【テーマ】フォーマルの本縫い15 【計画内容】デザインに沿って仕上げていきます。 【準備学習の内容】フォーマルの装飾について考えておくこと。	D		
	第9回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製1 【計画内容】製作素材(布)を裁断・試着補正をしていきます。 【準備学習の内容】縫製を進めておくこと。	D	第24回	【テーマ】フォーマルの本縫い16 【計画内容】デザインに沿って仕上げていきます。 【準備学習の内容】フォーマルの本縫い・装飾を進めておくこと。	D		
	第10回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製2(試着補正) 【計画内容】製作素材(布)を裁断・試着補正をしていきます。補正終了後、縫い代の始末について説明をします(巻きロック、伏せ縫い、袋縫いなど本縫いの方法)。 【準備学習の内容】縫製を進めておくこと。	A、D	第25回	【テーマ】フォーマルの本縫い17 【計画内容】デザインに沿って仕上げていきます。 【準備学習の内容】フォーマルの本縫い・装飾を進めておくこと。	D		
	第11回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製3(試着補正) 【計画内容】製作素材(布)を裁断・試着補正をしていきます。補正終了後、巻きロック、伏せ縫い、袋縫いなど本縫い方法に沿って本縫いをしていきます。 【準備学習の内容】本布による縫製を進めておくこと。	D	第26回	【テーマ】フォーマルの本縫い18 【計画内容】フォーマルをトータルコーディネートで考えていきます。 小物(ブーケ、傘など)も検討していきます。 【準備学習の内容】フォーマルの本縫い・装飾を進めておくこと。	D		
	第12回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製4(本縫いについて) 【計画内容】本布での試着補正をしていきます。 巻きロック、伏せ縫い、袋縫いなど本縫いをしていきます。 【準備学習の内容】フォーマルの本縫いの縫製を進めておくこと。	D	第27回	【テーマ】フォーマルの本縫い19 【計画内容】フォーマルをトータルコーディネートで考えて縫製していきます。 【準備学習の内容】フォーマルの本縫い・装飾を進めておくこと。	D		
	第13回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製5 【計画内容】巻きロック、伏せ縫い、袋縫いなど本縫い方法に沿って本縫いをしていきます。 素材に合った接着芯についての説明をしていきます。 【準備学習の内容】フォーマルの本縫いの縫製を進めておくこと。	A、D	第28回	【テーマ】フォーマルの本縫い20 【計画内容】フォーマルドレスをトータルに仕上げていきます。 【準備学習の内容】フォーマルの最終チェックの準備をしておくこと。	D		
	第14回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製6 【計画内容】デザインに沿って縫製を進めていきます。 【準備学習の内容】フォーマルの本縫いの縫製を進めておくこと。	D	第29回	【テーマ】フォーマルの仕上げ 【計画内容】洋服はトータルバランスで考えていきます。 【準備学習の内容】フォーマルの最終チェックをしておくこと。	D		
	第15回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製7 【計画内容】各パーツ、カラー、袖などの縫製をしていきます。 【準備学習の内容】フォーマルの本縫いの縫製を進めておくこと。	D	第30回	【テーマ】フォーマルの提出・提出カード 【計画内容】フォーマルの総チェックをして提出します。 【準備学習の内容】トータルコーディネートでチェックしておくこと。	D		
テキスト		プリントを使用します						
参考書		講義時に説明します						
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分				60%	40%		
補足					デザイン・縫製・創意工夫	作品への取組・意欲・態度		
質問への対応		E-Mail: shisieva@hokusho-u.ac.jp						
資格								
その他		フォーマル・ドレスの縫製の仕組み・薄地素材の縫製方法などを学ぶ上で、基礎的な縫い方は復習しておきましょう。						

科 目 名		ファッションデジタルアート			授業形態	実習	単 位 数	1
教 員 名		大信田 静子						
授 業 の 目 的	ねらい	アパレル業界で使用する、Mapimgのソフトを使い、スタイル画に洋服のデザインをシュミレーションしたり、Drawingを使い、衣服を製作する上で必要な縫製仕様書、技術仕様書などを作成します。またpaintingで布の柄なども描いていきます。ファッションの流行や社会現象などを捉えながら、各自の個性や感性をコンピュータ上で表現し、イメージの広がりを育てていくことを目的としています。						
	到達目標	(1)既成概念にとらわれない、自由な発想の展開と独創的なデザインを描くことができる。 (2)ファッションスタイルのシミュレーションができる。 (3)三種類のソフトを使い縫製仕様書を作成できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 15回の授業展開及び評価方法を説明していきます。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】 paintingの操作方法① 【計画内容】 paintingの起動・読み込み・保存について説明します。絵を描く上での一連の操作方法を行っていきます。 【準備学習の内容】 ファイル(テキスト)の確認をしておくこと。						B
	第3回	【テーマ】 paintingの操作方法② 【計画内容】 paintingの操作、色・柄の編集などを使い、オリジナルの布柄を描いていきます。 【準備学習の内容】 前回した操作の復習をしておくこと。						B
	第4回	【テーマ】 paintingの操作方法③ 【計画内容】 paintingのソフトを使い、テーマに沿って各自のデザインを描いていきます。完成した作品に対して課題1のレポートを提出します。 【準備学習の内容】 前回した操作の復習をしておくこと。						B
	第5回	【テーマ】 Mapimgの操作方法① 【計画内容】 画面上に描かれたサンプルのスタイル画にマスク・メッシュを設定し、立体的にしていきます。サンプル素材を入れて着用しているように操作していきます。 【準備学習の内容】 プリントを確認しておくこと。						B
	第6回	【テーマ】 Mapimgの操作方法② 【計画内容】 スタイル画に各自のデザインを、paintingで描いていきます。paintingを使いオリジナルの布柄を作成します。 【準備学習の内容】 プリントを確認しておくこと。						B
	第7回	【テーマ】 Mapimgの操作方法③ 【計画内容】 paintingで描いた各自の洋服のデザイン画やオリジナルの布柄を、Mapimgを使ってシュミレーションしていきます。 【準備学習の内容】 プリントを確認しておくこと。						B
	第8回	【テーマ】 Mapimgの操作方法④ 【計画内容】 paintingで描いた各自の洋服のデザイン画やオリジナルの布柄を、Mapimgを使ってシュミレーションしていきます。 【準備学習の内容】 テキストファイルを確認しておくこと。						B
	第9回	【テーマ】 Mapimgの操作方法⑤ 【計画内容】 paintingで描いた各自の洋服のデザイン画やオリジナルの布柄を、Mapimgを使ってシュミレーションしていきます。課題2のレポートを提出します。 【準備学習の内容】 テキストファイルを確認しておくこと。						B
	第10回	【テーマ】 Drawingの操作方法① 【計画内容】 一連の操作方法(線・文字・図形など)について説明します。 【準備学習の内容】 前回の操作を復習しておくこと。						B
	第11回	【テーマ】 Drawingの操作方法② 【計画内容】 ボディにジャケットやスーツの部品・パーツから選び、各自のデザインを着用させていきます。 【準備学習の内容】 前回の操作を復習しておくこと。						B
	第12回	【テーマ】 Drawingの操作方法③ 【計画内容】 着用させたジャケットやスーツに、paintingで作成した素材を入れていきます。デザインに沿って、縫製仕様書を作成していきます。 【準備学習の内容】 前回の操作を復習しておくこと。						B
	第13回	【テーマ】 Drawingの操作方法④ 【計画内容】 着用させたジャケットやスーツに、paintingで作成した素材を入れていきます。デザインに沿って、縫製仕様書を作成していきます。 【準備学習の内容】 前回の操作を復習しておくこと。						B
	第14回	【テーマ】 Drawingの操作方法⑤ 【計画内容】 着用させたジャケットやスーツに、paintingで作成した素材を入れていきます。デザインに沿って、縫製仕様書を作成していきます。課題3のレポートを提出します。 【準備学習の内容】 前回の操作を復習しておくこと。						B
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 制作した作品についてのまとめと発表を行います。 【準備学習の内容】 作品を提出できるように制作しておくこと。						F
テキスト		TORAY ACSテキストファイルを使用します						
参 考 書		講義時に説明します						
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			60% レポートおよび作品		40% 授業への取り組み・意欲		
質問への対応		E-Mail:shisieva@hokusho-u.ac.jp						
資 格								
そ の 他								

科目名	アクセサリークラフトB					授業形態	実習	単位数	1
教員名	辻 美恵子								
授業の目的	実用的な作品の制作を通して、帽子の知識や基礎技術を習得する。応用作品では自由な発想のもとに帽子をデザインし、制作する。創造力を豊かにし、繊細な表現技術を養う。 (1)帽子の一般知識が習得できる。 (2)デザインに適応した素材等が選定できる。 (3)応用性と表現技術が養われる。								
授業計画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 帽子について 【計画内容】授業内容と授業展開について説明。帽子の一般知識、形の種類と名称について学ぶ。用具の説明、採寸方法、各部の名称、作図の基礎を学ぶ。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。							A
	第2回	【テーマ】帽子の制作について 【計画内容】作品Ⅰの制作条件について説明。デザインの選定。パターンの整理① 【準備学習の内容】配付したプリントを読み、理解を深めておく。							A、D
	第3回	【テーマ】作品Ⅰ（クロッシュー・キャップ） 【計画内容】布地、芯の選定。パターンの整理② 【準備学習の内容】配付したプリントを読み、理解を深めておく。制作する作品のデザインを考え、材料を準備しておくこと。							A、D
	第4回	【テーマ】作品Ⅰ（クロッシュー・キャップ） 【計画内容】布地、芯の裁断。印つけ。 【準備学習の内容】配付したプリントを読み、理解を深めておく。時間内にできなかった作業をしておくこと。							A、D
	第5回	【テーマ】作品Ⅰ（クロッシュー・キャップ） 【計画内容】クラウン、ブリムの縫製。 【準備学習の内容】配付したプリントを読み、理解を深めておく。時間内にできなかった作業をしておくこと。							A、D
	第6回	【テーマ】作品Ⅰ（クロッシュー・キャップ） 【計画内容】サイズ元の縫製、仕上げ。作品提出。 【準備学習の内容】出来上がった作品を各自チェックし、作品提出票に必要事項を記入しておくこと。							A、D、L
	第7回	【テーマ】作品Ⅱ（応用） 【計画内容】デザインの選定。パターンの整理。 【準備学習の内容】制作する作品のデザインを考えておく。書籍等を調べ作品制作に必要な材料を準備しておくこと。							D
	第8回	【テーマ】作品Ⅱ（応用） 【計画内容】作品制作。 【準備学習の内容】書籍や資料で理解を深めておく。時間内にできなかった作業をしておくこと。							D
	第9回	【テーマ】作品Ⅱ（応用） 【計画内容】作品制作。 【準備学習の内容】時間内にできなかった作業をしておくこと。							D
	第10回	【テーマ】作品Ⅱ（応用） 【計画内容】作品の制作、作品の仕上げ、提出。 【準備学習の内容】出来上がった作品を各自チェックし、作品提出票に必要事項を記入しておくこと。							A、D、L
	第11回	【テーマ】作品Ⅲ（応用） 【計画内容】作品制作。 【準備学習の内容】書籍等を調べ作品制作に必要な材料を準備しておくこと。							D
	第12回	【テーマ】作品Ⅲ（応用） 【計画内容】作品制作。 【準備学習の内容】書籍や資料で理解を深めておく。時間内にできなかった作業をしておくこと。							D
	第13回	【テーマ】作品Ⅲ（応用） 【計画内容】作品制作。 【準備学習の内容】時間内にできなかった作業をしておくこと。							D
	第14回	【テーマ】作品Ⅲ（応用） 【計画内容】作品の制作、作品の仕上げ、提出。 【準備学習の内容】出来上がった作品を各自チェックし、作品提出票に必要事項を記入しておくこと。							A、D、L
	第15回	【テーマ】提出作品について 【計画内容】作品の返却。作品制作の過程の復習。提出作品の講評。 【準備学習の内容】作品制作の過程をA4のファイル(ポートフォリオ)にまとめておく。							A、D、L
テキスト	参考プリントを配付します ビデオ教材を使用します								
参考書	参考図書を提示します								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分 補足				70%	30%			
質問への対応	620研究室 E-Mail: tsujim@hokusho-u.ac.jp								
資格									
その他	第15回で作品を返却し、学んだ内容を振り返りながら講評します。								

科 目 名				ショッパディスプレイ		授業形態	実習	単 位 数	2
教 員 名		早坂 眞梨子							
授 業 の 目 的	ねらい到達目標	商品装飾展示技能士3級程度の基礎知識、技術を学び、ディスプレイにおいてのカラーバランスや構成の仕方を習得し、目に留まる魅力的な商品演出ができるようになることを目的とします。							
		(1)訴求力のある魅力的なディスプレイができる。 (2)ディスプレイのトータルコーディネート力をつける。 (3)ディスプレイの必要性を理解する。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の紹介と授業展開を説明します。 【準備学習の内容】シラバスを見ておくこと。	A	第16回	【テーマ】服飾小物のアレンジ 【計画内容】ネクタイの基本的な結び方や、スカーフのアレンジを練習します。 【準備学習の内容】配付したプリントを予習しておくこと。	D			
	第2回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】質疑応答。 【準備学習の内容】シラバスを見ておくこと。	A	第17回	【テーマ】視覚に訴える商品演出 【計画内容】ディスプレイの必要性和役割について学習します。 【準備学習の内容】最近気になる店舗をリサーチしておくこと。	A			
	第3回	【テーマ】ピンワーク(1)アンビエ 【計画内容】ドレープを美しく見せる技法を練習します。 【準備学習の内容】参考書を見ておくこと。	D	第18回	【テーマ】視覚に訴える商品演出 【計画内容】ディスプレイのカラーバランス、カラーコントロールを学習します。 【準備学習の内容】最近気になる店舗をリサーチしておくこと。	D			
	第4回	【テーマ】ピンワーク(2)ダブルビエ 【計画内容】トルソーに1枚の布を切らずにワンピースに仕上げます。 【準備学習の内容】デザインをイメージしておくこと。	D	第19回	【テーマ】トルソー2体のディスプレイ 【計画内容】トルソー2体のディスプレイのカラーバランスを習得します。 【準備学習の内容】配付したプリントを予習しておくこと。	D			
	第5回	【テーマ】ピンワーク(3)ギャザリング 【計画内容】浮き立つようなギャザーの技法を練習します。 【準備学習の内容】参考書を見ておくこと。	D	第20回	【テーマ】トルソー3体のコーディネート 【計画内容】演出の構図・構成を学習し、トルソー3体のクロスコーディネートバランスを習得します。 【準備学習の内容】最近気になる店舗のディスプレイを見ておくこと。	D			
	第6回	【テーマ】ピンワーク(3)ギャザリング 【計画内容】トルソーに1枚の布を切らずにワンピースに仕上げます。 【準備学習の内容】デザインをイメージしておくこと。	D	第21回	【テーマ】学内ウィンドーデザイン(2) 【計画内容】テーマを決めてウィンドーのデザインをイメージします。 【準備学習の内容】打ち出したいことを明確にしておくこと。	D			
	第7回	【テーマ】ピンワーク(4)タッキング 【計画内容】タックをとってボリュームのある華やかな技法を練習します。 【準備学習の内容】参考書を見ておくこと。	D	第22回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(2)デザインのプレゼンテーション 【計画内容】デザインを基に具体的に提案、発表します。 【準備学習の内容】デザインのスケッチを完成させておくこと。	D			
	第8回	【テーマ】ピンワーク(4)タッキング 【計画内容】トルソーに1枚の布を切らずにツーピースに仕上げます。 【準備学習の内容】デザインをイメージしておくこと。	D	第23回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(2)製作準備 【計画内容】協力して完成を目標に時間内に製作します。 【準備学習の内容】決定したデザインの製作法を考えておくこと。	D			
	第9回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(1) 【計画内容】ピンワークを用いてウィンドーのディスプレイデザイン考えます。 【準備学習の内容】ピンワークのデザインをイメージする。ピンワークの技法で演出するデザインのラフスケッチをしておくこと。	D	第24回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(2)製作準備 【計画内容】デザインに基づいてウィンドーディスプレイを製作します。 【準備学習の内容】ウィンドーのサイズを確認しておくこと。	D			
	第10回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(1) 【計画内容】デザインのプレゼンテーション。 【準備学習の内容】デザイン、プランを完成させること。	F	第25回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(2)フィニッシュワーク 【計画内容】デザインに基づいてディスプレイを完成させます。 【準備学習の内容】ウィンドーの清掃、取り付け準備の確認をする。	D			
	第11回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(1)製作準備 【計画内容】協力してウィンドーの完成を目標に時間内に製作します。 【準備学習の内容】決定したデザインの製作法を考えておくこと。	D	第26回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(2)フィニッシュワーク 【計画内容】協力して時間内にウィンドーディスプレイを完成させます。 【準備学習の内容】フィニッシュワークの役割分担をしておくこと。	D			
	第12回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(1)製作準備 【計画内容】協力してウィンドーの完成を目標に時間内に製作します。 【準備学習の内容】役割分担を決めておくこと。	D	第27回	【テーマ】様々な商品の魅せ方 【計画内容】ライザーを用い高低差をつけて商品を演出します。 【準備学習の内容】テーマカラーを決めておくこと。	D			
	第13回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(1)フィニッシュワーク 【計画内容】デザインに基づいてウィンドーディスプレイを製作します。 【準備学習の内容】ウィンドーの清掃、取り付け準備の確認をする。	D	第28回	【テーマ】様々な商品の魅せ方 【計画内容】構図・構成を応用して美しいディスプレイを完成させます。 【準備学習の内容】構成をイメージしておくこと。	D			
	第14回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(1)フィニッシュワーク 【計画内容】協力して時間内にウィンドーディスプレイを完成させます。 【準備学習の内容】フィニッシュワークの役割分担をしておくこと。	D	第29回	【テーマ】まとめと発表 【計画内容】実技を通してまとめを行います。 【準備学習の内容】打ち出したいものを考えておくこと。	D			
	第15回	【テーマ】ギフトラッピング 【計画内容】基本的な箱の包み方とリボンのかけ方と結び方を習得します。 【準備学習の内容】配付したプリントを予習しておくこと。	D	第30回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】各自の作品のプレゼンテーション。 【準備学習の内容】配付したプリントを予習しておくこと。	D			
テ キ ス ト		プリントを配付します							
参 考 書		講義時に説明します							
成 績 評 価 の 方 法	配 分 補 足	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
				30%	40%	30%			
質問への対応		常時講義中に対応します。							
資 格									
そ の 他		授業の進み具合で内容を変更することがあります。							

科目名		ステージプランニング実習				授業形態	実習	単位数	1
教員名		端谷 真子							
授業の目的	ねらい	造形実習で制作した作品の総まとめとしての研究発表をショー形式で実施します。自作自演によるファッションショーの企画、構成、振付、音楽、照明などをプランニングし、創ること、着こなすこと、表現することを持続させるパワフル感を育成します。							
	到達目標	(1)ショーを作り上げるまでのプロセスを学ぶ。 (2)ひとつのことを成し遂げることによる達成感、満足感を体験する。 (3)コミュニケーション能力を身につける。							
授業の計画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をして、30回の授業展開を説明します。 【準備学習の内容】シラバス内容を熟読すること。						A	
	第2回	【テーマ】ファッションショー企画 【計画内容】多くの要素を含んでいるファッションショーの全容を学びます。 【準備学習の内容】本学におけるファッションショー（DVD）および学外のコレクションなどを鑑賞すること。						A	
	第3回	【テーマ】全体の構成 【計画内容】学生とテーマや全体の構成について、話し合いショーの構成を考えます。 【準備学習の内容】本学におけるファッションショー（DVD）および学外のコレクションなどを鑑賞すること。						A	
	第4回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】作品を効果的に表現するために基本的なウォーキングを学びます。 【準備学習の内容】本学におけるファッションショー（DVD）および学外のコレクションなどを鑑賞すること。						E	
	第5回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】作品を効果的に表現するために基本的なウォーキングを学びます。 【準備学習の内容】実際にウォーキングの練習をしておくこと。						E	
	第6回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】作品を効果的に表現するために基本的なウォーキングを学びます。 【準備学習の内容】実際にウォーキングの練習をしておくこと。						E	
	第7回	【テーマ】舞台美術 【計画内容】ステージや会場全体の空間を創造する舞台美術について学びます。 【準備学習の内容】本学におけるファッションショー（DVD）および学外のコレクションなどを参考にまとめておくこと。						A	
	第8回	【テーマ】企画・演出 【計画内容】企画・演出方法を学びます。企画するにあたり、総作品点数およびテーマ別パートの作品点数を確認します。また、出順についても話し合います。 【準備学習の内容】テーマ別パートを一覧にまとめておくこと。						A、F、H	
	第9回	【テーマ】音楽 【計画内容】ショーを効果的にする作品のイメージやポリシーをより鮮明に表現する音楽について学びます。 【準備学習の内容】テーマ別パートごとに作品のイメージを理解し、曲を選定しておくこと。						A、F、H	
	第10回	【テーマ】照明 【計画内容】作品をより印象的に見せるための重要な視覚的要素となる照明について学びます。 【準備学習の内容】テーマ別パートごとに作品のイメージを理解し、照明について確認しておくこと。						A、F、H	
	第11回	【テーマ】構成(企画演出・音楽・照明) 【計画内容】ステージ効果を考えたテーマ別パートにおける音楽、照明などを話し合います。 【準備学習の内容】テーマ別パートにおける企画演出、音楽、照明など最終チェックをしておくこと。						A、F、H	
	第12回	【テーマ】フィッティングボード作成 【計画内容】出順ごとに一覧を作成します。 【準備学習の内容】最終出順をまとめておくこと。						F、G、H	
	第13回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】パートごとに演出方法を探り、実践的に学びます。 【準備学習の内容】パートごとに演出方法をまとめておくこと。						E、H	
	第14回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】パートごとに演出方法を探り、実践的に学びます。 【準備学習の内容】パートごとに演出方法をまとめておくこと。						E、H	
	第15回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】モデルとして最も重要な表現力を学びます(モデルが作品着用)。 【準備学習の内容】「作品におけるポイントはどこか、どこを見ていただきたいか」などまとめておくこと。						E、H	
テキスト		過去のDVDを使用します							
参考書		講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分	20%	20%	20%	20%	20%			
補足									
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。							
資格									
その他		平面的デザイン画から立体的に創り上げられた作品がステージ上で、生き生きと華やかにスポットを浴びる、そんなドラマを楽しみ、また作品にはそれぞれのシチュエーションが与えられ輝きを増すことを確認しましょう。 北方圏芸術情報センターにおける被験講義です。							

科目名	ラジオ・ドラマ製作				授業形態	演習	単位数	2
教員名	村松 幹男、田 光子、平井 伸之、富井 昭次							
授業の目的	ねらい	1年次後学期の「声優トレーニング」の発展科目です。声優としての技能を高めつつ、ラジオドラマ製作の流れについて理解していきます。講義の後半で実際にラジオドラマ製作を行います(CD化)。なお、発声練習は毎時間行います。						
	到達目標	(1)正しい発声ができる。 (2)声優としての表現ができる。 (3)ラジオドラマ製作の流れを理解している。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 講義についてオリエンテーションします。(村松幹男・田光子・平井伸之・富井昭次) 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。						A
	第2回	【テーマ】 ラジオドラマのシナリオ研究① 【計画内容】 製作するラジオドラマのシナリオについて学びます。(村松幹男・富井昭次) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。						B
	第3回	【テーマ】 ラジオドラマのシナリオ研究② 【計画内容】 製作するラジオドラマのシナリオについて学びます。(田光子・富井昭次) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。						B
	第4回	【テーマ】 ラジオドラマのシナリオ研究③ 【計画内容】 製作するラジオドラマのシナリオについて学びます。(平井伸之・富井昭次) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。						B
	第5回	【テーマ】 ラジオドラマのシナリオ研究④ 【計画内容】 製作するラジオドラマのシナリオについて学びます。(村松幹男・富井昭次) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。						B
	第6回	【テーマ】 ラジオドラマの稽古① 【計画内容】 製作するラジオドラマのシナリオに基づいて、役割分担を行います。実際に読みを行います。(村松幹男・富井昭次) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。						B、E、H
	第7回	【テーマ】 ラジオドラマの稽古② 【計画内容】 製作するラジオドラマの読みを行います。(田光子・富井昭次) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。						B、E、H
	第8回	【テーマ】 ラジオドラマの稽古③ 【計画内容】 製作するラジオドラマの読みを行います。(田光子・富井昭次) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。						B、E、H
	第9回	【テーマ】 ラジオドラマの稽古④ 【計画内容】 仮録音を行います。(平井伸之・富井昭次) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。						B、D、E、H
	第10回	【テーマ】 ラジオドラマの稽古⑤ 【計画内容】 仮録音を聞いて、修正点を話し合い、修正していきます。(平井伸之・富井昭次) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。						B、H
	第11回	【テーマ】 ラジオドラマ製作① 【計画内容】 ラジオドラマ製作を行います(一部集中)。(富井昭次) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。						B、D、E、H
	第12回	【テーマ】 ラジオドラマ製作② 【計画内容】 ラジオドラマ製作を行います(一部集中)。(富井昭次) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。						B、D、E、H
	第13回	【テーマ】 ラジオドラマ製作③ 【計画内容】 ラジオドラマ製作を行います(一部集中)。(富井昭次) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。						B、D、E、H
	第14回	【テーマ】 ラジオドラマ製作④ 【計画内容】 ラジオドラマ製作を行います(一部集中)。(富井昭次) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。						B、D、E、H
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 完成したCDを聞き、まとめと振り返り、講評を行います。(村松幹男・田光子・平井伸之・富井昭次) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。						L
テキスト	プリントを使用します							
参考書	プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足				50%	40%	10%	
質問への対応	初回に説明します。							
資格								
その他	一部集中になります。受講生数によってスケジュールは変更になる場合があります。 第15回で完成したCDを聞き、まとめと振り返り、講評を行います。							

科 目 名		特殊効果		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		吉田 ひでお					
授 業 の 目 的	ねらい	舞台作品を制作する場合、より効果的に表現するための技術として特殊効果、特殊美術があげられる。本講ではそれについての基本的な事柄を学び、実際に制作を試みる。講義のみならず、演習や実習を通して想像力や広い視点を育てる。 なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、「照明・音響実習Ⅱ」、「特殊効果」、「舞踊研究」で舞台芸術制作の俳優分野、スタッフ分野の基本的な知識・技能の習得を前学期よりも発展させた形でめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。					
		到達目標 (1)特殊効果・特殊美術の意味、役割、理念がわかる。 (2)特殊効果・特殊美術で使用する工具・素材・加工法について理解している。 (3)実際に小作品を制作することができる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】特殊効果・特殊美術の意味、役割、理念① 【計画内容】自分の今までの仕事、経験を紹介し、特殊効果・特殊美術の意味、役割、理念について説明し、学生にも考えてもらう。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。					A
	第2回	【テーマ】特殊効果・特殊美術の意味、役割、理念② 【計画内容】自分の今までの仕事、経験を紹介し、特殊効果・特殊美術の意味、役割、理念について説明し、学生にも考えてもらう。 【準備学習の内容】前回の内容を理解しておくこと。					A
	第3回	【テーマ】特殊効果・特殊美術の意味、役割、理念③ 【計画内容】自分の今までの仕事、経験を紹介し、特殊効果・特殊美術の意味、役割、理念について説明し、学生にも考えてもらう。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					A
	第4回	【テーマ】実際のな道具、工具、素材、加工について① 【計画内容】特殊効果・特殊美術で使用する工具や素材について説明し、基本的な加工技術を説明する。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第5回	【テーマ】実際のな道具、工具、素材、加工について② 【計画内容】特殊効果・特殊美術で使用する工具や素材について説明し、基本的な加工技術を説明する。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解し、次回に必要な準備を終わらせておくこと。					B、E、H
	第6回	【テーマ】実際のな道具、工具、素材、加工について③ 【計画内容】特殊効果・特殊美術で使用する工具や素材について説明し、基本的な加工技術を説明する。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解し、次回に必要な準備を終わらせておくこと。					B、E、H
	第7回	【テーマ】実際のな道具、工具、素材、加工について④ 【計画内容】特殊効果・特殊美術で使用する工具や素材について説明し、基本的な加工技術を説明する。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解し、次回に必要な準備を終わらせておくこと。					B、E、H
	第8回	【テーマ】実際のな道具、工具、素材、加工について⑤ 【計画内容】特殊効果・特殊美術で使用する工具や素材について説明し、基本的な加工技術を説明する。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解し、次回に必要な準備を終わらせておくこと。					B、E、H
	第9回	【テーマ】実際のな道具、工具、素材、加工について⑥ 【計画内容】特殊効果・特殊美術で使用する工具や素材について説明し、基本的な加工技術を説明する。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解し、次回に必要な準備を終わらせておくこと。					B、E、H
	第10回	【テーマ】制作演習① 【計画内容】これまでの知識、技術を使って実際に小さな作品を作成する。何を作るかは、学生との話し合いで決める。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解し、次回に必要な準備を終わらせておくこと。					B、E、H
	第11回	【テーマ】制作演習② 【計画内容】これまでの知識、技術を使って実際に小さな作品を作成する。何を作るかは、学生との話し合いで決める。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解し、次回に必要な準備を終わらせておくこと。					B、E、H
	第12回	【テーマ】制作演習③ 【計画内容】これまでの知識、技術を使って実際に小さな作品を作成する。何を作るかは、学生との話し合いで決める。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第13回	【テーマ】制作演習④ 【計画内容】これまでの知識、技術を使って実際に小さな作品を作成する。何を作るかは、学生との話し合いで決める。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第14回	【テーマ】制作演習⑤ 【計画内容】これまでの知識、技術を使って実際に小さな作品を作成する。何を作るかは、学生との話し合いで決める。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第15回	【テーマ】振り返りとまとめ 【計画内容】この授業を振り返る。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					L
テキスト		講義時に説明します					
参 考 書		講義時に説明します					
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分 補 足			10% レポート	50%	40%	
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資 格							
そ の 他		本授業は北翔大学北方圏学術情報センターにおける被験授業である。 「照明・音響実習Ⅱ」「特殊効果」「舞踊研究」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完的關係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。 課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回目の「振り返りと確認」時に行う。					

科目名		舞台芸術研修			授業形態	演習	単位数	2
教員名		村松 幹男、田 光子、平井 伸之						
授業の 目的	ねらい	東京への研修旅行を行う。歌舞伎などの古典芸能の鑑賞、現代劇やミュージカルの鑑賞を行う予定。また、劇場施設などのバックステージ見学なども行う予定。以下の展開は内容を示したもので、その順番に意味はない。 *別途研修旅行費がかかる。						
	到達目標	(1)日本の代表的な劇場の舞台機構について理解できる。 (2)実際の舞台芸術を鑑賞し、評価できる。 (3)実際に見聞したものに、他の情報を付加してレポートを作成できる。						
授業の 計画		【計画内容】（全教員） 国立劇場バックステージツアー：芸能を支える舞台機構について学ぶ。 国立劇場における歌舞伎鑑賞：歌舞伎の入門的事柄を学ぶ。 国立能楽堂バックステージツアー：能楽堂について学ぶ。能についての入門的事柄を学ぶ。 新国立劇場バックステージツアー：日本の最先端の舞台機構を学ぶ。 新国立劇場における観劇 四季劇場バックステージツアー：四季劇場の舞台機構を学ぶ。 四季劇場における観劇 研修の成果をレポートにまとめる。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。						A、J、G
テキスト		プリントを使用します						
参考書		講義時に説明します						
成績評価 の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		50%		
	補足			レポート				
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資格								
その他		別途費用が必要になるが、舞台芸術に関心のある学生は是非参加してほしい。 レポート提出後に別途機会を設け、研修全体を振り返り理解を深める。						

科 目 名			舞台装置入門(舞台デッサンを含む)			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名			福田 恭一						
授 業 の 目 的	ねらい	舞台という空間の考え方、舞台美術(装置)のとりえ方とその役割を考え、実際の美術プランのたて方、装置の基本的な作り方と舞台での作業を実習を交えて学ぶ。 なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、「照明・音響実習Ⅰ」、「舞台装置入門(舞台デッサンを含む)」、「身体表現」で舞台芸術制作の俳優分野、スタッフ分野の基本的な知識・技能の習得を1年次よりも発展させた形でめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。							
	到達目標	(1)舞台空間に関する基本的な知識がある。 (2)舞台美術の役割を理解している。 (3)舞台美術のたて方とその表現方法を理解している。 (4)簡単な舞台装置を作ることができ、安全対策も理解している。							
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】舞台装置の基本的な作り方と舞台での作業① 【計画内容】パネル作りを通して、基本的な舞台装置の作り方と、舞台での作業及び安全対策について学ぶ。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。							B、E、H
	第2回	【テーマ】舞台装置の基本的な作り方と舞台での作業② 【計画内容】パネル作りを通して、基本的な舞台装置の作り方と、舞台での作業及び安全対策について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の内容を理解しておくこと。							B、E、H
	第3回	【テーマ】舞台装置の基本的な作り方と舞台での作業③ 【計画内容】パネル作りを通して、基本的な舞台装置の作り方と、舞台での作業及び安全対策について学ぶ。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。							B、E、H
	第4回	【テーマ】舞台装置の基本的な作り方と舞台での作業④ 【計画内容】定期公演に関わる舞台装置を具体的に作成してみる。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。							B、E、H
	第5回	【テーマ】舞台装置の基本的な作り方と舞台での作業⑤ 【計画内容】定期公演に関わる舞台装置を具体的に作成してみる。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。							B、E、H
	第6回	【テーマ】舞台装置の基本的な作り方と舞台での作業⑥ 【計画内容】定期公演に関わる舞台装置を具体的に作成してみる。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。							B、E、H
	第7回	【テーマ】舞台空間① 【計画内容】舞台空間のとりえ方、歴史、種類とその機構について学ぶ。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。							B
	第8回	【テーマ】舞台空間② 【計画内容】舞台空間のとりえ方、歴史、種類とその機構について学ぶ。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。							B
	第9回	【テーマ】舞台空間③ 【計画内容】舞台空間のとりえ方、歴史、種類とその機構について学ぶ。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。							B
	第10回	【テーマ】舞台美術のとりえ方とその役割① 【計画内容】舞台美術とはどういうものなのか、実際の公演に際してどのような役割を担っているかということを学ぶ。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。							B
	第11回	【テーマ】舞台美術のとりえ方とその役割② 【計画内容】舞台美術とはどういうものなのか、実際の公演に際してどのような役割を担っているかということを学ぶ。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。							B
	第12回	【テーマ】舞台美術のとりえ方とその役割③ 【計画内容】舞台美術とはどういうものなのか、実際の公演に際してどのような役割を担っているかということを学ぶ。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。							B
	第13回	【テーマ】舞台美術プランのたて方とその表現方法① 【計画内容】台本から、演出プランから、舞台美術をどのようにプランだてするのか、そしてどのように表現するのかということを学ぶ。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。							B
	第14回	【テーマ】舞台美術プランのたて方とその表現方法② 【計画内容】台本から、演出プランから、舞台美術をどのようにプランだてするのか、そしてどのように表現するのかということを学ぶ。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。							B
	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】この授業を振り返る。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。							L
テキスト		講義時に説明します							
参 考 書		講義時に説明します							
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分 補 足	30%		10% レポート	30%	30%			
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。							
資 格									
そ の 他		本授業は北翔大学北方圏学術情報センターにおける被験授業である。 「照明・音響実習Ⅰ」、「舞台装置入門(舞台デッサンを含む)」、「身体表現」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完的關係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。 第16回に筆記試験を行う。 課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回目の「振り返りと確認」時に行う。							

科目名		舞台木材道具製作演習				授業形態	演習	単位数	2
教員名		村松 幹男、平井 伸之、福田 恭一							
授業の目的	ねらい	木材を利用した舞台装置や小道具製作について学びます。木材の特徴を知った上で、舞台装置・小道具製作の基礎を学び、電動工具を利用して実際に作品を作成します。							
	到達目標	(1)木材の種類と役割を知っている。 (2)なぐり、鉋、鋸、鑿など基本的な道具の使い方がわかる。 (3)電動道具の基本的な使い方が分かる。							
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 講義の展開について説明する。(村松幹男) 【準備学習の内容】 シラバスを良く読んでおくこと。							A
	第2回	【テーマ】 木材の種類と役割 【計画内容】 木材の種類と役割について学ぶ。(村松幹男) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。							B
	第3回	【テーマ】 金尺、なぐり(金槌)、釘抜き、鋸(のこ)、鉋(かんな)の基本的な使い方① 【計画内容】 金尺、なぐり(金槌)、釘抜き、鋸(のこ)、鉋(かんな)の役割を学び、基本的な使い方を習得する。(平井伸之) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。							B、E
	第4回	【テーマ】 金尺、なぐり(金槌)、釘抜き、鋸(のこ)、鉋(かんな)の基本的な使い方② 【計画内容】 金尺、なぐり(金槌)、釘抜き、鋸(のこ)、鉋(かんな)の役割を学び、基本的な使い方を習得する。(村松幹男) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。							B、E
	第5回	【テーマ】 電動丸鋸、電動ドリル、インパクトの使用法① 【計画内容】 電動丸鋸、電動ドリル、インパクトの使用法について学ぶ。(平井伸之・福田恭一) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。							B、E
	第6回	【テーマ】 電動丸鋸、電動ドリル、インパクトの使用法② 【計画内容】 電動丸鋸、電動ドリル、インパクトの使用法について学ぶ。(村松幹男・福田恭一) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。							B、E
	第7回	【テーマ】 ジグソー、トリマー、サンダーの使用法① 【計画内容】 ジグソー、トリマー、サンダーの使用法について学ぶ。(平井伸之・福田恭一) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。							B、E
	第8回	【テーマ】 ジグソー、トリマー、サンダーの使用法② 【計画内容】 ジグソー、トリマー、サンダーの使用法について学ぶ。(福田恭一) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。							B、E
	第9回	【テーマ】 業務用電動工具の利用① 【計画内容】 業務用の電動工具の使用法について学ぶ。(平井伸之・福田恭一) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。							B、E
	第10回	【テーマ】 業務用電動工具の利用② 【計画内容】 業務用の電動工具の使用法について学ぶ。(福田恭一) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。							B、E
	第11回	【テーマ】 作品製作① 【計画内容】 図面の作成。何を作るかは履修人数等によって変わるので履修生と相談して決める。(村松幹男・福田恭一) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。							B
	第12回	【テーマ】 作品製作② 【計画内容】 作品製作演習①(福田恭一) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。							B、E
	第13回	【テーマ】 作品製作③ 【計画内容】 作品製作演習②(福田恭一) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。							B、E
	第14回	【テーマ】 作品製作④塗料について 【計画内容】 作品製作制作演習③、塗料についての基本的な事柄を学び、実際に着色する。(福田恭一) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。							B、E
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 完成した作品をもとに、振り返りを行う。(平井伸之) 【準備学習の内容】 塗装も含め作品を完成させておくこと。							L
テキスト		プリントを使用します							
参考書		プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分				50%	50%			
	補足				作品提出				
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。							
資格									
その他		電動工具はひとつ間違えると大けがにつながるので、教員の指示に従うようにすること。電動工具を勝手に動かすのは絶対に止めること。また、服や髪の毛などが電動工具内に巻き込まれる等の危険性もある。オリエンテーションで説明するので、必ず出席すること。第15回で完成した作品を基に振り返りとまとめ、講評を行う。							

科目名		舞台映像編集		授業形態	実習	単位数	1
教員名		森井 綾					
授業の目的	ねらい	多岐にわたる映像領域を把握しながら、実際に自分たちで撮影・編集したビデオを一本の作品にまとめるのが狙い。前学期で行ったものよりも、より高度な技術を習得すると同時に、ビデオ作品制作を通じて一つのプロジェクトを完成させるため企画・構成力を養うのがねらい。					
	到達目標	(1)ジャンルを問わず、創作活動を行う際には必ず、どのような作品を作りたいのか自発的に考えなければならないことを学ぶのが目的である。 (2)ほとんどの映像作品は共同制作で作られるため、計画的に作業を行わなければならないことを学ぶ。 (3)個人的に身につける技術の習得はもちろん、創造力・計画性・協調性等の必要性を再認識することが目標となる。					
	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 本時の概要と、ビデオオーサリングの手法について学ぶ。 【準備学習の内容】 前学期の「舞台映像制作入門」で学んだ内容を復習しておく。					A
授業の計画	第2回	【テーマ】 ノンリニア制作を振り返る 【計画内容】 映像作品を鑑賞しながら、ノンリニア制作の特徴や長所を考える。 【準備学習の内容】 前学期の「舞台映像制作入門」で学んだ内容を復習しておく。					A
	第3回	【テーマ】 面白い内容を構成すること 【計画内容】 映像作品の構成について注意しながら普段目している映像作品を鑑賞し再評価する。 【準備学習の内容】 いつも目にする映像作品について振り返っておく。					B
	第4回	【テーマ】 印象に残る構成 【計画内容】 映像作品の構成について注意しながら名作と呼ばれる映像作品を鑑賞し再評価する。 【準備学習の内容】 いつも目にする映像作品について振り返っておく。					B
	第5回	【テーマ】 時間軸やテンポに工夫が見られる映像 【計画内容】 映像作品の時間軸やテンポについて注意しながら名作と呼ばれる映像作品を再評価する。 【準備学習の内容】 自分が好む映像作品についても振り返っておく。					B
	第6回	【テーマ】 ステージと映像の違い 【計画内容】 映像作品とステージとの表現方法や伝わり方などの違いについて考える。 【準備学習の内容】 自分が好む演劇や映像作品について振り返っておく。					B
	第7回	【テーマ】 特殊な表現を使った映像 【計画内容】 特殊効果や、普段目にする事が少ない表現方法、映像の特色を生かした作品について学ぶ。 【準備学習の内容】 自分が好む演劇や特殊効果を使った映像作品について振り返っておく。					B
	第8回	【テーマ】 シンプルな構成の映像 【計画内容】 ライブのステージに近い状況を、あえて映像で表現した作品について学ぶ。 【準備学習の内容】 自分が好む演劇や特殊効果を使った映像作品について振り返っておく。					B
	第9回	【テーマ】 舞台を映像化した作品 【計画内容】 舞台で行われた公演を映像化した作品を見直し、映像化にあたってどんな工夫があるのか学ぶ。 【準備学習の内容】 自分たちが行った芝居や、見たことのある公演について振り返っておく。					B
	第10回	【テーマ】 企画立案 【計画内容】 班ごとに別れ、自分たちが制作する映像について考える。 【準備学習の内容】 これまで学んだ映像制作に必要な考え方や、これまでに見た面白い映像について思い出しておく。					B
	第11回	【テーマ】 本撮影制作・撮影 【計画内容】 班ごとに内容を検討し、映像を撮影・編集する。 【準備学習の内容】 授業時間以外にも面白いアイデアがないか考えておく。					B
	第12回	【テーマ】 編集作業 【計画内容】 班ごとに映像を制作しながら、効果的な編集方法を考える。班ごとにテーマに沿った撮影を開始する。前時まで撮影した映像素材を取り込み、仮の形でまとめてみる。 【準備学習の内容】 効果的な編集を考え、必要な素材はあらかじめ用意しておく。中間段階でまとめられる様に素材を揃えておくこと。					B
	第13回	【テーマ】 スーパーインポーズ・タイトル制作 【計画内容】 班ごとに映像を制作しながら、音響効果、スーパーインポーズなどについて学ぶ。 【準備学習の内容】 足りない素材、付け足したい素材は随時作成をしておく。					B
	第14回	【テーマ】 オーサリングから完成へ 【計画内容】 映像素材を完成させ、それをオーサリングする方法や、チャプターの配置などの構成を学び、作品をDVDにオーサリングしてまとめる。 【準備学習の内容】 撮影が足りない部分、付け足したい部分は随時撮影をしておく。編集作業を終えておく。					B
	第15回	【テーマ】 鑑賞 【計画内容】 それぞれが作成した映像作品を鑑賞し合う。 【準備学習の内容】 制作中の作品を完成させておく。					B
	テキスト		適宜指示します				
参考書		適宜指示します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				62%	38%	
	補足					平時	
質問への対応		講義時に質問を受けます。オフィスアワー等も利用してください。					
資格							
その他		「舞台映像制作入門」で学んだ内容を踏まえた展開になるため、「舞台映像制作入門」を履修していない学生の履修は困難である。ビデオ制作には時間がかかることや、撮影する対象が必要であることなどから、授業時間以外でも制作を行わなければならない場合も多い。					

科目名			舞踊研究		授業形態	実習	単位数	1
教員名			村松 幹男、田 光子、平井 伸之					
授 業 の 目 的	ねらい	アジア圏内に住む一員として、最も身近な日本や韓国などのアジア舞踊を中心に様々な舞踊について学ぶと同時に、実際に体を動かすことにより動作の意味や表現を体得する。 なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、「照明・音響実習Ⅱ」、「特殊効果」、「舞踊研究」で舞台芸術制作の俳優分野、スタッフ分野の基本的な知識・技能の習得を前学期よりも発展させた形でめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。						
		到達目標	(1)日本舞踊の初歩について理解している。 (2)韓国舞踊の初歩について理解している。 (3)韓国舞踊の入門的な舞ができる。					
		第1回	【テーマ】身体表現とコミュニケーション① 【計画内容】自己紹介。身体表現をともなった自己紹介を行う。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。					D、H
授 業 の 画 計	第2回	【テーマ】身体表現とコミュニケーション② 【計画内容】身体表現とは何かについて学ぶ。(村松幹男) 【準備学習の内容】前回の内容を理解しておくこと。					D、H	
	第3回	【テーマ】身体表現とコミュニケーション③ 【計画内容】実際に身体を動かし、自分自身の身体の動きを知る。(村松幹男) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					D、H	
	第4回	【テーマ】日本舞踊① 【計画内容】日本舞踊のお師匠さんに来ていただき、日本舞踊の歴史・所作・小道具について学ぶ。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					D	
	第5回	【テーマ】日本舞踊② 【計画内容】日本舞踊のお師匠さんに来ていただき、ワークショップを体験し、日本舞踊の小作品を踊る。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					D、L	
	第6回	【テーマ】韓国舞踊① 【計画内容】さまざまな韓国舞踊について学ぶ。(村松幹男・田光子) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					A	
	第7回	【テーマ】韓国舞踊② 【計画内容】韓国舞踊の手や足の動き、歩き方などの基本動作について学ぶ。(田光子) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。必要な稽古をすること。					D	
	第8回	【テーマ】韓国舞踊③ 【計画内容】韓国舞踊の基本動作の型や小道具の扱い方について学ぶ。(田光子) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。必要な稽古をすること。					D	
	第9回	【テーマ】韓国舞踊④ 【計画内容】実際に小作品を踊るための基本動作の練習を行う。(田光子) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。必要な稽古をすること。					D、H	
	第10回	【テーマ】韓国舞踊⑤ 【計画内容】実際に小作品を踊るための動作の型と小道具の練習を行う。(田光子) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。必要な稽古をすること。					D、H	
	第11回	【テーマ】韓国舞踊⑥ 【計画内容】実際に小作品を踊るための動作の型と空間の使い方の練習を行う。(田光子) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。必要な稽古をすること。					D、H	
	第12回	【テーマ】韓国舞踊⑦ 【計画内容】実際に小作品を踊るために、韓国舞踊の衣装の着付けを学び、動作の練習を行う。(田光子) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。必要な稽古をすること。					D、H	
	第13回	【テーマ】韓国舞踊⑧ 【計画内容】実際に小作品を踊るための総練習を行う。(田光子) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。必要な稽古をすること。					D、H	
	第14回	【テーマ】小作品公演発表 【計画内容】小作品公演発表を行う。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。必要な稽古をすること。					D、H	
	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】この授業の振り返る。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。必要な稽古をすること。					L	
	テキスト		授業時に説明します					
参 考 書		授業時に説明します						
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			10% レポート	50% 発表	40%		
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他		「照明・音響実習Ⅱ」「特殊効果」「舞踊研究」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完的関係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。 課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行う。 北方圏芸術情報センターにおける被験授業である。						

科目名		身体表現			授業形態	実技	単位数	1
教員名		村松 幹男、田 光子、平井 伸之						
授 業 の 目 的	ね ら い	特定のイメージを設定し、それを身体表現、明かり、音、衣装・メイク、装置美術など様々な表現形態で具現化し、最後に舞台上で発表する。 なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、「照明・音響実習Ⅰ」、「舞台装置入門(舞台デッサンを含む)」、「身体表現」で舞台芸術制作の俳優分野、スタッフ分野の基本的な知識・技能の習得を1年次よりも発展させた形でめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。						
		到達目標 (1)イメージを具体的な身体表現として表現できる。 (2)共同表現のため、他者とのコミュニケーションをとることができる。 (3)共同表現のため、チームの一員として行動できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業の目的、展開について説明する。(村松幹男・田光子・平井伸之) 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。					A	
	第2回	【テーマ】 イメージの設定① 【計画内容】 身体表現化するイメージを設定し、チームに分かれてプランを作成する。(村松幹男) 【準備学習の内容】 前回の内容を理解し、次回授業に必要な準備をしておくこと。					B、H	
	第3回	【テーマ】 イメージの設定② 【計画内容】 身体表現化するイメージを設定し、チームに分かれてプランを作成する。(村松幹男) 【準備学習の内容】 プランを考えておくこと。					B、H	
	第4回	【テーマ】 イメージの身体表現化① 【計画内容】 チームごとに、プランに基づき、それを身体表現として具現化していく。(田光子) 【準備学習の内容】 プランを完成させておくこと。					B、H	
	第5回	【テーマ】 イメージの身体表現化② 【計画内容】 チームごとに、プランに基づき、それを身体表現として具現化していく。(田光子) 【準備学習の内容】 稽古すること。					B、H	
	第6回	【テーマ】 イメージの身体表現化③ 【計画内容】 チームごとに、プランに基づき、それを身体表現として具現化していく。(田光子) 【準備学習の内容】 稽古すること。					B、H	
	第7回	【テーマ】 イメージの総合的具現化① 【計画内容】 チームごとに、明かり、音、衣装・メイク、装置美術などを含めた総合的なプランを作成する。(村松幹男) 【準備学習の内容】 稽古すること。プランの構想を練っておくこと。					B、H	
	第8回	【テーマ】 イメージの総合的具現化② 【計画内容】 チームごとに、明かり、音、衣装・メイク、装置美術などを含めた総合的なプランを作成する。(田光子) 【準備学習の内容】 前回の授業を振り返り、修正プランを考えておくこと。					B、H	
	第9回	【テーマ】 イメージの総合的具現化③ 【計画内容】 チームごとに、明かり、音、衣装・メイク、装置美術などを含めた総合的なプランを作成する。(村松幹男) 【準備学習の内容】 前回の授業を振り返り、修正プランを考えておくこと。					B、H	
	第10回	【テーマ】 発表① 【計画内容】 チームごとに明かりや音の仕込み、衣装・メイク、装置美術などの準備をし、テクニカルリハーサル等の稽古を行う。(平井伸之) 【準備学習の内容】 プランを完成させておくこと。					B、E、H	
	第11回	【テーマ】 発表② 【計画内容】 チームごとに明かりや音の仕込み、衣装・メイク、装置美術などの準備をし、テクニカルリハーサル等の稽古を行う。(村松幹男) 【準備学習の内容】 プランの修正事項等整理しておくこと。					B、E、H	
	第12回	【テーマ】 発表③・講評 【計画内容】 チームごとに発表を行う。終了後互いに講評し合い、修正点について話し合う。(村松幹男・田光子・平井伸之) 【準備学習の内容】 発表できるよう準備をすること。					B、E、H、L	
	第13回	【テーマ】 修正発表① 【計画内容】 前回の講評を踏まえて、明かりや音の仕込み、衣装・メイク、装置美術などの準備をし、テクニカルリハーサル等の稽古を行う。(田光子) 【準備学習の内容】 発表できるよう準備をすること。					B、E、H	
	第14回	【テーマ】 修正発表② 【計画内容】 前回の講評を踏まえて、明かりや音の仕込み、衣装・メイク、装置美術などの準備をし、テクニカルリハーサル等の稽古を行う。(平井伸之) 【準備学習の内容】 発表できるよう準備をすること。					B、E、H	
	第15回	【テーマ】 振り返りと確認 【計画内容】 この授業の振り返りを行う。(村松幹男・田光子・平井伸之) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H、L	
テキスト		講義時に説明します						
参 考 書		講義時に説明します						
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			10% レポート	50% 発表	40%		
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他		「照明・音響実習Ⅰ」、「舞台装置入門(舞台デッサンを含む)」、「身体表現」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完の関係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。 課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行う。 北方圏学術情報センターにおける被験授業である。						

科 目 名		照明・音響実習Ⅰ		授業形態	実習	単 位 数	1
教 員 名		村松 幹男、田 光子、平井 伸之、鈴木 静悟、相馬 寛之、富井 昭次、服部 正巳、百瀬 俊介					
授 業 の 目 的	ねらい	引き続き演劇の照明・音響について学ぶ。 なお、この授業は、札幌門山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、「照明・音響実習Ⅰ」、「舞台装置入門(含む舞台デッサン)」、「身体表現」で舞台芸術制作の俳優分野、スタッフ分野の基本的な知識・技能の習得を1年次よりも発展させた形でめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。					
	到達目標	(1)照明・音響機材を適切に素早く取り扱うことができる。 (2)簡単な仕込み図を読むことができる。 (3)台本の内容に沿った照明・音響プランを考えることができる。 (4)表現としての照明・音響プランを考えることができる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション・5分間ストーリー3 ① 【計画内容】 授業の展開を説明する。また、5分間ストーリーの台本を渡し、チーム分けを行う。 (村松幹男・田光子・平井伸之・富井昭次・鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 「バックステージナレッジ」を読んでおくこと。					A
	第2回	【テーマ】 5分間ストーリー3 ② 【計画内容】 チームごとに5分間ストーリーの稽古を行う。また、照明・音響のプランニングを行う。仕込み図の基本的な描き方をマスターする。(鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回の内容を理解し、必要な準備をすること。					D、H
	第3回	【テーマ】 5分間ストーリー3 ③ 【計画内容】 チームごとに5分間ストーリーの稽古を行う。また、照明・音響のプランニングを行う。仕込み図の基本的な描き方をマスターする。(鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。					D、H
	第4回	【テーマ】 5分間ストーリー3 ④ 【計画内容】 5分間ストーリーの仕込みを行う。その後、チームに分かれてテクニカルリハーサルなどを行う。 (鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。					D、E、H
	第5回	【テーマ】 5分間ストーリー3 ⑤ 【計画内容】 5分間ストーリーの仕込みを行う。その後、チームに分かれてテクニカルリハーサルなどを行う。 (鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。					D、E、H
	第6回	【テーマ】 5分間ストーリー3 ⑥ 【計画内容】 チームごとに5分間ストーリーの発表を行う。その後相互に公表し合う。チームごとに修正点の修正を行う(プランベスで)。(村松幹男・田光子・平井伸之・鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。					D、E、H、L
	第7回	【テーマ】 5分間ストーリー3 ⑦ 【計画内容】 5分間ストーリーの修正発表のための仕込みを行う。その後、チームに分かれてテクニカルリハーサルなどを行う。 (鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。					D、E、H
	第8回	【テーマ】 5分間ストーリー3 ⑧ 【計画内容】 5分間ストーリーの修正発表のための仕込みを行う。その後、チームに分かれてテクニカルリハーサルなどを行う。 (鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。					D、E、H
	第9回	【テーマ】 5分間ストーリー3 ⑨ 【計画内容】 5分間ストーリーの修正発表を行う。その後相互に講評を行い、今回の5分間ストーリーの総括を行う。 (村松幹男・田光子・平井伸之・鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。					D、E、H、L
	第10回	【テーマ】 照明と表現効果① 【計画内容】 照明と表現効果に関する授業を行う。多様な表現の仕方があり、それによって印象が変わることを実感し、より良い表現について考える。(村松幹男・鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。					D、H
	第11回	【テーマ】 照明と表現効果② 【計画内容】 照明と表現効果に関する授業を行う。多様な表現の仕方があり、それによって印象が変わることを実感し、より良い表現について考える。(平井伸之・鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。					D、H
	第12回	【テーマ】 照明と表現効果③ 【計画内容】 照明と表現効果に関する授業を行う。多様な表現の仕方があり、それによって印象が変わることを実感し、より良い表現について考える。(田光子・鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。					D、H
	第13回	【テーマ】 音響と表現効果① 【計画内容】 音響と表現効果に関する授業を行う。多様な表現の仕方があり、それによって印象が変わることを実感し、より良い表現について考える。(鈴木静悟・相馬寛之・富井昭次・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。					D、H
	第14回	【テーマ】 音響と表現効果② 【計画内容】 音響と表現効果に関する授業を行う。多様な表現の仕方があり、それによって印象が変わることを実感し、より良い表現について考える。(村松幹男・鈴木静悟・相馬寛之・富井昭次・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。					D、H
	第15回	【テーマ】 振り返りと確認 【計画内容】 この授業のまとめを行う。(村松幹男・田光子・平井伸之・鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。					L
テ キ ス ト		講義時に説明します					
参 考 書		講義時に説明します					
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分	30%	30%	10%		30%	
	補 足			レポート			
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資 格							
そ の 他		「照明・音響実習Ⅰ」、「舞台装置入門(含む舞台デッサン)」、「身体表現」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完的関係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。 第16回に筆記試験と実技試験を行う。 課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回目の「振り返りと確認」時に行う。 北方圏学術情報センターにおける被験授業である。					

科目名		照明・音響実習Ⅱ		授業形態	実習	単位数	1
教員名		村松 幹男、田 光子、平井 伸之、鈴木 静悟、相馬 寛之、富井 昭次、服部 正巳、百瀬 俊介					
授業の目的	ねらい	「照明・音響実習Ⅰ」の発展・強化を図る。演劇を中心とした照明・音響スタッフに必要な資質を養成する。しかしながら、単なる知識の習得は実際には何の役にも立たない。それらの知識をどのように具現化するか、その実践はある意味では知識の習得以上に重要なことである。知識の習得、実践、新たな知識の習得、実践というサイクルを通して照明・音響スタッフに必要な資質を養成していく。定期公演と連動させる。 なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置つけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、「照明・音響実習Ⅱ」、「特殊効果」、「舞踊研究」で舞台芸術制作の俳優分野、スタッフ分野の基本的な知識・技能の習得を前学期よりも発展させた形でめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。					
	到達目標	(1)照明・音響機材を適切に素早く取り扱うことができ、基本的な理論が身に付いている。 (2)基本的な仕込み図を読むことができ、また、基本的な仕込み図を描くことができる。 (3)実際の公演にむけて、プランニングすることができる。					
授業計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション/照明・音響の理論① 【計画内容】 授業の展開を説明する。また、今まで学んできた照明・音響の理論を振り返り、その定着を図る。 (村松幹男・田光子・平井伸之・鈴木静悟・相馬寛之・富井昭次・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 「バックステージナレッジ」を読んでおくこと。					D、E、H
	第2回	【テーマ】 照明・音響の理論② 【計画内容】 今まで学んできた照明・音響の理論を振り返り、その定着を図る。(鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 「バックステージナレッジ」を読んでおくこと。					D、E、H
	第3回	【テーマ】 定期公演準備① 【計画内容】 短期大学部生にとっては最後の定期公演である。定期公演の台本に関連づけながら今まで学んだ知識・技能を振り返り、確実に自分のものにしていく。(村松幹男・田光子・平井伸之・鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 自分の役割について良く考えておくこと。					D、E、H、L
	第4回	【テーマ】 定期公演準備② 【計画内容】 短期大学部生にとっては最後の定期公演である。定期公演の台本に関連づけながら今まで学んだ知識・技能を振り返り、確実に自分のものにしていく。(鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 準備・稽古をすること。					D、E、H、L
	第5回	【テーマ】 定期公演準備③ 【計画内容】 短期大学部生にとっては最後の定期公演である。定期公演の台本に関連づけながら今まで学んだ知識・技能を振り返り、確実に自分のものにしていく。(鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 準備・稽古をすること。					D、E、H、L
	第6回	【テーマ】 定期公演準備④ 【計画内容】 短期大学部生にとっては最後の定期公演である。定期公演の台本に関連づけながら今まで学んだ知識・技能を振り返り、確実に自分のものにしていく。(鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 準備・稽古をすること。					D、E、H
	第7回	【テーマ】 定期公演準備⑤ 【計画内容】 短期大学部生にとっては最後の定期公演である。定期公演の台本に関連づけながら今まで学んだ知識・技能を振り返り、確実に自分のものにしていく。(村松幹男・鈴木静悟・相馬寛之・富井昭次・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 準備・稽古をすること。					D、E、H
	第8回	【テーマ】 定期公演準備⑥ 【計画内容】 短期大学部生にとっては最後の定期公演である。定期公演の台本に関連づけながら今まで学んだ知識・技能を振り返り、確実に自分のものにしていく。(田光子・平井伸之・鈴木静悟・相馬寛之・富井昭次・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 準備・稽古をすること。					D、E、H、L
	第9回	【テーマ】 5分間ストーリー4 ① 【計画内容】 最後の5分間ストーリーである。2年間の集大成として取り組んでほしい。台本を渡しチーム分けを行う。 (村松幹男・鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 自分の役割について良く考えておくこと。					D、E、H
	第10回	【テーマ】 5分間ストーリー4 ② 【計画内容】 最後の5分間ストーリーである。2年間の集大成として取り組んでほしい。照明・音響プラン、その他のプランを作成する。 (鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 準備・稽古をすること。					D、E、H
	第11回	【テーマ】 5分間ストーリー4 ③ 【計画内容】 最後の5分間ストーリーである。2年間の集大成として取り組んでほしい。照明・音響プラン、その他のプランを作成する。 (鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 準備・稽古をすること。					D、E、H
	第12回	【テーマ】 5分間ストーリー4 ④ 【計画内容】 最後の5分間ストーリーである。2年間の集大成として取り組んでほしい。照明・音響、その他の仕込みを行い、テクニカルリハーサルを行う。(鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 準備・稽古をすること。					D、E、H
	第13回	【テーマ】 5分間ストーリー4 ⑤ 【計画内容】 最後の5分間ストーリーである。2年間の集大成として取り組んでほしい。照明・音響、その他の仕込みを行い、テクニカルリハーサルを行う。(鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 準備・稽古をすること。					D、E、H
	第14回	【テーマ】 5分間ストーリー4 ⑥ 【計画内容】 発表。最後の5分間ストーリーである。2年間の集大成として悔いのない発表を行ってほしい。最後に講評を行う。 (村松幹男・田光子・平井伸之・鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 準備・稽古をすること。					D、E、H、L
	第15回	【テーマ】 振り返りと確認 【計画内容】 授業のまとめをする。(村松幹男・田光子・平井伸之・鈴木静悟・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 今までの内容を理解しておくこと。					L
テキスト		講義時に説明します					
参考書		講義時に説明します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%	30%	10%		30%	
		足		レポート			
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資格							
その他		「照明・音響実習Ⅱ」、「特殊効果」、「舞踊研究」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完的関係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。 第16回に筆記試験と実技試験を行う。 課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行う。 北方圏芸術情報センターにおける被験授業である。					

こども学科 学科専門科目

科目名	器楽応用		授業形態	実技	単位数	1	
教員名	橋本 卓三、石田 敏明、浅沼 恵輔、佐々木 るり子、砂田 眞理子、中川 洋子、前田 有紀、村上 秀子						
授業の目的	ねらい	「器楽Ⅰ・Ⅱ」で習得した技術をさらに高めるために、ソナチネアルバムやソナタアルバムなどの楽曲から任意の曲を学習し発展課題へ進め、表現力と音楽性を深めます。また、保育所・幼稚園・小学校歌唱教材の弾き歌い、伴奏法を学習します。					
	到達目標	(1)楽曲の音楽性と自己の想像力を関連付け、豊かな演奏表現ができる。 (2)弾き歌いに必要なピアノと歌唱の技術を高める。 (3)伴奏付けができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、授業展開および進度表記入について説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読し、進度に合わせて練習しておくこと。				A、E、L	
	第2回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導(楽曲・弾き歌い) 【計画内容】 楽曲および弾き歌いの課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。				E、L	
	第3回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導(楽曲・弾き歌い) 【計画内容】 楽曲および弾き歌いの課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。				E、L	
	第4回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導(楽曲・弾き歌い) 【計画内容】 楽曲および弾き歌いの課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。				E、L	
	第5回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導(楽曲・弾き歌い) 【計画内容】 楽曲および弾き歌いの課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。				E、L	
	第6回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導(楽曲・弾き歌い) 【計画内容】 楽曲および弾き歌いの課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。				E、L	
	第7回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導(楽曲・弾き歌い) 【計画内容】 楽曲および弾き歌いの課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。				E、L	
	第8回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導(楽曲・弾き歌い) 【計画内容】 楽曲および弾き歌いの課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。				E、L	
	第9回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導(楽曲・弾き歌い) 【計画内容】 楽曲および弾き歌いの課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。				E、L	
	第10回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導(楽曲・弾き歌い) 【計画内容】 楽曲および弾き歌いの課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。				E、L	
	第11回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導(楽曲・弾き歌い) 【計画内容】 楽曲および弾き歌いの課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。				E、L	
	第12回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導(楽曲・弾き歌い) 【計画内容】 楽曲および弾き歌いの課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。				E、L	
	第13回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導(楽曲・弾き歌い) 【計画内容】 楽曲および弾き歌いの課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。				E、L	
	第14回	【テーマ】課題曲演奏発表準備 【計画内容】 指定された課題曲の発表を前に各自が取り組んできた楽曲と弾き歌いの演奏を確認します。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。				E、L	
	第15回	【テーマ】課題曲演奏発表のまとめと振り返り 【計画内容】 指定された課題曲を演奏し、これまでの練習成果を確認します。また、進度表のまとめと振り返りを行います。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。				E、L	
テキスト	全音楽譜出版社出版部編、2018年、『ソナチネアルバム1・2』、全音楽譜出版社 全音楽譜出版社出版部編、2018年、『ソナタアルバム1・2』、全音楽譜出版社 松山祐士編、2018年、『こどものうた大百科』、ドレミ楽譜出版社、9784285142037						
参考書	初等科音楽教育研究会編、2018年、『最新初等科音楽教育法 改訂版』、音楽之友社 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			10%		10%	80%
	補足						発表
質問への対応	初回講義時に説明します。						
資格	〔乙〕幼・小2種_必修、保育士_必修						
その他	各自の練習を怠らないこと。 第15回で発表の後、学んだ内容を振り返りながら講評をします。						

科目名		こどものファッション			授業形態	演習	単位数	2
教員名		大信田 静子						
授業の 目的	ねらい	こども服は耐久性、機能性、着脱の容易さなどを考慮してデザインされています。その構成について理解を深め、こども服への着装の知識及びスキルを高めていきます。更に現代のこどもファッション産業への理解を深めることを目的とします。						
	到達目標	(1)こどもの発達段階における衣服設計を理解する。 (2)こども服の機能と管理・衛生・保管について理解する。 (3)こどもの好奇心をそそるようなデザイン力を身につける。						
授業の 計画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開について説明します。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】こども服の歴史と機能 【計画内容】こども服の歴史を理解し、機能について学びます。 【準備学習の内容】こども服にはどのようなものがあるのか調べておくこと。						A
	第3回	【テーマ】こども服の役割 【計画内容】こども服の役割とデザインについて学びます。 【準備学習の内容】プリントを確認しておくこと。						A
	第4回	【テーマ】こども服の管理・衛生 【計画内容】こども服の管理・衛生について学びます。 【準備学習の内容】プリントを確認しておくこと。						A
	第5回	【テーマ】こども服産業の現状 【計画内容】こども服のファッション産業の現状を理解し、今後の方向性について意見交換をしていきます。 【準備学習の内容】プリントを確認しておくこと。						A、H
	第6回	【テーマ】こども服の製作 ① 【計画内容】前回の意見交換を基に、こども服の機能を理解し成長を考慮に入れ、素材と装飾を活かす事を中心にデザインを考えていきます。 【準備学習の内容】こども服のデザインを考えてくること。						B
	第7回	【テーマ】こども服の製作 ② 【計画内容】素材や装飾、機能性を活用したデザインを考え、こどもボディに合わせていきます。 【準備学習の内容】こども服のデザインを考えてくること。						B
	第8回	【テーマ】こども服の製作 ③ 【計画内容】デザインに合わせ裁断・縫製をしていきます。 【準備学習の内容】デザインの確認をしておくこと。						B
	第9回	【テーマ】こども服の製作 ④ 【計画内容】デザインに合わせ裁断・縫製をしていきます。素材による縫製の違いについて学んでいきます。 【準備学習の内容】デザインの確認をしておくこと。						B
	第10回	【テーマ】こども服の製作 ⑤ 【計画内容】デザインに合わせ裁断・縫製をしていきます。装飾、小物、ポケットなど遊び心について学んでいきます。 【準備学習の内容】デザインの確認をしておくこと。						B
	第11回	【テーマ】こども服の製作 ⑥ 【計画内容】付随する小物・装飾(ポケットやバック、アップリケなど)の縫製について学んでいきます。 【準備学習の内容】デザインの確認をしておくこと。						B
	第12回	【テーマ】こども服の製作 ⑦ 【計画内容】付随する小物・装飾(ポケットやバック、アップリケなど)の創意工夫を考えていきます。 【準備学習の内容】デザインの確認をしておくこと。						B
	第13回	【テーマ】こども服の製作 ⑧ 【計画内容】各自のデザインを確認しながら、トータルバランスで見えていきます。 【準備学習の内容】デザインの確認をしておくこと。						B
	第14回	【テーマ】こども服の作品 仕上げについて 【計画内容】各自のデザインを確認しながら、トータルバランスで見えていきます。 【準備学習の内容】デザインの確認をしておくこと。						B
	第15回	【テーマ】こども服の作品の提出及び発表 【計画内容】各自の作品のプレゼンテーションを通して、他者の作品についても理解を深めていきます。 【準備学習の内容】作品の提出とプレゼンテーションについてまとめておくこと。						B、F
テキスト		プリントを使用します						
参考書		講義時に説明します						
成績評価 の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	30%			30%	40%		
	補足	講義・理解度			作品への創意工夫	意欲・態度		
質問への対応		E-Mail:shisieva@hokusho-u.ac.jp						
資格		[こ]保育士_選択						
その他		こども服の機能を理解し、夢のある服を製作していきましょう。 第16回に講義分の確認テストを行います。						

科 目 名		こどもと野外活動		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		太田 俊一					
授 業 の 目 的	ねらい	本授業はこども学科2年の後学期に設定しており、受講時期には幼稚園、保育園もしくは小学校に就職が決まっていたり、もしくは就職活動中である。このように職に就く直前でもあり、教職や保育者を目指す学生にとっては、北海道という大自然の中で生きる力を、より高めておく必要がある。本授業のねらいは、将来受け持つ可能性がある北海道の子どもたちに、野外での教育的活動を通して自然体験を深め、生きる力を養成することにある。現場の子どもたちは日常生活や遊びを通して成長していくことから、この授業では、子どもの発育発達・日常生活に不可欠な自然とのかかわる力を受講生に身につけさせることをねらっている。具体的な活動としては、大学農園での活動や冬期間の子どもの遊び、野幌森林公園でのスノーハイキング、基礎的なクロスカントリースキー技術などを習得する。					
	到達目標	(1)自然の中で遊ぶことの意義を理解できる。 (2)自然の中での遊びを通して、五感を育てることの大切さが理解できる。 (3)北海道の文化に関心を持ち、生活の中で遊びを積極的に活用できる態度を身につける。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション～野外活動の意義と健康安全～ 【計画内容】 15回の授業の流れの説明し、野外活動の教育的意義、安全管理・ケガと疾病の救急法、地図や気象を読むことを学習する。 【準備学習の内容】 自然の中では何を感じることができるか常に想像しておくこと。					A、B、H、K
	第2回	【テーマ】 大学農園で野菜の収穫を行い、安全に調理しよう 【計画内容】 大学農園での収穫活動を通して、生きていること・完結できること・成功すること・多くの能力を発揮できること・活動範囲が広がること・自分にもできること・文化や土に触れる喜びがあることなどを学習する。また、調理活動を通して人間関係づくりや収穫を祝うことを学習する。 【準備学習の内容】 自然の中では何を感じることができるか常に想像しておくこと。					A、D、E、H
	第3回	【テーマ】 大学農園で野菜の収穫を行い、安全に調理し会食を行おう。 【計画内容】 大学農園での収穫活動を通して、生きていること・完結できること・成功すること・多くの能力を発揮できること・活動範囲が広がること・自分にもできること・文化や土に触れる喜びがあることなどを学習する。また調理活動を通して、人間関係づくりや体力づくりやストレス解消などができることを学習する。 【準備学習の内容】 自然の中では何を感じることができるか常に想像しておくこと。					A、D、E、H
	第4回	【テーマ】 自然の中にあるものを使って、クラフト作りをしよう 【計画内容】 野幌森林公園「自然ふれあい交流館」で、講師の方から木の実や小枝を使ったクラフト作りを学び、安全に自分の作品を作成する。 【準備学習の内容】 自然の中では何を感じることができるか常に想像しておくこと。					A、D、E、H
	第5回	【テーマ】 自然の中にあるものを使って、クラフト作りをし、お互いの作品を紹介し合おう。 【計画内容】 野幌森林公園「自然ふれあい交流館」で、講師の方から木の実や小枝を使ったクラフト作りを学び、安全に自分の作品を作成する。 【準備学習の内容】 自然の中では何を感じることができるか常に想像しておくこと。					A、D、E、H
	第6回	【テーマ】 雪中カルタ大会用の大きなカルタを作ろう。 【計画内容】 自分で読み札を考え、大きな画用紙に關係する絵を描いてカルタを作る。たくさんできあがったら、広い雪原にまいて、雪中カルタ大会を行う。 【準備学習の内容】 自然の中では何を感じることができるか常に想像しておくこと。					A、D、E、H
	第7回	【テーマ】 大きなカルタを作って、雪中カルタ大会をしよう。 【計画内容】 自分で読み札を考え、大きな画用紙に關係する絵を描いてカルタを作る。たくさんできあがったら、広い雪原にまいて、雪中カルタ大会を行う。 【準備学習の内容】 自然の中では何を感じることができるか常に想像しておくこと。					A、D、E、H
	第8回	【テーマ】 紙を折ったり切ったりして、紙で飛ぶものを作ろう。 【計画内容】 ハサミや接着剤を上手に使い、手やゴムのカタバルトで飛ばす紙飛行機を作る。飛ばしながら改良を加え、最後には全員で飛ばしっこ大会を行う。 【準備学習の内容】 自然の中では何を感じることができるか常に想像しておくこと。					A、D、E、H
	第9回	【テーマ】 紙飛行機を作って、飛ばしっこ大会をしよう。 【計画内容】 ハサミや接着剤を上手に使い、手やゴムのカタバルトで飛ばす紙飛行機を作る。飛ばしながら改良を加え、最後には全員で飛ばしっこ大会を行う。 【準備学習の内容】 自然の中では何を感じることができるか常に想像しておくこと。					A、D、E、H
	第10回	【テーマ】 収穫後の稲わらを使って、わら細工をしよう。 【計画内容】 収穫後の稲わらを細工しやすいように濡らしたり、柔らかくしたりして、自分でしめ縄や飾り物のわらじを作る。 【準備学習の内容】 自然の中では何を感じることができるか常に想像しておくこと。					A、D、E、H
	第11回	【テーマ】 わら細工で正月飾りを作ろう。 【計画内容】 収穫後の稲わらを細工しやすいように濡らしたり、柔らかくしたりして、自分でしめ縄や飾り物のわらじを作る。 【準備学習の内容】 自然の中では何を感じることができるか常に想像しておくこと。					A、D、E、H
	第12回	【テーマ】 冬の野外活動「クロスカントリースキーを使って雪原を歩こう」 【計画内容】 クロスカントリースキーの基本技術である転び方・起き方・方向転換、ストックの持ち方やスキーの着脱について学習する。また、滑走技術として交互滑走、推進滑走などを習得する。真冬の森林をスノーシューをはいて散策する。積雪期でも活動している動植物を見つけない行く。 【準備学習の内容】 自然の中では何を感じることができるか常に想像しておくこと。					A、D、E、M
	第13回	【テーマ】 冬の野外活動「スノーシューを使って林の中を歩こう」 【計画内容】 クロスカントリースキーの基本技術である転び方・起き方・方向転換、ストックの持ち方やスキーの着脱について学習する。また、滑走技術として交互滑走、推進滑走などを習得する。真冬の森林をスノーシューをはいて散策する。積雪期でも活動している動植物を見つけない行く。 【準備学習の内容】 自然の中では何を感じることができるか常に想像しておくこと。					A、D、E、M
	第14回	【テーマ】 冬の野外活動「イグルーを作って遊ぼう」 【計画内容】 雪を切り出してたくさんブロックを作り、それを積み上げて中に入ることができるイグルーを作成する。雪の斜面を活用しているいろいろなそりを作って滑る 【準備学習の内容】 自然の中では何を感じることができるか常に想像しておくこと。					A、D、E、M
	第15回	【テーマ】 冬の野外活動「雪のスロープを作ってそり滑りをしよう」 【計画内容】 雪を切り出してたくさんブロックを作り、それを積み上げて中に入ることができるイグルーを作成する。雪の斜面を活用しているいろいろなそりを作って滑る。15回の授業を振り返る。 【準備学習の内容】 前回までの授業を振り返っておくこと。					A、D、E、M
テ キ ス ト		文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』、東洋館出版社、4491034605 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、4577814471 厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』					
参 考 書		講義時に説明します 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』					
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分		40%	40%		20%	
補 足							
質問への対応		E-Mail: ohta3037@hokusho-u.ac.jp					
資 格		〔こ〕幼2種・選択、保育士・選択					
そ の 他		冬季の野外活動に必要な服装や持ち物(帽子、手袋、タオル、濡れてもよい服装、長靴、ウインドブレーカー、雨具、リュックサック、飲み物など)を用意してください。スキー用具やスノーシュー等一式は大学で準備しています。ウインドブレーカー、帽子、手袋等は各自で準備してください。					

科 目 名		赤ちゃん学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		中島 啓子						
授 業 の 目 的	ねらい	胎児の成長過程は、生命の奇跡の連続です。赤ちゃんは誕生してから驚くほどの速さで身体が成長がみられます。赤ちゃんの知覚や認知の実態、運動生理の仕組み、社会性、望ましい家庭や保育環境について学びます。						
	到達目標	(1)胎児の成長過程について理解する。 (2)赤ちゃんが体感する世界について理解する。 (3)赤ちゃんの認知的発達について理解する。 (4)赤ちゃんの社会性の発達について理解する。 (5)赤ちゃんを取り巻く問題について理解する。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業内容を紹介し、授業概要について説明する。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。						A
	第2回	【テーマ】命の誕生物語 【計画内容】赤ちゃんが誕生するまでの胎児の成長過程について学びます。 【準備学習の内容】前回の授業内容を復習しておくこと。						A、H、L
	第3回	【テーマ】赤ちゃんが体感する世界 【計画内容】赤ちゃんの知覚の発達、感覚と感覚統合について学びます。 【準備学習の内容】前回の授業内容を復習しておくこと。						A、H、L
	第4回	【テーマ】赤ちゃんが見ている「ヒト」の世界 【計画内容】赤ちゃんが「ヒト」の顔を認識するメカニズムについて学びます。 【準備学習の内容】前回の授業内容を復習しておくこと。						A、H、L
	第5回	【テーマ】赤ちゃんが見ている「モノ」の世界 【計画内容】赤ちゃんの「ヒト」と「モノ」への反応の違いや「モノ」の理解について学びます。 【準備学習の内容】前回の授業内容を復習しておくこと。						A、H、L
	第6回	【テーマ】赤ちゃんの眠り 【計画内容】赤ちゃんの眠りの働きや様子を通して、睡眠のメカニズムについて学びます。 【準備学習の内容】前回の授業内容を復習しておくこと。						A、H、L
	第7回	【テーマ】赤ちゃんの体と運動の発達 【計画内容】胎児の運動と誕生後の運動発達と急激な成長について学びます。 【準備学習の内容】前回の授業内容を復習しておくこと。						A、H、L
	第8回	【テーマ】赤ちゃんの学び 【計画内容】赤ちゃんの学びについて、学習と記憶という観点から学びます。 【準備学習の内容】前回の授業内容を復習しておくこと。						A、H、L
	第9回	【テーマ】赤ちゃんの感情と社会性の発達 【計画内容】赤ちゃんの感情表出や理解の発達、他者との関わり方の発達、心の発達について学びます。 【準備学習の内容】前回の授業内容を復習しておくこと。						A、H、L
	第10回	【テーマ】親子関係と赤ちゃんの社会性 【計画内容】親子関係と赤ちゃんの発達の関連性を考え、社会性の発達について学びます。 【準備学習の内容】前回の授業内容を復習しておくこと。						A、H、L
	第11回	【テーマ】赤ちゃんの言葉 【計画内容】赤ちゃんの言葉の発達過程を通して、語彙を獲得するメカニズム、養育者の働きかけについて学びます。 【準備学習の内容】前回の授業内容を復習しておくこと。						A、H、L
	第12回	【テーマ】赤ちゃんと環境(住まい・メディア) 【計画内容】赤ちゃんにとっての快適な住居環境やメディア環境について学びます。生活スタイルの変化により、赤ちゃんに対する映像メディアの影響と接し方について学びます。 【準備学習の内容】前回の授業内容を復習しておくこと。						A、I、G、L
	第13回	【テーマ】赤ちゃんと保育 【計画内容】赤ちゃんにとっての保育所の環境や役割や保育士の関わりについて学びます。 【準備学習の内容】前回の授業内容を復習しておくこと。						A、H、L
	第14回	【テーマ】赤ちゃんと発達障害 【計画内容】発達障害をもった赤ちゃんの障がいの特徴と成育環境について学びます。 【準備学習の内容】前回の授業内容を復習しておくこと。						A、G、L
	第15回	【テーマ】赤ちゃん学のまとめ 【計画内容】授業の内容を振り返り、まとめます。 【準備学習の内容】前回授業内容の振り返りをするので、復習しておくこと。						A、G、L
テキスト		プリントを使用する						
参 考 書		小西行郎、2008年、『赤ちゃんのからだBOOK』、海竜社、9784759310115 森岡周、2016年、『発達を学ぶ』、協同医書出版社、9784763910776 小西行郎、2012年、『赤ちゃん学を学ぶ人のために』、世界思想社、9784790715702						
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			60% 課題・ノート		20% 受講シート	20% プリント	
質問への対応		初回講義で説明します。						
資 格		[こ]保育士_選択						
そ の 他								

科 目 名		総合実践演習				授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		橋本 卓三、石田 敏明							
授 業 の 目 的	ねらい	これまで学んできた保育に関するさまざまな知識や技能の総まとめをする科目に位置づきます。担当教員のもと設定したテーマに基づき、個人またはグループによる研究と発表を通して、探究心、企画力、協働する力を養います。保育者に求められる専門性を総合的に涵養し、資質能力の向上を目指します。							
	到達目標	(1)保育内容に関する知識や技能、保育を行う上での基本的な表現力を高める。 (2)多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力を養う。 (3)設定したテーマに基づいた研究発表を行う中で、企画力、運営力を高める。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業の内容を紹介し、授業展開を説明します。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。						A、L	
	第2回	【テーマ】 研究テーマ設定 【計画内容】 指導教員のもと研究テーマを設定し、研究計画を立てます。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 研究テーマを考えておくこと。						H、L	
	第3回	【テーマ】 研究と実践1 【計画内容】 研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題に取り組んでおくこと。						B、H、L	
	第4回	【テーマ】 研究と実践2 【計画内容】 研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題に取り組んでおくこと。						B、H、L	
	第5回	【テーマ】 研究と実践3 【計画内容】 研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題に取り組んでおくこと。						B、H、L	
	第6回	【テーマ】 研究と実践4 【計画内容】 研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題に取り組んでおくこと。						B、H、L	
	第7回	【テーマ】 研究と実践5 【計画内容】 研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題に取り組んでおくこと。						B、H、L	
	第8回	【テーマ】 研究と実践6 【計画内容】 研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題に取り組んでおくこと。						B、H、L	
	第9回	【テーマ】 研究と実践7 【計画内容】 研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題に取り組んでおくこと。						B、H、L	
	第10回	【テーマ】 研究と実践8 【計画内容】 研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題に取り組んでおくこと。						B、H、L	
	第11回	【テーマ】 研究と実践9 【計画内容】 研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題に取り組んでおくこと。						B、H、L	
	第12回	【テーマ】 研究と実践10 【計画内容】 研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題に取り組んでおくこと。						B、H、L	
	第13回	【テーマ】 研究発表会の企画1 【計画内容】 研究発表会の企画とコーディネートについて学びます。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 これまでの研究をまとめ、研究発表会の準備ができるようにしておくこと。						A、L	
	第14回	【テーマ】 研究発表会の企画2 【計画内容】 研究発表会の企画とコーディネートをします。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 どのような研究発表会を開催したいか企画を考えておくこと。						H、L	
	第15回	【テーマ】 研究発表と振り返り 【計画内容】 これまで研究・実践してきたものを発表し、振り返りとまとめを行います。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 研究発表ができる準備をしておくこと。						F、L	
テキスト		講義時に説明します							
参 考 書		講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			30%		30%	40%		
	補足						発表		
質問への対応		初回講義時に説明します。							
資 格		[こ]保育士_選択							
そ の 他		第15回で、学んだ内容や課題について、振り返りながら講評をします。							

科 目 名		幼児身体教育学			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		長尾 明也						
授 業 の 目 的	ねらい	子どもの運動能力や体力の低下という今日的な課題を踏まえ、子どもの発育・発達に応じた運動遊びの指導について学ぶ。運動遊びを実際に体験しながら、年齢等に応じた運動遊びや子どもへのかかわりについて理解することを目指す。						
	到達目標	(1)幼児期における運動機能の発達の特徴を捉えることができる。 (2)年齢や運動経験差に応じた運動遊びの指導方法について理解できる。 (3)運動遊び指導時における子どもへのかかわりのポイントについて理解できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】到達目標や授業展開、評価などについて説明して授業の全体について概観する。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと						A
	第2回	【テーマ】幼児期のからだの発達と今日的課題 【計画内容】幼児期における調和的な発育・発達の大切さや健康を取り巻く諸問題について学習する。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。						A、K
	第3回	【テーマ】幼児期における運動遊びの意義 【計画内容】社会性や脳の発達など、幼児期における運動遊びの意義について学習する。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。						A、K
	第4回	【テーマ】幼児期における運動指導の留意点 【計画内容】幼児期に身につけさせたい「走る」「飛ぶ」「投げる」「蹴る」などの基本的動作を獲得させる上での留意点について学習する。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。						A、K
	第5回	【テーマ】運動遊び中の事故事例と対策 【計画内容】幼児期におけるけがや事故の原因と対策について学習する。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。						A、K
	第6回	【テーマ】運動遊び指導実践① 【計画内容】朝運動プログラム(江別市教育委員会)に参加し、運動能力習得の適時期や発達に応じた運動学習、子どもとのコミュニケーションの取り方などについて学習する。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。						D、L
	第7回	【テーマ】運動遊び指導実践② 【計画内容】朝運動プログラム(江別市教育委員会)に参加し、運動能力習得の適時期や発達に応じた運動学習、子どもとのコミュニケーションの取り方などについて学習する。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。v						D、L
	第8回	【テーマ】運動遊びの工夫と実践① 【計画内容】忍者の修行など、幼児が楽しく体を動かして遊ぶ中で多様な動きを獲得できるような運動遊びについて学習する。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。						B、K
	第9回	【テーマ】運動遊びの工夫と実践② 【計画内容】忍者の修行など、幼児が楽しく体を動かして遊ぶ中で多様な動きを獲得できるような運動遊びについて学習する。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。						B、K
	第10回	【テーマ】運動遊びの工夫と実践③ 【計画内容】サーキット遊びなど、自発的に体を動かしたくなるような環境構成の工夫について学習する。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。						B、K
	第11回	【テーマ】運動遊びの工夫と実践④ 【計画内容】サーキット遊びなど、自発的に体を動かしたくなるような環境構成の工夫について学習する。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。						B、K
	第12回	【テーマ】運動遊びの工夫と実践⑤ 【計画内容】パラバルーンやリズム体操など、発達段階に応じた表現活動を創作する。 【準備学習の内容】創作している表現活動について振り返り、改善点を明確にしておく。						E、L
	第13回	【テーマ】運動遊びの工夫と実践⑥ 【計画内容】パラバルーンやリズム体操など、発達段階に応じた表現活動を創作する。 【準備学習の内容】創作している表現活動について振り返り、改善点を明確にしておく。						E、L
	第14回	【テーマ】運動遊びの工夫と実践⑦ 【計画内容】パラバルーンやリズム体操など、発達段階に応じた表現活動を創作する。 【準備学習の内容】創作している表現活動について振り返り、改善点を明確にしておく。						E、L
	第15回	【テーマ】授業の振り返りと総まとめ 【計画内容】これまでの授業で学んだ運動遊びに関わる知識をまとめる。 【準備学習の内容】これまでの授業で学習したことを、まとめておくこと。						A、L
テキスト		プリントを使用します						
参 考 書		文部科学省、2012年、『幼児期運動指針』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足		35%	35%		30%		
質問への対応		初回講義時に、具体的に説明します。						
資 格		[乙]保育士_選択						
そ の 他								

科 目 名		応用教育セミナーⅠ			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		担当教員						
授 業 の 目 的	ねらい	保育・教育者を目指すにあたり、実習・就職活動の心構えに必要な準備とマナーについて学びます。また、芸術鑑賞会や行事の企画・運営などを通し、保育・教育者に必要な創造力と感性を豊かにします。						
	到達目標	(1)保育・教育者に必要なマナーを身につけることができる。 (2)保育・教育者に必要な創造力と感性を豊かにすることができる。 (3)就職活動の実際と必要な準備について理解する。						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義内容と講義展開について説明します。(全教員) 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。						A、L
授 業 の 計 画	第2回	【テーマ】就職ガイダンス 【計画内容】就職活動の進め方を確認し、意識を高めます。(全教員) 【準備学習の内容】就職活動に何が必要かを考えておくこと。						B、L
	第3回	【テーマ】1年生を迎える会1 【計画内容】1年生を迎える会を企画し、準備・練習します。(全教員) 【準備学習の内容】企画案を構想し、準備・練習に必要なものを考えておくこと。						B、E、L
	第4回	【テーマ】1年生を迎える会2 【計画内容】1年生を迎える会を開催します。(全教員) 【準備学習の内容】事前準備をしっかりしておくこと。						B、E、L
	第5回	【テーマ】芸術鑑賞会1 【計画内容】音楽会(クラシック音楽、ミュージカルなど)を鑑賞します。(全教員) 【準備学習の内容】演目について事前に調べ、日時・会場を確認しておくこと。						B、L
	第6回	【テーマ】芸術鑑賞会2 【計画内容】音楽会(クラシック音楽、ミュージカルなど)を鑑賞します。(全教員) 【準備学習の内容】演目について事前に調べ、日時・会場を確認しておくこと。						B、L
	第7回	【テーマ】マナー講習会 【計画内容】実習・就職活動に向け、基本的な立ち居振る舞いなど、社会人として必要なマナーについて学びます。(全教員) 【準備学習の内容】身だしなみや挨拶について考えておくこと。スーツを準備しておくこと。						B、L
	第8回	【テーマ】保育・教育専門職についてⅠ-1 【計画内容】進路となる職種と採用試験について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】配付されたプリントを確認し、持参すること。						B、L
	第9回	【テーマ】保育・教育専門職についてⅠ-2 【計画内容】就職活動の実際について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】配付されたプリントを確認し、持参すること。						B、L
	第10回	【テーマ】保育・教育専門職についてⅠ-3 【計画内容】履歴書の書き方について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】配付されたプリントを確認し、課題に取り組める準備をしておくこと。						B、L
	第11回	【テーマ】保育・教育専門職についてⅠ-4 【計画内容】履歴書の書き方について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】配付されたプリントを確認し、課題に取り組める準備をしておくこと。						B、L
	第12回	【テーマ】保育・教育専門職についてⅠ-5 【計画内容】履修カルテを用い現時点での履修状況を確認し、今後の課題について考えます。(全教員) 【準備学習の内容】配付されたプリントを確認し、課題に取り組める準備をしておくこと。						B、L
	第13回	【テーマ】学びのまとめ資料作成1 【計画内容】こども学科でのこれまでの学びを冊子にまとめます。(全教員) 【準備学習の内容】必要なプリントなどを準備しておくこと。						B、L
	第14回	【テーマ】学びのまとめ資料作成2 【計画内容】こども学科でのこれまでの学びを冊子にまとめます。(全教員) 【準備学習の内容】必要なプリントなどを準備しておくこと。						B、L
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの学習を振り返り、自分の課題をまとめます。(全教員) 【準備学習の内容】これまで学んだことをまとめておくこと。						B、L
	テキスト		プリントを使用します					
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			50%		50%		
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他		学科推奨科目。講義内容に変更がある場合は、事前に連絡します。						

科目名		応用教育セミナーⅡ		授業形態	講義	単位数	2
教員名		担当教員					
授業の目的	ねらい	保育・教育者を目指すにあたり、就職活動や専門職に必要な文章表現・一般教養・専門分野の知識と技能を高めます。また、希望する就職先の事前調査と自己の分析をし、面接練習を重ね、就職活動に向けた準備ができるようにします。また、2年間の学びの振り返りを冊子にまとめます。					
	到達目標	(1)保育・教育者に必要な知識と技能を高めることができる。 (2)保育・教育者に必要な創造力と感性を豊かにすることができる。 (3)自己分析を行い、就職活動に向けた準備をすることができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義内容と講義展開について説明します。(全教員) 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。					A、L
	第2回	【テーマ】保育・教育専門職についてⅡ-1 【計画内容】保育・教育者の職務について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】配付されたプリントを確認し、課題に取り組める準備をしておくこと。					B、L
	第3回	【テーマ】保育・教育専門職についてⅡ-2 【計画内容】専門職として必要な文章表現について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】配付されたプリントを確認し、課題に取り組める準備をしておくこと。					B、L
	第4回	【テーマ】保育・教育専門職についてⅡ-3 【計画内容】専門職として必要な文章表現について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】配付されたプリントを確認し、課題に取り組める準備をしておくこと。					B、L
	第5回	【テーマ】保育・教育専門職についてⅡ-4 【計画内容】専門職として必要な教養分野について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】配付されたプリントを確認し、課題に取り組める準備をしておくこと。					B、L
	第6回	【テーマ】保育・教育専門職についてⅡ-5 【計画内容】就職活動に必要な専門分野の知識について確認します。(全教員) 【準備学習の内容】配付されたプリントを確認し、課題に取り組める準備をしておくこと。					B、L
	第7回	【テーマ】面接指導1 【計画内容】就職活動に向け、面接の基本を学び、実践練習します。(全教員) 【準備学習の内容】配付されたプリントを確認し、面接練習に必要な準備をしておくこと。					B、L
	第8回	【テーマ】面接指導2 【計画内容】就職活動に向け、面接の基本を学び、実践練習します。(全教員) 【準備学習の内容】配付されたプリントを確認し、面接練習に必要な準備をしておくこと。					B、L
	第9回	【テーマ】面接指導3 【計画内容】就職活動に向け、面接の基本を学び、実践練習します。(全教員) 【準備学習の内容】配付されたプリントを確認し、面接練習に必要な準備をしておくこと。					B、L
	第10回	【テーマ】実習報告会 【計画内容】保育実習・教育実習で学んだことを発表する報告会を開催します。(全教員) 【準備学習の内容】発表の準備をしておくこと。					F、L
	第11回	【テーマ】学びのまとめ資料作成1 【計画内容】こども学科でのこれまでの学びを冊子にまとめます。(全教員) 【準備学習の内容】必要なプリントなどを準備しておくこと。					B、L
	第12回	【テーマ】学びのまとめ資料作成2 【計画内容】こども学科でのこれまでの学びを冊子にまとめます。(全教員) 【準備学習の内容】必要なプリントなどを準備しておくこと。					B、L
	第13回	【テーマ】学びのまとめ資料作成3 【計画内容】こども学科でのこれまでの学びを冊子にまとめます。(全教員) 【準備学習の内容】必要なプリントなどを準備しておくこと。					B、L
	第14回	【テーマ】卒業に向けて 【計画内容】こども学科での学習の振り返りと卒業関係書類を作成します。(全教員) 【準備学習の内容】配付されたプリントを確認し、必要な準備をしておくこと。					B、L
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの学習を振り返り、自分の課題をまとめます。(全教員) 【準備学習の内容】これまで学んだことをまとめておくこと。					B、L
テキスト		プリントを使用します					
参考書		講義時に説明します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足			50%		50%	
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資格							
その他		学科推奨科目。講義内容に変更がある場合は、事前に連絡します。					

科 目 名		相談援助			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		中島 啓子						
授 業 の 目 的	ねらい	保育士や教員を目指す時に、少子高齢化の現状や社会的背景を踏まえ、ソーシャルワークの実践現場に必要な価値、知識について理解します。子どもに関わる上で、子どもへの支援、保護者対応や地域の子育て支援など多様化する役割について理解し、保育士の専門性の向上を目指します。						
	到達目標	(1)相談援助の概要について理解する。 (2)相談援助の方法と技術について理解する。 (3)相談援助の具体的展開について理解する。 (4)保育におけるソーシャルワークの応用と事例分析を通して対象への理解を深める。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の内容を紹介し、保育や教育の現場と「相談援助」の関係を考え、授業概要について説明します。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでおくこと。					A	
	第2回	【テーマ】相談援助の理論と意義 【計画内容】相談援助の成り立ちや理論発展の概略を知り、保育士による相談の意義について学び、実践を取り上げます。 【準備学習の内容】前回の学習内容を確認するので復習しておくこと。					A、L	
	第3回	【テーマ】相談援助の機能 【計画内容】ソーシャルワークと相談援助の関係、ソーシャルワークの機能について学びます。 【準備学習の内容】前回の学習内容の理解の確認をするので復習しておくこと。					A、H、L	
	第4回	【テーマ】相談援助とソーシャルワーク 【計画内容】ソーシャルワークの歴史やソーシャルワーカーの専門性について学びます。 【準備学習の内容】前回の学習内容の理解の確認をするので復習しておくこと。					A、H、L	
	第5回	【テーマ】保育とソーシャルワーク 【計画内容】保育の現場におけるソーシャルワークの現状について考え、保育とソーシャルワークの関係について学びます。 【準備学習の内容】前回の学習内容の理解の確認をするので復習しておくこと。					A、H、J、L	
	第6回	【テーマ】相談援助の対象 【計画内容】相談援助の対象である、子ども、保護者、地域等に応じた関わりについて学びます。 【準備学習の内容】前回の学習内容の理解の確認をするので復習しておくこと。					A、L、N	
	第7回	【テーマ】相談援助の過程 【計画内容】相談援助の展開過程を通して、支援計画や実施、事後の支援内容について学びます。 【準備学習の内容】前回の学習内容の理解の確認をするので復習しておくこと。					A、H、J、L	
	第8回	【テーマ】相談援助の技術・アプローチ 【計画内容】ソーシャルワークに欠かせない相談援助技術やアプローチ方法について学びます。 【準備学習の内容】前回の学習内容の理解の確認をするので復習しておくこと。					A、H、L	
	第9回	【テーマ】相談援助の計画・記録・評価 【計画内容】相談援助の支援計画の策定方法や記録の目的や様式、評価についての時期や内容について学びます。 【準備学習の内容】前回の学習内容の理解の確認をするので復習しておくこと。					A、H、J	
	第10回	【テーマ】相談援助の関係機関との協働 【計画内容】子どもと家族の問題・課題に対応するために関係機関との協働や関係機関の概要について学びます。 【準備学習の内容】前回の学習内容の理解の確認をするので復習しておくこと。配付した課題に取り組むこと。					A、L	
	第11回	【テーマ】相談援助の多様な専門職との連携 【計画内容】子どもや家族への支援を行っている専門職と情報交換や助言を行っている連携について学びます。 【準備学習の内容】前回の学習内容の理解の確認をするので復習しておくこと。配付した課題に取り組むこと。					A、L	
	第12回	【テーマ】相談援助の社会資源の活用、調整、開発 【計画内容】子どもや保護者が生活の中で関わりをもつ様々な人や機関、制度等について学びます。そうした資源を活用、調整、開発することの意味や保育士の役割について学びます。 【準備学習の内容】前回の学習内容の理解の確認をするので復習しておくこと。					A、J、L	
	第13回	【テーマ】ロールプレイ、フィードワーク等による事例分析 【計画内容】ロールプレイの基礎的理解と事例を通して、傾聴、共感的理解、受容等について学びます。 【準備学習の内容】前回の学習内容の理解を確認するので復習しておくこと。					A、L、N	
	第14回	【テーマ】虐待の予防と対応等の事例分析 【計画内容】虐待の現状や背景を知り、対応や関係機関との連携を事例を通して学びます。 【準備学習の内容】前回の学習内容の理解の確認をするので復習しておくこと。					A、H、J、L	
	第15回	【テーマ】障害のある子どもとその保護者への支援と事例分析 【計画内容】障害のある子どもとその保護者に対する支援について事例を通して保育における支援、他関係機関との連携、保護者支援について学びます。 【準備学習の内容】前回の学習内容の理解の確認をするので復習しておくこと。					A、H、J、L	
テキスト		講義時に説明します プリントを使用します						
参 考 書		厚生労働省編、2018年、『保育所保育指針』、フレーベル館、9784577814239						
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			50%		20%	30%	
	補 足			課題・ノート		受講シート	口頭発表ワークシート	
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[乙]保育士_必修						
そ の 他								

科 目 名		保育の心理学Ⅱ		授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		松田 久美					
授 業 の 目 的	ねらい	「人格形成の基盤」である乳幼児期に、保育者は子どもたちと関わります。仲間もまた、この時期の子どもたちにとって重要な他者です。遊びを通してさまざまなやり取りが交わされ、自分とは違う感じ方や考えを持つ仲間の存在を知ります。そうした園生活におけるダイナミクスの中で、一人ひとりの子どもの成長・発達にとって、どのような保育環境を構成することが重要であるのかを見極めるために、また実際に構成するために必要な、子どもを「理解する力」と「援助する力」を身につけます。					
	学習目標	(1)理論と実践とを結びつけ、子どもを理解することができる。 (2)子どもを理解した上で、適切な援助ができる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業の概要の説明。 【準備学習の内容】 シラバスに目を通す。					A、J
	第2回	【テーマ】 「理解する」・「わかる」ということ 【計画内容】 まず、「理解」について、「学習理論」から捉え、実際の保育場面での「認知活動」について考える。 【準備学習の内容】 「古典的条件づけ＝レスポナント(respondent)条件付け」、「オペラント(operant)条件づけ」という語を調べておく。					A、B、H
	第3回	【テーマ】 発達のメカニズム/発達に即した表現活動 【計画内容】 「発達理論」から発達のメカニズムを理解する。発達に即した形で現れる内面の表出について、具体的な保育場面から理解する。 【準備学習の内容】 「発達する」とはどのようなことであるかについて考察しておく。					A、B、J
	第4回	【テーマ】 環境との相互作用 【計画内容】 「身体感覚を伴う経験」がもたらす影響、重要性について考察する。モノ(物理的環境)がもたらすアフォーダンスについて考察する。 【準備学習の内容】 現代の子どもの「あそび空間(環境)」について考察しておく。					A、B、H
	第5回	【テーマ】 「基本的生活習慣」の獲得 【計画内容】 「基本的生活習慣」の獲得を援助する必要性について理解し、具体的な方法について考察する。 【準備学習の内容】 「基本的生活習慣」とは何かについて説明できるよう、準備しておく。					A、B、J
	第6回	【テーマ】 あそびと学び 【計画内容】 子どもと「あそび」との関係を考察する。 【準備学習の内容】 いろいろな「あそび」や、「あそび場面」で起こりそうなことを想定しておく。					A、B、H
	第7回	【テーマ】 保育における集団(1) 【計画内容】 自己統制(自己主張・実現と自己抑制)の発達の变化について理解する。 【準備学習の内容】 子ども同士の「いざこざ」が子どもにもたらすものについて考察しておく。					A、B、J
	第8回	【テーマ】 保育における集団(2) 【計画内容】 共感性や道徳性の発達、愛他的行動や向社会的行動の現れについて理解する。 【準備学習の内容】 「愛他的行動」、「向社会的行動」という語の意味を調べておく。					A、J
	第9回	【テーマ】 生きる力を育む(1) 【計画内容】 主体性が形成される機序について理解する。 【準備学習の内容】 テキストp.107-p.114に目を通す。					A、B、J
	第10回	【テーマ】 生きる力を育む(2) 【計画内容】 レジリエンス(resilience)を育むことの重要性について考察する。 【準備学習の内容】 「レジリエンス」という語の意味を調べておく。					A、J
	第11回	【テーマ】 生きる力を育む(3) 【計画内容】 自己肯定感が備わる過程とその重要性について理解する。 【準備学習の内容】 「自己肯定感」という語の意味を調べておく。					A、B、J
	第12回	【テーマ】 インクルーシブ保育からの育ち(子どもたちが得るもの)(1) 【計画内容】 統合保育とインクルーシブ保育。ノーマライゼーションとは。①実践例 ア:肢体不自由児 イ:知的障害児。 【準備学習の内容】 「統合保育」、「インクルーシブ保育」という語の意味を確認しておく。					A、B、J
	第13回	【テーマ】 インクルーシブ保育からの育ち(子どもたちが得るもの)(2) 【計画内容】 ②「自閉症児の理解」 ③「病弱児の理解」。 【準備学習の内容】 インクルーシブ保育によって、子どもたちに育まれるものについて考察しておく。					A、B、J
	第14回	【テーマ】 子どもを取り巻く様々な問題と保育 【計画内容】 生命の誕生までの倫理的問題、誕生後の社会環境の問題について考察する。 【準備学習の内容】 「生命の倫理」という語について調べておく。					A、H
	第15回	【テーマ】 保育現場における「今後の課題」 【計画内容】 授業を通して知ったこと、理解したことを確認し、疑問点の整理、解明した上で、保育の課題について考察する 【準備学習の内容】 授業全体の復習を行っておく。					B、H
テキスト	清水益治・無藤隆、2012年、『保育の心理学Ⅱ』、北大路書房、9784762827433						
参 考 書	河合優年・中野茂、2013年、『保育の心理学』、ミネルヴァ書房、9784623065134 長谷部比呂美・日比暁美・山岸道子、2014年、『保育の心理を学ぶ』、ななみ書房、9784903355306						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		20%		20%	
	補足	レポート形式		事例に関する意見発表		グループワークへの取り組みを含む	
質問への対応	毎回の授業の中で聞き取り、返答します。						
資 格	[乙]保育士_必修						
そ の 他	第16回に最終評価のための試験(レポート形式)を行います。						

科目名	こどもの保健Ⅱ					授業形態	演習	単位数	1
教員名	佐藤 恵美子								
授業の目的	ねらい	心身ともに健康でより良い発達を目指す子どもの育成にあたり、成長発達の評価や養育技術、事故への対処、応急手当、子どもに多い疾患への対応等をベビー人形やVTR/DVD資料を活用しながら学習します。							
	到達目標	(1)乳幼児の心身の成長発達を理解する。 (2)乳幼児の発達段階に合わせた養育技術を身につける。 (3)突発的な事故や疾患への適切な対応を身につける。							
授業の計画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の目的と概要等を確認し、15回の授業展開を理解します。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。							A
	第2回	【テーマ】保健活動の計画及び評価 【計画内容】保健計画について理解し、バイタルサインの測定方法を学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。							A、B、K
	第3回	【テーマ】健康状態の観察及び身体発育の測定方法 【計画内容】子どもの発育の特徴を理解し、ベビー人形をモデルに測定器を用いて測定方法を学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。							A、B、H
	第4回	【テーマ】健康管理や保育環境の重要性 【計画内容】健康管理や保育環境の重要性を理解し、子どもの発達段階についてVTR/DVD資料を活用し、見て理解します。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。							A、K、H
	第5回	【テーマ】養護技術・保育環境づくりの理解 【計画内容】健康教育や衛生管理についてVTR/DVD資料を活用し、見て学び、沐浴や着替え等の養護技術をベビー人形をモデルに体得します。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。							A、D、H
	第6回	【テーマ】子どもの保健と環境 【計画内容】子どもの保育環境、生活習慣、しつけについて学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。							A、K
	第7回	【テーマ】子どもの発達援助と保健活動 【計画内容】子どもの養護技術や留意点等について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。							A、K
	第8回	【テーマ】子どもの疾病と適切な対応 【計画内容】子どもがかかりやすい疾病や対応の仕方、感染症の予防と対策についても理解します。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。							A、K
	第9回	【テーマ】子どもの疾病と適切な対応 【計画内容】子どもがかかりやすい感染症について学び、VTR/DVD資料を見て理解します。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。							A、B、K
	第10回	【テーマ】子どもの疾病と適切な対応 【計画内容】乳児によく起こる事故を知り、VTR/DVD資料を見て理解します。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。							A、B、K
	第11回	【テーマ】子どもの疾病と適切な対応 【計画内容】幼児によく起こる事故を知り、VTR/DVD資料を見て理解します。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。							A、B、K
	第12回	【テーマ】事故防止及び健康安全管理 【計画内容】VTR/DVD資料を見て救急蘇生について理解します。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。							A、B、K
	第13回	【テーマ】事故防止及び健康安全管理 【計画内容】人形やAED、衛生物品を用いて応急処置や感染予防策を学びます。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題についてレポートを作成すること。							A、K
	第14回	【テーマ】保育における看護と応急処置 【計画内容】保育における看護の重要性を学び、事例への支援方法を考えます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。							A、H、K
	第15回	【テーマ】保育における看護と応急処置 【計画内容】応急処置を学び、災害への備えと危機管理について理解します。 【準備学習の内容】前回配付したまとめのプリントについて理解を深めておくこと。							A、K
テキスト	プリントを使用します								
参考書	プリントを使用します								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分 補足		20%	50%		20%	10%		
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。								
資格	[乙]保育士_必修								
その他	大学生としてのマナー、受講態度で受講すること。意欲的、積極的に学ぶ姿勢を重視します。 毎回、前回の課題について講評する。								

科 目 名		家庭支援論			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		中島 啓子						
授 業 の 目 的	ねらい	社会の変容によって、政治や経済だけではなく、家庭や家族の在り方や子育ての状況も変化します。家庭支援が必要とされている社会背景を理解し、保育者としての専門性を生かした子育て家族への支援の役割を学んでいきます。また社会資源や地域、関係機関との連携を考え、多様な支援について学びます。						
	到達目標	(1)家庭の意義とその機能について理解する。 (2)子育て家族を取り巻く社会的状況について理解する。 (3)子育て家族に対する支援体制について理解する。 (4)子育て家族のニーズに応じた多様な支援展開と関係機関との連携について理解する。 (5)子育てサービスについて理解する。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 家族の意義と機能について学び、授業の概要について説明します。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。					A、K、L	
	第2回	【テーマ】 家族支援の必要性 【計画内容】 社会的背景と家族について考え、子育てが難しくなっている現代について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。					A、K、L	
	第3回	【テーマ】 保育者が行う家庭支援の原理 【計画内容】 家庭支援の理念や子どもの最善の利益を考慮する視点を考え、保育者の役割について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。					A、K、L	
	第4回	【テーマ】 現代家庭における人間関係 【計画内容】 夫婦、親子、きょうだい、祖父母との関係や生活の在り方の変容と子育ての変化について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。					A、K、L	
	第5回	【テーマ】 地域社会の変容と家庭支援 【計画内容】 家庭を取り巻く地域社会の変容や、生活の変化の中で子育てしやすい地域社会の形成について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。					A、K、L	
	第6回	【テーマ】 男女共同参画社会と仕事と生活の調和 【計画内容】 男女共同参画社会の実現、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の必要性和新たな取り組みの推進について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。					A、K、L	
	第7回	【テーマ】 子育て家庭の福祉を図るための社会資源 【計画内容】 社会資源を必要とする子育て家庭の現状と子育てを支える社会資源や子ども家庭福祉を図る専門職について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。					A、K、L	
	第8回	【テーマ】 子育て支援政策・次世代育成支援施策の推進 【計画内容】 少子化対策や少子高齢化社会に対する法規定や「子ども・子育てビジョン」について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。					A、K、L	
	第9回	【テーマ】 子育て支援サービス 【計画内容】 次世代育成支援推進法や政府の施策、子ども・子育て支援法等、児童福祉法に定める事業等について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。					A、K、L	
	第10回	【テーマ】 保育所・幼稚園・認定子ども園における子育て家庭への支援 【計画内容】 保育所や幼稚園、認定こども園の役割、求められている支援について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。					A、K、L	
	第11回	【テーマ】 地域の子育て家庭への支援 【計画内容】 地域における子育て支援の必要性和取り組みについて学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。					A、K、L	
	第12回	【テーマ】 特別な配慮を必要とする児童及びその家族に対する支援 【計画内容】 児童虐待への対応や家庭事情のある子や障がいをもった子の家庭への支援について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。					A、K、L	
	第13回	【テーマ】 子育て支援における関係機関との連携 【計画内容】 子育て支援における家庭福祉を担う行政機関や児童福祉施設と保育士との連携について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。					A、K、L	
	第14回	【テーマ】 子育て支援サービス 【計画内容】 子育て支援サービスの課題について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。					A、K、L	
	第15回	【テーマ】 家庭支援の在り方 【計画内容】 支援の例を通して、家庭への支援の在り方、保育士の資質向上について学びます。 【準備学習の内容】 指定した内容について予習しておくこと。					A、K、L	
テキスト		井村圭壯・今井慶宗、2016年、『保育実践と家庭支援論』、勤草書房、9784326700905						
参 考 書		プリントを使用します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			60%		30%	10%	
	補 足			レポート・ノート・課題		受講シート・発表	資料	
質問への対応		初回講義時に説明します。						
資 格		[乙]保育士_必修						
そ の 他								

科 目 名		保育課程論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		小林 美花					
授 業 の 目 的	ねらい	保育所における全体的な計画の意義や内容について理解します。子ども一人ひとりの個性や個人差を踏まえた指導計画を実際に作成し、計画に基づく保育実践、記録による反省、評価、改善を行うことができる力を身につけます。					
	到達目標	(1)保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画と評価について理解する。 (2)全体的な計画と指導計画の意義及び作成方法について具体的に理解する。 (3)計画、実践、省察、評価、改善の過程について全体構造を動的にとらえ理解する。 (4)子どもの発達を促すための保育実践と指導計画の関係について理解する。					
	第1回	【テーマ】 保育所の歴史と保育所保育指針の変遷 【計画内容】 講義の概要を説明し、保育所の歴史と保育所保育指針の変遷について学びます。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。					A
	第2回	【テーマ】 保育の計画と評価の基本1 【計画内容】 保育における計画の持つ意味について学び、全体的な計画の基本内容について理解します。 【準備学習の内容】 配付したプリントと保育所保育指針を読んでおくこと。					A
授 業 の 計 画	第3回	【テーマ】 保育の計画と評価の基本2 【計画内容】 保育実践の記録と評価の意義について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、K
	第4回	【テーマ】 保育の計画と評価の基本3 【計画内容】 保育の質の向上を目指した、計画・実践・省察・評価・改善の意義を理解します。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、K
	第5回	【テーマ】 保育所における保育の計画1 【計画内容】 全体的な計画と幼稚園におけるカリキュラムの関連性や相違点を理解し、指導計画を考える上で必要なことを理解します。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、H
	第6回	【テーマ】 保育所における保育の計画2 【計画内容】 保育における指導計画の種類と役割について理解します。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、K
	第7回	【テーマ】 保育所における保育の計画3 【計画内容】 子どもの発達過程を踏まえた、長期指導計画と短期指導計画の内容を理解します。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、K
	第8回	【テーマ】 保育の計画の作成と展開1 【計画内容】 乳幼児期の子どもの発達を把握し、子どもにとって最善の保育内容や環境について理解を深めます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、K、L
	第9回	【テーマ】 保育の計画の作成と展開2 【計画内容】 0.1.2歳児の主体性を尊重する保育内容を理解し、指導計画を作成します。 【準備学習の内容】 配付したプリントをよく読んでおくこと。					K、L
	第10回	【テーマ】 保育の計画の作成と展開3 【計画内容】 3.4.5歳児の発達を理解し、子ども同士の関わりや遊びの連続性を考慮した指導計画を作成します。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					K、L
	第11回	【テーマ】 保育の計画の作成と展開4 【計画内容】 異年齢保育の内容を理解し、子ども一人ひとりの個性や個人差に配慮した指導計画を作成します。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					K、L
	第12回	【テーマ】 保育所における保育の評価1 【計画内容】 指導計画における反省と評価の重要性を保育の構造から理解します。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと					A
	第13回	【テーマ】 保育所における保育の評価2 【計画内容】 保育実践の充実と保育の質の向上を目指すための、自己評価の重要性について理解します。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、H
	第14回	【テーマ】 保育所における保育の評価3 【計画内容】 発達の連続性を考慮した、保育所と小学校の接続について理解します。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、K、L
	第15回	【テーマ】 保育所における全体的な計画及び指導計画についてのまとめ 【計画内容】 子どもの発達を見通した全体的な計画の編成について学び、保育所における指導計画作成の意義について理解を深めます。 【準備学習の内容】 講義全体の復習を行うこと。					A、L
テキスト		池田幸代・田中謙、2018年、『マネジメントする保育・教育カリキュラム』、教育情報出版					
参 考 書		厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分 補 足			70% 期限厳守		30%	
質問への対応		毎回の講義の中で訊き取り、返答します。					
資 格		[乙]保育士_必修					
そ の 他							

科 目 名		障害児保育			授業形態	演習	単 位 数	2	
教 員 名		渡辺 泰行							
授 業 の 目 的	ねらい	障害児保育に係る基礎的な知識を身に付けるとともに、障がいのある子ども一人一人の発達課題に即した支援、協働して取り組む実践、他機関との連携等について学習します。グループ討議や発表、事例研究などを行いながら具体的な保育内容・方法について学びます。							
	到達目標	(1)障害児保育の理念や歴史的変遷、法制度について理解できる。 (2)障がいについて基礎的な知識をもつことができる。 (3)障害児や保護者への支援について基本的な考え方や在り方が理解できる。 (4)障害児保育の現状と課題について概要を説明することができる。							
	第1回	【テーマ】 オリエンテーション(障害児保育とは何か) 【計画内容】 障害児保育の理念など15回の授業内容を説明します。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。						A	
	第2回	【テーマ】 障害児保育の歴史的変遷と法制度 【計画内容】 障がいのある子どもたちがどのような流れで社会に受け入れられてきたのか学びます。 【準備学習の内容】 配付した前回のプリントを読んでおくこと。						A	
授 業 の 画	第3回	【テーマ】 発達の理解 【計画内容】 子どもの「発達」の考え方と過程について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントの課題に取り組むこと。						A	
	第4回	【テーマ】 障がいの概念と視覚、聴覚、言語障害及び肢体不自由の理解と支援 【計画内容】 障がいのとらえ方を学ぶとともに、視覚等の障がいの特性や支援の在り方について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントの課題に取り組むこと。						A	
	第5回	【テーマ】 知的障害の理解と支援 【計画内容】 知的障害のとらえ方について、その原因や症状を理解し実際のかかわり方を学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントの課題に取り組むこと。						A	
	第6回	【テーマ】 発達障害の理解と支援① 【計画内容】 自閉症スペクトラム障害(ASD)の概念の変遷及び特性と具体的支援について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントの課題に取り組むこと。						A	
	第7回	【テーマ】 発達障害の理解と支援② 【計画内容】 注意欠如・多動性障害(ADHD)と学習障害(LD)それぞれの特性と支援について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントの課題に取り組むこと。						A	
	第8回	【テーマ】 虐待と障がいのある子ども 【計画内容】 虐待の実状を学び、育てにくい子と捉えがちな障がいのある子への具体的援助について学びます。 【準備学習の内容】 1～7回までに配付されたプリントについて理解を深めておくこと。						A	
	第9回	【テーマ】 個々の発達を促す生活と遊び 【計画内容】 障がいのある子ども一人一人の発達を促すために必要な生活と遊びについて事例を通して学びます。 【準備学習の内容】 前回授業終了後に示す課題についてレポートを作成すること。(中間レポート)						A、G、J	
	第10回	【テーマ】 子ども同士のかかわりと育ち合い 【計画内容】 障がいのある子とない子とのかかわり合いと集団作りについて学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントの課題に取り組むこと。						A、J	
	第11回	【テーマ】 保育の課題に基づく指導計画と個別の支援計画 【計画内容】 子どもの成長発達をねらう保育計画と個別の支援計画の内容と作成について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントの課題に取り組むこと。						A、H、J	
	第12回	【テーマ】 保護者や家族に対する支援 【計画内容】 保護者の障がい受容や支援する姿勢について理解し、支援の実際について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントの課題に取り組むこと。						A	
	第13回	【テーマ】 地域の専門機関との連携 【計画内容】 連携の意味を理解し、どのような専門機関とどのように連携して具体的支援に結び付けるか学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントの課題に取り組むこと。						A	
	第14回	【テーマ】 小学校との連携 【計画内容】 就学に関する流れの中で、小学校への接続と特別支援教育について学びます。 【準備学習の内容】 これまで配付したプリントについて復習しておくこと。						A	
	第15回	【テーマ】 障害児保育の現状と課題のまとめと振り返り 【計画内容】 障がいの理念と制度の変化等を知り、近年の動向を踏まえながらこれからの課題を学びます。 【準備学習の内容】 今までの学びを振り返り自己の課題をまとめておくこと。						A、L	
	テキスト		プリントを使用します						
	参 考 書		プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分	30%		40%		30%			
	補 足			レポート					
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。							
資 格		[こ]保育士_必修							
そ の 他		中間レポートは第10回以降に返却し、学んだ内容を振り返りながら講評をします。							

科目名		保育相談支援		授業形態	演習	単位数	1
教員名		西原 真由美					
授業の目的	ねらい	子どもの健やかな育ちを目指した保育相談支援とはどのようなことなのか、実際に保育現場で対応している課題を取り上げながら考えていきます。事例を通して保護者支援の方法を学ぶとともに、保育現場でどのような保育相談支援が行われているかを理解していきます。様々な事例研究を個人、グループで行いながら学びます。					
	到達目標	(1)保育相談支援の意義と原則について理解する。 (2)保護者支援の基本を理解する。 (3)保育相談支援の実践を学び、内容や方法を理解する。 (4)保育所等児童福祉施設における保護者支援の実践について理解する。					
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の概要及び15回の授業展開を説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を確認しておくこと。					A、B
	第2回	【テーマ】保育相談支援の経過 【計画内容】子育て支援に関するこれまでの経緯について学びます。 地域における子育て支援活動について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。					A、B
授業の計画	第3回	【テーマ】保育相談支援の意義(1) 【計画内容】保育相談支援の意義について学びます。 子育て環境の変容と保育相談支援について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。					A、B
	第4回	【テーマ】保育相談支援の意義(2) 【計画内容】保育の特性と保育士の専門性を生かした支援について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。					A、B
	第5回	【テーマ】保育相談支援の基本(1) 【計画内容】子どもの最善の利益と福祉の重視について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。					A、B
	第6回	【テーマ】保育相談支援の基本(2) 【計画内容】子どもの成長の喜びの共有について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。					A、B
	第7回	【テーマ】保育相談支援の基本(3) 【計画内容】保護者の養育力の向上に資する支援について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。					A、B
	第8回	【テーマ】保育相談支援の基本(4) 【計画内容】信頼関係を基本とした受容的なかわり、自己決定、秘密保持の尊重について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。					A、B
	第9回	【テーマ】保育相談支援の基本(5) 【計画内容】地域の資源の活用と関係機関との連携・協力について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。					A、B
	第10回	【テーマ】保育相談支援の実践(1) 【計画内容】保育に関する保護者に対する指導について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。					A、B
	第11回	【テーマ】保育相談支援の実践(2) 【計画内容】保護者支援の内容について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。					A、B
	第12回	【テーマ】保育相談支援の実践(3) 【計画内容】保護者支援の方法と技術について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。					A、B
	第13回	【テーマ】保育相談支援の実践(4) 【計画内容】保護者支援の計画、記録、評価、カンファレンスについて学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。					A、B
	第14回	【テーマ】児童福祉施設における保育相談支援(1) 【計画内容】保育所における保育相談支援の実践について学びます。 保育所における特別な対応を要する家庭への支援について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し理解しておくこと。					A、B
	第15回	【テーマ】児童福祉施設における保育相談支援(2) 【計画内容】児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援について学びます。 障害児施設、母子生活支援施設等における保育相談支援について学びます。 【準備学習の内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでない問題を整理しておくこと。					A、B
テキスト		プリントを使用します。					
参考書		適宜紹介します。					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			演習ノート		グループワークへの取り組みを含む	
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資格		[乙]保育士_必修					
その他		グループ演習を行いますので、座席を指定します。					

科目名		保育実習Ⅰ		授業形態	実習	単位数	4
教員名		保田 真希、小林 美花、清水 桂子					
授業の目的	ねらい	本講義では保育所、児童福祉施設等の役割や機能、保育士の業務や職業倫理、保育の計画・観察・記録等を理解する。また、観察や子どもとのかかわりを通して、子どもへの理解を深め、子どもの保育および保護者への支援について総合的に理解することを目的とする。					
	到達目標	(1)保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。 (2)観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める。 (3)既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。 (4)保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。 (5)保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。					
授業の計画		【保育所(園)実習の内容】 1. 保育所の生活と一日の流れを理解し、保育所保育指針をふまえた保育の展開、保育所の役割と機能について学ぶ。 2. 子どもの観察や記録を通し、発達過程や子どもへの援助やかかわりについて学び、子どもへの理解を深める。 3. 子どもの発達過程に基づいた、保育の計画、環境、保育の内容について理解する。 4. 保育課程と観察、記録、省察・自己評価について理解する。 5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理、職員間の連携について理解する。 【児童福祉施設等における実習の内容】 1. 施設の生活と一日の流れを理解し、施設の役割と機能について学ぶ。 2. 子どもの観察と記録を通し、個々の状況に応じた援助やかかわりについて学び、子どもへの理解を深める。 3. 子どもの心身の状況に応じた養護の内容や生活の環境等について理解し、計画に基づいた活動や援助の実践について学ぶ。 4. 支援計画、記録、考察・自己評価について理解する。 5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理、職員間の連携について理解する。 【準備学習の内容】 実習に関する資料を熟読し、自己課題を持って臨むこと。					D
テキスト		石橋裕子、2018年、『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』、同文書院					
参考書		プリントを使用します。随時紹介します。					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分 補足			30%			70% 実習施設の評価
質問への対応		担当教員研究室にて随時対応します。					
資格		[乙]保育士_必修					
その他							

科目名		保育実習指導ⅠB		授業形態	演習	単位数	1
教員名		保田 真希、小林 美花、清水 桂子					
授業の目的	ねらい	本講義では、保育実習全般を通し、実習に際しての留意事項について理解を深める。また、実習の事後指導において、実習の総括と自己評価を行う。さらに、今後の学習に向けた自己課題や目標を明確にすることを目的とする。					
	到達目標	(1)保育実習の意義・目的を振り返り、理解を深めます。 (2)保育実習における実践内容を振り返り、自らの課題を明確にします。 (3)実習場面から子どもの人権と最善の利益、守秘義務について理解を深めます。 (4)実習計画を振り返り、実習内容や記録・評価について自己課題を理解します。 (5)実習の総括と自己評価を行う中で、新たな課題や目標を明確にします。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 保育実習の目的と概要 【計画内容】 保育実習の目的と概要について振り返り、相互に意見交換する中で自身の経験について理解を深めます。(保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】 テキスト、資料を熟読すること。					B、H、K、L
	第2回	【テーマ】 保育実習内容について 【計画内容】 保育実習における実習内容や取り組みを振り返り、実習体験を報告し合う中で学びや課題を検討し、理解を深めます。(保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】 テキスト、資料を熟読すること。					B、H、K、L
	第3回	【テーマ】 保育実習における計画と記録について 【計画内容】 保育実習における実習計画と記録について振り返り、相互に意見交換する中で保育の視点について理解を深めます。(保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】 テキスト、資料を熟読すること。					B、H、K、L
	第4回	【テーマ】 プライバシーの保護と守秘義務 【計画内容】 保育実習場面において、子どもや家族のプライバシー保護の実践を振り返り、実習施設と専門職の守秘義務の遂行について理解を深めます。(保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】 テキスト、資料を熟読すること。					B、H、K、L
	第5回	【テーマ】 専門職の役割と子どもの人権・最善の利益 【計画内容】 保育実習場面において、子どもの最善の利益と子どもの人権が如何に守られていたのか、その実際について振り返り、相互に意見交換する中で様々な支援について理解を深めます。(保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】 テキスト、資料を熟読すること。					B、H、K、L
	第6回	【テーマ】 保育実習総括① 【計画内容】 保育所実習の振り返りを総括する中で、これまでの学びについて理解し、今後の目標をたてます。(保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】 テキスト、資料を熟読すること。					B、H、K、L
	第7回	【テーマ】 保育実習総括② 【計画内容】 児童福祉施設等での実習の振り返りを総括する中で、これまでの学びについて理解し、今後の目標をたてます。(保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】 テキスト、資料を熟読すること。					B、H、K、L
	第8回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 保育実習を通しての学びを総括し、保育専門職としての今後の自己課題を明確化します。(保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】 テキスト、資料を熟読すること。					A、B、G
テキスト		石橋裕子、2018年、『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』、同文書院、4810314758					
参考書		プリントを使用します。随時紹介します。					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分 補足			60%			40% 演習への取り組み意欲
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。 担当教員研究室					
資格		[こ]保育士_必修					
その他							

科 目 名		保育実践演習			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		小林 美花、入江 彩子、中島 啓子、保田 真希						
授 業 の 目 的	ねらい	本科目では、これまでに学習した保育関係科目および保育実習をとおして学び得た知識・技能を振り返り、保育士として必要な資質・能力の向上を目的とします。更に、保育に関する科目を相互に関連づけ、事例研究や教材研究をとおして、保育職に就くために必要な問題解決の能力を身につけ、実践力や指導力を高めます。						
	到達目標	(1)保育に関する科目横断的な学習能力を習得する。 (2)保育に関する現状について分析、考察、検討を行い課題を明確にする。 (3)問題解決のための対応、判断方法等について学びを深める。 (4)今までの学びを振り返り、保育士として必要な知識・技能を修得したことを確認する。 (5)事例研究や研究発表を行う中で、多様な保育内容につて理解する。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】 保育士としての意識と役割1 【計画内容】 授業の概要を説明し、保育士の職務内容や役割について理解します。(小林美花・入江彩子・中島啓子・保田真希) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を確認しておくこと。						B、H
	第2回	【テーマ】 保育士としての意識と役割2 【計画内容】 保育実習を振り返り、現代における保育の現状を考察します。(小林美花・入江彩子・中島啓子・保田真希) 【準備学習の内容】 保育所実習の日誌を確認しておくこと。						B、K
	第3回	【テーマ】 保育士としての意識と役割3 【計画内容】 保育所と施設での子どもと保育士の関わり方の違いについてグループで情報交換し、資料とともに考察します。(小林美花・入江彩子・中島啓子・保田真希) 【準備学習の内容】 保育所実習・施設実習の日誌を確認し図書館等での資料収集を行うこと。						B、H
	第4回	【テーマ】 保育士としての意識と役割4 【計画内容】 保育士同士のチームワークや職業倫理についてグループで情報交換し、保育における連携について理解します。(小林美花・入江彩子・中島啓子・保田真希) 【準備学習の内容】 職業倫理に関する資料を確認しておくこと。						B、H、L
	第5回	【テーマ】 現代的課題の分析と考察1 【計画内容】 少子高齢化についてグループ討議を行い、現代社会の現状と課題について発表します。(小林美花・入江彩子・中島啓子・保田真希) 【準備学習の内容】 少子高齢化について新聞などで情報収集をすること。						B、H
	第6回	【テーマ】 現代的課題の分析と考察2 【計画内容】 待機児童、保育士不足についてグループ討議し、現状と課題から改善策考え発表します。(小林美花・入江彩子・中島啓子・保田真希) 【準備学習の内容】 待機児童、保育士不足について新聞などで情報収集をすること。						H、L
	第7回	【テーマ】 現代的課題の分析と考察3 【計画内容】 児童虐待の現状を把握し、保育士としての役割について理解します。(小林美花・入江彩子・中島啓子・保田真希) 【準備学習の内容】 児童虐待について新聞などで情報収集をすること。						B、K
	第8回	【テーマ】 現代的課題の分析と考察4 【計画内容】 児童虐待の現状を踏まえ、子育て支援の役割りと意義について考察します。(小林美花・入江彩子・中島啓子・保田真希) 【準備学習の内容】 情報収集した資料をよく読んでおくこと。						B、J、K
	第9回	【テーマ】 現代的課題の分析と考察5 【計画内容】 長時間保育や延長保育の現状を把握し、子どもにとって最善の環境についてグループ討議を行い発表します。(小林美花・入江彩子・中島啓子・保田真希) 【準備学習の内容】 保育実習の日誌などを確認しておくこと。						B、H、L
	第10回	【テーマ】 保育士として必要な知識能力の確認1 【計画内容】 これまでの各科目の学びを踏まえ、科目相互のつながりについて理解します。(小林美花・入江彩子・中島啓子・保田真希) 【準備学習の内容】 今まで学んだ科目を復習しておくこと。						A、B
	第11回	【テーマ】 保育士として必要な知識能力の確認2 【計画内容】 保育所における様々な保育内容について把握し、グループ討議の中で保育のねらいや目標について理解します。(小林美花・入江彩子・中島啓子・保田真希) 【準備学習の内容】 実習園の保育内容について確認しておくこと。						B、H、K
	第12回	【テーマ】 保育士として必要な知識能力の確認3 【計画内容】 五領域について理解を深め、保育における五領域のつながりや関連について理解します。また、事例から五領域を意識した保育の展開方法について理解します。(小林美花・入江彩子・中島啓子・保田真希) 【準備学習の内容】 五領域の内容について確認しておくこと。						A、B、J、K
	第13回	【テーマ】 保育士としての資質能力の確認1 【計画内容】 これまでの学びや、実習を振り返り自己評価を行う中で、保育士としての資質について考察します。(小林美花・入江彩子・中島啓子・保田真希) 【準備学習の内容】 各実習の振り返りを行っておくこと。						A、B、L
	第14回	【テーマ】 保育士としての資質能力の確認2 【計画内容】 保育士として必要なコミュニケーション力や社会性についてグループ討議し、資質能力について理解を深めます。(小林美花・入江彩子・中島啓子・保田真希) 【準備学習の内容】 配付したプリントを確認しておくこと。						H、K、L
	第15回	【テーマ】 保育士としての資質能力の確認3 【計画内容】 保育に関わる各科目の関連性を踏まえ、自らの学びを振り返り保育士として必要な、知識、技能を修得したことを最終確認します。(小林美花・入江彩子・中島啓子・保田真希) 【準備学習の内容】 今までの授業内容を確認しておくこと。						B、L
テ キ ス ト		プリントを使用します						
参 考 書		厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館 文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館						
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			80%		20%		
補 足								
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[こ]保育士_必修						
そ の 他								

科目名	現代こども学				授業形態	講義	単位数	2
教員名	菜原 桂子							
授業の目的	ねらい 現代のこどもの置かれている状況を色々な角度から理解する中で、こどもたちの抱えている様々な問題について考えを深め、保育者としての資質を磨きます。 到達目標 (1)社会の変化の中でのこどもたちの育ちの問題を捉えることができる。 (2)意欲的に資料や情報を収集し、まとめることができる。 (3)日本の近世を中心に広い視野で子ども観について考える力を養う。							
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】15回の講義の内容・評価について説明します。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。						A、K
	第2回	【テーマ】遊びの変化からこどもを考える① 【計画内容】昔のこどもの遊びを通して育つもの、今のこどもの遊びを通して育つものについて比較しながら考察します。またその課題についても明らかにして考えます。 【準備学習の内容】昔の遊び、今の遊び、自分が小さい頃どのような遊びを通して育ってきたか考えておくこと。						A、H、K
	第3回	【テーマ】遊びの変化からこどもを考える② 【計画内容】現代のこどもを取り巻く環境について、またその環境による遊びの変化と課題について考察します。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。						A、H、K
	第4回	【テーマ】遊びの変化からこどもを考える③ 【計画内容】自由時間の過ごし方とメディアが与える影響について考察し、こどもの育ちについて考えます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。						A、H
	第5回	【テーマ】遊びの変化からこどもを考える④ 【計画内容】身体遊びの変化とこどもの育ちについて考えます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。						A、K
	第6回	【テーマ】家族の抱える問題からこどもを考える① 【計画内容】家族の在り方の変化、生活スタイルの多様化の中でのこどもを考えます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。						A、H
	第7回	【テーマ】家族の抱える問題からこどもを考える② 【計画内容】子育て家族の問題とこどもについて考えます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。						A、K
	第8回	【テーマ】家族の抱える問題からこどもを考える③ 【計画内容】こどもの最善の利益とは何かについて考えます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。						A、G
	第9回	【テーマ】家族の抱える問題からこどもを考える④ 【計画内容】障がいのあるこどもの家族について考えます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。						A、H
	第10回	【テーマ】こども集団について考える 【計画内容】こども集団とは何か、SNSとこども集団の変質について考えます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。						A、F
	第11回	【テーマ】生活の変化からこどもを考える①睡眠と子ども 【計画内容】現代の生活リズムや、睡眠とこどもの育ちについて考えます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。						A、F
	第12回	【テーマ】生活の変化からこどもを考える②食事と子ども 【計画内容】食事のとり方、メニューとこどもの育ちについて考えます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。						A、B
	第13回	【テーマ】生活の変化からこどもを考える③子どもの言語活動 【計画内容】生活の変化とこどものコミュニケーションについて考えます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。						A、J
	第14回	【テーマ】生活の変化からこどもを考える④情報環境とこども 【計画内容】インターネット、携帯電話とこどもについて考えます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。						A、F
	第15回	【テーマ】現代のこどもについて学びのまとめ 【計画内容】講義の内容を振り返り、課題に基づいてレポートを作成します。 【準備学習の内容】授業全体の復習を行っておくこと。						A、K、L
テキスト	プリントを使用します							
参考書	比留川洋、2017年、『子ども白書 2017年』、本の泉社 汐見稔幸、2018年、『子ども学』、萌文書林							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			70%		30%		
				取り組み状況重視				
質問への対応	授業内、授業終了後に対応いたします。							
資格	[こ]保育士_選択							
その他	保育コース必修 課題は15回中に返却し振り返り、考察を行います。第15回にすべての課題を再提出し評価を行います。							

科 目 名		保育実習Ⅱ			授業形態	実習	単 位 数	2
教 員 名		小林 美花、清水 桂子、保田 真希						
授 業 の 目 的	ねらい	実習施設における実践を通して保育所の役割や機能について、理解を深めます。これまでの学びや実習の経験を踏まえ、計画、実践、記録、自己評価を実践を通し学びます。さらに、保育士の役割や職業倫理について理解を深め、保育士を目指す者としての自己の課題を明確化します。						
	到達目標	(1)保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して理解を深める。 (2)子どもの観察やかかわりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。 (3)既習の教科や実習の経験を踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。 (4)保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価について実際に取り組み、理解を深める。 (5)保育士の業務内容や職業倫理についてを具体的な実践を通し理解し、自己の課題を明確化する。						
授 業 の 計 画	【保育所(園)実習の内容】 1. 保育所の役割や機能などを理解し、養護と教育が一体となって行われる保育の具体的展開について学ぶ。 2. 子どもの心身の状況や活動、保育士等の実践等について観察に基づいて理解し、保育所の生活の流れや展開について把握する。 3. 保育及び、保護者、家庭への支援や地域社会との連携について理解する。 4. 全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・観察・記録・省察・評価等について理解し、指導計画の作成や保育実践を通して学びを深める。 5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理について理解すると共に、多様な保育の展開について学ぶ。 6. 保育士を目指す上での自己の課題を明確化する。 【準備学習の内容】 実習に関する資料を熟読し、自己課題を持って臨むこと。							D
テキスト	石橋裕子、2018年、『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』、同文書院							
参 考 書	プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			30%			70%	
	補 足			事前事後の課題提出			実習施設の評価	
質問への対応	担当教員研究室にて随時対応します。							
資 格	[乙]保育士_選必							
そ の 他	「保育実習Ⅱ」は、これまでの学びを基に理論と実践を結びつける学習の場であります。実習生であることを自覚し、謙虚に、そして意欲的に臨んでください。「保育実習Ⅱ」履修者は、実習を開始する前に「保育原理」「保育内容総論」「保育実習指導ⅠA」を履修しておく必要があります。							

科 目 名		保育実習Ⅲ		授業形態	実習	単 位 数	2
教 員 名		保田 真希、小林 美花、清水 桂子					
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では保育実習などの経験を踏まえ、児童福祉施設等の役割や機能、保育士の業務や職業倫理を理解する。また、家庭と地域の生活実態を学び、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解、知識、技術、判断力を習得することを目的とする。					
	到達目標	(1)実践を通して児童福祉施設等の役割や機能について理解する。 (2)家庭と地域の生活実態にふれる中で、児童家庭福祉・社会的養護に対する理解を深める。 (3)子どもへの支援、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。 (4)保育士の職務内容や職業倫理について、実践を通し理解を深める。 (5)保育士としての自己の課題を明確化する。					
授 業 の 計 画	【計画内容】 1. 児童福祉施設等の役割と機能について学ぶ。 2. 支援の実際において、受容・共感する態度について学び実践する。 3. 個人差や個々の生活環境について理解し、子どもの理解を深め、個々のニーズについて把握する。 4. 子どもの家族に対する対応とその支援について学ぶ。 5. 多様な専門職との連携の実際について学ぶ。 6. 児童福祉施設等と地域社会との連携・協働について学ぶ。 7. 実践を通し保育士の様々な職務・業務と職業倫理について学ぶ。 8. 児童福祉施設等における個別支援計画の作成とその実際について学ぶ。 9. 児童福祉施設等の保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて、自己の課題を明確にする。 【準備学習の内容】 実習にかかわる資料を熟読し、自己課題を持って臨むこと						D
テキスト		石橋裕子、2018年、『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』、同文書院					
参 考 書		加藤洋子他編、2018年、『事例を通して学びを深める-施設実習ガイド』、ミネルヴァ書房					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分			30%			70%
	補 足						実習施設の評価
質問への対応		担当教員研究室にて随時対応します。					
資 格		[乙]保育士_選必					
そ の 他							

科目名	保育実習指導Ⅱ				授業形態	演習	単位数	1
教員名	小林 美花、清水 桂子、保田 真希							
授業の目的	ねい	これまでの学びを踏まえ、自己課題を明確化するとともに、保育を行う上で必要な実践力も身につけます。また、事例検討を行う中で保育内容について学び、計画、記録、実践、自己評価の重要性について理解を深め、保育士として必要な自己課題を明確にします。						
	到達目標	(1)保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解します。 (2)実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培います。 (3)保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学びます。 (4)保育士の専門性と職業倫理について理解します。 (5)実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にします。						
授業の計画	第1回	【テーマ】保育実習による総合的な学びについて① 【計画内容】保育実習の意義と目的を確認し、保育所における実習内容や段階について理解します。 (小林美花・清水桂子・保田真希) 【準備学習の内容】シラバスの内容をよく読んでおくこと。						A、B、K
	第2回	【テーマ】保育実習による総合的な学びについて② 【計画内容】子どもの最善の利益を考慮した保育について理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【準備学習の内容】配付したプリントをよく読んでおくこと。						A、B、H
	第3回	【テーマ】保育実習による総合的な学びについて③ 【計画内容】子育て支援について理解を深め、保育士としての支援方法を事例検討し理解を深めます。 (小林美花・清水桂子・保田真希) 【準備学習の内容】配付したプリントをよく読んでおくこと。						A、B、H、J
	第4回	【テーマ】保育実践力の育成について① 【計画内容】子どもに対する理解を深め、場面状況に応じた関わりや援助方法について理解を深めます。 (小林美花・清水桂子・保田真希) 【準備学習の内容】配付したプリントをよく読んでおくこと。						A、B、K
	第5回	【テーマ】保育実践力の育成について② 【計画内容】乳幼児の発達を踏まえた保育実践の内容について考え、保育内容について理解を深めます。 (小林美花・清水桂子・保田真希) 【準備学習の内容】乳幼児の発達について復習しておくこと。						A、B、H
	第6回	【テーマ】保育内容と計画・記録について① 【計画内容】保育所における全体的な計画の内容を踏まえ、具体的な計画と実践について学びます。 (小林美花・清水桂子・保田真希) 【準備学習の内容】全体的な計画について復習しておくこと。						A、B、K、H
	第7回	【テーマ】保育内容と計画・記録について② 【計画内容】乳幼児の発達を踏まえた保育計画と記録について理解を深め、具体的な計画案について実践を通して学び作成します。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【準備学習の内容】指導計画について復習しておくこと。						A、B、K
	第8回	【テーマ】自己評価に基づく保育の改善について① 【計画内容】保育における自己評価の重要性について理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【準備学習の内容】配付したプリントをよく読んでおくこと。						A、B、K、L
	第9回	【テーマ】自己評価に基づく保育の改善について② 【計画内容】自己評価の振り返りを行い、具体的な保育の改善方法について学びます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【準備学習の内容】配付したプリントをよく読んでおくこと。						A、B、H、L
	第10回	【テーマ】保育士の専門性と職業倫理について① 【計画内容】プライバシーの保護と守秘義務について理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【準備学習の内容】プライバシー保護と守秘義務について復習しておくこと。						A、B、K
	第11回	【テーマ】保育士の専門性と職業倫理について② 【計画内容】保育の質を高めるための保育内容について理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【準備学習の内容】配付したプリントをよく読んでおくこと。						A、B
	第12回	【テーマ】保育の表現技術を生かした保育実践① 【計画内容】乳幼児期の発達に応じた環境やあそびについて考え、実践を通して保育技術を身につけます。 (小林美花・清水桂子・保田真希) 【準備学習の内容】配付したプリントをよく読んでおくこと。						B、H
	第13回	【テーマ】保育の表現技術を生かした保育実践② 【計画内容】乳幼児期の発達に応じたあそびについてグループ討議し、発表を通して保育士としての実践力を身につけます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【準備学習の内容】配付したプリントをよく読んでおくこと。						B、H、L
	第14回	【テーマ】保育実習の総括① 【計画内容】保育実習後に自己評価を行い、自己課題を明確にします。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【準備学習の内容】保育実習の日誌を確認しておくこと。						B、L
	第15回	【テーマ】保育実習の総括② 【計画内容】実習の総括を行う中で、保育士としての資質能力の確認を行います。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【準備学習の内容】授業全体の復習をしておくこと。						A、B、L
テキスト	石橋裕子、2018年、『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』、同文書院 プリントを使用します							
参考書	田中利則、2018年、『施設実習ガイド』、ミネルヴァ書房 東山明・多賀三希子、2017年、『教育・保育実習実技ガイド』、ひかりのくに							
成績評価の方法			筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配補	分足			60%		40%	
質問への対応	担当教員研究室							
資格	[こ]保育士 選必							
その他	「保育実習Ⅱ」履修者は、必ず履修する必要があります。第16回に実習直前の最終確認を行います。							

科 目 名 保育実習指導Ⅲ				授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		保田 真希、小林 美花、清水 桂子					
授 業 的 目 的	ね い	これまでの学びを踏まえ、自己課題を明確化するとともに、児童福祉施設等において保育を行う上で必要な実践力を身につけます。また、事例検討を行う中で保育内容について学び、児童福祉施設等における計画、記録、実践、自己評価について理解を深め、課題を明確にします。					
	到達目標	(1)保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解します。 (2)実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を養います。 (3)保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学びます。 (4)保育士の専門性と職業倫理について理解します。 (5)実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にします。					
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】保育実習による総合的な学びについて 【計画内容】保育実習の意義と目的を確認し、児童福祉施設等における実習内容や段階について理解します。 (保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】シラバスの内容を読んでおくこと。					A、B、K
	第2回	【テーマ】保育実習による総合的な学びについて 【計画内容】児童福祉施設等における子どもの最善の利益を考慮した保育について理解します。 (保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】これまでの資料を整理し配付プリントを読了しておくこと。					B、H、K、L
	第3回	【テーマ】保育実習による総合的な学びについて 【計画内容】児童養護施設・母子生活支援施設等における子どもの保育と家族への支援について理解を深めます。 (保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】復習する中で理解の進んでいない部分について抽出しておくこと。					B、H、K、L
	第4回	【テーマ】保育実習による総合的な学びについて 【計画内容】障害児入所施設・児童発達支援センター等における子どもの保育と家族への支援について理解を深めます。 (保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】復習する中で理解の進んでいない部分について抽出しておくこと。					B、H、K、L
	第5回	【テーマ】保育実践力の育成 【計画内容】児童養護施設・児童心理治療施設等において、子どもの状態に応じた適切な関わりについて理解を深めます。 (保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。					B、H、K、L
	第6回	【テーマ】保育実践力の育成 【計画内容】母子生活支援施設・乳児院等において、子どもの状態に応じた適切な関わりについて理解を深めます。 (保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。					B、H、K、L
	第7回	【テーマ】保育実践力の育成 【計画内容】障害児入所施設・児童発達支援センター等において、子どもの状態に応じた適切なかかわりについて理解を深めます。(保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。					B、H、K、L
	第8回	【テーマ】保育実践力の育成 【計画内容】児童養護施設・乳児院等における保育の表現技術を生かした保育実践について理解を深めます。 (保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】具体的実践場面について準備しておくこと。					B、H、K、L
	第9回	【テーマ】保育実践力の育成 【計画内容】障害児入所施設・児童発達支援センター等における保育の表現技術を生かした保育実践について理解を深めます。(保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】具体的実践場面について準備しておくこと。					B、H、K、L
	第10回	【テーマ】保育の計画と実践 【計画内容】児童福祉施設等における個別支援計画に基づく保育の計画と実践について学びます。 (保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】復習する中で理解の進んでいない部分について抽出しておくこと。					B、K、L
	第11回	【テーマ】保育の観察・記録・自己評価 【計画内容】保育の観察・記録・自己評価に基づく保育の改善について理解を深めます。(保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】これまでの資料を整理する中で振り返りをおこなっておくこと。					B、H、K、L
	第12回	【テーマ】保育士の専門性 【計画内容】児童養護施設・乳児院等における保育士の専門性について保育実践を通して理解を深めます。 (保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】これまでの資料を整理する中で復習をしておくこと。					B、H、K、L
	第13回	【テーマ】保育士の専門性 【計画内容】障害児入所施設・児童発達支援センター等における保育士の専門性について保育実践を通して理解を深めます。(保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】これまでの資料を整理する中で復習をしておくこと。					B、H、K、L
	第14回	【テーマ】保育士の職業倫理 【計画内容】保育場面を振り返る中で、保育士の職業倫理の実践について理解を深めます。(保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】具体的実践場面について準備しておくこと。					B、H、K、L
	第15回	【テーマ】保育実習総括 【計画内容】児童福祉施設等における実習の総括を通し、保育職に就くための自己評価と今後の課題を明確にします。 (保田真希・小林美花・清水桂子) 【準備学習の内容】これまでの学びを整理しておくこと。					A、L、G
テ キ ス ト		田中利則、2018年、『事例を通して学びを深める-施設実習ガイド』、ミネルヴァ書房 プリントを使用します					
参 考 書		石橋裕子ほか、2018年、幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド、同文書院、9784810314250					
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分	30%		50%		20%	
	補 足					演習への取組意欲	
質問への対応		担当教育研究室にて随時対応します。					
資 格		〔こ〕保育士・選必					
そ の 他							

科 目 名			幼児理解の理論と方法		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			松田 久美					
授 業 の 目 的	ねらい	教師が一人ひとりの子どもに応じた指導や援助を行うためには、思考や理解といった認知活動や心の動きを正確に捉え、必要な対処を適切に行う能力が必要である。そうした力を身につけるために、幼児の認知や人格の発達がこういったメカニズムで生じるのかについて理解し、集団、個人、及び集団と個人との関係性を把握するための方法を知り、幼児を取り囲む環境や背後にある諸問題について考察する。また、精神疾患や身体疾患、及び発達障害を抱えた子どもについても理解し、それぞれの支援に必要なアセスメント法を知り、今後の課題・展望に関する考察を行う。						
	到達目標	(1)幼児を理解するための基礎となる知識を身につける。 (2)幼児を理解することの重要性、幼児を取り囲む環境や背後にある諸問題について考察し、理解を深める。 (3)幼児を理解するために必要な具体的な方法を知る。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の概要の説明。 【準備学習の内容】 幼児教育に携わる者にとって、「幼児を理解する」とはどういったことであるのかについて考えておくこと。					A、L	
	第2回	【テーマ】胎児から新生児へ 【計画内容】 生物学的・神経学的視点から「生命の誕生」を理解する。 【準備学習の内容】 「生命の誕生」について考察しておく。					A、L	
	第3回	【テーマ】認知活動の理解1 【計画内容】 感覚(視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚)について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業の復習をしておく。					A、L	
	第4回	【テーマ】認知活動の理解2 【計画内容】 知能説を知り、知能の発達について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業の復習をしておく。					A、L	
	第5回	【テーマ】認知活動の理解3 【計画内容】 幼児期の思考の発達について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業の復習をしておく。					A、L	
	第6回	【テーマ】気質と人格 【計画内容】 発達理論を知り、パーソナリティの発達について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業の復習をしておく。					A、L	
	第7回	【テーマ】アセスメント法1:集団と個人、及び集団と個人との関係を捉える 【計画内容】 質問紙法、観察法(チェックリスト法)、ソシオメトリーについて理解する。 【準備学習の内容】 アセスメントとは何かについて調べておくこと。					B、L	
	第8回	【テーマ】アセスメント法2:集団と個人、及び集団と個人との関係を捉える 【計画内容】 インタビュー法、生理的反応の測定法について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業の復習をしておく。					B、L	
	第9回	【テーマ】アセスメント法3:集団と個人を捉える 【計画内容】 実験心理学的手法、脳機能計測法、脳機能画像撮影法について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業の復習をしておく。					B、L	
	第10回	【テーマ】虐待を受けた子どもの理解 【計画内容】 子ども観の変遷とも重なる「児童虐待の歴史」を概観し、社会状況と虐待との関連性理解する。虐待が子どもに与える影響を知り、子どもへの支援、保護者への対応を理解し、虐待が生じる要因について考察する。 【準備学習の内容】 前回の授業の復習をしておく。					A、K、L	
	第11回	【テーマ】子どもの不安症の理解 【計画内容】 アセスメント、子どもへの支援、保護者への対応について理解し、今後の課題・展望に関する考察を行う。 【準備学習の内容】 不安症の定義を捉えておく。					A、K、L	
	第12回	【テーマ】子どもの抑うつ理解 【計画内容】 アセスメント、子どもへの支援、保護者への対応について理解し、今後の課題・展望に関する考察を行う。 【準備学習の内容】 抑うつ、うつ病の定義について調べておく。					A、K、L	
	第13回	【テーマ】子どものODD/CDの理解 【計画内容】 アセスメント、子どもへの支援、保護者への対応について理解し、今後の課題・展望に関する考察を行う。 【準備学習の内容】 ODD/CDはそれぞれ、こういった行動的特徴を持つのかについて調べておく。					A、K、L	
	第14回	【テーマ】子どもの身体疾患の理解 【計画内容】 身体疾患が子どもに与える心理的影響、アセスメント、子どもへの支援、保護者への対応について理解し、今後の課題・展望に関する考察を行う。 【準備学習の内容】 前回の授業の復習をしておく。					A、K、L	
	第15回	【テーマ】子どもの自閉症スペクトラム障害(ASD)・注意欠陥多動性障害(ADHD)の理解 【計画内容】 アセスメント、子どもへの支援、保護者への対応について理解し、今後の課題・展望に関する考察を行う。 【準備学習の内容】 これまでの授業内容を振り返っておくこと。					A、K、L	
テキスト		谷田貝公昭・大沢裕 編著、2017年、『幼児理解』、一藝社、4863591217						
参 考 書		石川新一・佐藤正二 編著、2015年、『臨床児童心理学:実証に基づく子ども支援のあり方』、ミネルヴァ書房、9784623072460						
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	80%				20%		
	補 足					討論での発言内容、考察内容を含む		
質問への対応		適宜対応します。						
資 格		[こ]幼2種_必修						
そ の 他		第16回に最終評価のための試験を行います。						

科 目 名		保育内容人間関係		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		菜原 桂子					
授 業 の 目 的	ねらい	近年、子どものコミュニケーション能力や規範意識の低下など、人と関わる力の育ちの問題が指摘されています。このような背景の中で、保育内容5領域の中でも、人と豊かな関わりを養う領域「人間関係」を学ぶ意義は深いと言えます。この授業では、幼稚園教育要領と保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「人間関係」のねらいと内容を学修します。生涯にわたる人格形成の基礎が培われる乳幼児期には、特定範囲の人との安定した関係を得ることが必須条件となることをふまえ、乳幼児と密接にかかわる保育者に求められる援助の在り方について学びます。					
	到達目標	(1)幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「人間関係」のねらいと内容について理解する。 (2)人間関係の発達における乳幼児期の重要性について理解する。 (3)乳幼児期の人間関係の発達における、保育者の役割について理解を深める。					
授 業 の 画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション・自己理解と自己概念 【計画内容】 授業の目標を理解し、全15回の授業を概観します。人間関係について考え、自己分析を行います。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。					A、B、K
	第2回	【テーマ】 領域「人間関係」のねらいと内容について 【計画内容】 『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』における領域「人間関係」について学びます。 【準備学習の内容】 『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』の領域「人間関係」の部分を読んでおくこと。					A、K
	第3回	【テーマ】 人間関係の発達(1)乳児期 【計画内容】 「愛着」と「愛着形成」およびその重要性について学びます。また、乳幼児期における人との関わりについて理解を深めます。 【準備学習の内容】 事前配付プリントを読んでおくこと。					A、B、K
	第4回	【テーマ】 人間関係の発達(2)幼児期から児童期 【計画内容】 「自我の芽生え」について学びます。また、幼児の主体的な活動について理解を深めます。 【準備学習の内容】 事前配付プリントを読んでおくこと。					A、B、K
	第5回	【テーマ】 遊びの発達と人間関係 【計画内容】 子どもにとっての「遊び」の意義、遊びの中で生まれる人間関係について学び、経験の中で身に付けていく内容と援助の留意点について理解を深めます。 【準備学習の内容】 事前配付プリントを読んでおくこと。					A、B、H
	第6回	【テーマ】 子どもと保育者の関わり 【計画内容】 子どもが身に付けていく人間関係を、保育計画・指導計画にどのように位置づけるかを学びます。また、保育に對しての省察の意義、教育における評価の考え方について考察します。 【準備学習の内容】 事前配付プリントを読んでおくこと。					A、B、K
	第7回	【テーマ】 保育者の援助と自立・共同・協同・協働 【計画内容】 「生きる力」の基礎としての「自立」について学び、子どもが人と関わる力を身に付けて行くことについて理解を深めます。 【準備学習の内容】 事前配付プリントを読んでおくこと。					A、F、L
	第8回	【テーマ】 人間関係を結ぶ友だちとの関わり 【計画内容】 子どもが友だち関係を広げていく活動内容や保育者の役割について学びます。 【準備学習の内容】 事前配付プリントを読んでおくこと。					A、F、H
	第9回	【テーマ】 遊びと人間関係(1) 【計画内容】 子どもの人間関係を考慮した活動内容について考え、指導案を作成して実践に繋がります。また、評価・反省を行い、省察について理解を深めます。 【準備学習の内容】 事前配付プリントを読んでおくこと。					A、H、K
	第10回	【テーマ】 遊びと人間関係(2) 【計画内容】 遊びを通して幼児期から培う社会性やコミュニケーション能力の重要性について理解を深めます。 【準備学習の内容】 事前配付プリントを読んでおくこと。					A、B、H
	第11回	【テーマ】 気になる子どもとの関わり 【計画内容】 気になる子どもと保育課題、特別支援教育について学びます。 【準備学習の内容】 事前配付プリントを読んでおくこと。					A、K
	第12回	【テーマ】 子育て支援と家庭との関わり 【計画内容】 実践事例を踏まえて、子育て支援について学び、保護者対応の留意点を考察します。 【準備学習の内容】 事前配付プリントを読んでおくこと。					A、J
	第13回	【テーマ】 子どもの人間関係をめぐる課題(1) 【計画内容】 少子高齢化社会や情報社会に生きる子どもたちについて理解を深めます。また保育の中での情報機器や教材の活用法について考察します。 【準備学習の内容】 事前配付プリントを読んでおくこと。					A、K
	第14回	【テーマ】 子どもの人間関係をめぐる課題(2) 【計画内容】 これまでの授業を踏まえ、子どもの人間関係をめぐる現代的課題とその解決方法について検討します。また、小学校の教材などへのつながりについて考察します。 【準備学習の内容】 事前配付プリントを読んでおくこと。					A、G
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 「保育内容人間関係」特性に応じた保育の実践の動向を知り、保育の構想の向上に取り組むことについて考察します。 【準備学習の内容】 授業全体の復習を行うこと。					A、L
テキスト		プリントを使用します 講義ノートを作成します					
参 考 書		文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分 充足			60%		30%	10%
質問への対応 授業内、授業日の昼休み、オフィスアワーなどで対応します。							
資 格		〔こ〕幼2種_選必、保育士_必修					
そ の 他		課題は15回中に返却し、振り返り考察を行います。最終日にまとめて再提出し、評価を行います。					

科 目 名		保育内容健康			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		小林 八重子						
授 業 の 目 的	ねらい	保育所保育指針及び幼稚園教育要領における領域「健康」のねらいと内容を理解し学びます。領域「健康」の観点から、保育者の役割・基本的生活習慣の指導・環境構成の在り方などについて理解し学びます。						
	到達目標	(1)保育所保育指針及び幼稚園教育要領に基づいた「健康」を学びます。 (2)幼児の発達と健康、生活習慣・食習慣について学びます。 (3)保育における運動やけが、病気、応急処置について学びます。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の目標を理解し、全15回の授業を説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容をよく読んでおくこと。					A	
	第2回	【テーマ】領域「健康」のねらいと内容 【計画内容】保育所保育指針及び「幼稚園教育要領」に示された領域「健康」のねらいや内容について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、H	
	第3回	【テーマ】領域「健康」と保育の実際 【計画内容】「安定感」「戸外の遊び」「生活の場の整備」など、保育の実際について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、H	
	第4回	【テーマ】幼児の発達と健康(1) 【計画内容】乳幼児期における身体の発育・発達について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、H	
	第5回	【テーマ】幼児の発達と健康(2) 【計画内容】乳幼児期における心や社会性の発達について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、F、H	
	第6回	【テーマ】幼児の生活習慣と健康 【計画内容】幼児の睡眠を中心とした生活リズムの現状と課題について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。					A、F、H	
	第7回	【テーマ】基本的生活習慣の形成 【計画内容】身の回りの清潔や衣類の着脱、排泄など基本的生活習慣の形成について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。					A、H	
	第8回	【テーマ】基本的生活習慣の形成に必要な教材作成 【計画内容】こどもの必要生活習慣を身につけさせるための教材作成をします。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、D、F	
	第9回	【テーマ】食習慣の形成と食育 【計画内容】心と体の栄養になるような楽しい食事の環境作りについて学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。					A、H	
	第10回	【テーマ】食習慣に必要な教材作成 【計画内容】こどもに必要な食習慣を身につけさせるための教材を作成します。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、D、F	
	第11回	【テーマ】保育における運動 【計画内容】運動遊びの指導のポイントについて学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、H	
	第12回	【テーマ】幼児のけがや事故 【計画内容】効果的な安全管理や安全教育のあり方について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。					A、D、H	
	第13回	【テーマ】応急処置の基本 【計画内容】適切な応急処置の仕方について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。					A、D、H	
	第14回	【テーマ】幼児の罹りやすい病気 【計画内容】感染症、アレルギー、予防接種などについて学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、H	
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】授業全体の成果と課題をまとめます。 【準備学習の内容】前回配付したプリントについて理解を深めておくこと。					A、F	
テキスト		プリントを使用する 講義時に説明する						
参 考 書		ここの悟郎、2018年1月、『子どもの保健』、診断と治療社 小林美由紀、2018年2月、『子どもの保健 演習ノート』、診断と治療社						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			60%		40%		
質問への対応		初回講義時に説明します。 随時講義終了後に受け付けます。						
資 格		〔こ〕幼2種_選必、保育士_必修						
そ の 他								

科 目 名		教育課程論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		高橋 さおり					
授 業 の 目 的	ねらい	教育基本法や学校教育法等の法令に従い学習指導要領や幼稚園教育要領を基準として各学校等において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解します。また、各学校等に求められる今日的な課題を理解し、その実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解します。					
	到達目標	(1)教育課程の役割・機能・意義を理解することができる。 (2)教育課程編成の基本原理と方法を理解することができる。 (3)カリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解することができる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 講義内容や到達目標、評価方法等について説明し、授業の全体を概観します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を読んでおくこと。					A、L
	第2回	【テーマ】 教育課程とカリキュラム 【計画内容】 教育課程とカリキュラムの概念を捉え、教育課程の意義や役割について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。					A、K、L
	第3回	【テーマ】 教育課程と関係法規 【計画内容】 教育基本法、学校教育法、学校教育法施行規則等の教育課程に関する法規について学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。					A、L
	第4回	【テーマ】 幼稚園及び認定こども園の教育課程 【計画内容】 幼稚園及び認定こども園における教育課程の意義、目的、編成について学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。					A、K、L
	第5回	【テーマ】 幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領について 【計画内容】 幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領の意義や役割、主な内容について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。					A、K、L
	第6回	【テーマ】 小学校の教育課程 【計画内容】 小学校における教育課程の意義、目的、編成について学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。					A、K、L
	第7回	【テーマ】 学習指導要領について 【計画内容】 小学校学習指導要領の意義や役割、主な内容について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。					A、K、L
	第8回	【テーマ】 幼稚園教育要領及び学習指導要領の変遷 【計画内容】 幼稚園教育要領及び小学校学習指導要領の改訂の変遷とその主な内容、社会的背景について学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。					A、L
	第9回	【テーマ】 指導計画の作成(1)幼稚園、認定こども園 【計画内容】 指導計画の作成を通して、園や地域の実態を踏まえつつ、領域を横断して教育内容を選択・配列することの意義や方法について学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。					A、H、L
	第10回	【テーマ】 指導計画の作成(2)小学校 【計画内容】 指導計画の作成を通して、学校や地域の実態を踏まえつつ、教科・領域を横断して教育内容を選択・配列することの意義や方法について学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。					A、H、L
	第11回	【テーマ】 カリキュラム・マネジメントの重要性 【計画内容】 子どもに身につけさせたい資質・能力を明確にした上で、その実現に向けてたえず計画を改善していかなければならないことについて、教育内容・方法の計画という観点から学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。					A、H、L
	第12回	【テーマ】 教育課程を支える諸条件のマネジメント 【計画内容】 ヒト(教職員組織・保護者・地域住民)・モノ(教材教具・施設設備等)・カネ(財政的な措置等)といった諸条件のマネジメントを行うことで、カリキュラムをよりよいものとしていくことについて学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。					A、L
	第13回	【テーマ】 教育課程と評価 【計画内容】 子どもたちが何を理解しているか、または何を理解していないかという現状把握を起点として、どのように計画を改善していくかについて、学校全体の評価の問題と関連付けながら学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。					A、L
	第14回	【テーマ】 幼小接続について 【計画内容】 「小1プロブレム」について考察し、幼小接続の現状と課題について理解します。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。					A、H、L
	第15回	【テーマ】 学修の振り返り 【計画内容】 授業の振り返りを行い、教育課程をめぐる現代の課題について考えます。 【準備学習の内容】 授業全体の復習をしておくこと。					H、L
テ キ ス ト	文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館、9784577814475 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館、9784577814499						
参 考 書	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』、東洋館出版社、9784491034607 プリントを使用します。						
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分 補 足			70%		30%	
質 問 へ の 対 応	初回授業時に説明します。						
資 格	[こ]幼・小2種_必修						
そ の 他	小レポート等については、最終回に講評します。						

科目名	教育実習講義Ⅱ		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	菜原 桂子、長尾 明也、中島 啓子、松田 久美						
授業の目的	ねらい	教育実習は、大学における教職課程と実習小学校・幼稚園との連携の中で指導体制が組織され、教育理論と教育実践が相互に交流し合いながら高められ、教師を志す者の教育的情熱と力量形成の源となるものです。そこで、教育実習(小学校・幼稚園)に向けて、実習の効果を一層高めるために、安心して実習できる心構えをしっかりと持ち、それぞれが自分の目標を定めて取り組めるようにします。					
	到達目標	(1)教育実習の指導技術が理解できる。 (2)教育実習の心得が理解できる。 (3)意欲をもって教育実習に参加しようとする。 (4)自分の目標をもって教育実習に取り組むことができる。 (5)教育実習の成果と課題をまとめることができる。					
授業計画	第1回	【テーマ】教育実習オリエンテーション 【計画内容】教育実習の意義と目的について再確認します。挨拶の仕方、礼状の書き方、実習校・園への対応の仕方を学びます。実習調査書に記入した「実習への心構えと具体的な目標」について交流して意識化します。教育実習日誌の記入についても学びます。(全教員) 【準備学習の内容】「教育実習の手引き」、実習調査書控を準備すること。指導案用紙を配付します。				A	
	第2回	【テーマ】幼稚園実習・小学校実習の指導案づくり1 【計画内容】実習内容の理解、子ども一人ひとりへの対応の仕方、保育の仕方を具体的に学びます。小学校グループと幼稚園グループに分かれて指導案を作成します。(全教員) 【準備学習の内容】指導案づくりの予習(下書き)をしておくこと。				A、F	
	第3回	【テーマ】幼稚園実習・小学校実習の指導案づくり2 【計画内容】実習内容の理解、子ども一人ひとりへの対応の仕方、保育の仕方を具体的に学びます。小学校グループと幼稚園グループに分かれて作成した指導案で、模擬授業、部分指導のシュミレーションを行います。(全教員) 【準備学習の内容】指導案にそって、必要な教材・教具・提示予定の作品などを準備すること。				A、F、H	
	第4回	【テーマ】幼稚園実習・小学校実習の指導案づくり3 【計画内容】実習内容の理解、子ども一人ひとりへの対応の仕方、保育の仕方を具体的に学びます。小学校グループと幼稚園グループに分かれて作成した指導案で模擬授業・部分指導のシュミレーションを行います。(全教員) 【準備学習の内容】指導案にそって、必要な教材・教具・提示予定の作品などを準備すること。				A、F、H	
	第5回	【テーマ】幼稚園実習・小学校実習の指導案づくり4 【計画内容】実習内容の理解、子ども一人ひとりへの対応の仕方、保育の仕方を具体的に学びます。小学校グループと幼稚園グループに分かれて指導案を作成します。(全教員) 【準備学習の内容】指導案にそって、必要な教材・教具・提示予定の作品などを準備すること。				A、H	
	第6回	【テーマ】幼稚園実習・小学校実習の指導案づくり5 【計画内容】小学校グループ、幼稚園グループで作成した指導案・部分指導をまとめ、実習時の参考となるようにします。教育実習日誌の書き方について再度、確かめます。(全教員) 【準備学習の内容】これまで学んできたことをもとに教育実習に向けての決意や心構えをすること。				A、F、H	
	第7回	【テーマ】教育実習事前準備を行うこと。実習訪問担当教員との個別面談・打合を行うこと。 【計画内容】実習参加への決意を表明します。小学校・幼稚園実習への抱負と決意を表明して本実習に臨みます。(全教員) 【準備学習の内容】実習準備に関する最終確認をしっかりと行うこと。				A、F	
	第8回	【テーマ】教育実習報告書の作成 【計画内容】教育実習を振り返り、成果と課題についてまとめます。実習校・園へのお礼状を作成し、発送します。(全教員) 【準備学習の内容】教育実習後、実習日誌、指導案を提出すること(後学期の「教職実践演習(幼・小)」等に使用)。				A、F、H	
	第9回	【テーマ】教育実習の交流1 【計画内容】教育実習での成果と課題を交流します。子どもとのかかわりや指導内容について小学校と幼稚園のグループに分かれて交流します。(全教員) 【準備学習の内容】教育実習の時の日誌、指導案、作成した教材などを準備すること。				A、F、H	
	第10回	【テーマ】教育実習の交流2 【計画内容】教育実習での成果を課題を交流します。実習校・園の日課表などについても交流します。(全教員) 【準備学習の内容】教育実習日誌、指導案、作成した教材などを準備すること。				A、F、H	
	第11回	【テーマ】小学校教諭・幼稚園教諭をめざして1 【計画内容】幼稚園グループ:実習で指導いただいた先生の指導する姿の観察などから、自分が目指す理想の幼稚園教諭像を小論文に書き、交流します。(菜原桂子・松田久美・中島啓子) 小学校グループ:小学校で実習した教科の内容について学習指導要領の関連でまとめます。(長尾明也) 【準備学習の内容】幼稚園教諭・小学校教諭の仕事内容などメモしておくこと。				A、F、H	
	第12回	【テーマ】小学校教諭・幼稚園教諭をめざして2 【計画内容】幼稚園グループ:実習で部分指導した内容と幼稚園教育要領と関係づけてまとめます。(菜原桂子・松田久美・中島啓子) 小学校グループ:小学校で実習した教科の内容について学習指導要領の関連でまとめます。(長尾明也) 【準備学習の内容】幼稚園教諭・小学校教諭の仕事内容などメモしておくこと。				A、F、H	
	第13回	【テーマ】小学校教諭・幼稚園教諭をめざして3 【計画内容】幼稚園グループ:実習で部分指導した内容と幼稚園教育要領と関係づけてまとめます。(菜原桂子・松田久美・中島啓子) 小学校グループ:小学校で実習した教科の内容について学習指導要領の関連でまとめます。(長尾明也) 【準備学習の内容】幼稚園教諭・小学校教諭の仕事内容などメモしておくこと。				A、F、H	
	第14回	【テーマ】小学校教諭・幼稚園教諭をめざして4 【計画内容】実習中、校長・園長、指導教諭からうけた助言や指導、課題とされたことを整理して、自分から取り組んでいくよう自己課題カードを作成します。(全教員) 【準備学習の内容】教育実習日誌などの園長・校長、指導担当教諭の所見等を準備すること。				A、F、H	
	第15回	【テーマ】教育実習(学生)から教諭採用(社会人)へ 【計画内容】幼稚園教諭・小学校教諭としての、採用までの流れを整理し応募の仕方について学びます。教育実習の成果を生かす効果的な志望動機の手書き方を学びます。(全教員) 【準備学習の内容】履歴書用紙(下書き)、自己評価カードを準備すること。				A、F、H	
テキスト		北翔大学・北翔大学短期大学部、2018年、『教育実習の手引き』					
参考書		文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』、東京書籍 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 内閣府他、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』、フレーベル館					
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	足	30% 模擬授業・保育等	40% 期日厳守	20%	10%	
質問への対応		各授業担当者のオフィスアワー(昼休み)					
資格		[こ]幼・小2種_必修					
その他		教職に就くために教育実習での実践的経験は極めて重要です。教育実習の事前準備と事後の改善点整理をしっかりと行うようにしましょう。 課題は15回中に返却しその都度振り返りを行います。第15回にまとめて再提出して評価を行います。					

科 目 名	教育実習			授業形態	実習	単 位 数	4
教 員 名	菜原 桂子、長尾 明也、中島 啓子、松田 久美						
授 業 の 目 的	ねらい	教育実習は、教師を目指す皆さんが幼児・児童を指導し、教師の仕事の実際にふれ、学校現実を体験する中で、自らの決意と適性を確認するとともに、自己の人間的・学問的な未熟さを自覚して、新たに教師となるための課題を発見する場としてきわめて重要な科目です。また、教育実習では、教科指導、道徳・特別活動指導、生徒指導等、諸行事への参加、学校地域社会との関係理解など、様々な教育活動を経験して、教師の役割、学校・幼稚園の機能を十分に把握することが求められています。本教科においては、「教育実習講義Ⅰ・Ⅱ」と連動し、小学校・幼稚園の希望校種ごとに教育現場で教師の立場から体験的な学習に3週間参加することにより、教職のすばらしさを知るとともに、教員としての資質や能力を体得することを大きな目的とします。また、職能向上に向けて、より意欲的に研修する態度も身につけます。教育実習に際しては、実習校・幼稚園の校長・園長先生や教職員の指導のもとに、誠実でかつ意欲的に取り組まなければなりません。					
	到達目標	(1)教師としての自覚のもとに、責任をもち積極的に教育活動に参加できる。 (2)児童・幼児の実態に基づいた指導案の作成、授業、評価ができる。 (3)児童・幼児の実態に基づいた生徒指導、環境構成、人間関係づくりなどができる。 (4)教材研究を積極的に行うとともに、提出物の内容が適切であり期限を守って提出することができる。					
授 業 の 計 画	【計画内容】 (1)観察、参加、授業を体験します。 (2)各実習校(園)教員による講義を受けます。 (3)校(園)長・教頭による学校(園)経営・校務分掌、教科指導、生徒指導等の講義を受けます。 (4)学校(園)の行事へ参加します。 (5)学習(実習)指導案を作成し、研究授業(保育)をします。 (6)実習日誌を書きます。 (7)こども学科教員による訪問指導を受けます。(学科全教員) 【事後学習の内容】 ・実習校・園への礼状、実習報告書の作成。(全教員) ・実習の反省及び今後の課題。(全教員) 【準備学習の内容】 実習校・園のオリエンテーション・打合等で指示された準備、持参する用具等の確認・記名など。						D
テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』、東京書籍 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 北翔大学・北翔大学短期大学部、2018年、『教育実習の手引き』						
参 考 書	必要に応じてプリント等を配付します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分		40%				60%
	補 足		実習日誌・実践授業指導案・実習報告書				実習園、校からの評価を参考にする
質問への対応	教育実習担当(随時):菜原、中島、松田、長尾 教育実習訪問時(随時):教育実習訪問指導教員						
資 格	[乙]幼・小2種_必修						
そ の 他	実習前年度までに、「教職概論(2単位)」「教育原理(2単位)」「教育相談とカウンセリング(2単位)」「教育実習講義Ⅰ(2単位)」「日本国憲法(2単位)」を修得していること。実習終了後の事後指導を含む。						

科目名		教職実践演習(幼・小)			授業形態	演習	単位数	2
教員名		松田 久美、荒川 巖、太田 俊一、高橋 さおり、菜原 桂子						
授業の目的	授業の目的	教育実習講義Ⅰ・Ⅱ、及び教育実習を通して身につけた、小学校教諭、幼稚園教諭として必要な知識及び技能を確認するとともに、本学の目指す教師像や到達目標等に照らし合わせ、各々に不足している能力及び資質の向上を目指す。						
		(1)使命感や責任感、教育的思考力が身についている。 (2)社会性や対人関係能力が身についている。 (3)幼児児童の理解力や学級経営能力が身についている。 (4)教科・保育内容等の指導力が身についている。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】個人での取り組みの後、小学校就職志望者と幼稚園(保育所)就職志望者に分かれてグループ編成し、各グループでディスカッションします(個別ワーク、及びグループワークを行います)。「研究報告書」の概要を各指導教員に提出。(全教員) 【準備学習の内容】「教育実習」を振り返り、知識の不足、技能の不十分さなど自覚した点を明らかにしておくこと。夏休みの課題「研究報告書の概要」を作成しておくこと。					A、H	
	第2回	【テーマ】課題への取り組み1 【計画内容】幼稚園・小学校における「クラス便り」や、表現活動の「構想資料」などの作成に取り組みます。(全教員) 【準備学習の内容】計画的に課題に取り組めるよう準備すること。					B、L	
	第3回	【テーマ】課題への取り組み2 【計画内容】幼稚園・小学校における「クラス便り」や、表現活動の「構想資料」などの作成に取り組みます。下一桁が奇数であるか偶数であるかで分かれるなどの方法をとりながら、個々のスケジュールで進めます。(全教員) 【準備学習の内容】自分が立てた計画に沿って課題を進められるよう準備すること。					B、L	
	第4回	【テーマ】課題への取り組み3 【計画内容】幼稚園・小学校における「クラス便り」や、表現活動の「構想資料」などの作成に取り組みます。(全教員) 【準備学習の内容】期限を守って提出できるよう、作業を進めること。					B、L	
	第5回	【テーマ】課題への取り組み4 【計画内容】幼稚園・小学校における「クラス便り」や、表現活動の「構想資料」などの作成に取り組みます。(全教員) 【準備学習の内容】期限を守って提出できるよう、作業を進めること。					B、L	
	第6回	【テーマ】論文作成への取り組み1 【計画内容】問題意識を持って設定したテーマ(教育、保育、及び児童、幼児に関わる)について、先行研究を調べたり、自分で調査をして結果を出すなどしてそれらを記述します。(全教員) 【準備学習の内容】論文のテーマを設定し、どのような構成にするかについて明らかにしておくこと。					G、L	
	第7回	【テーマ】小学校教諭の実際(幼稚園と小学校の連携、インクルーシブ教育・保育について) 【計画内容】幼稚園・小学校管理職の経験者を講師に招き、幼小の関連や低学年の学級担任の役割や実務、とくに幼稚園から小学校低学年の子どもの活動傾向などについて学びます。(全教員) 【準備学習の内容】配付したプリント等で小学校教諭・幼稚園教諭の職務について予習すること。					A、H	
	第8回	【テーマ】論文作成への取り組み2 【計画内容】「研究報告書」作成のための資料の収集と執筆。(全教員) 【準備学習の内容】序論、本論、結論のそれぞれで何についてどのように記述していくのかを明確にしなが、書き進めること。					G、L	
	第9回	【テーマ】論文作成への取り組み3 【計画内容】「研究報告書」作成のための資料の収集と執筆。(全教員) 【準備学習の内容】執筆内容に齟齬のないよう、丁寧に書き進めること。					G、L	
	第10回	【テーマ】論文作成への取り組み4 【計画内容】「研究報告書」作成のための資料の収集と執筆。(全教員) 【準備学習の内容】論文全体の体裁を整え、提出の準備をすること。					G、L	
	第11回	【テーマ】プレゼンテーション1 【計画内容】「研究報告書」の内容について個人発表。(全教員) 【準備学習の内容】自分が作成した「論文」の内容について、わかりやすく説明できるよう準備を行う。					F、L	
	第12回	【テーマ】プレゼンテーション2 【計画内容】「研究報告書」の内容について個人発表。(全教員) 【準備学習の内容】自分が作成した「論文」の内容について、わかりやすく説明できるよう準備を行う。					F、L	
	第13回	【テーマ】プレゼンテーション3 【計画内容】「研究報告書」の内容について個人発表。(全教員) 【準備学習の内容】自分が作成した「論文」の内容について、わかりやすく説明できるよう準備を行う。					F、L	
	第14回	【テーマ】プレゼンテーション4 【計画内容】「研究報告書」の内容について個人発表。(全教員) 【準備学習の内容】自分が作成した「論文」の内容について、わかりやすく説明できるよう準備を行う。					F、L	
	第15回	【テーマ】学びの振り返り(まとめ) 【計画内容】この授業の受講を通して、小学校教諭、幼稚園教諭として必要な資質や能力の向上が図れたかどうか、またそれはどのような点についてそのように言えるのかについて確認します。(全教員) 【準備学習の内容】この授業全体を通して、得られたものについてを振り返っておく。					H、I、L	
テキスト		文部科学省、2018年、「小学校学習指導要領」、東洋館出版社、4491034605 文部科学省、2018年、「幼稚園教育要領解説」、フレーベル館、4577814471 北翔大学・北翔大学短期大学部、2018年、「教育実習の手引き」						
参考書		プリントを使用します						
成績評価の方法	配補	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
		分足		50% 期限厳守	40% 期限厳守	10%		
質問への対応		全体指導と小・幼グループ指導の2通りの授業形態があるため、初回講義時に説明します。						
資格		[こ]幼・小2種_必修						
その他		「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」のすべてを修得済み、あるいは修得見込みであること。						

科 目 名		こどもの遊び論			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		長尾 明也						
授 業 の 目 的	ねらい	今、子どもの育ちに様々な問題が起きています。それは子どもが豊かに育つための遊びの時間や空間、人間関係を構築する力の低下、自然環境の破壊などが背景にあることが考えられます。子どもにとって遊びとは何かを考え、幅広い遊びについて理解を深めます。また保育者として、それらの遊びを保育の現場でどのように展開していくことが望ましいのかを考え、目的をもって活動展開する力を養います。						
	到達目標	(1)遊びの理論について理解する。 (2)発達に応じた遊びを展開するための留意点を理解する。 (3)子どもにとって意義のある遊びを考える力を身に付ける。 (4)遊びを立案し実践する力を身につける。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】15回の講義の内容について説明します。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。					A	
	第2回	【テーマ】子どもの「いのち」と「リズム」 【計画内容】子どものいのちの尊さ、自然界のリズムについて学び、その関係性を明らかにするとともに、子どもに対する理解度を深めます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。					A、B、L	
	第3回	【テーマ】遊びと子どもの育ち 【計画内容】子どもの心身の発達に応じた遊びや、遊びの理論・遊びの分類について学びます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。					A、B、L	
	第4回	【テーマ】子どもの遊びとその課題 【計画内容】子どもにとって充実した遊びの環境とはどのような事を考え、問題点や解決に向けて考えていきます。 【準備学習の内容】3回目に出された課題「現代の子どもの遊びの充実に対し、問題点として考えられること」を考えてくること。					A、B、L	
	第5回	【テーマ】遊びの発達の特徴 【計画内容】遊びの中でみられる子どもの発達の特徴を理解し、遊びの機能と効用について学びます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。					A、B、L	
	第6回	【テーマ】発達段階を考えた遊び① 【計画内容】発達に見合った遊びを考え、実践するための留意点や指導法を学びます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。					A、B、L	
	第7回	【テーマ】発達段階を考えた遊び② 【計画内容】発達に見合った遊びを考え、実践するための留意点や指導法を学びます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。					A、B、L	
	第8回	【テーマ】遊びの文化① 【計画内容】遊びの歴史的文化的について学び、これから子どもたちに伝えていきたい伝承遊びやわらべ歌を学び実践します。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。					A、B、L	
	第9回	【テーマ】遊びの文化② 【計画内容】遊びの歴史的文化的について学び、これから子どもたちに伝えていきたい伝承遊びやわらべ歌を学び実践します。 【準備学習の内容】8回目に出された課題として、個人またはグループで選択した遊びについて調べてくること。					A、B、L	
	第10回	【テーマ】遊びの文化③ 【計画内容】遊びの歴史的文化的について学び、これから子どもたちに伝えていきたい伝承遊びやわらべ歌を学び実践します。 【準備学習の内容】9回目に出された課題として、個人またはグループで選択した遊びについて調べてくること。					A、B、L	
	第11回	【テーマ】教育としての遊び① 【計画内容】保育所や幼稚園のような集団の営みの中で、保育者とともに楽しむ遊びや、教育的役割を果たしている遊びについて理解を深めます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。					A、B、L	
	第12回	【テーマ】教育としての遊び② 【計画内容】保育所や幼稚園のような集団の営みの中で、保育者とともに楽しむ遊びや、教育的役割を果たしている遊びについて理解を深めます。 【準備学習の内容】事前配付プリントを読んでおくこと。					A、B、L	
	第13回	【テーマ】遊びの展開① 【計画内容】授業内で行った遊びを一つ選択し、その遊びをイメージして指導案を立案し実践します。 【準備学習の内容】展開してみたい遊びを一つ選び、ねらいと準備するもの、展開の手順を考えてくること。					B、K	
	第14回	【テーマ】遊びの展開② 【計画内容】授業内で行った遊びを一つ選択し、その遊びをイメージして指導案を立案し実践します。 【準備学習の内容】13回目に到達できなかった部分を仕上げてくること。					B、K	
	第15回	【テーマ】子どもの遊びと理論についてのまとめ 【計画内容】講義の内容を振り返り、課題に基づいてレポートを作成します。 【準備学習の内容】授業全体の復習を行っておくこと。					B、L	
テキスト		プリントを使用します						
参 考 書		厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館						
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補 足		30% 模擬授業	30% レポート・指導案	30% 小作品提出	10%		
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。オフィスアワー(4月発表)を参考にしてください。						
資 格								
そ の 他		保育コース必修						

科 目 名				こどもの表現遊び研究		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名				清水 桂子					
授 業 の 目 的	ねらい	子どもの生活のあらゆる場面において、表現活動は行われています。保育者は、子どもの育ちを基盤としながら子どもの表現を受けとめ、支えることが求められます。授業では、実践を通し幅広い視点を養いながら、豊かな表現活動を展開できるよう、理解を深めていきます。							
	到達目標	(1)乳幼児期の生活の中における表現活動について理解する。 (2)多様な表現活動をとらえる視点と関わりのあり方について理解する。 (3)豊かな表現活動を理解し、創意工夫する力と実践力を身につける。							
	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 講義内容、評価の方法、受講姿勢等について説明します。領域[表現]を再確認したうえで、乳幼児期の表現活動について考えます。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を読んでおくこと。							A、B、K
授 業 の 計 画	第2回	【テーマ】 保育内容表現と表現活動について 【計画内容】 生活の中における多様な表現活動について学びます。子どもの育ちを基盤としながら、「保育内容表現」との関係性を学び、実践を通して理解を深めます。 【準備学習の内容】 配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。							A、B、K
	第3回	【テーマ】 身近な素材と表現活動 ①絵本と表現活動 【計画内容】 生活の中における身近な素材やもの[絵本]等を題材とした表現活動について、実践を通して学びます。 【準備学習の内容】 配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。							A、B、K
	第4回	【テーマ】 [絵本]を用いた表現活動の工夫と展開 【計画内容】 身近な素材やもの[絵本]等を題材とした、表現活動の展開方法等を実践を通して学びます。グループワークを通し検討・発表につなげます。 【準備学習の内容】 配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。							B、E、H、K
	第5回	【テーマ】 身近な素材と表現活動 ②[音・音色]と表現活動 【計画内容】 生活の中における身近な素材やもの[音・音色]等を題材とした表現活動について、実践を通して学びます。 【準備学習の内容】 配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。							A、B、K
	第6回	【テーマ】 [音・音色]を用いた表現活動の工夫と展開 【計画内容】 身近な素材やもの[音・音色]等を題材とした、表現活動の展開方法等を実践を通して学びます。グループワークを通し検討・発表につなげます。 【準備学習の内容】 配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。							B、E、H、K
	第7回	【テーマ】 身近な素材と表現活動 ③[言葉・擬音語]と表現活動 【計画内容】 生活の中における身近な素材やもの[言葉・擬音語]等を題材とした表現活動について、実践を通して学びます。 【準備学習の内容】 配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。							A、B、K
	第8回	【テーマ】 [言葉・擬音語]を用いた表現活動の工夫と展開 【計画内容】 身近な素材やもの[言葉・擬音語]等を題材とした、表現活動の展開方法等を実践を通して学びます。グループワークを通し検討・発表につなげます。 【準備学習の内容】 配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。							B、E、H、K
	第9回	【テーマ】 身近な素材と表現活動 ④[歌・動き]と表現活動 【計画内容】 生活の中における身近な素材やもの[歌・動き]等を題材とした表現活動について、実践を通して学びます。 【準備学習の内容】 配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。							A、B、K
	第10回	【テーマ】 [歌・動き]を用いた表現活動の工夫と展開 【計画内容】 身近な素材やもの[歌・動き]等を題材とした、表現活動の展開方法等を実践を通して学びます。グループワークを通し検討・発表につなげます。 【準備学習の内容】 配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。							B、E、H、K
	第11回	【テーマ】 豊かな表現活動と保育教材について 【計画内容】 乳幼児の育ちに応じた、表現活動や遊びの展開につながる保育教材の考案と、用い方について研究します。 【準備学習の内容】 保育教材の内容について検討しておくこと。							B、H、K
	第12回	【テーマ】 豊かな表現活動と保育教材の工夫 【計画内容】 考案した保育教材の作成と用い方について研究します。グループワークを通して、教材の意味を検討します。 【準備学習の内容】 保育教材作成の準備をしておくこと。							B、H、K
	第13回	【テーマ】 総合的な表現活動について 【計画内容】 これまでの表現活動での学びを総合的に活かし、実践し発表します。発表を通して多様な表現活動について幅広くとらえ、理解につなげます。 【準備学習の内容】 発表に向け、準備を進めておくこと。							B、H、K
	第14回	【テーマ】 総合的な表現活動の展開 【計画内容】 これまでの表現活動での学びを総合的に活かし、実践し発表します。発表を通して多様な表現活動について幅広くとらえ、理解につなげます。 【準備学習の内容】 発表に向け、準備を進めておくこと。							B、H、K
	第15回	【テーマ】 総合的な学びの振り返りとまとめ 【計画内容】 これまでの学びをふりかえり、まとめます。幅広い表現活動についての理解を再確認します。 【準備学習の内容】 テキスト、配付プリントを読んでおくこと。							B、K、L
	テキスト		プリントを配付します						
参 考 書		文部科学省編、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 厚生労働省編、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分補足			30% 学びの記録含む		30%	40% 実技発表		
質問への対応		初回講義時に説明します。616研究室							
資 格									
そ の 他		学科推奨科目。動きやすい服装で出席して下さい。 提出課題等については、最終回に講評します。							

科 目 名	こどもの造形遊び研究				授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名	入江 彩子							
授 業 目 的	ねらい 到達目標	パネルシアターを制作します。また、教育実習で学んだことを昇華させるプロセスとして、壁面構成を共同制作します。この演習を通して、造形表現の基礎知識や技能を習得し、子どもの造形活動について様々な角度から考え、学びます。 (1)子どもが楽しめるパネルシアターを考案し、創意工夫して制作することができる。 (2)作品制作を通して造形表現の基礎知識や技能を習得し、造形感覚を養う。 (3)共同制作について理解し、他者と協力して作品を制作することができる。						
授 業 計 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス、パネルシアター制作1 【計画内容】 講義概要、講義展開等について説明します。 パネルシアターについて知識と理解を深めます。また、内容を検討してアイディアスケッチと計画表を作成します。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。図書館等を利用して、パネルシアターの本を何冊か読んでおくこと。						A、K
	第2回	【テーマ】 パネルシアター制作2 【計画内容】 アイディアスケッチと計画表を基に制作を開始します。 【準備学習の内容】 アイディアスケッチと計画表を完成させておくこと。						E
	第3回	【テーマ】 パネルシアター制作3 【計画内容】 各々の計画に基づいて制作を進めます。 【準備学習の内容】 制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。						E
	第4回	【テーマ】 パネルシアター制作4 【計画内容】 各々の計画に基づいて制作を進めます。 【準備学習の内容】 制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。						E
	第5回	【テーマ】 パネルシアター制作5 【計画内容】 各々の計画に基づいて制作を進めます。 【準備学習の内容】 制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。						E
	第6回	【テーマ】 パネルシアター制作6 【計画内容】 各々の計画に基づいて制作を進めます。 【準備学習の内容】 制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。						E
	第7回	【テーマ】 パネルシアター制作7 【計画内容】 パネルシアターを完成させます。 【準備学習の内容】 講義内で作品を完成できるよう、制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。						E
	第8回	【テーマ】 パネルシアター発表会 【計画内容】 完成した作品を発表します。 【準備学習の内容】 発表の準備をしておくこと。						F
	第9回	【テーマ】 壁面構成制作1 【計画内容】 グループごとに壁面構成の内容を検討して、アイディアスケッチと計画表を作成します。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。図書館等を利用して、壁面構成の本を何冊か読んでおくこと。						H、K
	第10回	【テーマ】 壁面構成制作2 【計画内容】 計画に基づいて共同で制作を進めます。 【準備学習の内容】 アイディアスケッチと計画表を完成させておくこと。						E、H
	第11回	【テーマ】 壁面構成制作3 【計画内容】 計画に基づいて共同で制作を進めます。 【準備学習の内容】 制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。						E、H
	第12回	【テーマ】 壁面構成制作4 【計画内容】 計画に基づいて共同で制作を進めます。 【準備学習の内容】 制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。						E、H
	第13回	【テーマ】 壁面構成制作5 【計画内容】 計画に基づいて共同で制作を進めます。 【準備学習の内容】 制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。						E、H
	第14回	【テーマ】 壁面構成制作6 【計画内容】 壁面構成を完成させます。 【準備学習の内容】 講義内で作品を完成できるよう、制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。						E、H
	第15回	【テーマ】 壁面構成発表会、展示 【計画内容】 完成した作品を発表します。発表後、作品を展示します。 【準備学習の内容】 発表の準備をしておくこと。						F
テキスト	プリントを使用します							
参 考 書	プリントを使用します							
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			30%	50%	20%		
質問への対応	初回講義時に説明します。							
資 格								
そ の 他	学科推奨科目。 ・パネルシアター：第2回～7回は、用具セットと絵の具セットを持参して下さい。 ・壁面構成：第10回～14回は、用具セットを持参して下さい。 ・第8回と第15回に課題(作品)の講評をします。							

科 目 名		こどもの運動遊び研究			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		大宮 真一						
授 業 の 目 的	ねらい	幼児期は、昔から、「三歳児（みつご）の魂百まで」と言われてきているように、人の一生に大きな影響をもたらす重要な時期です。しかし、近年の幼児の社会生活環境は、「子どもたちを自然豊かな環境の中で、のびのびと遊ばせ育む」といった理想的な環境とはほど遠いものになりつつあります。 子どもたちにとって、最も大切な「遊び」の時間も少なくなり、体を動かして遊ぶ機会もますます減少する傾向にあります。このような遊びに伴う身体活動の減少は、さまざまな形で子どもたちの心身の健全な発育発達を阻害する状況を生み出しつつあります。 2012年に文部科学省は、幼児期に体を動かして遊び、運動することの重要性を指摘し、子どもたちが少なくとも一日60分以上運動することを進める「幼児期運動指針」を策定しました。本授業では、この指針の内容から、幼児期の運動が、「体力の発達」や「運動能力の向上」、さらには「こころ」の成長や「認知機能」、脳の発達に及ぼす影響について学習します。						
	到達目標	(1)幼児期に運動遊びを行うことの大切さが、理屈とともに理解できる。 (2)幼児期における運動能力の発達を理解できる。 (3)幼児期運動指針に基づいて、幼稚園および保育園で積極的に運動プログラムを実施することの意義が理解できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 この授業全体の15回の流れを説明します。 【準備学習の内容】 『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】 幼児期運動指針とは？/幼児期における身体活動の現状と問題点① 【計画内容】 幼児期運動指針の背景、策定された意図、知っておくべきポイントや子どもの遊び状況の問題点について学習します。 【準備学習の内容】 『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。						A、K
	第3回	【テーマ】 幼児期における身体活動の現状と問題点②/幼児期における運動の意義① 【計画内容】 子どもの生活習慣の問題点、幼児期における運動の意義について学習します。 【準備学習の内容】 『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。						A、K
	第4回	【テーマ】 幼児期における運動の意義②/幼児期における運動の意義③ 【計画内容】 子どもが丈夫で健康的な体になるための方法や意欲的に運動を取り組む心を育むための方法について学習します。 【準備学習の内容】 『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。						A、K
	第5回	【テーマ】 散歩による子どもたちの成長① 【計画内容】 初春の野幌森林公園を散策し、五感を働かせて自然の中を歩くことによって心身への影響について学習します。 【準備学習の内容】 屋外で活動をするので体調を整えておくこと。						G、M
	第6回	【テーマ】 幼児期における運動の意義④ 【計画内容】 運動を行うと子どもの協調性、コミュニケーション能力が高まることについて学習します。 【準備学習の内容】 『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。						A、K
	第7回	【テーマ】 幼児期における運動の意義⑤ 【計画内容】 運動が認知的能力の発達にも効果があることについて学習します。 【準備学習の内容】 『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。						A、K
	第8回	【テーマ】 幼児期における運動の意義⑥ 【計画内容】 幼児の生活動作スキルについて学習します。 【準備学習の内容】 『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。						A、K
	第9回	【テーマ】 散歩による子どもたちの成長② 【計画内容】 晩春の野幌森林公園を散策し、初春との景色の違いや動植物の変化について学習します。また、幼児を散歩へ連れ出すことの留意点を学習します。 【準備学習の内容】 屋外での活動に対する服装や準備物、体調について配付資料をもとに確認しておくこと。						G、M
	第10回	【テーマ】 運動効果を高める具体的な取り組み① 【計画内容】 幼児期運動指針に記された運動効果を高める具体的な取り組みにおいて、保育者に向けた提案について学習します。 【準備学習の内容】 『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。						A、K
	第11回	【テーマ】 運動効果を高める具体的な取り組み② 【計画内容】 幼児期運動指針に記された運動効果を高める具体的な取り組みにおいて、保護者に向けた提案について学習します。 【準備学習の内容】 『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。						A、K
	第12回	【テーマ】 幼児の動作発達と評価① 【計画内容】 幼児の運動発達の特徴、動きの習得の考え方、動きの評価の重要性について学習します。 【準備学習の内容】 『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。						A、K
	第13回	【テーマ】 幼児の動作発達と評価② 【計画内容】 幼児の動きの多様性をとらえる評価の方法、動きの洗練化をとらえる評価の方法、発達段階の特性と経験しておきたい遊び、基本的な動きの習得において小学校教育とのつながりについて学習します。 【準備学習の内容】 『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。						A、K
	第14回	【テーマ】 幼稚園・保育園で特化している行っている運動について 【計画内容】 幼稚園実習または保育園実習先で特化して実施している運動指導の実態を調査し、保育者が幼児の運動に関わることの重要性について学習します。 【準備学習の内容】 幼稚園実習および保育園実習の日記で自らが運動に関わったところを確認しておくこと						A、G、K、L
	第15回	【テーマ】 まとめ 【計画内容】 この授業を振り返り、幼稚園および保育園で運動プログラムを実施するための提言をします。 【準備学習の内容】 これまでの14回の授業を振り返っておくこと。						A、K、L
テ キ ス ト		日本発育発達学会、2014年、『幼児期運動指針実践ガイド』、杏林書院、4764411539						
参 考 書		浅見俊雄・福永哲夫、2015年、『子どもの遊び・運動・スポーツ』、市村出版 松田恵示、2016年、『「遊び」から考える体育の学習指導』、創文企画 一般社団法人 幼少年体育指導士会、2018年、『幼少年のための運動遊び・体育指導』、杏林書院						
成 績 評 価 の 方 法	配 分 補 足	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
				50% レポート		50% 平時・積極的な関わり		
質問への対応		E-Mail：omiya@hokusho-u.ac.jp						
資 格								
そ の 他		学科推奨科目。 状況によって、江別市児童体力向上事業における朝運動指導現場に参加することがあります。 屋外での活動は、こども学科専用ポロシャツ、ジャージ、ハーフパンツを着用してください。						

科 目 名		こどものリズム表現Ⅱ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		武井 歌織						
授 業 の 目 的	ねらい	エミール・ジャック＝ダルクローズが創案した、音楽基礎教育の具体的な実践教育である「リトミック」の技術的習得と指導法学習を行う。リトミックを指導する上での基礎的な、リズム運動・ピアノ演奏法・指導法(4歳児・5歳児)を習得し、子どもたちがリトミックに興味を持ち、好きになり、感動体験ができるような、楽しさに包まれた指導力を身に付ける。						
	到達目標	(1)リズム:リズムを表現する基礎的な動きができるようになる。 (2)ピアノ演奏:リズム指導における基礎的なピアノ奏法ができるようになる。 (3)指導法:4・5歳児指導法の年間カリキュラムを把握してそれを実践できるようになる。						
	第1回	【テーマ】4歳児指導法(1学期) 【計画内容】4歳児の発育と発達、それに合わせたリトミックの指導法を学びます。(1学期) 【準備学習の内容】テキストのp. 10-p. 40を読んでおく。						A、B
授 業 の 計 画	第2回	【テーマ】4歳児指導法(2学期) 【計画内容】4歳児の発育と発達、それに合わせたリトミックの指導法を学びます。(2学期) 【準備学習の内容】テキストのp. 58-p. 88を読んでおく。						A、B
	第3回	【テーマ】リズム運動①(リズムカノン3拍子) 【計画内容】3拍子のカノンをいろいろな方法で学びます。 【準備学習の内容】3拍子基礎リズムの復習をしておく。						B、E
	第4回	【テーマ】4歳児指導法(3学期) 【計画内容】4歳児の発育と発達、それに合わせたリトミックの指導法を学びます。(3学期) 【準備学習の内容】テキストのp. 104-p. 132を読んでおく。						A、B
	第5回	【テーマ】リトミックのためのピアノ演奏法4歳児(1学期～3学期) 【計画内容】現場で子どもたちにリトミックを行う際のピアノ演奏法を学びます。 【準備学習の内容】テキストの中より、指定した曲を練習してくること。						B、E
	第6回	【テーマ】リズム運動②(リズムカノン4拍子/複リズム) 【計画内容】4拍子のカノンをいろいろな方法で学びます。複リズムを経験します。 【準備学習の内容】4拍子の基礎リズムを復習しておく。						B、E
	第7回	【テーマ】5歳児指導法(1学期) 【計画内容】5歳児の発育と発達、それに合わせたリトミックの指導法を学びます。(1学期) 【準備学習の内容】テキストのp. 10-p. 38を読んでおく。						A、B
	第8回	【テーマ】5歳児指導法(2学期) 【計画内容】5歳児の発育と発達、それに合わせたリトミックの指導法を学びます。(2学期) 【準備学習の内容】テキストのp. 56-p. 96を読んでおく。						A、B
	第9回	【テーマ】リズム運動3(リズムカノン3・4拍子/複リズム) 【計画内容】3拍子と4拍子のカノンを曲を使ってステップしたり歌ったりします。複リズムを経験します。 【準備学習の内容】前回までにやったカノンの内容を復習しておく。						B、E
	第10回	【テーマ】5歳児指導法(3学期) 【計画内容】5歳児の発育と発達、それに合わせたリトミックの指導法を学びます。(3学期)認定試験の公示、具体的な内容を説明します。 【準備学習の内容】テキストのp. 114-p. 136を読んでおく。						A、B
	第11回	【テーマ】リトミックのためのピアノ演奏法5歳児(1学期～3学期) 【計画内容】現場で子どもたちにリトミックを行う際のピアノ演奏法を学びます。具体的に皆で動いてみます。 【準備学習の内容】テキストの中より、指定した曲を練習してくること。						E
	第12回	【テーマ】まとめ① 【計画内容】指導法の復習とまとめ 【準備学習の内容】テキスト全体を読み返し、公示された課題を常に復習すること。						A、B、E
	第13回	【テーマ】まとめ② 【計画内容】リズム運動の復習とまとめ 【準備学習の内容】認定試験の公示内容に従って、復習・練習を重ねること。						B、E
	第14回	【テーマ】リトミック理論(リトミック研究センターの理論とダルクローズについて) 【計画内容】リトミックの教育的効果、ダルクローズの理念について学びます。 【準備学習の内容】テキストのp. 4-p. 5をもう一度読んでおく。						A、B
	第15回	【テーマ】幼稚園・保育園での演奏/リズム 【計画内容】これまでのまとめと確認を行います。 【準備学習の内容】認定試験の公示内容に従って、復習・練習を重ねる。						E
	テ キ ス ト		リトミック研究センター、1991年、『幼稚園・保育園のためのリトミック 4歳児用』 リトミック研究センター、1991年、『幼稚園・保育園のためのリトミック 5歳児用』					
参 考 書		プリントを使用します						
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足		70%			30%		
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[乙]リトミック幼・保1級_必修						
そ の 他		身体を動かす授業です。動きやすい服装で、底の薄いシューズを用意して出席してください。						

科 目 名		音楽療法概論			授業形態	演習	単 位 数	2	
教 員 名		澤田 悦子							
授 業 の 目 的	ねらい	音楽療法の対象領域は幅広く、乳幼児から成人まで、あらゆる年代の方々に適用されます。対象者の目的や状況に音楽を活用するため、対象者の理解を深めながら音楽療法の概要と基礎的知識を学びます。さらに音楽の機能と作用や療法としての活用方法を学びます。							
	到達目標	(1)音楽療法の意義や基礎知識を理解することができる。 (2)対象領域と療法の目的を理解できる。 (3)対象領域と音楽表現に関する知識や技術を理解できる。 (4)音楽を療法として活用する方法や技術を理解できる。							
	第1回	【テーマ】授業ガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、授業展開を説明します。 【準備学習の内容】シラバスを熟読してくること。						A	
	第2回	【テーマ】音楽療法とは何か 【計画内容】音楽の構成要素、音楽療法の定義などについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第1章を読んでくること。						A、K	
授 業 の 計 画	第3回	【テーマ】音楽療法の歴史1 【計画内容】音楽が生活の中で如何に活用されてきたか、諸外国での歴史を学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第2章1)から4)を読んでくること。						A、K	
	第4回	【テーマ】音楽療法の歴史2 【計画内容】音楽が生活の中で如何に活用されてきたか、日本での歴史を学ぶ。 【準備学習の内容】前回の歴史の振り返りとテキストの第2章5)から6)を読んでくること。						A、K	
	第5回	【テーマ】音楽の作用1 【計画内容】音楽の生理的作用、心理的作用について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第3章1)から2)を読んでくること。						A、K	
	第6回	【テーマ】音楽の作用2 【計画内容】音楽の社会的作用について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第3章3)から5)を読んでくること。						A、K	
	第7回	【テーマ】音楽療法の原理 【計画内容】音楽療法における諸理論について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第4章1)を読んでくること。						A、K	
	第8回	【テーマ】音楽療法の実際1 【計画内容】音楽療法の対象領域と個人・集団セッションの対応について学ぶ。事例を通して活動の理解を深めセッションの音楽と手順を学び、プログラム作成の計画準備を行う。 【準備学習の内容】テキストの第5章1)を読んでくること。						A、J、H	
	第9回	【テーマ】音楽療法の実際2 【計画内容】対象領域①障がい児・者の音楽療法について学ぶ。事例を通して活動の理解を深め、対象領域と長期目標、短期目標を学び、プログラム作成の計画準備を行う。 【準備学習の内容】テキストの第5章2)・7)を読んでくること。						A、J、H	
	第10回	【テーマ】音楽療法の実際3 【計画内容】対象領域②保育・子育て支援、精神科領域での音楽療法について学ぶ。事例を通して活動の理解を深め能動的活動・受動的活動について学び、プログラム作成の計画準備を行う。 【準備学習の内容】テキストの第5章2)・3)・7)を読んでくること。						A、J、H	
	第11回	【テーマ】音楽療法の実際4 【計画内容】対象領域③高齢者・高齢者施設や他領域での音楽療法について学ぶ。事例を通して活動の理解を深め、活動記録の方法を学び、プログラム作成の計画準備を行う。 【準備学習の内容】テキストの第5章4)・5)・6)を読んでくること。						A、J、H	
	第12回	【テーマ】音楽療法の実際5 【計画内容】実践者の役割と活動の評価方法について学ぶ。こどもの領域(幼児)のセッションプログラム作成をグループで計画立案を行う。 【準備学習の内容】テキストの第5章1)・3)、第6章2)を読んでくること。						A、H	
	第13回	【テーマ】音楽療法の実際6 【計画内容】子育て支援や高齢者領域(高齢者施設)でのプログラム作成をグループで計画立案を行う。 【準備学習の内容】テキストの第5章 1)を読んでくること。						A、H	
	第14回	【テーマ】音楽療法の実際7 【計画内容】子育て支援や高齢者領域(高齢者施設)における作成したプログラムをグループで発表する準備を行う。 【準備学習の内容】テキストの第6章1)・2)を読んでくること。						A、H	
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】音楽療法概論の振り返りと発表を行う。 【準備学習の内容】テキストを読んでくること。グループごとで発表準備を行うこと。						A、F、L	
	テキスト		村井靖児、2012年、『音楽療法の基礎』、音楽之友社、4276122880						
	参 考 書		松山祐士編、2018年、『こどものうた大百科』、ドレミ楽譜出版社、9784285142037 配付プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分 足			40%		20%	40% 発表		
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。							
資 格									
そ の 他		音楽コース必修							

科 目 名		音楽療法演習		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		澤田 悦子					
授 業 の 目 的	ねらい	「音楽療法演習」では、「音楽療法概論」で学んだ基礎知識や理論を生かし、音楽の活用の実践を演習します。対象領域や目的を理解し、受動的音楽療法や能動的音楽療法の実際を学びます。					
	到達目標	(1)対象者を理解し、音楽表現に関する知識と技術を実践できる。 (2)音楽療法での音楽活動と活用方法の実際を理解し、実践できる。 (3)音楽療法の活動目標と手順、内容を計画し、実践できる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、授業展開を説明する。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】音楽療法での音楽活動と表現 【計画内容】音楽療法で活用される音楽と実践方法(対象者の理解と目標の設定、活動、記録、評価など)について概論での学びを確認する。 【準備学習の内容】音楽療法の定義を理解しておくこと。					A、K
	第3回	【テーマ】能動的音楽療法1 【計画内容】対象領域(こども・高齢者)と音楽(歌唱)、その活動方法について学び、演習する。 【準備学習の内容】テキストおよび資料の歌唱を選曲し、実践できるよう練習しておくこと。					A、H
	第4回	【テーマ】能動的音楽療法2 【計画内容】対象領域(こども・高齢者)と音楽(簡易楽器演奏と伴奏)、その活動方法について学び、演習する。 【準備学習の内容】テキストおよび資料の楽器演奏を選曲し、伴奏、実践できるよう練習しておくこと。					A、H
	第5回	【テーマ】能動的音楽療法3 【計画内容】対象領域(こども・高齢者)と音楽(身体表現)、その活動方法について学び、演習する。 【準備学習の内容】テキストおよび資料から選曲し、身体活動ができるよう練習しておくこと。					A、H
	第6回	【テーマ】受動的音楽療法 【計画内容】受動的音楽療法(鑑賞)と療法の目的を学び、演習する。 【準備学習の内容】療法の目的を考え、テキストを参考にして音楽を選曲しておくこと。					A、H
	第7回	【テーマ】プログラム作成1 【計画内容】対象領域・対象者(こども・高齢者)の理解を深め、活動の目的と実践者の役割を把握し、音楽活動計画の作成を行う。 【準備学習の内容】対象領域について理解を深めておくこと。					A、H
	第8回	【テーマ】プログラム作成2 【計画内容】音楽療法の治療構造(対象領域、目的、環境設定、音楽、時間配分等)を理解し、プログラムを作成する。 【準備学習の内容】作成に必要な資料を準備しておくこと。					A、H
	第9回	【テーマ】プログラム作成3 【計画内容】音楽療法の治療構造(対象領域、目的、環境設定、音楽、時間配分等)を理解し、プログラム(こども・高齢者)を作成する。 【準備学習の内容】作成に必要な資料を準備しておくこと。					A、H
	第10回	【テーマ】プログラム作成4 【計画内容】音楽療法の治療構造(対象領域、目的、環境設定、音楽、時間配分等)を理解し、プログラムを作成する。作成後は、学外演習およびプレゼンテーションの準備を行う。 【準備学習の内容】作成に必要な資料を準備しておくこと。					A、H
	第11回	【テーマ】音楽療法の実践1 【計画内容】各自、作成プログラムに基づいて学外演習、発表準備を行う。 【準備学習の内容】プログラムでの実践者の役割、進行、使用楽器などの確認をしておくこと。					A、H
	第12回	【テーマ】音楽療法の実践2 【計画内容】音楽療法の実践として高齢者施設での学外演習を行う。 【準備学習の内容】プログラムでの実践者の役割、進行、使用楽器などの確認をしておくこと。					A、D
	第13回	【テーマ】音楽療法の実践3 【計画内容】高齢者施設での学外演習の振り返りを行い、活動計画と実践の課題についてディスカッションを行う。 【準備学習の内容】プログラムでの実践者の役割、進行、使用楽器などの確認をしておくこと。					A、G、L
	第14回	【テーマ】音楽療法の実践4 【計画内容】各自、作成プログラム(こども)に基づいて発表の準備を行う。 【準備学習の内容】プログラムでの実践者の役割、進行、使用楽器などの確認をしておくこと。					A、H
	第15回	【テーマ】音楽療法演習の振り返りとまとめ 【計画内容】演習を振り返り、各自、プログラムの活動計画(こども)と実践の発表とまとめを行う。 【準備学習の内容】前回までの講義内容を理解しておくこと。					A、F、L
テキスト		村井靖児、1995年、『音楽療法の基礎』、音楽之友社、4276122880					
参 考 書		プリントを使用する					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分			40%		20%	40%
	補 足						発表
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資 格							
そ の 他		音楽コース必修					

科目名		こどものうた研究		授業形態	演習	単位数	2
教員名		橋本 卓三、石田 敏明					
授 業 の 目 的	ねらい	保育者として必要な声楽の技術と知識を学び、童謡やわらべうたなどのこどものうたについて研究し、演奏するための表現力を高めます。呼吸と発声のトレーニングを行い、音程・リズム・ハーモニーなどの基礎的なソルフェージュを学びながら、歌詞や曲の構成を理解し、ソロやアンサンブルによる表現豊かな演奏を目指します。さらに、歌唱を中心とした音楽劇にも取り組み、保育所・幼稚園で音楽活動を展開する能力を習得することを目的とします。					
	到達目標	(1)歌唱における基礎的な呼吸法と発声法を習得することができる。 (2)ソルフェージュを通し、楽譜を読む力と音楽を表現する力を高めることができる。 (3)こどものうたのレパートリーを増やし、演習と発表を通して実践的指導力を高めることができる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業内容を紹介し、授業展開を説明します。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】歌唱の実践研究1 【計画内容】呼吸法と発声法・ソルフェージュを学び、こどものうたの歌唱表現を研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】課題を練習しておくこと。					B、E
	第3回	【テーマ】歌唱の実践研究2 【計画内容】呼吸法と発声法・ソルフェージュを学び、こどものうたの歌唱表現を研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】課題を練習しておくこと。					B、E
	第4回	【テーマ】歌唱の実践研究3 【計画内容】呼吸法と発声法・ソルフェージュを学び、こどものうたの歌唱表現を研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】課題を練習しておくこと。					B、E
	第5回	【テーマ】歌唱の実践研究4 【計画内容】呼吸法と発声法・ソルフェージュを学び、こどものうたの歌唱表現を研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】課題を練習しておくこと。					B、E
	第6回	【テーマ】歌唱の実践研究5 【計画内容】こどものうたの発表とまとめを行います。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】課題を練習しておくこと。					E、L
	第7回	【テーマ】音楽劇の実践研究1 【計画内容】題材を選定し、実践計画を立案します。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】課題を練習しておくこと。					B
	第8回	【テーマ】音楽劇の実践研究2 【計画内容】計画に基づき、選定した題材の音楽劇の表現について研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】発表に向け、事前練習しておくこと。					B、E
	第9回	【テーマ】音楽劇の実践研究3 【計画内容】計画に基づき、選定した題材の音楽劇の表現について研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】題材について考えておくこと。					B、E
	第10回	【テーマ】音楽劇の実践研究4 【計画内容】計画に基づき、選定した題材の音楽劇の表現について研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】課題を練習しておくこと。					B、E
	第11回	【テーマ】音楽劇の実践研究5 【計画内容】計画に基づき、選定した題材の音楽劇の表現について研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】課題を練習しておくこと。					B、E
	第12回	【テーマ】音楽劇の実践研究6 【計画内容】計画に基づき、選定した題材の音楽劇の表現について研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】課題を練習しておくこと。					B、E
	第13回	【テーマ】音楽劇の実践研究7 【計画内容】計画に基づき、選定した題材の音楽劇の表現について研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】課題を練習しておくこと。					B、E
	第14回	【テーマ】音楽劇の実践研究8 【計画内容】計画に基づき、選定した題材の音楽劇の表現について研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】課題を練習しておくこと。					B、E
	第15回	【テーマ】音楽劇の実践研究9 【計画内容】音楽劇の発表とまとめを行います。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】発表に向け、事前練習しておくこと。					E、L
テキスト	松山祐士編、2018年、『こどものうた大百科』、ドレミ楽譜出版社、9784285142037						
参 考 書	小林美実編、2014年、『こどものうた200』、チャイルド社、9784805481004 安田浩、2013年、『幼児のオペレッタ傑作集』、チャイルド社、9784805481110						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分 補足					30%	70% 発表
質問への対応	初回講義時に説明します。						
資 格							
そ の 他	学科推奨科目。 第15回で発表の後、学んだ内容を振り返りながら講評をします。						

科 目 名		こどもの合奏研究			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		石田 敏明、橋本 卓三						
授 業 の 目 的	ねらい	簡易楽器やベル、鍵盤楽器などの基礎的な知識や演奏技能を身につけ、合奏の表現力と豊かな音楽性を養います。保育所・幼稚園・小学校での音楽活動を展開する指導力の習得を目的とします。						
	到達目標	(1)さまざまな楽器の特徴を理解し、奏法を身につける。 (2)合奏を通して、アンサンブル能力を高め、協調性を養う。 (3)こどもの音楽活動を理解し、豊かな音楽表現ができる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、授業展開を説明します。(石田敏明・橋本卓三) 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】合奏の演奏研究1 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明・橋本卓三) 【準備学習の内容】 課題曲を練習しておくこと。						E、H
	第3回	【テーマ】合奏の演奏研究2 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明・橋本卓三) 【準備学習の内容】 課題曲を練習しておくこと。						E、H
	第4回	【テーマ】合奏の演奏研究3 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明・橋本卓三) 【準備学習の内容】 課題曲を練習しておくこと。						E、H
	第5回	【テーマ】合奏の演奏研究4 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明・橋本卓三) 【準備学習の内容】 課題曲を練習しておくこと。						E、H
	第6回	【テーマ】合奏の演奏研究5 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明・橋本卓三) 【準備学習の内容】 課題曲を練習しておくこと。						E、H
	第7回	【テーマ】合奏の演奏研究6 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明・橋本卓三) 【準備学習の内容】 課題曲を練習しておくこと。						E、H
	第8回	【テーマ】合奏の演奏研究7 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明・橋本卓三) 【準備学習の内容】 課題曲を練習しておくこと。						E、H
	第9回	【テーマ】合奏の演奏研究8 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明・橋本卓三) 【準備学習の内容】 課題曲を練習しておくこと。						E、H
	第10回	【テーマ】合奏の演奏研究9 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明・橋本卓三) 【準備学習の内容】 課題曲を練習しておくこと。						E、H
	第11回	【テーマ】合奏の演奏研究10 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明・橋本卓三) 【準備学習の内容】 課題曲を練習しておくこと。						E、H
	第12回	【テーマ】合奏の演奏研究11 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明・橋本卓三) 【準備学習の内容】 課題曲を練習しておくこと。						E、H
	第13回	【テーマ】合奏の演奏研究12 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明・橋本卓三) 【準備学習の内容】 課題曲を練習しておくこと。						E、H
	第14回	【テーマ】合奏の演奏研究13 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明・橋本卓三) 【準備学習の内容】 課題曲を練習しておくこと。						E、H
	第15回	【テーマ】まとめと発表 【計画内容】これまで実践してきたことのまとめと発表を行います。(石田敏明・橋本卓三) 【準備学習の内容】 事前練習を行い、発表に臨むこと。						E、H、L
テキスト		松山祐士編、2018年、『こどものうた大百科』、ドレミ楽譜出版社、9784285142037						
参 考 書		講義の中で指示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補 足					30%	70% 発表	
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他		学科推奨科目 第15回の発表の後、学んだ内を振り返りながら講評します。						

科 目 名	こどもの音楽研究					授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名	橋本 卓三、石田 敏明								
授 業 の 目 的	ねらい	豊かな音楽性と技能を高めることを目的とします。合唱、簡易楽器、オペレッタ、創作オリジナル作品などの発表準備と演奏活動を通し、それぞれの分野が保育や教育の場で指導力として生かされる実践的能力を身につけます。							
	到達目標	(1)高度な技能、表現力を習得し、豊かな音楽性を身につけます。 (2)保育や教育の場で演奏できる実践力と指導力を身につけます。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、授業展開を説明する。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。							A
	第2回	【テーマ】演奏研究・実践1 【計画内容】発表の計画立案を行い、器楽演奏・歌唱について学ぶ。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲や選曲の準備、練習してくること。							B、E、H
	第3回	【テーマ】演奏研究・実践2 【計画内容】発表のタイムスケジュール作成、器楽演奏・歌唱について学ぶ。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲を練習してくること。							B、E、H
	第4回	【テーマ】演奏研究・実践3 【計画内容】器楽演奏・歌唱の実践について学ぶ。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲を練習してくること。							B、E、H
	第5回	【テーマ】演奏研究・実践4 【計画内容】器楽演奏・歌唱の実践について学ぶ。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲を練習してくること。							B、E、H
	第6回	【テーマ】演奏研究・実践5 【計画内容】器楽演奏・歌唱の実践について学ぶ。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲を練習してくること。							B、E、H
	第7回	【テーマ】演奏研究・実践6 【計画内容】器楽演奏・歌唱の実践について学ぶ。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲を練習してくること。							B、E、H
	第8回	【テーマ】演奏研究・実践7 【計画内容】器楽演奏・歌唱の実践について学ぶ。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲を練習してくること。							B、E、H
	第9回	【テーマ】演奏研究・実践8 【計画内容】器楽演奏・歌唱の実践について学ぶ。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲を練習してくること。							B、E、H
	第10回	【テーマ】演奏研究・実践9 【計画内容】器楽演奏・歌唱の実践について学ぶ。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲を練習してくること。							B、E、H
	第11回	【テーマ】演奏研究・実践10 【計画内容】器楽演奏・歌唱の実践について学ぶ。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲を練習してくること。							B、E、H
	第12回	【テーマ】演奏研究・実践11 【計画内容】器楽演奏・歌唱の実践について学ぶ。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲を練習してくること。							B、E、H
	第13回	【テーマ】演奏研究・実践12 【計画内容】器楽演奏・歌唱の実践について学ぶ。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲を練習してくること。							B、E、H
	第14回	【テーマ】リハーサル 【計画内容】発表の手順について学び、実践練習を行う。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲を練習してくること。							B、E、H
	第15回	【テーマ】発表とまとめ 【計画内容】器楽演奏と歌唱の発表とまとめを行う。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲を練習してくること。							B、E、H
テキスト	松山祐士編、2018年、『こどものうた大百科』、ドレミ楽譜出版社、9784285142037								
参 考 書	初回講義時に説明します								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分					30%	70%		
	補足						発表		
質問への対応	初回講義時に説明します。								
資 格									
そ の 他	学科推奨科目。 第15回で発表の後、学んだ内容を振り返りながら講評をします。								

科 目 名		国語科指導法		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		高橋 さおり					
授 業 の 目 的	ねらい 到達目標	小学校学習指導要領解説を主たる教材として、小学校における国語科学習指導の目標・内容、指導計画、学習指導方法について学びます。					
		(1)学習指導要領に示された小学校国語科の目標・内容を理解することができる。 (2)各学年の目標・内容に応じた指導計画を立てることができる。 (3)各学年の発達に応じた指導方法を工夫することができる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 講義内容や到達目標、評価方法等について解説し、授業の全体を概観します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を読んでおくこと。					A、L
	第2回	【テーマ】 国語科の目標と内容の理解 【計画内容】 学習指導要領に示された「目標」と「内容」について学び、国語科指導の全体像を捉えます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。					A、L
	第3回	【テーマ】 指導計画及び内容の取扱いの配慮事項 【計画内容】 学習指導要領に示された「指導計画の作成と内容の取扱い」について学び、それぞれの留意点について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。					A、L
	第4回	【テーマ】 第1学年及び第2学年の目標と内容(書写を含む) 【計画内容】 具体的な授業プランを参照しながら、第1学年及び第2学年の目標と内容について学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。					A、H、L
	第5回	【テーマ】 第3学年及び第4学年の目標と内容(書写を含む) 【計画内容】 具体的な授業プランを参照しながら、第3学年及び第4学年の目標と内容について学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。					A、H、L
	第6回	【テーマ】 第5学年及び第6学年の目標と内容(書写を含む) 【計画内容】 具体的な授業プランを参照しながら、第5学年及び第6学年の目標と内容について学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。					A、H、L
	第7回	【テーマ】 教材研究について 【計画内容】 児童の実態を踏まえつつ各領域の特性に応じた教材研究の意義と方法について学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。					A、H、L
	第8回	【テーマ】 指導計画について 【計画内容】 単元の指導計画を作成し、授業設計する方法を学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。					A、H、L
	第9回	【テーマ】 学習評価について 【計画内容】 国語科学習の評価の考え方を理解し、評価の視点について学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。					A、L
	第10回	【テーマ】 情報機器及び教材の活用について 【計画内容】 国語科指導の特性を踏まえ、どのような教材活用の方法があるかという観点から、ICTを活用した授業の在り方について考えます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。					A、L
	第11回	【テーマ】 学習指導案の作成 【計画内容】 具体的な授業を計画し、学習指導案を作成します。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。					K、L
	第12回	【テーマ】 学習指導案の交流・検討 【計画内容】 学習指導案の交流・検討を行い、授業設計の在り方について考察します。 【準備学習の内容】 作成した学習指導案の見直しを行うこと。					K、L
	第13回	【テーマ】 模擬授業の実施 【計画内容】 作成した学習指導案をもとに模擬授業を実施します。 【準備学習の内容】 模擬授業の準備を行うこと。					B、L
	第14回	【テーマ】 模擬授業の検討 【計画内容】 模擬授業の検討を行い、授業改善の視点及び方法について学びます。 【準備学習の内容】 模擬授業の振り返りをしておくこと。					A、H、L
	第15回	【テーマ】 学習の振り返り 【計画内容】 授業の振り返りを行い、小学校国語科指導のまとめを行います。 【準備学習の内容】 授業全体の復習を行うこと。					A、L
テキスト		文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 国語編』、東洋館出版社、9784491034621					
参 考 書		プリントを使用します					
成 績 評 価 の 方 法	配 分	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
		補 足		70%		30%	
質問への対応		初回講義時に説明します。					
資 格		[乙]小2種 選必					
そ の 他		小レポート等については、最終回に講評します。					

科 目 名	社会科指導法				授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名	菊地 達夫							
授 業 の 目 的	「社会科指導法」では、新小学校学習指導要領解説社会編の内容についての、基礎的な指導技術を学習します。また、幼稚園教育、保育所保育、小学校生活科・理科、中学校社会科との関連についても部分的に触れます。							
	(1)社会科における基礎的な指導技術について理解できる。 (2)関連教科、機関との接続・連携について理解できる。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業のねらい、到達目標、授業計画、成績評価方法、参考文献について説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容についてよく読んでおくこと。						A
	第2回	【テーマ】社会科における単元構造 【計画内容】単元構造の捉え方について確認します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A、K
	第3回	【テーマ】社会科における授業構造 【計画内容】授業構造の捉え方について学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A、K
	第4回	【テーマ】発問・指示の基本 【計画内容】具体的な例示を通して、発問・指示の基本を学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A、K
	第5回	【テーマ】学習指導案作成の基本 【計画内容】教科書や資料集を用いて、学習指導案案の作成のポイントを学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A、K
	第6回	【テーマ】図表の指導方法 【計画内容】具体的な事例を通して、指導方法の基本を学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A、K
	第7回	【テーマ】地図の指導方法 【計画内容】具体的な事例を通して、指導方法の基本を学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A、K
	第8回	【テーマ】写真等の視覚資料の指導方法 【計画内容】具体的な事例を通して、指導方法の基本を学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A、K
	第9回	【テーマ】博物館資料の活用1 【計画内容】事前指導のあり方について学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A
	第10回	【テーマ】博物館資料の活用2 【計画内容】具体的な体験活動を通じて学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						M
	第11回	【テーマ】博物館資料の活用3 【計画内容】事後指導のあり方について学習します。 【準備学習の内容】第10回・第11回の授業内容を整理しておくこと。						A
	第12回	【テーマ】模擬授業の実践(中学年) 【計画内容】授業実践・授業分析を共有しながら学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						F、H
	第13回	【テーマ】模擬授業の実践(高学年) 【計画内容】授業実践・授業分析を共有しながら学習します。 【準備学習の内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						F、H
	第14回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの学習内容の重要な点について確認します。 【準備学習の内容】理解のできていない学習内容について復習しておくこと。						L
	第15回	【テーマ】まとめと応用 【計画内容】学習成果の活かし方について説明します。 【準備学習の内容】理解のできていない学習内容について確認しておくこと。						A
テキスト	必要に応じてプリントを使用します							
参 考 書	文部科学省、2017年、『小学校学習指導要領解説 社会編』、東洋館出版社、9784491023724 日本社会科教育学会編、2008年、『社会科授業力の開発小学校編』、明治図書、9784184333161 全国社会科教育学会編、2008年、『小学校の優れた社会科授業の条件』、明治図書、9784184914216							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	50%		30%		20%		
	補 足							
質問への対応	初回授業時に説明します。							
資 格	[乙]小2種_選必							
そ の 他	「社会」を履修済み・同時履修することが望ましい(小学校教員志望者)。ただし、「社会」未履修者を拒むものではない。 模擬授業(第12・13回)は、希望者(数名)を募ります。詳細は初回講義時に説明します。 課題の結果等は、返却時に講評・補足説明を行います。							

科 目 名		算数科指導法		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		荒川 巖					
授 業 の 目 的	ねらい	算数科の目標、算数学習の指導と評価のあり方、子どもの発達段階に応じた指導内容や指導の要点、算数学習で大切にしたい問題解決的な学習のあり方について学習します。「教えること」と「学ばせること」の違いや子供たち相互の学び合いなど教師の望ましいかわりを学ぶとともに、教育実習に向けての学習指導案づくりや模擬授業を通して、算数科学習指導法の基礎を身につけてほしいと思います。					
	到達目標	(1)指導案作成や模擬授業に対して、意欲的に取り組むことができる。 (2)学年の発達に応じた算数科の指導法を工夫できる。 (3)学年の発達を考えて、学習指導案を作成できる。 (4)問題解決学習のあり方を理解できる。					
授 業 の 画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 講義概要、受講の心得、講義の進め方、グループ編成、評価方法など。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】 算数科の目標と内容 【計画内容】 学習指導要領解説と児童用教科書を使って、算数科の目標と四領域について調べます。 【準備学習の内容】 教科書(p.21-p.29)で算数科の目標を調べておくこと。					A、B
	第3回	【テーマ】 算数授業の実際(問題解決学習の基本スタイル) 【計画内容】 実際の授業を映像で観て、算数学習(問題解決学習)の基本スタイルを学びます。 【準備学習の内容】 自分が学んだ算数学習について想起しておくこと。					A、K
	第4回	【テーマ】 低学年の子どもの特徴と指導のポイント 【計画内容】 低学年の子どもの特徴と指導法について考察します。 【準備学習の内容】 低学年の子どもの発達状況を調べておくこと(教科書p.29-p.30)を熟読する。					A、B
	第5回	【テーマ】 高学年の子どもの特徴と指導のポイント 【計画内容】 高学年の子どもの特徴に合わせた指導法について考察します。 【準備学習の内容】 高学年の子どもの発達状況を調べておくこと(p.29-p.30)を熟読する。					A、B
	第6回	【テーマ】 問題解決学習と算数的活動 【計画内容】 算数的活動と学習集団育成の観点を中心に、算数科の問題解決学習成立の要件を考えます。 【準備学習の内容】 かけ算(例2×3)で、教えることと学ばせることとは何かを考えておくこと。					A、H
	第7回	【テーマ】 算数学習での教師の働きかけ 【計画内容】 基礎的な指導法(発問、板書、ノート指導)について学びます。 【準備学習の内容】 学年発達段階に応じたノート指導のあり方について考えておくこと。					A、H
	第8回	【テーマ】 算数学習指導と評価(観点別学習状況の評価、TT、少人数指導) 【計画内容】 指導と評価の一体化について学ぶとともに、算数学習における学習集団の育成のあり方を考察します。 【準備学習の内容】 算数科における観点別学習状況の評価の観点について調べておくこと。					A、H
	第9回	【テーマ】 事例研究① 低学年の例「ひきざん(求残、求差)、わり算(包含除、等分除)」 【計画内容】 低学年の指導の実際の学びます。 【準備学習の内容】 式「7－3」と「12÷3」となる多様な問題を作成しておくこと。 式「7－3」と「12÷3」となる、多様な問題を作成しておくこと。					J
	第10回	【テーマ】 事例研究② 高学年の例「面積、割合」 【計画内容】 高学年の指導の実際の学びます。 【準備学習の内容】 割合が用いられている日常場面を見つけておくこと。					J
	第11回	【テーマ】 学習指導案の作成と検討① (指導場面と目標の検討) 【計画内容】 学習指導案を作成します。指導場면을決定し、単元・本時のねらいと数学的活動のあり方について検討します。 【準備学習の内容】 学習指導案作成の単元及び本時の展開場면을決定しておくこと。					H
	第12回	【テーマ】 学習指導案の作成と検討② (教材の作成、発問、板書など) 【計画内容】 学習指導案を作成します。指導細案と教材の準備をします。 【準備学習の内容】 指導細案と教材の構想を立てておくこと。					H
	第13回	【テーマ】 模擬授業の実際① 【計画内容】 グループで模擬授業をします。 【準備学習の内容】 係分担し、模擬授業の準備を終えておくこと。					H
	第14回	【テーマ】 模擬授業の実際② 【計画内容】 グループで模擬授業をし、成果と課題についまとめます。 【準備学習の内容】 係分担し、模擬授業の準備を終えておくこと。					H
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 講義の成果と課題を明確にします。 【準備学習の内容】 講義全体の成果と課題をまとめておくこと。					L
テキスト		文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 算数編』、日本文教出版、4536590102					
参 考 書		プリントを使用します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分 補 足			30%		40%	30%
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資 格		[乙]小2種_選必					
そ の 他		算数は、教科学習の2割程度の時数を占めます。子どもが楽しく学び、わかる喜びが生まれる算数学習の展開と指導のポイントについて学びましょう。					

科目名		理科指導法		授業形態		講義		単位数		2		
教員名		太田 俊一										
授業の目的	ねらい	各学年の目標と授業の過程で育てたい問題解決の資質や能力についての解説などを行い、A・Bの内容区分の単元について教科書等の内容で学びます。各学年の単元構成・指導計画の作成の仕方を学習するとともに、学習展開案を作成し、互いに教師と児童に分かれて模擬授業を行います。										
	到達目標	(1)各学年の目標と指導内容(単元)が理解できる。 (2)目標及び内容に即した単元構成・指導計画や学習展開を考えることができる。 (3)模擬授業を通して、子どもの問題解決学習や科学的な見方や考え方の培い方がわかる。										
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション及び3学年の目標と問題解決学習① 【計画内容】 3年「風やゴムの働き」の学習指導案の作成の仕方を学びます。風で動く車やゴムで動く車を作製して実験し、模擬授業を行います。 【準備学習の内容】 身近な自然を観察して、カードに記録すること。								A、C、F、H		
	第2回	【テーマ】 3学年の目標と問題解決学習② 【計画内容】 3年「風やゴムの働き」の学習指導案の作成の仕方を学びます。風やゴムで動く車を作製して実験するなどして模擬授業を行います。 【準備学習の内容】 身近な自然の観察をして、カードに記録すること。								A、C、F、H		
	第3回	【テーマ】 3学年の目標と問題解決学習③ 【計画内容】 3年「風やゴムの働き」の学習指導案の作成の仕方を学びます。風やゴムで動く車を作製して実験するなどして模擬授業を行います。 【準備学習の内容】 身近な自然の観察をして、カードに記録すること。								A、C、F、H		
	第4回	【テーマ】 4学年の目標と問題解決学習① 【計画内容】 4年「電気のはたらき」の学習指導案の作成の仕方を学びます。回路を作り、扇風機などを作成します。光電池を教材化し、乾電池や光電池を使用した実験をするなどして模擬授業を行います。 【準備学習の内容】 身近な自然の観察をして、カードに記録すること。								A、C、F、H		
	第5回	【テーマ】 4学年の目標と問題解決学習② 【計画内容】 4年「電気のはたらき」の学習指導案の作成の仕方を学びます。回路を作り、扇風機などを作成します。光電池を教材化し、乾電池や光電池を使用した実験をするなどして模擬授業を行います。 【準備学習の内容】 身近な自然の観察をして、カードに記録すること。								A、C、F、H		
	第6回	【テーマ】 4学年の目標と問題解決学習③ 【計画内容】 4年「電気のはたらき」の学習指導案の作成の仕方を学びます。回路を作り、扇風機などを作成します。光電池を教材化し、乾電池や光電池を使用した実験をするなどして模擬授業を行います。 【準備学習の内容】 身近な自然の観察をして、カードに記録すること。								A、C、F、H		
	第7回	【テーマ】 5学年の目標と問題解決学習① 【計画内容】 5年「ふりこのきまり」の学習指導案の作成の仕方を学びます。1秒振り子の作成を通して、ふれ方のきまりを見つけます。そのふりこを使用して模擬授業を行います。 【準備学習の内容】 身近な自然の観察をして、カードに記録すること。								A、C、F、H		
	第8回	【テーマ】 5学年の目標と問題解決学習② 【計画内容】 5年「ふりこのきまり」の学習指導案の作成の仕方を学びます。1秒振り子の作成を通して、ふれ方のきまりを見つけます。そのふりこを使用して模擬授業を行います。 【準備学習の内容】 身近な自然の観察をして、カードに記録すること。								A、C、F、H		
	第9回	【テーマ】 5学年の目標と問題解決学習③ 【計画内容】 5年「ふりこのきまり」の学習指導案の作成の仕方を学びます。1秒振り子の作成を通して、ふれ方のきまりを見つけます。そのふりこを使用して模擬授業を行います。 【準備学習の内容】 身近な自然の観察をして、カードに記録すること。								A、C、F、H		
	第10回	【テーマ】 6学年の目標と問題解決学習① 【計画内容】 6年「水溶液」の学習指導案の作成の仕方を学びます。いろいろな水溶液を集め、リトマスを使って酸性、アルカリ性、中性に分類します。リトマス紙の使い方や水溶液の分類などを教材化して模擬授業を行います。 【準備学習の内容】 身近な自然の観察をして、カードに記録すること。								A、C、F、H		
	第11回	【テーマ】 6学年の目標と問題解決学習② 【計画内容】 6年「水溶液」の学習指導案の作成の仕方を学びます。いろいろな水溶液を集め、リトマスを使って酸性、アルカリ性、中性に分類します。リトマス紙の使い方や水溶液の分類などを教材化して模擬授業を行います。 【準備学習の内容】 身近な自然の観察をして、カードに記録すること。								A、C、F、H		
	第12回	【テーマ】 6学年の目標と問題解決学習③ 【計画内容】 6年「水溶液」の学習指導案の作成の仕方を学びます。いろいろな水溶液を集め、リトマスを使って酸性、アルカリ性、中性に分類します。リトマス紙の使い方や水溶液の分類などを教材化して模擬授業を行います。 【準備学習の内容】 身近な自然の観察をして、カードに記録すること。								A、C、F、H		
	第13回	【テーマ】 身近にある施設を活用した環境学習～博物館授業①～ 【計画内容】 大学の近くにある埋蔵文化財センターを活用し、北海道の昔の環境や気候の変化、動植物の変化などを調べたり、学芸員さんから直接お話を聞いてレポートにまとめます。 【準備学習の内容】 身近な自然の観察をして、カードに記録すること。								A、D、K、M		
	第14回	【テーマ】 身近にある施設を活用した環境学習～博物館授業②～ 【計画内容】 大学の近くにある埋蔵文化財センターを活用し、北海道の昔の環境や気候の変化、動植物の変化などを調べたり、学芸員さんから直接お話を聞いてレポートにまとめます。 【準備学習の内容】 身近な自然の観察をして、カードに記録すること。								A、D、K、M		
	第15回	【テーマ】 理科指導法のまとめ 【計画内容】 理科学習指導案作成のポイントや模擬授業での成果や課題を話し合い、問題解決学習についてレポートにまとめます。 【準備学習の内容】 作成した学習指導案・模擬授業の記録・観察カードなどを冊子にまとめること。								A、G、K、L		
テキスト		文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 理科編』、文部科学省、449103463X										
参考書		文科省検定教科書、各社										
成績評価の方法	筆記試験		実技試験		課題評価		作品評価		受講態度		その他	
	配分	分	50%		20%		20%		10%			
		補足	模擬授業		指導案・レポート		模擬授業教材		模擬授業			
質問への対応		授業中に対応します。オフィスアワー：太田研究室										
資格		[こ]小2種_選必										
その他		1年次に「理科」を履修していることが望ましい。										

科 目 名		生活科指導法			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		菊地 達夫						
授 業 の 目 的	ねらい	本科目では、小学校生活科の目標、内容、役割(新小学校学習指導要領解説生活編)をふまえ、基本となる指導方法について、作業学習を取り入れ、体得しながら学習します。また、関連教科・機関との接続・連携についても、必要に応じて触れます。						
	到達目標	(1)生活科における基本的な指導方法(指導案作成を含む)について理解できる。 (2)幼稚園・保育所・認定こども園との接続・連携の在り方について理解できる。 (3)他教科(例:理科・社会科)等との接続・連携、合科的な指導について理解できる。						
	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業の目的・到達目標・評価方法・参考文献について説明します。 【準備学習の内容】 シラバス内容についてよく読んでおくこと。						A
授 業 の 計 画	第2回	【テーマ】 生活科の目標・役割 【計画内容】 生活科の目標とどのような役割をもつのか確認しながら学習します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説生活編』の関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A、K
	第3回	【テーマ】 生活科の内容(第1階層) 【計画内容】 内容(1)～(3)に関して、どのような学習対象・学習活動、思考・認識、能力・態度を育成するべきか、思考しながら学習します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説生活編』の関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A、K
	第4回	【テーマ】 生活科の内容(第2階層) 【計画内容】 内容(4)～(8)に関して、どのような学習対象・学習活動、思考・認識、能力・態度を育成するべきか、思考しながら学習します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説生活編』の関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A、K
	第5回	【テーマ】 生活科の内容(第3階層) 【計画内容】 内容(9)に関して、どのような学習対象・学習活動、思考・認識、能力・態度を育成するべきか、思考しながら学習します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説生活編』の関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A、K
	第6回	【テーマ】 場面設定学習1(登下校の安全対策) 【計画内容】 登下校の安全に関する学習活動について、体験的に学習します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説生活編』の関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A、J
	第7回	【テーマ】 場面設定学習2(学校探検) 【計画内容】 学校探検に関する学習活動について、体験的に学習します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説生活編』の関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A、J
	第8回	【テーマ】 場面設定学習3(動植物を活用した飼育・遊び) 【計画内容】 動植物を活用した飼育活動、遊びについて思考しながら学習します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説生活編』の関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A、J
	第9回	【テーマ】 まち探検活動の事前指導 【計画内容】 まち探検活動の事前活動について思考しながら学習します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説生活編』の関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A
	第10回	【テーマ】 まち探検活動の実際 【計画内容】 まち探検活動を実際に行い、マップづくりのための情報収集をします。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説生活編』の関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						M
	第11回	【テーマ】 まち探検活動の事後指導 【計画内容】 情報収集した内容を中心として、まち探検マップを作成します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説生活編』の関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A、F
	第12回	【テーマ】 評価基準の作成 【計画内容】 評価基準の作成のポイントについて学習します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説生活編』の関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						A、K
	第13回	【テーマ】 部分的模擬授業 【計画内容】 短い時間を使った授業実践(応募者のみ)を行い、その授業について省察します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。						F、H
	第14回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 これまでの学習内容について確認します。 【準備学習の内容】 これまでの学習内容についてよく復習しておくこと。						L
	第15回	【テーマ】 まとめと整理 【計画内容】 これまでの学習内容について重点事項を整理します。 【準備学習の内容】 これまでの学習内容についてよく復習しておくこと。						A、K
	テキスト	文部科学省、2017年、『小学校学習指導要領解説 生活編』、東洋館出版社、4491034648						
参 考 書	松本勝信編、2007年、『生活科教育の実践的理論とカリキュラム・授業』、現代教育社 後藤正人、2014年、『生活科で魅力ある学級づくり』、文溪堂							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	50%		30%		20%		
	補 足							
質問への対応	初回授業時に説明します。							
資 格	[乙]小2種_選必							
そ の 他	模擬授業(第13回)は、希望者(数名)を募ります。詳細は、初回講義時に説明します。 課題等の結果は、返却時に講評・補説説明を行います。							

科目名		音楽科指導法				授業形態	講義	単位数	2
教員名		石田 敏明、橋本 卓三							
授業の目的	ねらい	学習指導要領に基づいて、音楽教育を「どのようなねらい」で「どのような指導」を行うのかを把握した上で、教育の中で音楽科の果たす役割の重要性を考えます。音楽をする楽しさを効率よく指導していく留意点を学びます。また、歌唱・リコーダー・器楽合奏などの実技演習も行い、音楽の技能と表現力の向上を目指します。							
	到達目標	(1)小学校音楽科の目標・内容を理解することができる。 (2)音楽科の目標と内容に応じた指導計画・学習展開がわかる。 (3)指導技術を高めるために、教材研究を深め、歌唱や楽器を表現力豊かに演奏することができる。							
授業の計画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、授業展開を説明します。(石田敏明) 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。						A	
	第2回	【テーマ】学習指導要領に示される音楽科の目標と内容 【計画内容】音楽教育の目標とねらいはどこにあるのか学びます。(石田敏明) 【準備学習の内容】 これまで学習した楽典について復習しておくこと。						A、B、K	
	第3回	【テーマ】学習指導要領に示される各学年の目標と内容 【計画内容】各学年の音楽教育の目標と内容を理解し、指導法について学びます。(石田敏明) 【準備学習の内容】 教材の弾き歌いができるようにしておくこと。						A、E	
	第4回	【テーマ】歌唱の指導内容と教材研究 【計画内容】歌唱指導の基本と留意点を理解し、各学年の歌唱共通教材について学びます。(橋本卓三) 【準備学習の内容】 テキストを読んでおくこと。						A、E、K	
	第5回	【テーマ】器楽の指導内容と教材研究 【計画内容】器楽指導の基本と留意点を理解し、各学年の教材研究と楽器の実技演習をおこないます。(石田敏明) 【準備学習の内容】 テキストを読んでおくこと。						A、E、K	
	第6回	【テーマ】音楽づくりの指導内容と教材研究 【計画内容】音楽づくり指導の基本と留意点を理解し、各学年の教材研究と授業実践について学びます。(橋本卓三) 【準備学習の内容】 教材の弾き歌いができるようにしておくこと。						A、E、K	
	第7回	【テーマ】鑑賞の指導内容と教材研究 【計画内容】鑑賞指導の基本と留意点を理解し、各学年の教材研究と授業実践について学びます。(橋本卓三) 【準備学習の内容】 課題曲の音取りをし、歌えるようにしておくこと。						A、E、K	
	第8回	【テーマ】音楽科における情報機器の活用 【計画内容】音楽科教育における情報機器の効果的な活用と授業実践について学びます。(石田敏明) 【準備学習の内容】 小学校音楽教育で使用する楽器について調べておくこと。						A、B、K	
	第9回	【テーマ】音楽科における評価 【計画内容】音楽科における評価の意義と観点について学びます。(石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲の楽譜を読み、演奏できるようにしておくこと。						A、K	
	第10回	【テーマ】授業設計と学習指導案について 【計画内容】音楽科の授業設計について理解し、学習指導案作成の意義と書き方について学びます。(石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲の楽譜を読み、演奏できるようにしておくこと。						A、K	
	第11回	【テーマ】学習指導案の作成 【計画内容】学習指導案を作成します。(石田敏明) 【準備学習の内容】 テキストを読んでおくこと。						B、K	
	第12回	【テーマ】模擬授業(歌唱) 【計画内容】学習指導案をもとに模擬授業(歌唱)をおこない、成果と課題についてまとめます。(橋本卓三) 【準備学習の内容】 テキストを読んでおくこと。						B、K	
	第13回	【テーマ】模擬授業(器楽) 【計画内容】学習指導案をもとに模擬授業(器楽)をおこない、成果と課題についてまとめます。(石田敏明) 【準備学習の内容】 指導案の題材を考えておくこと。						B、K	
	第14回	【テーマ】模擬授業(鑑賞・音楽づくり) 【計画内容】学習指導案をもとに模擬授業(鑑賞・音楽づくり)をおこない、成果と課題についてまとめます。(橋本卓三) 【準備学習の内容】 模擬授業の準備をしっかりしておくこと。						B、K	
	第15回	【テーマ】音楽科指導法のまとめと振り返り 【計画内容】授業のまとめと振り返りをおこない、音楽科指導法について整理します。(石田敏明) 【準備学習の内容】 講義内容をまとめ、課題曲を練習しておくこと。						E、L	
テキスト		初等科音楽教育研究会編、『最新初等科音楽教育法 改訂版』、音楽之友社 文部科学省、『小学校学習指導要領解説 音楽編』、東洋館出版社、4491034656							
参考書		プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分		30%	50%		20%			
補足									
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。							
資格		[乙]小2種_選必							
その他		小学校等で使用したソプラノリコーダーを用意してください。 第15回で課題や学んだ内容を振り返りながら講評します。 第16回に実技試験を行います。							

科 目 名	図画工作科指導法			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名	入江 彩子						
授 業 の 目 的	ねらい	学習指導要領に示された小学校図画工作科について十分に理解を深め、学年や実態に応じた用具・材料を選択し指導できるよう、図画工作科で扱う用具・材料について学びます。 また、教材研究や学習指導案について学習し、学習指導案の作成や作品制作、模擬授業を行います。					
	到達目標	(1)学習指導要領に示された小学校図画工作科の目標・内容を理解することができる。 (2)学年の発達に応じた用具・材料の選択、指導方法について理解を深めることができる。 (3)学習指導案を作成することができる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】講義概要、講義展開等について説明します。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。					A
	第2回	【テーマ】小学校図画工作科について 【計画内容】「表現」、「図画工作科が教科として果たす役割」等について学びます。 【準備学習の内容】配付されたプリントを復習しておくこと。					A
	第3回	【テーマ】用具の使い方と指導について1 【計画内容】絵の具について知識を深め、絵の具・筆等の使い方や表現方法、指導方法について学びます。 【準備学習の内容】配付されたプリントを復習しておくこと。					A
	第4回	【テーマ】学習指導要領(低学年)、用具の使い方と指導について2 【計画内容】学習指導要領の第1学年及び第2学年の目標と内容について学習します。また、クレヨン・パスについて知識を深め、使い方や表現方法、指導方法について学びます。 【準備学習の内容】配付されたプリントを復習しておくこと。テキスト「第1学年及び第2学年の目標と内容」を読んでおくこと。					A
	第5回	【テーマ】学習指導要領(中学年)、用具の使い方と指導について3 【計画内容】学習指導要領の第3学年及び第4学年の目標と内容について学習します。また、主な描画材料とハサミの使い方や表現方法、指導方法について学びます。 【準備学習の内容】配付されたプリントを復習しておくこと。テキスト「第3学年及び第4学年の目標と内容」を読んでおくこと。					A
	第6回	【テーマ】学習指導要領(高学年)、用具の使い方と指導について4 【計画内容】学習指導要領の第5学年及び第6学年の目標と内容について学習します。また、カッターナイフや小刀等の使い方や指導方法、表現方法について学びます。 【準備学習の内容】配付されたプリントを復習しておくこと。テキスト「第5学年及び第6学年の目標と内容」を読んでおくこと。					A
	第7回	【テーマ】図画工作科の材料・活動内容1 【計画内容】紙について知識を深めます。また、低学年が使用する材料について学びます。 【準備学習の内容】配付されたプリントを復習しておくこと。					A
	第8回	【テーマ】図画工作科の材料・活動内容2 【計画内容】粘土について知識を深めます。また、中・高学年が使用する材料とICTの活用について学びます。 【準備学習の内容】配付されたプリントを復習しておくこと。					A
	第9回	【テーマ】指導計画・学習指導案について 【計画内容】指導計画・学習指導案について学びます。 【準備学習の内容】配付されたプリントを復習しておくこと。					A、B
	第10回	【テーマ】教材研究・作品制作・学習指導案の作成1 【計画内容】教材研究をし、学習指導案の作成、作品制作をします。 【準備学習の内容】配付されたプリントを復習しておくこと。					B、E
	第11回	【テーマ】教材研究・作品制作・学習指導案の作成2 【計画内容】教材研究をし、学習指導案の作成、作品制作をします。 【準備学習の内容】学習指導案を完成させておくこと。					B、E
	第12回	【テーマ】模擬授業・作品発表1 【計画内容】授業の展開について確認し、作成した学習指導案を基に、模擬授業と作品の発表を行います。 【準備学習の内容】模擬授業と作品発表の準備をしておくこと。					F、K
	第13回	【テーマ】模擬授業・作品発表2 【計画内容】作成した学習指導案を基に、模擬授業と作品の発表を行います。 【準備学習の内容】模擬授業と作品発表の準備をしておくこと。授業の記録が未完成の場合は完成させておくこと。					F、K
	第14回	【テーマ】模擬授業・作品発表3、振り返り 【計画内容】作成した学習指導案を基に、模擬授業と作品の発表を行います。模擬授業と作品発表について振り返ります。 【準備学習の内容】模擬授業と作品発表の準備をしておくこと。授業の記録が未完成の場合は完成させておくこと。					F、K、L
	第15回	【テーマ】図画工作科の活動内容、演習、全体の振り返りとまとめ 【計画内容】様々な実践例から図画工作科の活動内容の知識を深めます。また、絵画や工作等の教材を制作します。講義を振り返り、全体のまとめを行います。 【準備学習の内容】授業の記録が未完成の場合は完成させておくこと。					B、L
テ キ ス ト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 図画工作編』、日本文教出版、4536590110						
参 考 書	プリントを使用します						
成 績 評 価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分 補 足			40%	40%	20%	
質問への対応	初回講義時に説明します。						
資 格	〔乙〕小2種_選必						
そ の 他	準備する物:テキスト、用具セット(※絵の具セットは使用しません。) 第12回～14回で、課題(指導案・作品)の講評をします。						

科 目 名			家庭科指導法		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			角田 成子					
授 業 の 目 的	ねらい	小学校家庭科学習要領においては、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習や、各内容間・他教科等との関連を重視していることから、実際に教材を作成したり、実生活で実践したりして、家庭科における指導内容・指導方法の工夫について学び合い指導力を高めます。						
	到達目標	(1)家庭科の目標と指導内容が理解できる。 (2)目標および指導内容の取扱いに即した指導計画や学習展開を考えることができる。 (3)授業づくりを通して児童による問題解決を目指した指導の方法を考えることができる。 (4)他教科・他領域と関連した指導内容・指導方法を理解し、工夫することができる。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】 オリエンテーション及び課題をもって考え工夫する「衣生活」の指導① 【計画内容】 学習指導要領の指導内容と重点について理解し、教科書「はじめてみようソーイング」から指導過程(計画・実践・ふり返り)と指導の工夫について学び合います。 【準備学習の内容】 シラバスを事前に読んでおくこと。						A、B、K
	第2回	【テーマ】 課題をもって考え、工夫する「衣生活」の指導② 【計画内容】 衣服の着用と手入れの学習過程と展開について理解し、生活を豊かにするための製作を通して基礎的な知識・技能の指導について考え交流します。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、D、K
	第3回	【テーマ】 課題をもって考え、工夫する「衣生活」の指導③ 【計画内容】 生活を豊かにするための教材を製作し、その評価活動の仕方を学び合います。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、D、H、K
	第4回	【テーマ】 課題をもって考え、工夫する「食生活」の指導① 【計画内容】 教科書「はじめてみようクッキング」から指導すべき基礎的知識・技能を理解し、健康・快適・安全の視点をもった指導の工夫について学び合います。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、N、K
	第5回	【テーマ】 課題をもって考え、工夫する「食生活」の指導② 【計画内容】 教科書「食べて元気に」から五大栄養素のはたらきや食品群についての理解を深め、実習を通して日本の伝統的な食事について学び合います。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、D
	第6回	【テーマ】 課題をもって考え工夫する「食生活」の指導③ 【計画内容】 生活を豊かにするための食育についての振り返り、実習場面での評価活動の仕方について学び合います。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、K、L
	第7回	【テーマ】 課題をもって考え工夫する「住生活」の指導① 【計画内容】 季節に合わせた生活の大切さや住まい方など住まいの主な働きを理解し、学習展開の工夫を学び合います。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、B、K
	第8回	【テーマ】 課題をもって考え、工夫する「住生活」指導② 【計画内容】 季節に合わせた住まい方(日本の伝統的な生活)などを取り入れた指導案作成、学習展開の工夫を学び合います。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、B、H、L
	第9回	【テーマ】 課題をもって工夫する「消費生活」の指導① 【計画内容】 買い物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さにおける指導の重要性を理解し、ウェブ資料を活用しながら学び合います。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、F、H
	第10回	【テーマ】 課題をもって工夫する「消費生活・環境」の指導 【計画内容】 家族の一員としての朝食作りに係る買い物計画を課題に、指導案作成や展開の工夫について学び合います。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、F、H、L
	第11回	【テーマ】 課題をもって考え、工夫する「家族・家庭」の指導① 【計画内容】 家庭科の3つの内容間の関連を図った授業構築について学び合い、評価活動について考えます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、B、H、K
	第12回	【テーマ】 課題をもって考え、工夫する「家族・家庭生活」の指導② 【計画内容】 栄養のバランスを考えた家族の朝食を考え、実習から効果的な指導について学び合います。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、D、K
	第13回	【テーマ】 課題をもって考え、工夫する「家庭生活」指導③ 【計画内容】 家族の一員として、地域の一員としての役割を意識した指導案をもとに指導の工夫を学び合います。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、F、K、L
	第14回	【テーマ】 他教科・他領域と関連した指導の工夫 【計画内容】 日常生活を振り返り、課題を見つけ、解決していくための情報を収集し、環境に配慮した指導計画や展開の工夫を学び合います。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。						A、F、K
	第15回	【テーマ】 家庭科指導法のまとめ 【計画内容】 家庭科教育の目標や基礎的知識・技能の指導、生きる力をはぐくむ問題解決的学習展開の工夫についてまとめます。 【準備学習の内容】 家庭科の学習指導要領やプリントを熟読しておく。						A、B、L
テキスト		文部科学省、「小学校学習指導要領 家庭編」、東洋館出版社、4491034664 内野紀子ほか、「小学校家庭科教科書」、開隆堂						
参 考 書		プリントを使用します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%	20%	30%		
補足								
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[乙]小2種_選必						
そ の 他		昨年度の「家庭」受講者は、購入した教科書を使用						

科 目 名		体育科指導法		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		長尾 明也					
授 業 の 目 的	ねらい	小学校学習指導要領に基づき、小学校における体育科の目標及び内容、指導計画、指導方法について学びます。また、模擬授業の実施とその振り返りを通じて、実践的な指導力の向上を目指します。					
	到達目標	(1)小学校体育科の目標及び指導内容が理解できる。 (2)目標及び内容に適した指導計画や学習展開を考えることができる。 (3)学年の発達に応じた指導方法を工夫することができる。 (4)体育科における問題解決学習の在り方について理解できる。					
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】到達目標や授業展開、評価方法などについて説明して授業の全体について概観します。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。					A
	第2回	【テーマ】児童の発達と今日的課題 【計画内容】児童の体力低下の要因と体育科の役割について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。					A、K
授 業 の 計 画	第3回	【テーマ】体育科の目標及び運動領域の内容 【計画内容】児童の体力低下の要因と体育科の役割について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。					A、K
	第4回	【テーマ】体育科における指導計画の作成と授業づくり 【計画内容】指導計画作成上の留意点や運動することの楽しさを味わう授業づくりについて学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。					A、K
	第5回	【テーマ】体育科における学習評価 【計画内容】目標に準拠した評価など、指導に活かす評価について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。					A、K
	第6回	【テーマ】各運動領域における授業づくり① 【計画内容】体づくり運動、器械運動系の授業づくりにおいて、ICTの活用など効果的な指導方法の在り方について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。					A、K
	第7回	【テーマ】各運動領域における授業づくり② 【計画内容】陸上運動系、水泳系の授業づくりにおいて、ICTの活用など効果的な指導方法の在り方について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。					A、K
	第8回	【テーマ】各運動領域における授業づくり③ 【計画内容】ボール運動系の授業づくりにおいて、ICTの活用など効果的な指導方法の在り方について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。					A、K
	第9回	【テーマ】各運動領域における授業づくり④ 【計画内容】表現運動系、保健領域の授業づくりにおいて、ICTの活用など効果的な指導方法の在り方について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。					A、K
	第10回	【テーマ】教材研究及び指導案作成① 【計画内容】グループ(運動領域)毎に、運動の特性や発達の段階などに応じた単元計画を作成します。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。					B、H
	第11回	【テーマ】教材研究及び指導案作成② 【計画内容】グループ(運動領域)毎に、児童の主体的な学びを保障する本時案を作成します。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。					B、H
	第12回	【テーマ】模擬授業(低学年) 【計画内容】模擬授業を行い、発達の段階を踏まえた指導のポイントを実践的に学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。					B、L
	第13回	【テーマ】模擬授業(中学年) 【計画内容】模擬授業を行い、発達の段階を踏まえた指導のポイントを実践的に学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。					B、L
	第14回	【テーマ】模擬授業(高学年) 【計画内容】模擬授業を行い、発達の段階を踏まえた指導のポイントを実践的に学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。					B、L
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】講義の成果と課題を明確にします。 【準備学習の内容】これまでの授業で学習したことを、まとめておくこと。					A、L
テキスト		プリントを使用します。					
参 考 書		文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 体育編』、東洋館出版社					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分		35%	35%		30%	
	補 足		模擬授業	レポート			
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資 格		[乙]小2種_選必					
そ の 他							

科 目 名			生徒指導(進路指導を含む)		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			荒川 巖					
授 業 の 目 的	ねらい	生徒指導は、児童の人格の健全な育成を図るため、全ての教育活動において行われるものです。非行や問題行動への対応など生徒指導の消極的な側面ばかりでなく、多くの教育活動における子どもの生徒指導の積極的な側面における望ましい生徒指導及び進路指導を学びます。小学校教育の各発達段階における、生徒指導や進路指導のあり方を学ぶとともにそれを推進するための資質や態度について学びます。						
		到達目標	(1)子どもが置かれている現状について興味を持って調べることができる。					
			(2)子どもをめぐる今日的な課題について、多様な解決策を考えることができる。					
			(3)個に応じた望ましい生徒指導ができる。					
			(4)児童理解のあり方がわかる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】講義概要、受講の心得、講義の進め方、グループ編成、評価方法等。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】生徒指導の基本原則① 【計画内容】生徒指導の範囲、生徒指導と進路指導とのかかわりについて学びます。 【準備学習の内容】私が受けた生徒指導と進路指導の具体例を思い出しておくこと。						K
	第3回	【テーマ】生徒指導の基本原則② 【計画内容】学校教育に於ける生徒指導の目的と意義について学びます。 【準備学習の内容】生徒指導提要の編目構成について調べておくこと。						K
	第4回	【テーマ】小学校教育と生徒指導 【計画内容】生徒指導と各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動などとの関連。 【準備学習の内容】小学校学習指導要領で生徒指導が触れているところを調べておくこと。						H
	第5回	【テーマ】学校における生徒指導体制のあり方・校務分掌間の連携 【計画内容】学校に於ける生徒指導の指導体制について学びます。 【準備学習の内容】校務分掌から、生徒指導がどのように行われているか資料を収集しておくこと。						A、K
	第6回	【テーマ】児童の心理と児童理解の基本 【計画内容】児童理解の実際を学びます。 【準備学習の内容】児童理解の方法を資料を見ながら考察しておくこと。						A、K
	第7回	【テーマ】教育相談の実際とカウンセリングの基礎知識 【計画内容】教育相談における担任教師の役割と教師間の連携、カウンセリングの基礎知識を学びます。 【準備学習の内容】自分の受けた教育相談の実際を調べておくこと。						K、H
	第8回	【テーマ】生徒指導の今日的課題と問題行動 【計画内容】生徒指導の今日的な課題を学びます。 【準備学習の内容】生徒指導の課題をメディアから調べておくこと。						A、K
	第9回	【テーマ】問題行動の理解と対応及び指導① 【計画内容】個別の課題を抱える児童生徒への指導(いじめの実態と対処法)を学びます。 【準備学習の内容】これまでに体験した「いじめ」とその対処法について調べておくこと。						H
	第10回	【テーマ】問題行動の理解と対応及び指導② 【計画内容】個別の課題を抱える児童生徒への指導(不登校の実態と対処法)を学びます。 【準備学習の内容】学校基本調査の結果や報道資料等を基に、不登校の実態を調べておくこと。						H
	第11回	【テーマ】問題行動の理解と対応及び指導③ 【計画内容】個別の課題を抱える児童生徒への指導(少年非行、家出、児童虐待他)を学びます。 【準備学習の内容】報道資料やインターネット検索などで、これらの問題行動について調べておくこと。						H
	第12回	【テーマ】問題行動の理解と対応及び指導④ 【計画内容】具体的事例によるロールプレイングを行います。 【準備学習の内容】教育実習で出会った問題行動をまとめておくこと。						H
	第13回	【テーマ】生徒指導と危機管理 【計画内容】学校と家庭、地域社会や関係機関との連携について学びます。 【準備学習の内容】子どもの問題行動が発生したとき、どのように対処するかまとめておくこと。						H
	第14回	【テーマ】各発達段階に於ける進路指導のあり方 【計画内容】進路指導の実際を学びます。 【準備学習の内容】進路指導とは何か調べておくこと。						A、K
	第15回	【テーマ】生徒指導のまとめと振り返り 【計画内容】生徒指導の成果と課題を明確にします。 【準備学習の内容】講義全体を振り返っておくこと。						A、K
テキスト		文部科学省、2008年、『生徒指導提要』、教育図書						
参 考 書		プリントを使用します 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』、東洋館出版社						
成績評価の方法			筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				30%		40%	30%
補 足					レポート・事例研究			講義記録
質問への対応 初回講義時に具体的に説明します。								
資 格		[乙]小2種_必修						
そ の 他		学習指導と生徒指導は皆さんのこれまでの学校生活の中心をなしてきたことですが、学習指導以外で学んだことも非常に多く、現在のあなたを形づくる一部になっているはずで。幼稚園から高校までの生活を振り返り、教科の学習以外で学んだことを思い起こしてください。						

科目名		外国語活動	授業形態	講義	単位数	2
教員名		長尾 明也				
授業の目的	ねらい	小学校学習指導要領に基づき、「外国語活動」の目標、内容、指導計画、指導方法などについて学びます。また、「外国語活動」における効果的な指導の仕方や楽しい授業づくり、教材づくり、ゲームやアクティビティ、歌やチャンツの導入の方法を実践的に学んでいきます。				
	到達目標	(1)小学校指導要領における「外国語活動」の目標と内容が理解できる。 (2)「外国語活動」を行う際に必要な知識とスキルを身につける。 (3)小学3年生・4年生が「外国語活動は楽しい」と思える授業とはどのような内容と方法をもつものかを理解し、実践することができる。				
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の目標を理解し、全15回の授業を概観します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読し、今学期、「外国語活動」で何を学習するかを把握しておくこと。				A
	第2回	【テーマ】外国語活動の目標と内容の理解 【計画内容】学習指導要領に示された外国語活動の目標・内容について学びます。 【準備学習の内容】第1回の授業時に配るプリントを読んでくること。				A
	第3回	【テーマ】外国語活動授業の実際 【計画内容】実際の授業を映像で見ることで、外国語活動の授業を行うことのイメージをもちます。 【準備学習の内容】第2回の授業時に配るプリントを読んでくること。				A、K
	第4回	【テーマ】『Let's Try!』を活用した教材研究(1) 【計画内容】『Let's Try!』を活用して、指導計画の作成と内容の取り扱いについて学びます。 【準備学習の内容】第3回の授業時に配るプリントを読んでくること。				A、H
	第5回	【テーマ】『Let's Try!』を活用した教材研究(2) 【計画内容】『Let's Try!』の単元を事例に、担任が授業で使う英語表現(Classroom English)やALTとの連携の在り方など授業づくりの実際を学びます。 【準備学習の内容】第4回の授業時に配るプリントを読んでくること。				A、H
	第6回	【テーマ】『Let's Try!』を活用した教材研究(3) 【計画内容】『Let's Try!』の単元を事例に、外国語活動におけるアクティビティの意義を理解し、ゲーム・歌・チャンツの実際を学びます。 【準備学習の内容】第5回の授業時に配るプリントを読んでくること。				A、H
	第7回	【テーマ】『Let's Try!』を活用した教材研究(4) 【計画内容】『Let's Try!』の単元を事例に、外国語活動における評価の在り方について学びます。 【準備学習の内容】第6回の授業時に配るプリントを読んでくること。				A、H
	第8回	【テーマ】『Let's Try!』を活用した指導案作成・検討(1) 【計画内容】これまでの教材研究をもとに、指導案を作成し検討します。 【準備学習の内容】第7回の授業時に配るプリントを読んでくること。授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(中間レポート)。				B、H
	第9回	【テーマ】『Let's Try!』を活用した指導案作成・検討(2) 【計画内容】これまでの教材研究をもとに、指導案を作成し検討します。 【準備学習の内容】第8回の授業時に配るプリントを読んでくること。				B、H
	第10回	【テーマ】『Let's Try!』を活用した模擬授業(1) 【計画内容】作成した指導案をもとに模擬授業を行い、成果と課題を明確にします。 【準備学習の内容】第9回の授業時に配るプリントを読んでくること。				B、H
	第11回	【テーマ】『Let's Try!』を活用した模擬授業(2) 【計画内容】作成した指導案をもとに模擬授業を行い、成果と課題を明確にします。 【準備学習の内容】第10回の授業時に配るプリントを読んでくること。				B、L
	第12回	【テーマ】『Let's Try!』を活用した模擬授業(3) 【計画内容】作成した指導案をもとに模擬授業を行い、成果と課題を明確にします。 【準備学習の内容】第11回の授業時に配るプリントを読んでくること。これまでの学習内容をふまえ、LESSONプランの作成をすること(課題提出)。				B、L
	第13回	【テーマ】『Let's Try!』を活用した模擬授業(4) 【計画内容】作成した指導案をもとに模擬授業を行い、成果と課題を明確にします。 【準備学習の内容】第12回の授業時に配るプリントを読んでくること。				B、L
	第14回	【テーマ】これからの小学校における英語教育の在り方 【計画内容】学習指導要領の改訂など、今後の小学校における英語教育の在り方について検討します。 【準備学習の内容】第13回の授業時に配るプリントを読んでくること。				A、H
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】授業全体の成果と課題を明確にします。 【準備学習の内容】講義全体の成果と課題をまとめておくこと。				A、L
テキスト		プリントを使用します				
参考書		文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』、開隆堂出版 文部科学省、2017年、『Let's Try!1・2』、東京書籍				
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度
	配分	補足	35%	35%		30%
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。 オフィスアワー(4月発表)を参考にしてください。				
資格		[乙]小2種_選択				
その他		教育コース必修 子どもたちに英語でコミュニケーションをとることの「楽しさ」を体感してもらうためには、その「楽しさ」がどこから来るのかを理解する必要があります。「外国語活動って楽しい!」と思えるような授業づくりと一緒に探求していきましょう。				

科目名		小学校教育授業研究			授業形態	講義	単位数	2
教員名		高橋 さおり、荒川 巖、太田 俊一、菊地 達夫						
授業の目的	ねらい	小学校教科「国語」「社会」「算数」「理科」の学習指導案の作成および模擬授業の実践、さらに、相互分析・検討を通して、より良い授業を構築するための構想力・展開力・評価力(省察力)を高める。						
	到達目標	(1)学習指導案の作成・分析、模擬授業の実践・分析を通して、授業の構想および展開する力を高めることができる。 (2)模擬授業の実践・分析・検討を通して、省察力を高めることができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業のねらい、到達目標、授業計画、成績処理方法、参考文献について説明します。(全教員) 【準備学習の内容】シラバスの内容をよく読んでおくこと。						A、L
	第2回	【テーマ】授業づくり、教材研究の意義について 【計画内容】授業づくりの基本について説明し、教材研究の意義について考えます。(全教員) 【準備学習の内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。						A、H、L
	第3回	【テーマ】学習指導案の作成・分析① 【計画内容】学習指導案の作成や分析を行います。(全教員) 【準備学習の内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。						B、H、L
	第4回	【テーマ】授業実践・検討① 【計画内容】模擬授業の実践・分析や公開授業の参観・分析・検討を行います。(全教員) 【準備学習の内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。						B、H、L
	第5回	【テーマ】学習指導案の作成・分析② 【計画内容】学習指導案の作成や分析を行います。(全教員) 【準備学習の内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。						B、H、L
	第6回	【テーマ】授業実践・検討② 【計画内容】模擬授業の実践・分析や公開授業の参観・分析・検討を行います。(全教員) 【準備学習の内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。						B、H、L
	第7回	【テーマ】学習指導案の作成・分析③ 【計画内容】学習指導案の作成や分析を行います。(全教員) 【準備学習の内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。						B、H、L
	第8回	【テーマ】授業実践・検討③ 【計画内容】模擬授業の実践・分析や公開授業の参観・分析・検討を行います。(全教員) 【準備学習の内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。						B、H、L
	第9回	【テーマ】学習指導案の作成・分析④ 【計画内容】学習指導案の作成や分析を行います。(全教員) 【準備学習の内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。						B、H、L
	第10回	【テーマ】授業実践・検討④ 【計画内容】模擬授業の実践・分析や公開授業の参観・分析・検討を行います。(全教員) 【準備学習の内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。						B、H、L
	第11回	【テーマ】学習指導案の作成・分析⑤ 【計画内容】学習指導案の作成や分析を行います。(全教員) 【準備学習の内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。						B、H、L
	第12回	【テーマ】授業実践・検討⑤ 【計画内容】模擬授業の実践・分析や公開授業の参観・分析・検討を行います。(全教員) 【準備学習の内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。						B、H、L
	第13回	【テーマ】授業の構想① 【計画内容】授業実践を振り返り、授業計画の修正・改善について再検討します。(全教員) 【準備学習の内容】これまでの学習内容について十分整理(振り返り)しておくこと。						H、L
	第14回	【テーマ】授業の構想② 【計画内容】授業実践を振り返り、授業計画の修正・改善について再検討します。(全教員) 【準備学習の内容】これまでの学習内容について十分整理(振り返り)しておくこと。						H、L
	第15回	【テーマ】授業の振り返り 【計画内容】授業の計画・実践・省察を通して、授業構想について理解を深めます。(全教員) 【準備学習の内容】これまでの学習内容について十分整理(振り返り)しておくこと。						L
テキスト		文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説』、東洋館出版社、4491034605						
参考書		適宜、担当者から教科指導に向けた資料・図書を紹介します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			70%		30%		
質問への対応		初回授業時に具体的に説明します。						
資格								
その他		1年次科目「小学校教育教材研究」からの継続的な履修が望ましいです。 学外の授業研究会等へ参加する場合があります。 授業内で課す中間課題等については随時講評します。						

講義要綱
SYLLABUS
短期大学部 2 年次

2019年 4 月 発行
北翔大学・北翔大学短期大学部
〒069-8511 江別市文京台23番地
TEL (011) 386－8011
FAX (011) 387－1542

